

I 救 急 編

◎ 令和 7 年 4 月 1 日現在の救急業務実施体制

○ 消防本部数	720本部	【第 1 表参照】
○ 救急業務実施市町村数	1,690市町村	【第 2 表参照】
○ 救急業務未実施町村数	29町村	【第 2 表参照】
○ 救急隊数	5,485隊	【第 3 表及び第 7 図参照】
うち救急救命士運用隊数	5,472隊	
○ 救急隊員数	6 万7,688人	【第 4 表参照】
○ 救急救命士資格を有する消防職員数	4 万6,126人	【第 5 表参照】
うち救急隊員として運用している救急救命士数	3 万1,753人	【第 7 図参照】
○ 救急自動車保有台数	6,727台	【第 8 図参照】
	(うち高規格救急車6,651台)	

◎ 令和 6 年中の救急自動車による救急業務実施状況

○ 救急出動件数	771万8,380件	【第10表参照】
○ 搬送人員	676万9,172人	【第10表参照】
うち高齢者（満65歳以上）	428万4,953人（63.3%）	【第24表参照】
うち軽症（外来診療）	317万1,350人（46.8%）	【第25表参照】
○ 現場到着所要時間	全国平均約9.8分	【第35図参照】
○ 病院収容所要時間	全国平均約44.6分	【第35図参照】

第 1 章 救急業務実施体制の状況

1 消防本部及び救急業務実施市町村

(1) 概要

令和 7 年 4 月 1 日現在の消防本部数は 720 本部(単独 432 本部、組合 288 本部)となっており、全ての消防本部において救急業務が実施されている(第 1 表参照)。

救急業務実施体制を市町村単位でみると、消防本部・署を設置して救急業務を実施している市町村及びこれらの市町村に事務委託して救急業務を実施している市町村は、令和 7 年 4 月 1 日現在、全国 1,719 市町村(東京都の特別区の存する区域は 1 つの市として集計。以下同じ。)のうち 1,690 市町村(98.3%、793 市、736 町、161 村)となっている(第 2 表、別表 1 参照)。

第 1 表 消防本部数の推移

区 分 \ 年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
単 独	437	437	436	435	434	432	432
組 合	289	289	288	288	288	288	288
計	726	726	724	723	722	720	720

(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

(2) 実施形態

救急業務実施市町村の中には、人口規模、事故の発生状況、地域の地理的条件等から市町村ごとに単独で実施するよりも複数市町村が共同で実施した方がより効果的であるとの理由により、事務委託又は一部事務組合(広域連合を含む。以下同じ。)による広域的共同処理方式を取り入れている市町村が多い。救急業務を実施している 1,690 市町村のうち、単独方式による市町村が 432 市町村(25.6%)、一部事務組合方式による市町村が 1,114 市町村(65.9%)、事務委託方式による市町村が 144 市町村(8.5%)となっており、広域的共同処理方式によるものが、全体の 74.4%を占めている(第2表、別表1参照)。

第2表 救急業務実施状況の推移

区分 \ 年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
全市町村数	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719
救急業務 実施市町村数	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)
うち 単独方式	437 (25.9)	437 (25.9)	436 (25.8)	435 (25.7)	434 (25.7)	432 (25.6)	432 (25.6)
うち 一部事務組合方式	1,110 (65.7)	1,110 (65.7)	1,109 (65.6)	1,109 (65.6)	1,109 (65.6)	1,114 (65.9)	1,114 (65.9)
うち 事務委託方式	143 (8.5)	143 (8.5)	145 (8.6)	146 (8.6)	147 (8.7)	144 (8.5)	144 (8.5)
救急業務 未実施町村数	29 (1.7)	29 (1.7)	29 (1.7)	29 (1.7)	29 (1.7)	29 (1.7)	29 (1.7)

(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 「救急業務実施市町村」の欄の()内の数値は「全市町村数」に占める割合(単位%)を示す。

3 「うち単独方式」、「うち一部事務組合方式」、「うち事務委託方式」の欄の()内の数値は「救急業務実施市町村数」に占める割合(単位%)を示す。

(3) 救急業務の実施体制のない地域における補完体制

救急業務の実施体制のない地域においては、役場内に患者搬送車を置き、役場の職員が傷病者の搬送を実施する「役場救急」を行っている。

令和7年4月1日現在、救急業務の実施体制のない地域は、29 町村(全市町村 1,719 市町村の 1.7%)である(第2表参照)。

2 救急隊、救急隊員、救急自動車等

(1) 救急隊

令和7年4月1日現在、救急隊は、救急業務を実施している1,690市町村に5,485隊配備されており、前年の5,415隊に比べて70隊(1.3%)増加している(第3表参照)。

第3表 救急隊数の推移

(単位: 隊)

区分 \ 年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救急隊数	5,215	5,270	5,302	5,328	5,359	5,415	5,485
対前年増減数	36	55	32	26	31	56	70
対前年増減率(%)	0.7	1.1	0.6	0.5	0.6	1.0	1.3

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

(2) 救急隊員及び准救急隊員

令和7年4月1日現在、救急隊員数は、6万7,688人(うち女性は2,051人(3.0%))となっており、前年の6万7,006人に比べて682人(1.0%)増加している(第4表参照)。

救急隊員の専任・兼任の状況についてみると、救急業務のみに専従している専任隊員は、2万1,253人(31.4%)(うち女性は1,017人(4.8%))となっており、救急業務以外の消防業務を兼務している兼任隊員は4万6,435人(68.6%)(うち女性は1,034人(2.2%))となっている(別表2の1及び別表2の2参照)。

また、消防職員のうち、救急隊員の資格を有している職員は、13万9,045人(前年13万4,023人)(うち女性は4,921人(3.5%))となっている(第5表参照)。

なお、消防職員の救急資格の状況についてみると、救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に対応した救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む。)及び旧救急Ⅱ課程修了者は、それぞれ8万3,077人、8,544人となっている(第5表参照)。

これを救急隊員についてみると、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む。)は、3万1,458人、旧救急Ⅱ課程修了者は1,975人となっている(第4表参照)。

また、近年の人口減少や厳しい財政状況などにより、過疎地域や離島においては、救急隊が配置できない地域や時間帯が生じるなど、救急業務の空白が生じつ

つある中で、平成 28 年 12 月に消防法施行令の一部を改正する政令（平成 28 年政令第 379 号）を公布し、平成 29 年 4 月 1 日から過疎地域及び離島において、市町村が適切な救急業務の実施を図るための措置として総務省令で定める事項を記載した計画（実施計画）を定めたときには、救急隊員 2 人と准救急隊員 1 人による救急隊の編成が可能となった。

准救急隊員は、救急業務に関する基礎的な講習の課程（92 時間）を修了した常勤の消防職員等とされており、例えば、常勤の消防職員と併任され上記課程を修了した役場職員などを想定している。また、同課程の講習を受けた者以外に、上記課程修了と同等以上の学識経験を有する者についても准救急隊員とすることができることとしており、医師、保健師、看護師、准看護師、救急救命士及び救急科（250 時間）を修了した者としている。令和 7 年 4 月 1 日現在、准救急隊員は 16 人（うち女性は 1 人（6.3%））となっている（第 5 表参照）。

(3) 救急救命士運用隊、救急救命士の資格を有する消防職員及び救急隊員

救急隊 1 隊の 3 人の救急隊員のうち、1 人以上を救急救命士としている救急救命士運用隊数は、令和 7 年 4 月 1 日現在、全救急隊 5,485 隊のうち 5,472 隊となっており、前年の 5,396 隊に比べて 76 隊(1.4%)増加している。これは、全救急隊の 99.8%となっている(第 6 表、第 7 図及び別表 2 の 3 参照)。

救急救命士の資格を有する消防職員数は 4 万 6,126 人、救急隊員数は 3 万 4,163 人となっている。そのうち、運用している救急救命士数は 3 万 1,753 人であり、令和 7 年 4 月 1 日現在、全ての消防本部で救急救命士を運用している(第 4 表、第 5 表、別表 2 の 3 及び別表 2 の 4 参照)。

第 4 表 救急隊員の資格状況

(単位:人)

年 区 分	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和6年～ 令和7年 増減数
旧救急Ⅰ課程修了者 (うち女性)	136 (0)	112 (0)	208 (0)	150 (0)	136 (0)	104 (0)	92 (0)	▲ 12 (0)
旧救急Ⅱ課程修了者 (うち女性)	3,955 (4)	3,648 (5)	3,330 (5)	2,887 (6)	2,586 (4)	2,299 (7)	1,975 (5)	▲ 324 (▲ 2)
救急科修了者 【旧救急標準課程修了者含む】 (うち女性)	30,181 (400)	30,516 (419)	30,777 (479)	31,054 (587)	31,127 (591)	31,253 (643)	31,458 (712)	205 (69)
救急救命士 (うち女性)	29,451 (991)	30,255 (1,051)	30,866 (1,125)	31,762 (1,175)	32,767 (1,256)	33,350 (1,279)	34,163 (1,334)	813 (55)
救急隊員総数 (うち女性)	63,723 (1,395)	64,531 (1,475)	65,181 (1,609)	65,853 (1,768)	66,616 (1,851)	67,006 (1,929)	67,688 (2,051)	682 (122)

(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

第 5 表 消防職員の救急資格の状況

(単位:人)

年 区 分	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 6 年～ 令和 7 年 増減数
旧救急Ⅰ課程修了者 (うち女性)	3,797 (17)	2,879 (60)	2,611 (29)	2,232 (28)	1,938 (32)	1,727 (27)	1,298 (20)	▲ 429 (▲ 7)
旧救急Ⅱ課程修了者 (うち女性)	15,186 (130)	13,526 (124)	12,360 (116)	11,285 (123)	10,480 (126)	9,479 (104)	8,544 (109)	▲ 935 (5)
救急科修了者 【救急標準課程修了者を含む】 (うち女性)	70,251 (1,286)	71,245 (1,343)	73,564 (1,485)	75,346 (1,716)	76,681 (1,806)	77,898 (1,956)	83,077 (2,335)	5,179 (379)
救急救命士 (うち女性)	38,388 (1,711)	40,043 (1,870)	41,266 (2,013)	42,495 (2,128)	43,788 (2,247)	44,919 (2,325)	46,126 (2,457)	1,207 (132)
救急隊員資格者 (うち女性)	127,622 (3,144)	127,693 (3,397)	129,801 (3,643)	131,358 (3,995)	132,887 (4,211)	134,023 (4,412)	139,045 (4,921)	5,022 (509)
准救急隊員 (うち女性)	18 (2)	13 (0)	17 (1)	16 (1)	15 (1)	12 (1)	16 (1)	4 (0)

(注) 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

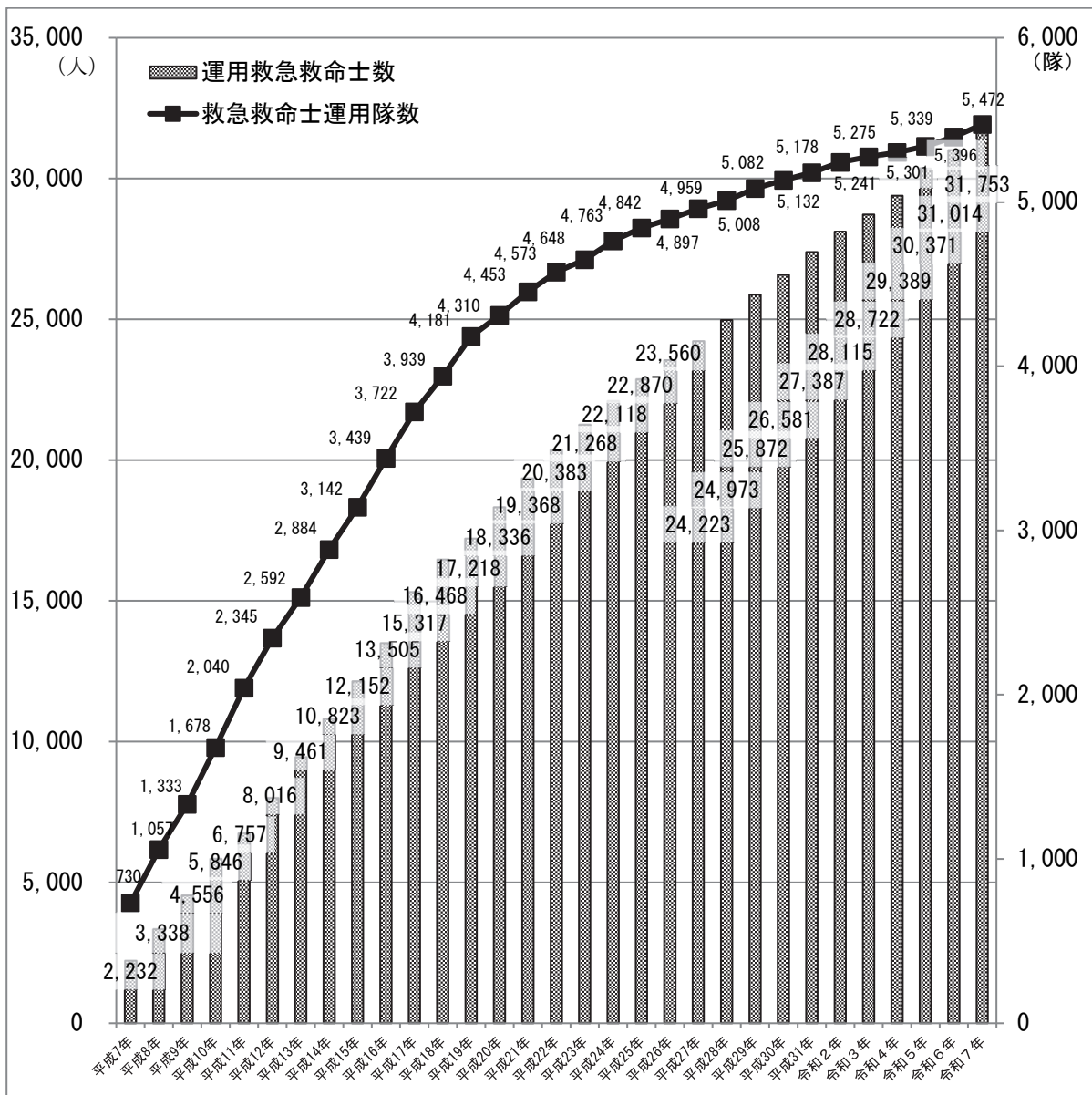
第6表 救急救命士の運用推移

(単位: 隊)

区分 \ 年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
救急隊数	5,069	5,090	5,140	5,179	5,215	5,270	5,302	5,328	5,359	5,415	5,485
救急救命士 運用隊数	4,959	5,008	5,082	5,132	5,178	5,241	5,275	5,301	5,339	5,396	5,472
割合(%)	97.8	98.4	98.9	99.1	99.3	99.4	99.5	99.5	99.6	99.6	99.8

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第7図 運用救急救命士数・救急救命士運用隊数の推移

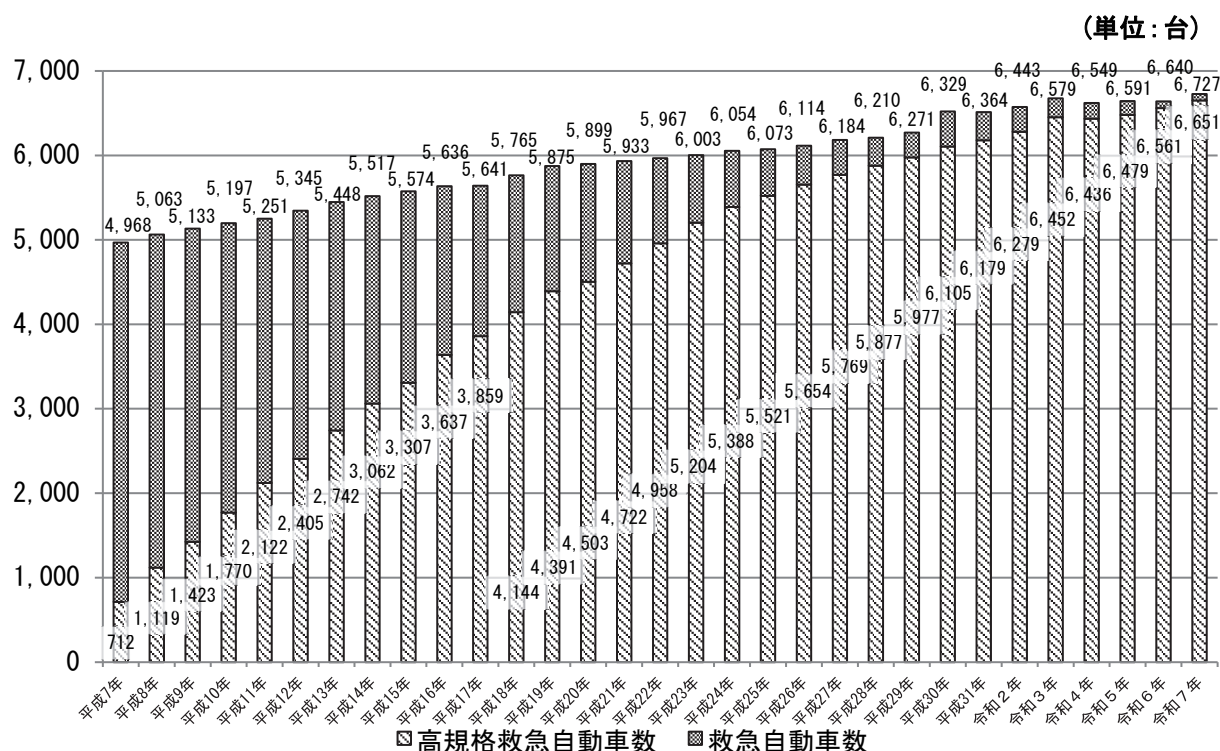


(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

(4) 救急自動車

救急自動車の保有台数は、非常用を含め 6,727 台となっており、前年の 6,640 台に比べて 87 台 (1.3%) 増加している。そのうち高規格救急自動車の台数は 6,651 台となっている (第 8 図及び別表 2 の 1 参照)。

第 8 図 高規格救急自動車数と救急自動車数の推移



(注) 1 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。

2 東日本大震災の影響により平成 23 年の高規格車数については、釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータは除いた数値により集計している。

3 高速自動車国道等における救急業務

令和 7 年 4 月 1 日現在の高速自動車国道、瀬戸中央自動車道及び神戸淡路鳴門自動車道(以下、「高速自動車国道等」という。)における救急業務については、供用延長 9,346km の全ての区間について、市町村の消防機関により実施されており、令和 6 年中の高速自動車国道等への救急出動件数は 9,056 件、搬送人員は 7,765 人となっている (第 9 表参照)。

第 9 表 高速自動車国道等における救急出動件数及び搬送人員の推移

区 分 \ 年	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
出動件数 (件)	9,545	9,132	6,457	6,680	7,472	8,522	9,056
搬送人員 (人)	8,865	8,509	5,862	5,741	6,470	7,365	7,765

(注) 各年とも 1 月から 12 月までの数値である。以後特段の注釈の無い限り同様とする。

第2章 救急業務の実施状況

1 救急業務の実施状況概要（救急出動件数及び搬送人員）

令和6年中の救急出動件数は、消防防災ヘリコプターによる件数も含め、772万740件（対前年比7万9,753件増、1.0%増）、搬送人員は677万1,193人（対前年比12万7,814人増、1.9%増）となっている（第10表、第11図参照）。

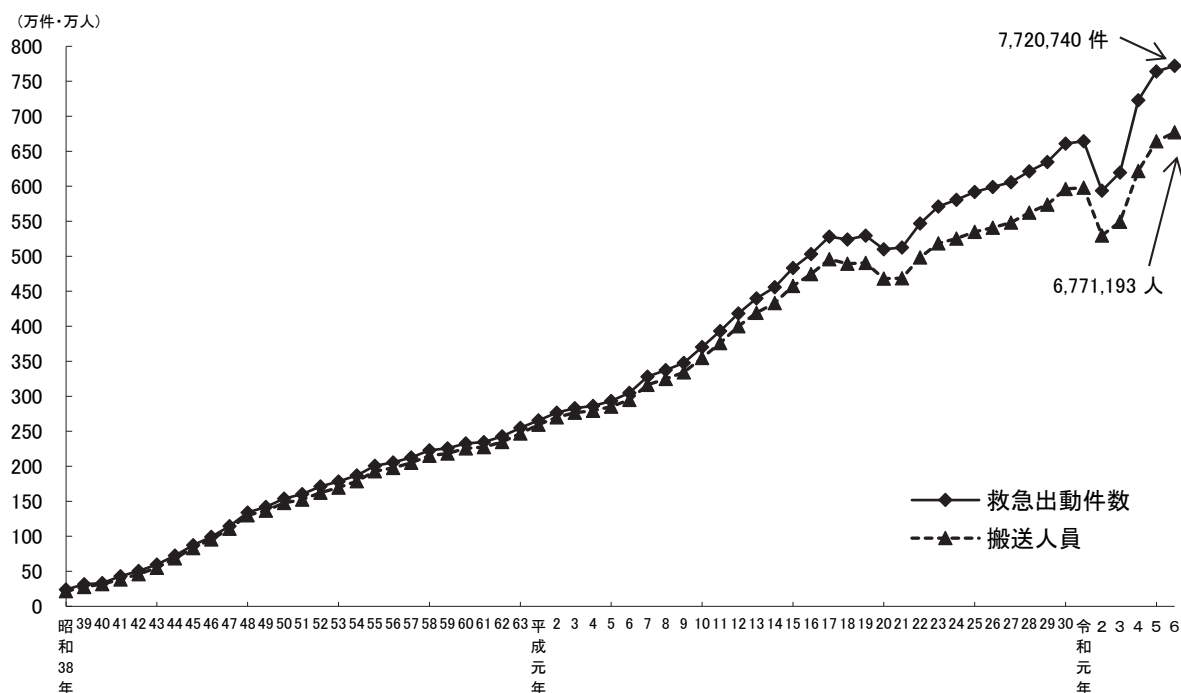
そのうち救急自動車による救急出動件数は771万8,380件（対前年比7万9,822件増、1.0%増）、搬送人員は676万9,172人（対前年比12万7,752人増、1.9%増）で救急出動件数、搬送人員ともに増加した（第10表、別表3及び別表4参照）。

救急自動車は、1日平均約2万1,088件（対前年比約160件増）、約4.1秒に1回（前年同秒）の割合で出動したことになる。

第10表 救急自動車、消防防災ヘリコプターによる
救急出動件数及び搬送人員の推移

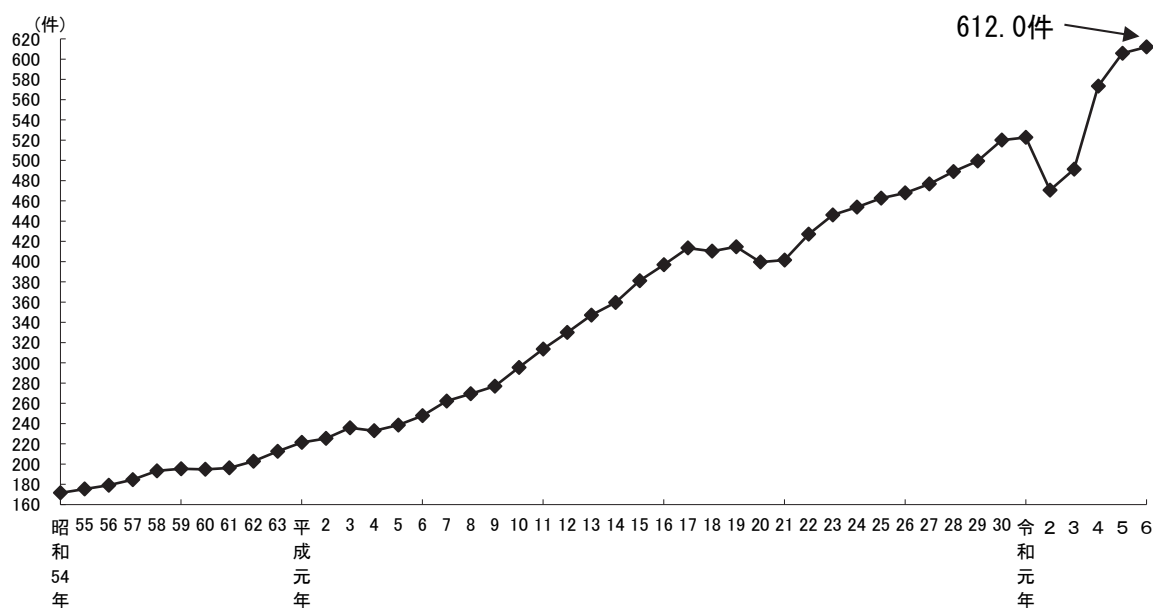
区 分 年	救急出動件数					搬送人員				
	全出動件数			増減数		全搬送人員			増減数	
		うち 救急自動車に よる 件数	うち 消防防災ヘリに よる 件数	前年比 (%)	うち 救急自動車に よる増減数 前年比 (%)		うち 救急自動車に よる 人員	うち 消防防災ヘリに よる 人員	前年比 (%)	うち 救急自動車に よる増減数 前年比 (%)
平成22年	5,467,620	5,463,682	3,938	341,684 (6.7)	341,456 (6.7)	4,982,512	4,979,537	2,975	296,467 (6.3)	296,546 (6.3)
平成23年	5,711,102	5,707,655	3,447	243,482 (4.5)	243,973 (4.5)	5,185,313	5,182,729	2,584	202,801 (4.1)	203,192 (4.1)
平成24年	5,805,701	5,802,455	3,246	94,599 (1.7)	94,800 (1.7)	5,252,827	5,250,302	2,525	67,514 (1.3)	67,573 (1.3)
平成25年	5,918,939	5,915,683	3,256	113,238 (2.0)	113,228 (2.0)	5,348,623	5,346,087	2,536	95,796 (1.8)	95,785 (1.8)
平成26年	5,988,377	5,984,921	3,456	69,438 (1.2)	69,238 (1.2)	5,408,635	5,405,917	2,718	60,012 (1.1)	59,830 (1.1)
平成27年	6,058,190	6,054,815	3,375	69,813 (1.2)	69,894 (1.2)	5,481,252	5,478,370	2,882	72,617 (1.3)	72,453 (1.3)
平成28年	6,213,628	6,209,964	3,664	155,438 (2.6)	155,149 (2.6)	5,624,034	5,621,218	2,816	142,782 (2.6)	142,848 (2.6)
平成29年	6,345,517	6,342,147	3,370	131,889 (2.1)	132,183 (2.1)	5,738,664	5,736,086	2,578	114,630 (2.0)	114,868 (2.0)
平成30年	6,608,341	6,605,213	3,128	262,824 (4.1)	263,066 (4.1)	5,962,613	5,960,295	2,318	223,949 (3.9)	224,209 (3.9)
令和元年	6,642,772	6,639,767	3,005	34,431 (0.5)	34,554 (0.5)	5,980,258	5,978,008	2,250	17,645 (0.3)	17,713 (0.3)
令和2年	5,935,694	5,933,277	2,417	▲ 707,078 (▲10.6)	▲ 706,490 (▲10.6)	5,295,727	5,293,830	1,897	▲ 684,531 (▲11.4)	▲ 684,178 (▲11.4)
令和3年	6,196,069	6,193,581	2,488	260,375 (4.4)	260,304 (4.4)	5,493,658	5,491,744	1,914	197,931 (3.7)	197,914 (3.7)
令和4年	7,232,118	7,229,572	2,546	1,036,049 (16.7)	1,035,991 (16.7)	6,219,299	6,217,283	2,016	725,641 (13.2)	725,539 (13.2)
令和5年	7,640,987	7,638,558	2,429	408,869 (5.7)	408,986 (5.7)	6,643,379	6,641,420	1,959	424,080 (6.8)	424,137 (6.8)
令和6年	7,720,740	7,718,380	2,360	79,753 (1.0)	79,822 (1.0)	6,771,193	6,769,172	2,021	127,814 (1.9)	127,752 (1.9)

第11図 救急出動件数及び搬送人員の推移



令和6年中の消防防災ヘリコプターを含む救急出動件数 772 万 740 件について、人口 1 万人当たりの平均救急出動件数は 612.0 件である。そのうち救急自動車による人口 1 万人あたりの平均救急出動件数を都道府県別にみると、大阪府の 796.7 件が最も多く、福井県の 447.6 件が最も少なくなっている（第 12 図、別表 3 参照）。

第12図 人口 1 万人当たりの平均救急出動件数の推移



(注) 平均救急出動件数は、管轄市町村の救急出動件数から、それぞれ直近の国勢調査人口（確定値）による管轄人口を基準に算出した値である。

2 救急自動車による救急出動件数及び搬送人員

(1) 事故種別の救急出動件数及び搬送人員

1. 事故種別の救急出動件数及び搬送人員の概要

令和6年中の救急自動車による救急出動件数のうち、最も多い事故種別は急病519万5,867件(67.3%)であり、続いて一般負傷122万4,778件(15.9%)、転院搬送58万1,928件(7.5%)、交通事故39万3,941件(5.1%)となっている(第13表参照)。

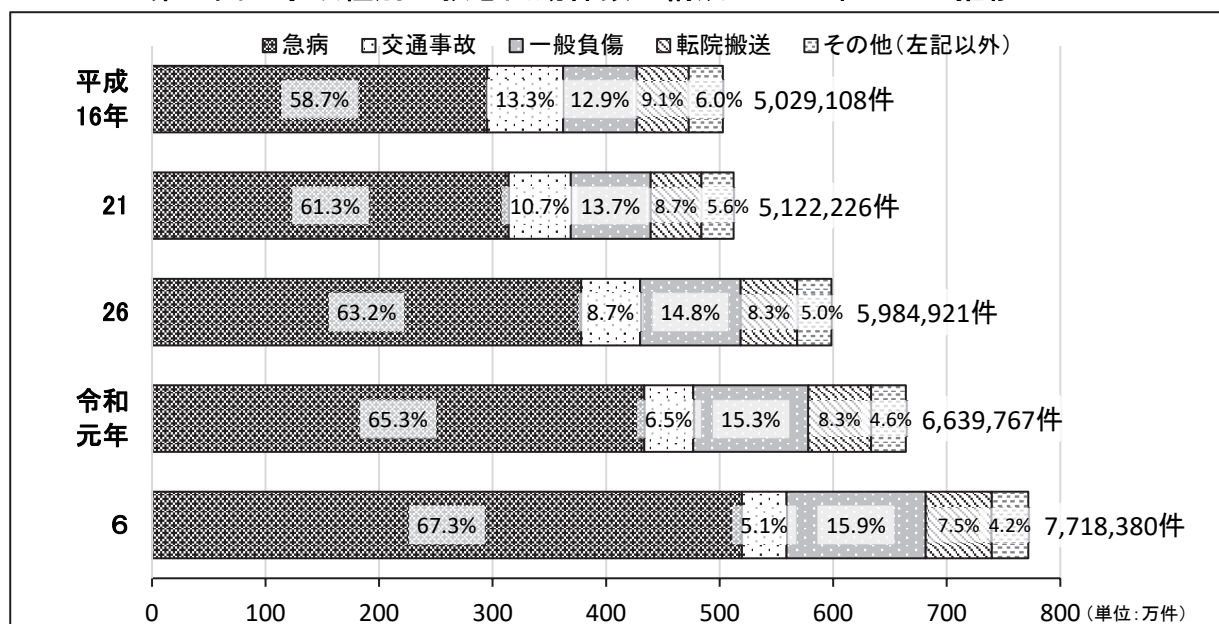
過去20年における事故種別の救急出動件数と構成比の5年ごとの推移をみると、「急病」と「一般負傷」は出動件数、構成比ともに増加している一方で、「交通事故」は出動件数、構成比ともに減少している。また、「転院搬送」の構成比は減少しているが、出動件数は増加している(第14図参照)。

第13表 事故種別の救急出動件数対前年比 (単位: 件)

区分 事故種別	令和6年中		令和5年中		対前年比	
	出動件数	構成比(%)	出動件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	5,195,867	67.3	5,174,494	67.7	21,373	0.4
交通事故	393,941	5.1	399,577	5.2	▲ 5,636	▲ 1.4
一般負傷	1,224,778	15.9	1,185,397	15.5	39,381	3.3
加害	27,234	0.4	27,126	0.4	108	0.4
自損行為	61,731	0.8	64,146	0.8	▲ 2,415	▲ 3.8
労働災害	62,279	0.8	60,576	0.8	1,703	2.8
運動競技	43,261	0.6	41,900	0.5	1,361	3.2
火災	24,059	0.3	24,029	0.3	30	0.1
水難	4,787	0.1	4,662	0.1	125	2.7
自然災害	770	0.0	653	0.0	117	17.9
転院搬送	581,928	7.5	556,367	7.3	25,561	4.6
その他 (上記以外)	97,745	1.3	99,631	1.3	▲ 1,886	▲ 1.9
合計	7,718,380	100	7,638,558	100	79,822	1.0

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第14図 事故種別の救急出動件数と構成比の5年ごとの推移



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、最も多い事故種別は急病455万7,993人（67.3%）で、続いて一般負傷110万1,897人（16.3%）、転院搬送57万8,251人（8.5%）、交通事故35万5,772人（5.3%）となっている（第15表参照）。

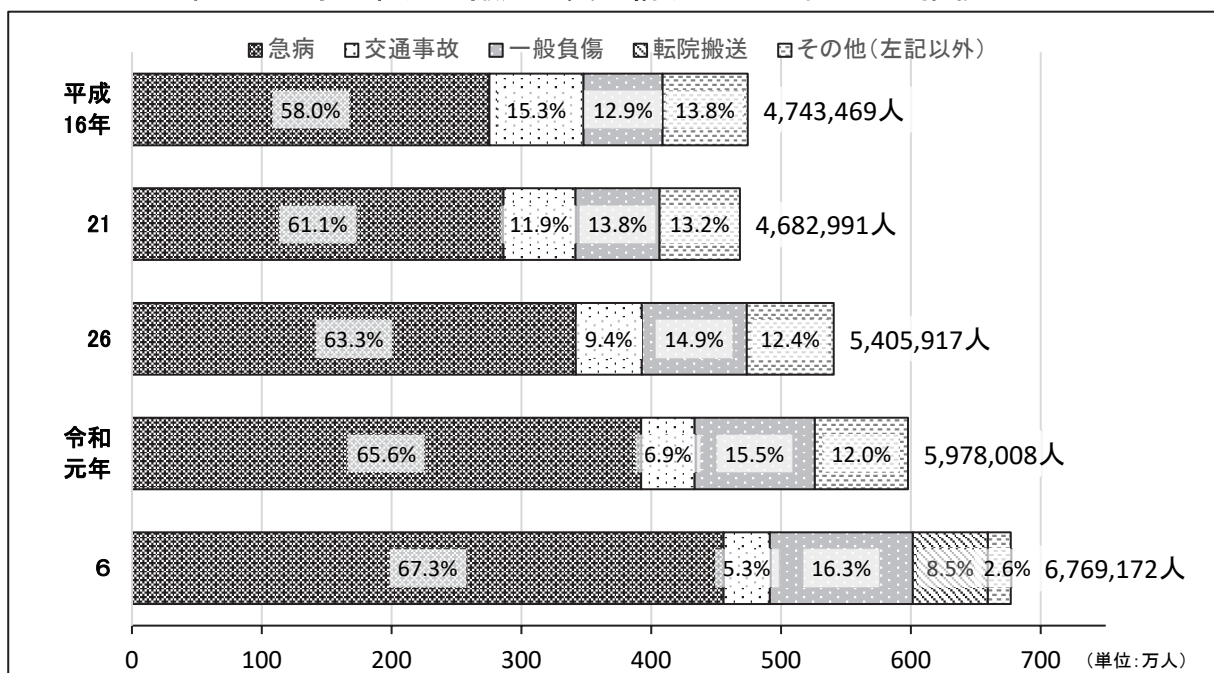
過去20年における事故種別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移をみると、事故種別ごとの救急出動件数と同様に、「急病」と「一般負傷」は搬送人員、構成比ともに増加している一方で、「交通事故」は搬送人員、構成比ともに減少している（第16図参照）。

第15表 事故種別の搬送人員対前年比 (単位：人)

区分 事故種別	令和6年中		令和5年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	4,557,993	67.3	4,495,904	67.7	62,089	1.4
交通事故	355,772	5.3	360,549	5.4	▲ 4,777	▲ 1.3
一般負傷	1,101,897	16.3	1,059,922	16.0	41,975	4.0
加害	19,624	0.3	19,147	0.3	477	2.5
自損行為	42,526	0.6	42,977	0.6	▲ 451	▲ 1.0
労働災害	60,530	0.9	58,752	0.9	1,778	3.0
運動競技	42,112	0.6	40,766	0.6	1,346	3.3
火災	4,938	0.1	4,997	0.1	▲ 59	▲ 1.2
水難	1,832	0.0	1,808	0.0	24	1.3
自然災害	575	0.0	382	0.0	193	50.5
転院搬送	578,251	8.5	552,422	8.3	25,829	4.7
その他 (上記以外)	3,122	0.0	3,794	0.1	▲ 672	▲ 17.7
合計	6,769,172	100	6,641,420	100	127,752	1.9

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第16図 事故種別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移



(注) 1 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

2 令和元年以前は「その他（左記以外）」に転院搬送を含む。

なお、令和6年中の救急自動車による救急出動件数のうち、不搬送（傷病者又はその関係者が搬送を拒んだ場合や明らかに死亡している場合又は医師が死亡していると診断した場合に医療機関等へ搬送しないものをいう。）件数は98万67件で全体の12.7%となっている。

2. 事故種別（急病）の疾病分類と年齢区分

令和6年中の救急自動車による急病の搬送人員 455 万 7,993 人の疾病分類別、年齢区分別、傷病程度別の状況を示したのが第17表、第18表及び第19表である。疾病分類別でみると、脳疾患、心疾患等を含む循環器系が多く、62万7,050人（13.8%）となっている。特に高齢者ではその割合が高くなっており、16.9%を占めている（第17表参照）。

また、傷病程度別年齢区分でみると、全体では中等症（入院診療）以上（傷病程度「その他」を除く。）の割合は、53.2%となっているが、高齢者では63.3%と高くなっている（第19表参照）。

第17表 急病の疾病分類別の年齢区分別搬送人員（令和6年 単位：人）

年齢区分 分類項目		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
循環器系	脳疾患	9 (0.4)	1,579 (0.8)	1,890 (1.6)	59,398 (4.6)	214,959 (7.3)	277,835 (6.1)
	心疾患等	31 (1.5)	418 (0.2)	1,232 (1.0)	64,938 (5.0)	282,596 (9.6)	349,215 (7.7)
消化器系		72 (3.4)	8,568 (4.5)	9,711 (8.3)	136,859 (10.5)	222,590 (7.6)	377,800 (8.3)
呼吸器系		152 (7.2)	21,528 (11.3)	11,638 (9.9)	73,874 (5.7)	349,875 (11.9)	457,067 (10.0)
精神系		3 (0.1)	221 (0.1)	3,701 (3.2)	65,771 (5.1)	18,756 (0.6)	88,452 (1.9)
感覚系		18 (0.9)	5,305 (2.8)	9,745 (8.3)	66,036 (5.1)	93,160 (3.2)	174,264 (3.8)
泌尿器系		3 (0.1)	400 (0.2)	1,778 (1.5)	65,130 (5.0)	89,561 (3.0)	156,872 (3.4)
新生物		2 (0.1)	21 (0.0)	98 (0.1)	12,857 (1.0)	54,207 (1.8)	67,185 (1.5)
その他		874 (41.5)	23,594 (12.4)	19,383 (16.5)	188,485 (14.5)	425,215 (14.4)	657,551 (14.4)
症状・徴候・診断名 不明確の状態		940 (44.7)	128,653 (67.6)	58,249 (49.6)	567,746 (43.6)	1,196,164 (40.6)	1,951,752 (42.8)
合計		2,104 (100)	190,287 (100)	117,425 (100)	1,301,094 (100)	2,947,083 (100)	4,557,993 (100)

（注） 1 急病とは、疾病が原因で医療機関に搬送されたものであり、初診時の医師の診断名（傷病名）により10分類されている。傷病名はWHO（世界保健機関）で定める国際疾病分類（ICD10）により分類されたものである。

- （1） 「脳疾患」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a－0904 脳梗塞」及び「a－0905 その他の脳血管疾患」をいう。
- （2） 「心疾患等」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a－0901 高血圧性疾患」から「a－0903 その他の心疾患」まで及び「a－0906 その他循環器系の疾患」をいう。
- （3） 「消化器系」とは、「XI 消化器系の疾患」をいう。
- （4） 「呼吸器系」とは、「X 呼吸器系の疾患」をいう。
- （5） 「精神系」とは、「V 精神及び行動の障害」をいう。

- (6) 「感覚系」とは、「Ⅵ神経系の疾患」、「Ⅶ眼及び付属器の疾患」及び「Ⅷ耳及び乳様突起の疾患」をいう。
- (7) 「泌尿器系」とは、「ⅩⅣ腎尿路生殖器系の疾患」をいう。
- (8) 「新生物」とは、「Ⅱ新生物」をいう。
- (9) 「その他」とは、上記以外の大分類項群「Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・ⅩⅡ・ⅩⅢ・ⅩⅤ・ⅩⅥ・ⅩⅦ・ⅩⅨ・ⅩⅩ・ⅩⅩⅠ」に分類されるもの及び医療機関以外に搬送されたものをいう。
- (10) 「症状・徴候・診断名不明確の状態」とは、「ⅩⅧ症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」をいう。

なお、「〇〇の疑い」は全てその傷病名により分類する。

2 年齢区分は、次によっている。

- (1) 新生児：生後 28 日未満の者
- (2) 乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
- (3) 少年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者
- (4) 成人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者
- (5) 高齢者：満 65 歳以上の者

3 () 内は、構成比(単位：%)を示す。

- 4 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

第18表 急病の疾病分類別の傷病程度別の搬送人員 (令和6年 単位:人)

傷病程度 分類項目		死 亡	重 症 (長期入院)	中等症 (入院診療)	軽 症 (外来診療)	その他	合 計
循環器系	脳疾患	1,429 (2.0)	60,939 (19.5)	173,724 (8.5)	41,743 (2.0)	0 (0.0)	277,835 (6.1)
	心疾患等	31,918 (44.2)	68,842 (22.0)	162,830 (8.0)	85,625 (4.0)	0 (0.0)	349,215 (7.7)
消化器系		939 (1.3)	17,653 (5.7)	196,777 (9.6)	162,431 (7.6)	0 (0.0)	377,800 (8.3)
呼吸器系		2,691 (3.7)	38,164 (12.2)	280,361 (13.7)	135,851 (6.4)	0 (0.0)	457,067 (10.0)
精神系		15 (0.0)	1,392 (0.4)	17,967 (0.9)	69,078 (3.2)	0 (0.0)	88,452 (1.9)
感覚系		72 (0.1)	3,149 (1.0)	56,944 (2.8)	114,099 (5.4)	0 (0.0)	174,264 (3.8)
泌尿器系		290 (0.4)	5,964 (1.9)	70,200 (3.4)	80,418 (3.8)	0 (0.0)	156,872 (3.4)
新生物		2,104 (2.9)	11,915 (3.8)	45,570 (2.2)	7,596 (0.4)	0 (0.0)	67,185 (1.5)
その他		3,797 (5.3)	29,742 (9.5)	285,756 (14.0)	338,256 (15.9)	0 (0.0)	657,551 (14.4)
症状・徴候・診断名 不明確の状態		28,973 (40.1)	74,650 (23.9)	749,382 (36.7)	1,097,590 (51.5)	1,157 (100)	1,951,752 (42.8)
合 計		72,228 (100)	312,410 (100)	2,039,511 (100)	2,132,687 (100)	1,157 (100)	4,557,993 (100)

第19表 急病の傷病程度別の年齢区分別の搬送人員 (令和6年 単位:人)

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
死 亡	60 (2.9)	206 (0.1)	97 (0.1)	7,734 (0.6)	64,131 (2.2)	72,228 (1.6)
重 症 (長期入院)	119 (5.7)	1,891 (1.0)	1,135 (1.0)	55,220 (4.2)	254,045 (8.6)	312,410 (6.9)
中等症 (入院診療)	966 (45.9)	42,684 (22.4)	26,466 (22.5)	421,512 (32.4)	1,547,883 (52.5)	2,039,511 (44.7)
軽 症 (外来診療)	959 (45.6)	145,475 (76.5)	89,703 (76.4)	816,329 (62.7)	1,080,221 (36.7)	2,132,687 (46.8)
その他	0 (0.0)	31 (0.0)	24 (0.0)	299 (0.0)	803 (0.0)	1,157 (0.0)
合 計	2,104 (100)	190,287 (100)	117,425 (100)	1,301,094 (100)	2,947,083 (100)	4,557,993 (100)

(注) 1 傷病程度とは、救急隊が傷病者を医療機関に搬送し、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類している。傷病程度に基づく分類は次のとおりである。

- (1) 死 亡：初診時において死亡が確認されたもの
- (2) 重症（長期入院）：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- (3) 中等症（入院診療）：傷病程度が重症又は軽症以外のもの
- (4) 軽症（外来診療）：傷病程度が入院加療を必要としないもの
- (5) その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したもの

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だったものや、通院による治療が必要だったものも含まれる。

2 () 内は構成比(単位:%)を示す。

3 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

3. 事故種別（転院搬送）の救急出動件数

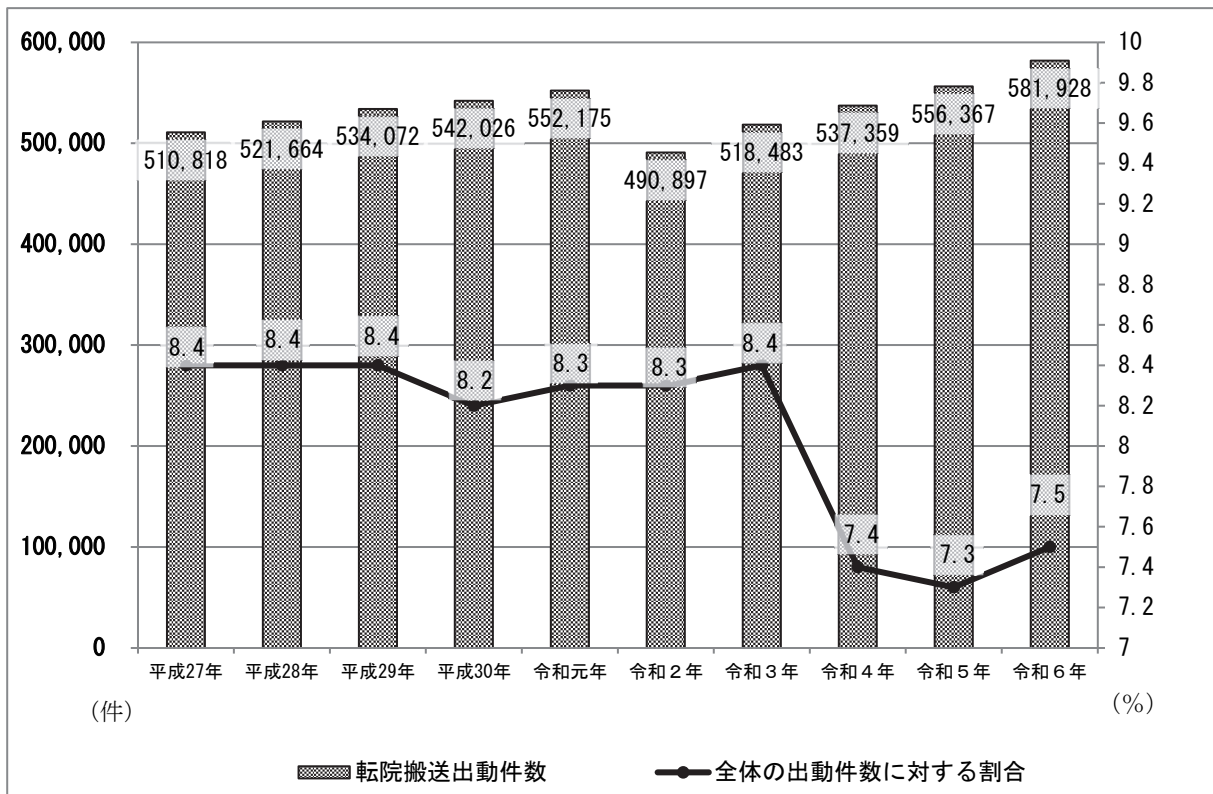
令和6年中の救急自動車による救急出動件数のうち、転院搬送件数は58万1,928件であり、全体の7.5%となっている（第20表、第21図参照）。

第20表 救急出動件数に占める転院搬送件数割合の推移

（単位：件）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
転院搬送件数	510,818	521,664	534,072	542,026	552,175	490,897	518,483	537,359	556,367	581,928
転院搬送の割合(%)	8.4	8.4	8.4	8.2	8.3	8.3	8.4	7.4	7.3	7.5
増減数 増減率(%)	12,112 (2.4)	10,846 (2.1)	12,408 (2.4)	7,954 (1.5)	10,149 (1.9)	▲ 61,278 (▲11.1)	27,586 (5.6)	18,876 (3.6)	19,008 (3.5)	25,561 (4.6)

第21図 事故種別（転院搬送）の救急出動件数と構成比の推移



(2) 年齢区分別の搬送人員

1. 年齢区分別の搬送人員の概要

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、最も多い年齢区分は高齢者428万4,953人(63.3%)、続いて成人196万9,431人(29.1%)、乳幼児27万5,562人(4.1%)となっている(第22表参照)。

過去20年における年齢区分別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移をみると、「高齢者」の搬送人員、構成比が増加している(第23図参照)。

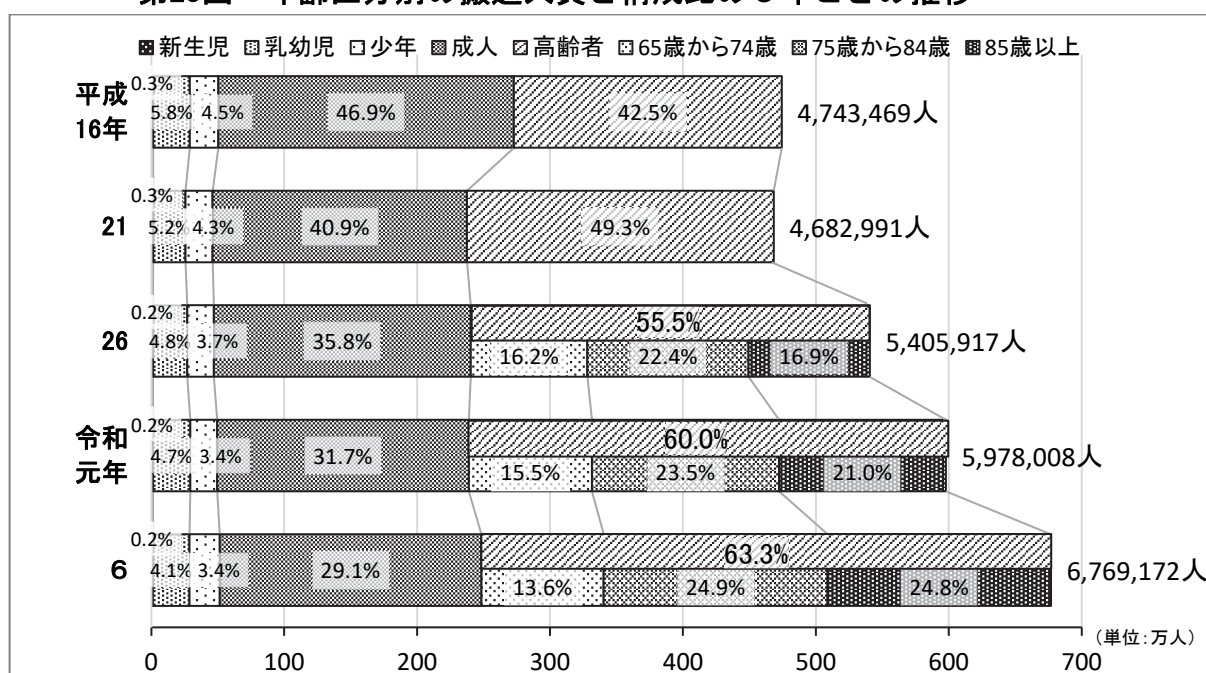
第22表 年齢区分別の搬送人員対前年比

(単位：人)

年齢区分	令和6年中		令和5年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
新生児	12,294	0.2	12,344	0.2	▲ 50	▲ 0.4
乳幼児	275,562	4.1	336,047	5.1	▲ 60,485	▲ 18.0
少年	226,932	3.4	231,245	3.5	▲ 4,313	▲ 1.9
成人	1,969,431	29.1	1,968,232	29.6	1,199	0.1
高齢者	4,284,953	63.3	4,093,552	61.6	191,401	4.7
うち、65歳から74歳	919,576	13.6	930,627	14.0	▲ 11,051	▲ 1.2
うち、75歳から84歳	1,684,899	24.9	1,553,433	23.4	131,466	8.5
うち、85歳以上	1,680,478	24.8	1,609,492	24.2	70,986	4.4
合計	6,769,172	100	6,641,420	100	127,752	1.9

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第23図 年齢区分別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

2. 年齢区分別の事故種別の搬送人員

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、年齢区分別、事故種別にみると、急病では高齢者294万7,083人(64.7%)、交通事故では成人20万8,576人(58.6%)、一般負傷では高齢者80万3,484人(72.9%)が高い割合で搬送されている。

搬送人員に占める高齢者の割合は63.3%となっており、さらに、高齢者を年齢段階別の割合でみると、75歳から84歳が24.9%と最も多くなっている(第24表参照)。

第24表 年齢区分別事故種別の搬送人員

(令和6年 単位：人)

年齢区分	事故種別					(参考) 令和2年 国勢調査人口 (構成比：%)
	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計	
新生児 (構成比：%)	2,104 (0.0)	28 (0.0)	308 (0.0)	9,854 (1.3)	12,294 (0.2)	6,511,322 (5.3)
乳幼児 (構成比：%)	190,287 (4.2)	7,901 (2.2)	62,438 (5.7)	14,936 (2.0)	275,562 (4.1)	
少年 (構成比：%)	117,425 (2.6)	34,486 (9.7)	36,498 (3.3)	38,523 (5.1)	226,932 (3.4)	11,751,136 (9.5)
成人 (構成比：%)	1,301,094 (28.5)	208,576 (58.6)	199,169 (18.1)	260,592 (34.6)	1,969,431 (29.1)	69,615,998 (56.5)
高齢者 (構成比：%)	2,947,083 (64.7)	104,781 (29.5)	803,484 (72.9)	429,605 (57.0)	4,284,953 (63.3)	35,335,805 (28.7)
うち、65歳から74歳 (構成比：%)	626,021 (13.7)	43,776 (12.3)	142,872 (13.0)	106,907 (14.2)	919,576 (13.6)	17,087,063 (13.9)
うち、75歳から84歳 (構成比：%)	1,166,225 (25.6)	45,491 (12.8)	302,962 (27.5)	170,221 (22.6)	1,684,899 (24.9)	12,227,656 (9.9)
うち、85歳以上 (構成比：%)	1,154,837 (25.3)	15,514 (4.4)	357,650 (32.5)	152,477 (20.2)	1,680,478 (24.8)	6,021,086 (4.9)
合計 (構成比：%)	4,557,993 (100)	355,772 (100)	1,101,897 (100)	753,510 (100)	6,769,172 (100)	123,214,261 (100)

(注) 1 年齢区分は、次によっている。

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者
 - ア 65歳から74歳 満65歳以上満75歳未満の者
 - イ 75歳から84歳 満75歳以上満85歳未満の者
 - ウ 85歳以上 満85歳以上の者

2 本表には、令和2年国勢調査人口中の年齢不詳293万1,838人は含まれていない。

3 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(3) 傷病程度別の搬送人員

1. 傷病程度別の搬送人員の概要

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、最も多い傷病程度別は軽症（外来診療）317万1,350人（46.8%）、続いて中等症（入院診療）301万7,912人（44.6%）、重症（長期入院）49万1,471人（7.3%）、死亡8万6,199人（1.3%）となっている（第25表参照）。

過去20年における傷病程度別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移をみると、「軽症（外来診療）」の構成比は減少しているが、搬送人員は増加しており、「中等症（入院診療）」は搬送人員、構成比ともに増加している（第26図参照）。

第25表 傷病程度別の搬送人員対前年比 (単位：人)

傷病程度	令和6年中		令和5年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
死亡	86,199	1.3	88,127	1.3	▲1,928	▲2.2
重症(長期入院)	491,471	7.3	481,993	7.3	9,478	2.0
中等症(入院診療)	3,017,912	44.6	2,850,622	42.9	167,290	5.9
軽症(外来診療)	3,171,350	46.8	3,218,832	48.5	▲47,482	▲1.5
その他	2,240	0.0	1,846	0.0	394	21.3
合計	6,769,172	100	6,641,420	100	127,752	1.9

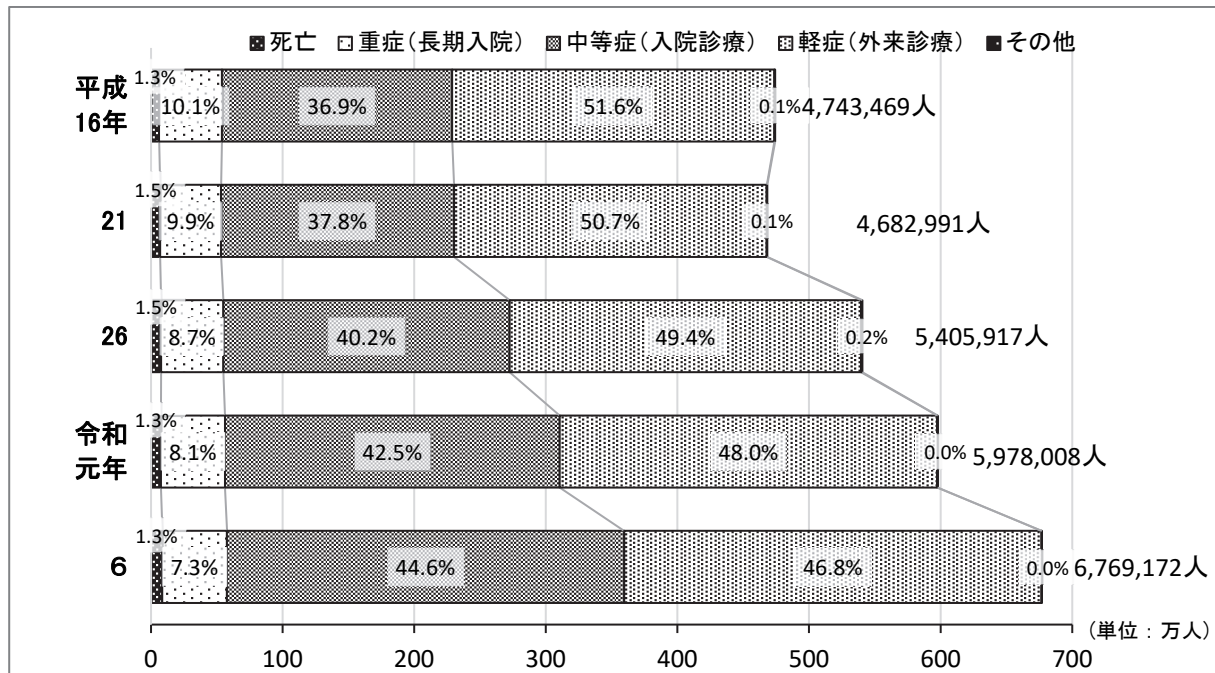
(注) 1 傷病程度とは、救急隊が傷病者を医療機関に搬送し、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類している。傷病程度に基づく分類は次のとおりである。

- (1) 死亡：初診時において死亡が確認されたもの
- (2) 重症（長期入院）：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- (3) 中等症（入院診療）：傷病程度が重症又は軽症以外のもの
- (4) 軽症（外来診療）：傷病程度が入院加療を必要としないもの
- (5) その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したもの

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だったものや、通院による治療が必要だったものも含まれる。

- 2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第26図 傷病程度別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

2. 傷病程度別（軽症（外来診療））の搬送人員の状況

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、軽症（外来診療）者の占める割合は46.8%となっている（第25表参照）。

また、軽症（外来診療）者のうち、①接触時、見た目に緊急性がなかった、②脳卒中や急性冠症候群の疑いがなかった、③医師引継ぎまでにバイタルサイン・心電図の異常がなかった、④救急隊が応急処置を行わなかった、以上、4項目全てに該当した（救急搬送の必要性が低かった）者の占める割合は13.6%となっている（第27表参照）。

第27表 傷病程度別（軽症（外来診療））の搬送人員のうち上記4項目全てに該当した者の割合

(単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
軽症（外来診療）の搬送人員(a)	2,412,001	2,460,460	2,940,106	3,218,832	3,171,350
(a)のうち上記4項目全てに該当した者(b)	274,406	365,346	358,716	370,170	431,855
(a)のうち(b)の占める割合(%)	11.4	14.8	12.2	11.5	13.6

(注) 上記(b)の中には、傷病者の状態によっては、①バイタルサイン・心電図を測定できなかった者、②応急処置を行えなかった者、③医療機関での診察や検査の結果、早期に治療が必要だった者も含まれるなど、機械的な簡易フローチャートに基づく概数であることに留意が必要である。

3. 傷病程度別の年齢区分別の搬送人員

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、傷病程度別及び年齢区分別にみると、新生児及び高齢者は中等症（入院診療）、乳幼児、少年及び成人は軽症（外来診療）の割合が高くなっている（第28表参照）。

第28表 傷病程度別の年齢区分別の搬送人員（令和6年 単位：人）

年齢区分 程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死 亡	66 (0.5)	262 (0.1)	318 (0.1)	12,048 (0.6)	73,505 (1.7)	86,199 (1.3)
重 症 (長期入院)	1,483 (12.1)	3,677 (1.3)	3,867 (1.7)	100,168 (5.1)	382,276 (8.9)	491,471 (7.3)
中等症 (入院診療)	9,097 (74.0)	62,068 (22.5)	53,194 (23.4)	664,502 (33.7)	2,229,051 (52.0)	3,017,912 (44.6)
軽 症 (外来診療)	1,633 (13.3)	209,470 (76.0)	169,494 (74.7)	1,192,135 (60.5)	1,598,618 (37.3)	3,171,350 (46.8)
その他	15 (0.1)	85 (0.0)	59 (0.0)	578 (0.0)	1,503 (0.0)	2,240 (0.0)
合 計	12,294 (100)	275,562 (100)	226,932 (100)	1,969,431 (100)	4,284,953 (100)	6,769,172 (100)

(注) 1 ()内は、構成比(単位：％)を示す。

2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(4) 事故発生場所別の搬送人員

1. 事故発生場所別の搬送人員の概要

令和6年中の救急自動車による搬送人員を事故発生場所別にみると、住宅で発生した割合が404万1,253人(59.7%)で最も多く、続いて公衆出入場所182万9,342人(27.0%)、道路67万7,279人(10.0%)となっている(第29表及び別表10参照)。

第29表 事故発生場所別の搬送人員

(令和6年)

		搬送人員	構成比
住宅	1 居室	3,292,126人	48.6%
	2 廊下・玄関等	381,381人	5.6%
	3 庭・テラス等	83,592人	1.2%
	4 便所	78,529人	1.2%
	5 浴室	67,032人	1.0%
	6 その他(台所・階段等)	138,593人	2.0%
	計	4,041,253人	59.7%
公衆出入場所	1 老人ホーム	612,346人	9.0%
	2 病院・診療所	584,777人	8.6%
	3 マーケット等	89,011人	1.3%
	4 料理店等	80,808人	1.2%
	5 駅構内	70,573人	1.0%
	6 その他(学校・旅館等)	391,827人	5.8%
	計	1,829,342人	27.0%
仕事場	1 事務所	46,041人	0.7%
	2 屋内作業所	30,376人	0.4%
	3 工場	21,298人	0.3%
	4 屋外作業所	16,288人	0.2%
	5 屋外工事現場	6,349人	0.1%
	6 その他(倉庫・屋内工事現場等)	31,870人	0.5%
	計	152,222人	2.2%
道路	1 一般道路等	521,139人	7.7%
	2 自動車専用道路	10,038人	0.1%
	3 高速自動車国道	9,297人	0.1%
	4 その他(交差点・横断歩道等)	136,805人	2.0%
	計	677,279人	10.0%
その他	1 公園	15,702人	0.2%
	2 農地	13,105人	0.2%
	3 山林・原野	9,101人	0.1%
	4 河川・池	5,130人	0.1%
	5 空地	4,914人	0.1%
	6 その他(海・広場等)	21,124人	0.3%
	計	69,076人	1.0%

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(5) 救急要請を入電した月別、曜日別、時刻別の救急出動件数及び搬送人員

1. 救急要請を入電した月別の救急出動件数と搬送人員

令和6年中の救急自動車による救急出動件数を、入電した月別の事故種別で見ると、急病は7月に多く、交通事故、一般負傷、転院搬送は12月に多くなっている（第30表参照）。

また、搬送人員も同様の傾向となっている（転院搬送を除く。）（第31表参照）。

第30表 救急要請を入電した月別の救急出動件数（事故種別）（令和6年）

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合 計	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
1月	479,433	9.2%	29,353	7.5%	109,283	8.9%	76,095	8.4%	51,897	8.9%	694,164	9.0%
2月	404,757	7.8%	28,155	7.1%	96,835	7.9%	68,607	7.6%	45,826	7.9%	598,354	7.8%
3月	413,971	8.0%	31,001	7.9%	102,074	8.3%	73,635	8.1%	48,345	8.3%	620,681	8.0%
4月	378,708	7.3%	31,766	8.1%	92,625	7.6%	71,416	7.9%	46,397	8.0%	574,515	7.4%
5月	398,958	7.7%	33,193	8.4%	97,052	7.9%	73,767	8.2%	47,671	8.2%	602,970	7.8%
6月	401,772	7.7%	33,148	8.4%	92,512	7.6%	73,654	8.1%	46,284	8.0%	601,086	7.8%
7月	525,688	10.1%	34,845	8.8%	104,662	8.5%	84,675	9.4%	51,234	8.8%	749,870	9.7%
8月	496,564	9.6%	33,262	8.4%	103,008	8.4%	79,583	8.8%	48,169	8.3%	712,417	9.2%
9月	405,761	7.8%	32,482	8.2%	94,560	7.7%	73,655	8.1%	44,924	7.7%	606,458	7.9%
10月	387,435	7.5%	35,424	9.0%	102,553	8.4%	73,962	8.2%	47,560	8.2%	599,374	7.8%
11月	387,425	7.5%	34,852	8.8%	106,301	8.7%	72,954	8.1%	47,812	8.2%	601,532	7.8%
12月	515,395	9.9%	36,460	9.3%	123,313	10.1%	81,791	9.0%	55,809	9.6%	756,959	9.8%
合計	5,195,867	100%	393,941	100%	1,224,778	100%	903,794	100%	581,928	100%	7,718,380	100%

（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第31表 救急要請を入電した月別の搬送人員（事故種別）（令和6年）

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合 計	
	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)
1月	418,133	9.2%	26,404	7.4%	98,029	8.9%	63,401	8.4%	605,967	9.0%
2月	351,213	7.7%	25,177	7.1%	86,260	7.8%	57,331	7.6%	519,981	7.7%
3月	360,586	7.9%	27,794	7.8%	91,248	8.3%	61,415	8.2%	541,043	8.0%
4月	333,707	7.3%	28,887	8.1%	83,365	7.6%	59,780	7.9%	505,739	7.5%
5月	353,863	7.8%	30,292	8.5%	87,637	8.0%	62,054	8.2%	533,846	7.9%
6月	355,806	7.8%	30,121	8.5%	83,558	7.6%	61,559	8.2%	531,044	7.8%
7月	460,525	10.1%	31,551	8.9%	94,447	8.6%	70,127	9.3%	656,650	9.7%
8月	432,712	9.5%	30,294	8.5%	92,669	8.4%	65,339	8.7%	621,014	9.2%
9月	356,964	7.8%	29,327	8.2%	84,948	7.7%	61,125	8.1%	532,364	7.9%
10月	342,320	7.5%	32,086	9.0%	92,748	8.4%	61,951	8.2%	529,105	7.8%
11月	342,174	7.5%	31,383	8.8%	96,269	8.7%	61,152	8.1%	530,978	7.8%
12月	449,990	9.9%	32,456	9.1%	110,719	10.0%	68,276	9.1%	661,441	9.8%
合計	4,557,993	100%	355,772	100%	1,101,897	100%	753,510	100%	6,769,172	100%

（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

2. 救急要請を入電した曜日別の救急出動件数と搬送人員

令和6年中の救急自動車による救急出動件数を、入電した曜日別の事故種別でみると、急病は月曜日、交通事故は金曜日、一般負傷は土曜日、転院搬送は金曜日に多くなっている（第32表参照）。

また、搬送人員も同様の傾向となっている（転院搬送を除く。）（第33表参照）。

第32表 救急要請を入電した曜日別の救急出動件数（事故種別）

（令和6年）

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合 計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
月曜	803,392	15.5%	57,275	14.5%	179,040	14.6%	141,338	15.6%	96,081	16.5%	1,181,045	15.3%
火曜	745,906	14.4%	57,866	14.7%	170,507	13.9%	143,331	15.9%	99,130	17.0%	1,117,610	14.5%
水曜	710,525	13.7%	56,540	14.4%	163,806	13.4%	132,157	14.6%	88,565	15.2%	1,063,028	13.8%
木曜	716,245	13.8%	56,820	14.4%	167,462	13.7%	133,912	14.8%	89,714	15.4%	1,074,439	13.9%
金曜	727,757	14.0%	60,211	15.3%	173,055	14.1%	148,453	16.4%	103,851	17.8%	1,109,476	14.4%
土曜	735,866	14.2%	57,117	14.5%	186,626	15.2%	117,027	12.9%	67,389	11.6%	1,096,636	14.2%
日曜	756,176	14.6%	48,112	12.2%	184,282	15.0%	87,576	9.7%	37,198	6.4%	1,076,146	13.9%
合 計	5,195,867	100%	393,941	100%	1,224,778	100%	903,794	100%	581,928	100%	7,718,380	100%

（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第33表 救急要請を入電した曜日別の搬送人員（事故種別）

（令和6年）

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合 計	
	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)
月曜	708,275	15.5%	51,662	14.5%	161,697	14.7%	119,625	15.9%	1,041,259	15.4%
火曜	656,911	14.4%	52,087	14.6%	154,259	14.0%	122,267	16.2%	985,524	14.6%
水曜	624,859	13.7%	50,711	14.3%	147,751	13.4%	111,296	14.8%	934,617	13.8%
木曜	630,403	13.8%	50,882	14.3%	150,818	13.7%	113,044	15.0%	945,147	14.0%
金曜	639,134	14.0%	54,001	15.2%	155,658	14.1%	127,131	16.9%	975,924	14.4%
土曜	639,809	14.0%	52,163	14.7%	166,871	15.1%	94,869	12.6%	953,712	14.1%
日曜	658,602	14.4%	44,266	12.4%	164,843	15.0%	65,278	8.7%	932,989	13.8%
合 計	4,557,993	100%	355,772	100%	1,101,897	100%	753,510	100%	6,769,172	100%

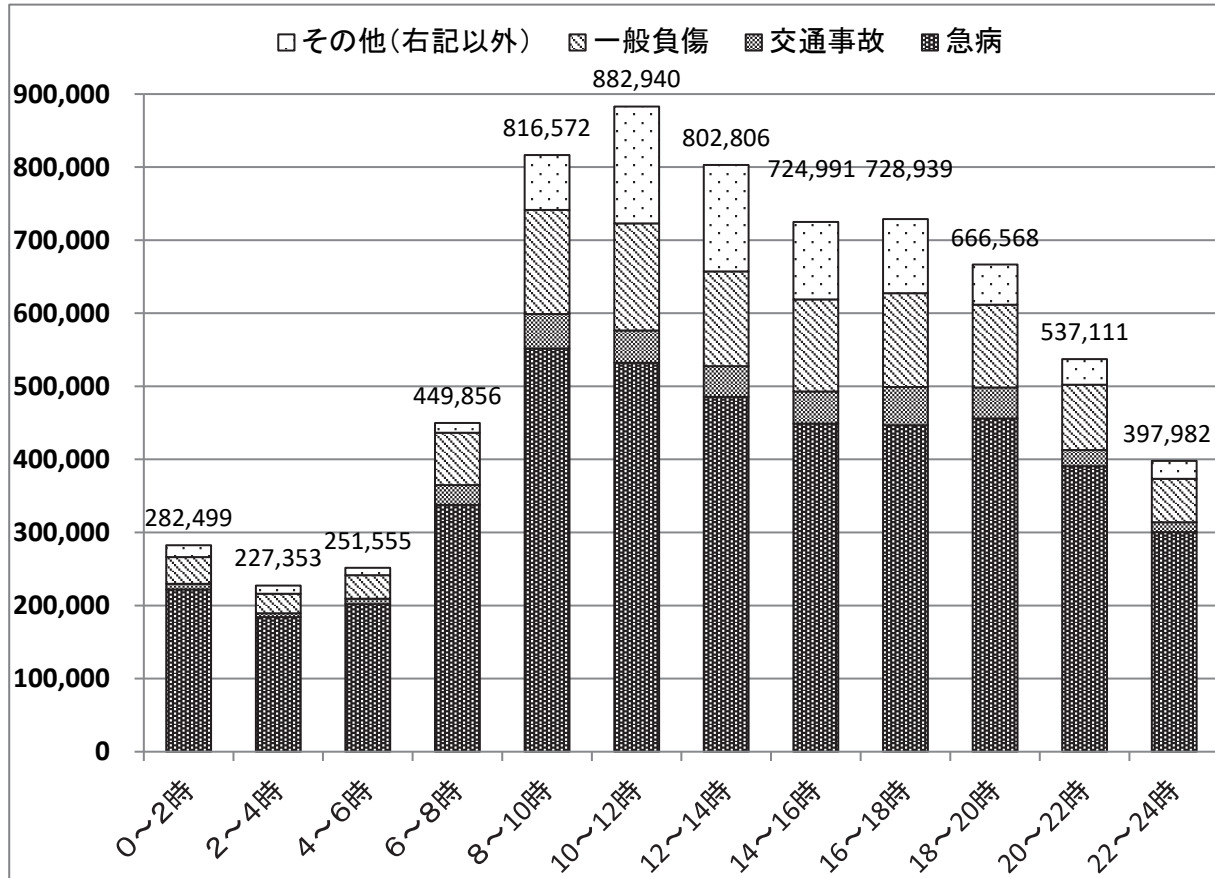
（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

3. 救急要請を入電した時刻別の搬送人員

令和6年中の救急自動車による搬送人員を入電時刻別にみると、最も多いのは10時から12時(88万2,940人)となっており、最も少ないのは2時から4時(22万7,353人)となっている(第34図、別表9参照)。

第34図 救急要請を入電した時刻別の搬送人員

(令和6年 単位：人)



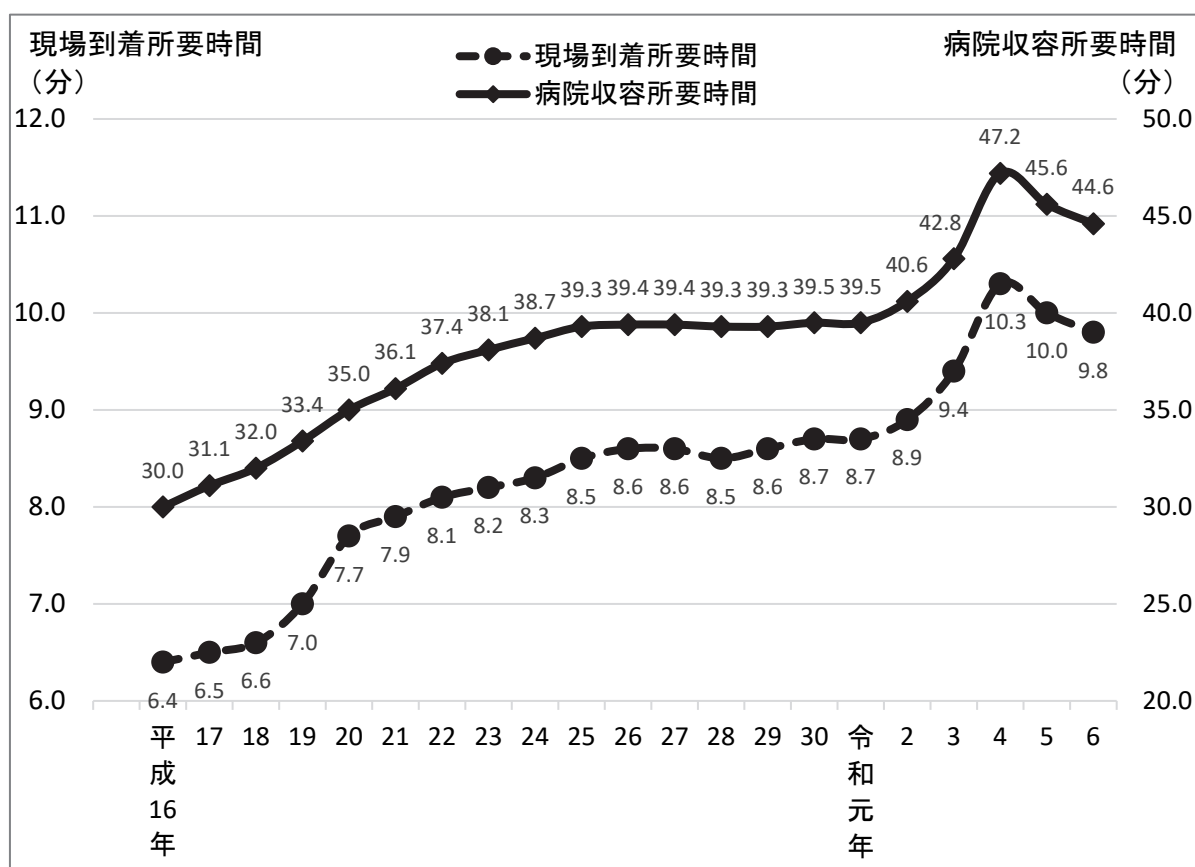
3 救急自動車による現場到着所要時間及び病院収容所要時間

(1) 現場到着所要時間及び病院収容所要時間

令和6年中の救急自動車による現場到着所要時間（入電から現場に到着するまでに要した時間）は、全国平均で約9.8分（対前年比0.2分減）となっている（第35図、第36表及び別表7の1参照）。

また、救急自動車による病院収容所要時間（入電から医師引継ぎまでに要した時間）は、全国平均で約44.6分（対前年比1.0分減）となっている（第35図、第37表、第38図、第39図、第40図及び別表8の1参照）。

第35図 現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移



(注) 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

(2) 現場到着所要時間別の事故種別、救急出動件数

令和6年中の救急自動車による救急出動件数を現場到着所要時間別にみると、最も多いのが5分以上10分未満の415万2,839件(53.8%)で、続いて10分以上20分未満のものが299万7,756件(38.8%)となっている(第36表、別表7の1及び別表7の2参照)。

第36表 事故種別及び現場到着所要時間別出動件数(令和6年 単位:件)

現場到着 所要時間 事故種別		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計	平均(分)
件 数		40,301 (0.5)	253,909 (3.3)	4,152,839 (53.8)	2,997,756 (38.8)	273,575 (3.5)	7,718,380 (100)	9.8
	急 病	21,209 (0.4)	143,682 (2.8)	2,814,280 (54.2)	2,051,926 (39.5)	164,770 (3.2)	5,195,867 (100)	9.8
	交通事故	2,409 (0.6)	11,947 (3.0)	196,659 (49.9)	158,938 (40.3)	23,988 (6.1)	393,941 (100)	10.5
	一般負傷	5,366 (0.4)	34,810 (2.8)	648,666 (53.0)	487,271 (39.8)	48,665 (4.0)	1,224,778 (100)	10.0
	その他 (上記以外)	11,317 (1.3)	63,470 (7.0)	493,234 (54.6)	299,621 (33.2)	36,152 (4.0)	903,794 (100)	9.4

(注) 1 ()内は構成比(単位:%)を示す。

2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(3) 病院収容所要時間別の事故種別、搬送人員

令和6年中の救急自動車による搬送人員を病院収容所要時間別にみると、最も多いのは30分以上60分未満の439万4,953人(64.9%)で、続いて20分以上30分未満が117万5,451人(17.4%)となっている(第37表、別表8の1及び別表8の2参照)。

第37表 事故種別及び病院収容所要時間別搬送人員

(令和6年 単位:人)

病院収容 所要時間 事故種別		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以 上	合 計	平均(分)
搬 送 人 員		387 (0.0)	95,820 (1.4)	1,175,451 (17.4)	4,394,953 (64.9)	1,044,646 (15.4)	57,915 (0.9)	6,769,172 (100)	44.6
	急 病	136 (0.0)	48,749 (1.1)	768,424 (16.9)	3,021,919 (66.3)	681,630 (15.0)	37,135 (0.8)	4,557,993 (100)	44.5
	交通事故	15 (0.0)	3,143 (0.9)	50,440 (14.2)	234,996 (66.1)	64,328 (18.1)	2,850 (0.8)	355,772 (100)	46.5
	一般負傷	32 (0.0)	9,908 (0.9)	161,492 (14.7)	721,176 (65.4)	198,063 (18.0)	11,226 (1.0)	1,101,897 (100)	46.6
	そ の 他 (上記以外)	204 (0.0)	34,020 (4.5)	195,095 (25.9)	416,862 (55.3)	100,625 (13.4)	6,704 (0.9)	753,510 (100)	41.5

(注) 1 ()内は構成比(単位:%)を示す。

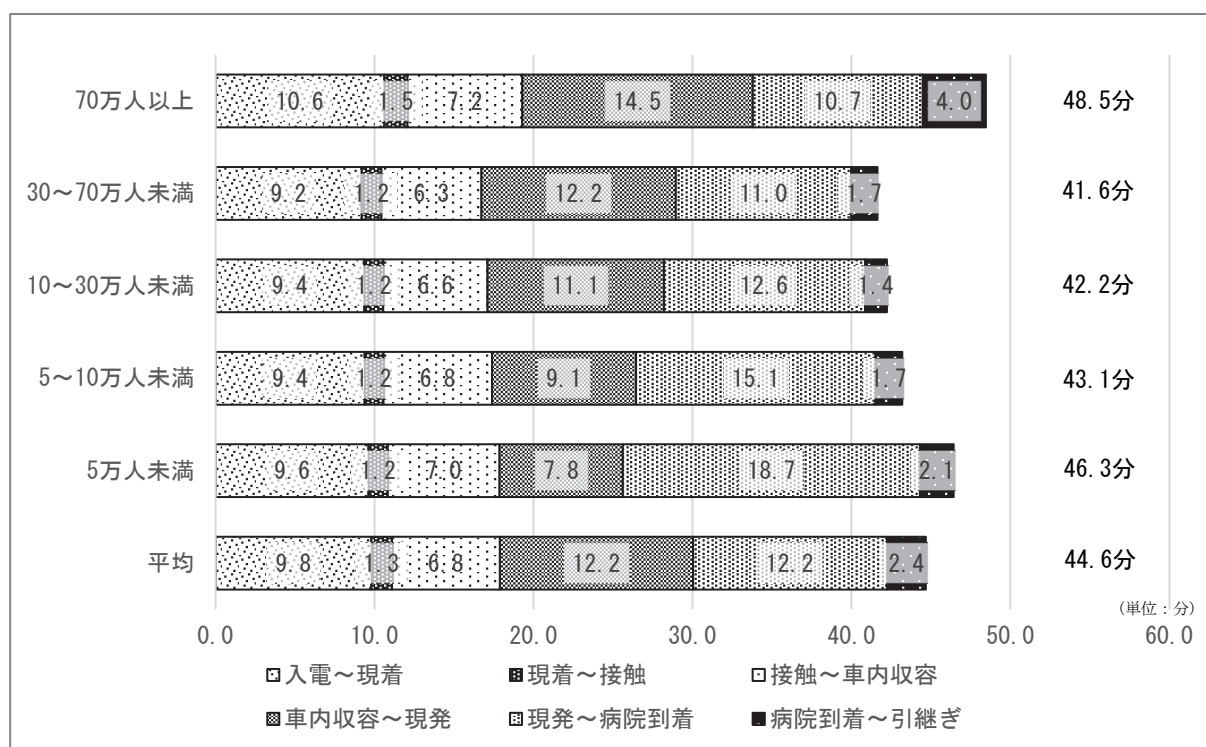
2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(4) 消防本部規模別、事故種別、傷病程度別及び発生場所別の平均病院収容所要時間

令和6年中の救急自動車による病院収容所要時間の平均を消防本部規模別で見ると、最も早かったのは管轄人口区分が30万人以上70万人未満の消防本部（約41.6分）で、最も時間を要していたのは管轄人口区分が70万人以上の消防本部（約48.5分）となっている（第38図参照）。

また、病院収容所要時間の平均を事故種別で見ると、一般負傷（約46.6分）、傷病程度別（その他を除く。）で見ると、中等症（約45.2分）、発生場所別で見ると、山林・原野（約71.9分）がそれぞれ最も時間を要している（第39図、第40図及び第41表参照）。

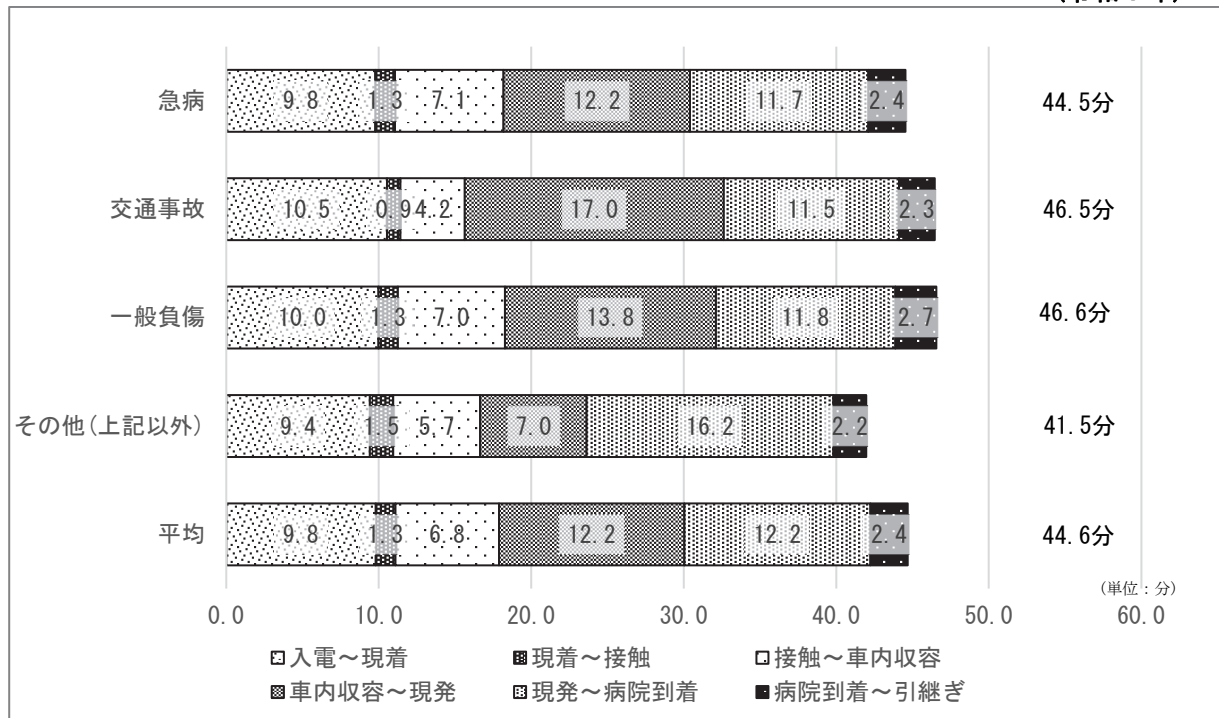
第38図 消防本部規模別による搬送人員の平均所要時間 (令和6年)



- (注) 1 消防本部規模の区分は令和2年国勢調査によるもの。
 2 各平均所要時間の合計と、病院収容所要時間の平均は一致しない場合がある。

第39図 事故種別による搬送人員の平均所要時間

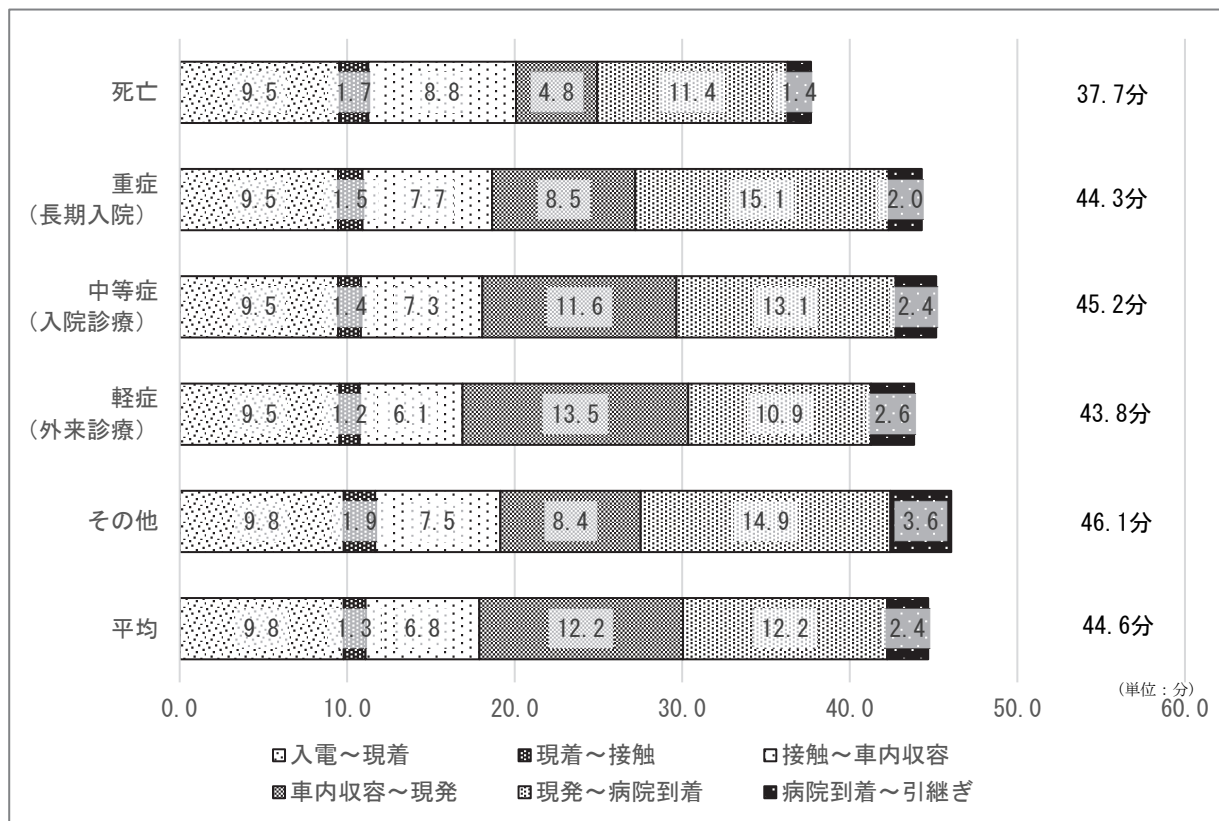
(令和6年)



(注) 各平均所要時間の合計と、病院収容所要時間の平均は一致しない場合がある。

第40図 傷病程度別による搬送人員の平均所要時間

(令和6年)



(注) 各平均所要時間の合計と、病院収容所要時間の平均は一致しない場合がある。

第41表 発生場所別による搬送人員の平均所要時間(令和6年 単位:分)

発生場所		所要時間	令和6年	
			現場到着 所要時間	病院収容 所要時間
住宅	(1) 居間、応接室、寝室等の部屋		9.9	45.4
	(2) 廊下、玄関等の通路		9.8	43.7
	(3) 階段、踊場		10.0	47.9
	(4) 便所・便所		9.7	46.2
	(5) 浴室:浴室、シャワー室、洗面所		9.8	45.9
	(6) 台所:台所、食堂		9.9	45.4
	(7) エレベーター:エレベーター内		9.7	46.8
	(8) 屋根・屋上:屋根、屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等		10.5	49.0
	(9) 庭:庭、テラス(当該建物の敷地内の空地)		10.3	45.1
	(10) その他:上記(1)～(9)に該当しない場所(物置、地下室、車庫)		9.8	43.2
公衆 出入 場所	(1) 劇場、映画館、演芸場、観覧場:劇場、映画館等の観覧場		9.3	40.2
	(2) 公会堂、集会場:会議、社交等の目的で多数の人々が集まる場所		9.1	40.6
	(3) 性風俗関連特殊営業を含む店舗		8.5	41.1
	(4) 遊技場、ダンスホール:ダンスホール、ボウリング場、 ゲームセンター、パチンコ等の各種遊技場		9.2	44.7
	(5) 待合、料理店、飲食店:待合、料理店、飲食店		9.1	42.4
	(6) デパート、百貨店		9.7	44.7
	(7) マーケット、店舗、展示場:物品の販売、賃借、修理業の店舗、 サービス業の店舗等あらゆる店舗		8.7	41.6
	(8) 旅館、ホテル、宿泊所:旅館、ホテル、宿泊所(バンガローを含む)		10.2	47.7
	(9) 病院:病床数20以上の医療機関		8.5	42.4
	(10) 診療所(医院):病床数19以下の診療所、医院		8.5	34.9
	(11) 老人ホーム:老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設		9.3	44.0
	(12) 幼稚園(グラウンド、附属設備を含む):幼稚園、保育園等の保育施設		9.1	38.2
	(13) 盲・ろう学校、養護学校(グラウンド、附属設備を含む)		10.0	45.0
	(14) 小・中・高・大学(グラウンド、附属設備を含む)		9.6	40.9
	(15) 各種学校(グラウンド、附属設備を含む)		9.8	42.2
	(16) 図書館、博物館、美術館、郷土館、記念館、画廊等		10.1	45.4
	(17) 公衆浴場、蒸気・熱気浴場:公衆浴場、蒸気・熱気浴場		9.5	46.8
	(18) 駅構内(ホーム等駅の附属設備を含む):駅舎、ホール、電車内等		9.6	47.9
	(19) 空港(整備工場、格納庫を除く):滑走路、誘導路、ヘリポート(建物を除く)		11.5	53.3
	(20) 寺社、教会(境内を含む):寺、神社、教会(斎場、墓地を含む)		10.6	45.2
	(21) 映画・テレビスタジオ:映画・テレビスタジオ(構内を含む)		8.6	39.2
	(22) 駐車場、車庫:駐車場、車庫(一般住宅、高層住宅の車庫、駐車場を除く)		9.2	41.7
	(23) 地下街		8.4	41.4
	(24) 運動場、競技場(グラウンド、附属設備を含む)		10.6	43.9
	(25) 水泳場、プール(附属設備を含む):屋内プール、屋外プール		10.1	44.8
	(26) 官公庁		7.5	45.1
	(27) その他:上記(1)～(26)に該当しないもの(動物園、遊園地、キャンプ場等)		10.4	45.5
仕事 場	(1) 工場(敷地を含む):工場		10.5	45.7
	(2) 屋内作業所:工場以外の屋内作業所		9.5	41.6
	(3) 屋外作業所:工場以外の屋外作業所		10.7	44.5
	(4) 屋内工事現場:建設又は建築の屋内の場所		10.2	45.0
	(5) 屋外工事現場:建設又は建築の屋外の場所		10.8	44.6
	(6) 事務所:各種事業所の事務所		9.6	41.4
	(7) 倉庫:倉庫(地下倉庫を除く)		10.2	43.4
	(8) その他:(1)～(7)に該当しないもの		9.4	41.4
道路	(1) 一般道路(歩道及び歩道橋等を含む)		10.1	46.4
	(2) 交差点		10.1	45.3
	(3) 自動車専用道路		13.4	53.3
	(4) 高速自動車国道		19.1	65.5
	(5) その他:上記(1)から(4)に該当しないもの		9.6	41.4
その他	(1) 公園:公園、庭園、児童公園、遊歩道等		10.9	47.9
	(2) 広場(公共用)		10.1	43.4
	(3) 空地(庭、広場以外):河川敷、堤防、更地等の空地		11.3	49.4
	(4) 河・池:河川、運河、池、沼、貯水池等		12.7	56.9
	(5) 山林・原野:山、森林、原野、ゴルフ場		18.6	71.9
	(6) 農地:田、畑等の農地		11.7	48.3
	(7) 海		13.0	54.3
	(8) 軌道敷、踏切:軌道敷内及び踏切		11.4	51.7
	(9) その他:上記(1)から(8)に該当しないもの(発生場所が不明なものも含む)		9.9	44.7
全体平均			9.8	44.6

4 救急活動の内容

(1) 救急隊の行った応急処置等

令和6年中の救急自動車による搬送人員のうち、救急隊が応急処置等を実施した傷病者は667万4,368人(98.6%)となっており、平成3年8月の「救急隊員の行う応急処置等の基準」(昭和53年消防庁告示第2号)の改正により拡大された応急処置等が実施された件数は1,903万2,139件となっている(第42表、第43表参照)。

また、救急隊の行った応急処置等の状況を事故種別ごとに示したのが第43表である。

第42表 拡大された応急処置等実施件数及び特定行為等の件数の推移

(単位：件)

区 分 \ 年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
拡大された 応急処置等件数	14,714,256	15,232,969	16,003,545	16,618,225	14,712,934	15,681,593	17,572,012	18,432,547	19,032,139
特定行為等	188,533	215,821	235,749	241,675	243,618	262,645	296,807	306,633	318,126

(注) 1 拡大された応急処置等とは次のもの、及び2に掲げるものをいう。

- (1) 自動式心マッサージ器
- (2) 在宅療法の継続
- (3) ショックパンツを使用した血圧保持等
- (4) 血圧測定
- (5) 聴診器を使用した心音・呼吸音聴取
- (6) 血中酸素飽和度測定
- (7) 心電図測定
- (8) 経鼻エアウェイによる気道確保
- (9) 喉頭鏡、マギール鉗子による異物除去

2 特定行為等とは、医師による指示を必要とする応急処置等で、次のものをいう。

- (1) 自動体外式除細動器による除細動
- (2) 静脈路確保のための輸液
- (3) ラリングアルマスク等、器具による気道確保
- (4) 気管挿管
- (5) 薬剤投与(アドレナリン)
- (6) 自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用
- (7) 血糖測定、ブドウ糖投与、心肺機能停止前輸液

3 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。

第43表 救急隊の行った応急処置等の状況（事故種別による分類）

（令和6年 単位：人、件）

事 故 種 別		急 病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合 計
応急処置等対象搬送人員		4,501,492	347,582	1,081,858	743,436	6,674,368
応 急 処 置 等 項 目	止 血	18,797 (0.1)	16,721 (1.2)	84,850 (2.1)	15,066 (0.5)	135,434 (0.5)
	被 覆	19,476 (0.1)	60,087 (4.3)	209,985 (5.1)	31,869 (1.1)	321,417 (1.2)
	固 定	25,264 (0.1)	117,310 (8.3)	132,309 (3.2)	35,399 (1.2)	310,282 (1.2)
	保 温	899,478 (4.9)	51,081 (3.6)	199,558 (4.9)	135,881 (4.7)	1,285,998 (4.8)
	酸素吸入	845,723 (4.6)	21,951 (1.6)	52,379 (1.3)	184,558 (6.4)	1,104,611 (4.1)
	人工呼吸	34,518 (0.2)	619 (0.0)	3,099 (0.1)	4,099 (0.1)	42,335 (0.2)
	胸骨圧迫	14,051 (0.1)	296 (0.0)	1,324 (0.0)	1,246 (0.0)	16,917 (0.1)
	●うち自動式心マッサージ器	6,752	86	659	484	7,981
	心肺蘇生	110,349 (0.6)	2,223 (0.2)	10,501 (0.3)	9,179 (0.3)	132,252 (0.5)
	●うち自動式心マッサージ器	41,039	542	3,799	3,090	48,470
	●在宅療法継続	63,913 (0.3)	433 (0.0)	6,231 (0.2)	6,279 (0.2)	76,856 (0.3)
	●ショックパンツ	29 (0.0)	6 (0.0)	12 (0.0)	12 (0.0)	59 (0.0)
	●血圧測定	4,199,917 (22.9)	337,014 (23.9)	1,022,835 (24.9)	697,524 (24.1)	6,257,290 (23.4)
	●心音・呼吸音聴取	1,454,873 (7.9)	105,531 (7.5)	195,451 (4.8)	149,786 (5.2)	1,905,641 (7.1)
	●血中酸素飽和度測定	4,364,229 (23.8)	342,188 (24.2)	1,060,902 (25.8)	723,282 (24.9)	6,490,601 (24.3)
	●心電図測定	2,967,986 (16.2)	123,557 (8.7)	422,975 (10.3)	399,150 (13.8)	3,913,668 (14.6)
	気道確保	165,069 (0.9)	3,406 (0.2)	15,349 (0.4)	14,804 (0.5)	198,628 (0.7)
	●うち経鼻エアウェイ	5,896	74	443	704	7,117
	●うち喉頭鏡、鉗子等	3,618	67	2,421	224	6,330
	●◎うちラリngeアルマスク等	42,251	638	2,928	2,399	48,216
	●◎うち気管挿管	7,517	114	2,183	697	10,511
	●◎除細動	11,790 (0.1)	156 (0.0)	405 (0.0)	570 (0.0)	12,921 (0.0)
	●◎静脈路確保	84,267 (0.5)	2,120 (0.2)	7,051 (0.2)	4,954 (0.2)	98,392 (0.4)
	うち心肺機能停止前	34,697	1,325	1,937	1,554	39,513
	うち心肺機能停止後	49,570	795	5,114	3,400	58,879
	●◎薬剤投与(アドレナリン)	39,030 (0.2)	701 (0.0)	3,972 (0.1)	2,727 (0.1)	46,430 (0.2)
	●◎血糖測定	85,721 (0.5)	660 (0.0)	2,722 (0.1)	1,442 (0.0)	90,545 (0.3)
	●◎ブドウ糖投与	10,627 (0.1)	29 (0.0)	40 (0.0)	50 (0.0)	10,746 (0.0)
	●◎自己注射が可能なアドレナリン製剤使用	283 (0.0)	11 (0.0)	46 (0.0)	25 (0.0)	365 (0.0)
	その他の処置	2,910,285 (15.9)	226,106 (16.0)	677,428 (16.5)	481,907 (16.6)	4,295,726 (16.1)
合 計		18,325,675 (100)	1,412,206 (100)	4,109,424 (100)	2,899,809 (100)	26,747,114 (100)
●うち、拡大された応急処置等		13,389,738	913,927	2,735,075	1,993,399	19,032,139
◎特定行為等		281,486	4,429	19,347	12,864	318,126

(注) 第43表解説

- 1 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。
- 2 () 内は構成比を示し、単位は%である。
- 3 ●は拡大された応急処置等の項目で、◎は救急救命士が行う特定行為等の項目である。
- 4 応急処置等の項目は、次により記載した。

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| (1) 止 | 血:止血帯・包帯等による止血処置 |
| (2) 被 | 覆:創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護 |
| (3) 固 | 定:副子等による固定又は安静保持 |
| (4) 保 | 温:傷病者の傷病状況から体温を維持する必要がある場合に行う保温処置 |

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| (5) 酸 | 素 | 吸 | 入:酸素吸入器による酸素吸入 |
| (6) 人 | 工 | 呼 | 吸:口対口又は器具等による人工呼吸 |
| (7) 胸 | 骨 | 圧 | 迫:胸骨圧迫による心マッサージ |
| (8) 心 | 肺 | 蘇 | 生:心肺機能停止状態の傷病者に行う気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫を合わせた処置 |

※自動式心マッサージ器:自動式心マッサージ器を使用した胸骨圧迫、心肺蘇生

- | | | | | | | | | | |
|--------|---|---|----|---|--------------------|---|----|--------------------|---------------------------|
| (9) 在 | 宅 | 療 | 法 | 継 | 続: | 在宅療法継続中の傷病者に対して、その療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察等を行ったことを含む。)及び在宅療法に異常のあった場合に行った応急処置 | | | |
| (10) シ | ョ | ク | パ | ン | ツ: | ショックパンツを使用した血圧保持(骨折肢の固定を含む。) | | | |
| (11) 血 | 圧 | 測 | 定: | 血圧計を使用しての血圧測定 | | | | | |
| (12) 心 | 音 | ・ | 呼 | 吸 | 音 | 聴 | 取: | 聴診器を使用しての心音・呼吸音の聴取 | |
| (13) 血 | 中 | 酸 | 素 | 飽 | 和 | 度 | 測 | 定: | 血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度測定 |
| (14) 心 | 電 | 図 | 測 | 定: | 心電計を使用しての心電図測定及び伝送 | | | | |
| (15) 気 | 道 | 確 | 保: | 気道確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引。(経鼻エアウェイ、喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去法、救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保については内数として記載) | | | | | |

※気 管 挿 管:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、気管チューブを用いて行う気道確保

- | | | | | | | |
|--------|---------------------|----|-----------------|--|--|--------------------|
| (16) 除 | 細 | 動: | 自動体外式除細動器による除細動 | | | |
| (17) 静 | 脈 | 路 | 確 | 保: | 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、静脈路確保のための輸液(心肺機能停止前の輸液及び心肺機能停止後の輸液を含む。) | |
| (18) 薬 | 剤 | 投 | 与: | 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、静脈路からの薬剤(アドレナリン)の投与 | | |
| (19) 血 | 糖 | 測 | 定: | 自己検査用グルコース測定器による血糖値の測定 | | |
| (20) ブ | ド | ウ | 糖 | 投 | 与: | 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与 |
| (21) | 自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用 | | | | | |
| (22) | その他の処置:上記以外の応急処置 | | | | | |

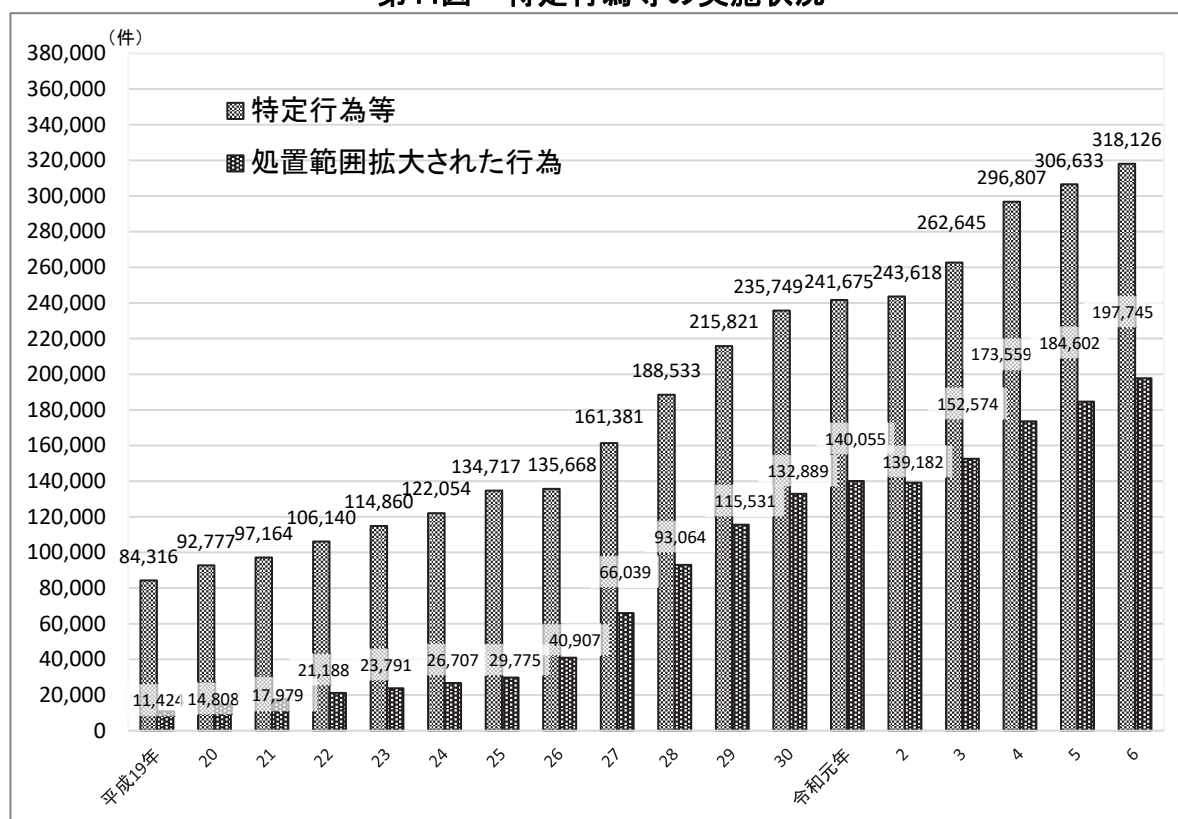
- 5 気管挿管処置件数は、救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の実施件数
- 6 除細動処置件数は、救急隊の救急救命士以外が実施可能となった平成16年7月以降の実施分も含む。
- 7 薬剤投与処置件数は、救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降、静脈路からの薬剤投与(アドレナリン)の実施件数
- 8 自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用件数は、救急救命士が実施可能とされた平成21年4月以降の実施件数
- 9 血糖測定の件数は、救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の実施件数
- 10 ブドウ糖投与の件数は、救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の実施件数
- 11 心肺機能停止前輸液の件数は、救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の実施件数
- 12 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(2) 特定行為等の実施状況

令和6年中の救急救命士が行った特定行為等（除細動、器具を用いた気道確保、静脈路確保、薬剤投与（アドレナリン）、血糖測定、ブドウ糖投与、自己注射が可能なアドレナリン製剤使用）は31万8,126件となっている。

また、平成16年から処置範囲が拡大されてきた行為（気管挿管、薬剤投与（アドレナリン）、血糖測定、ブドウ糖投与、心肺機能停止前輸液）は19万7,745件となっている（第43表、第44図参照）。

第44図 特定行為等の実施状況



(注) 東日本大震災の影響により、平成22年の陸前高田市消防本部及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

(3) 医師の現場出動の状況

傷病者が重篤な状態や救出困難な状況の場合等、医師による医療行為を早期に開始するために、現場に医師を要請する事案がある。

このような事案に対応するため、一部の消防機関において、医療機関に隣接した救急ワークステーションなどの拠点施設から、医師と共に出動するものや、ドクターカー・ドクターヘリにより医師が現場出動する形態がある。

令和6年中の医師が現場に赴いた件数は4万5,421件であり、このうち急病によるものが2万8,629件（63.0%）となっている。

5 応急手当の普及啓発

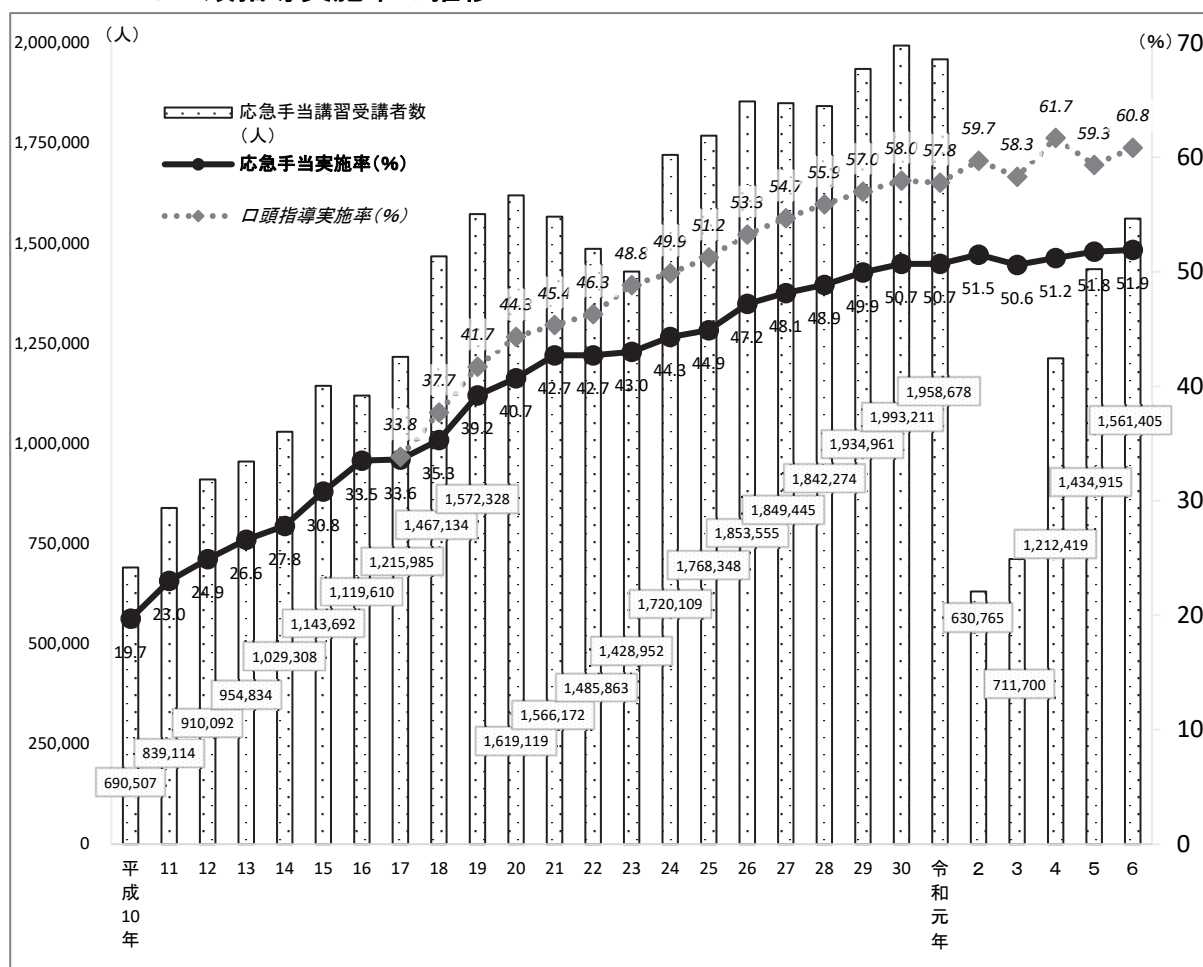
(1) 普及啓発活動等の概要

応急手当の普及啓発活動については、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」（平成 5 年 3 月 30 日付け消防救第 41 号消防庁次長通知。平成 28 年 4 月 25 日最終改正。）に基づき各消防本部において応急手当指導員講習、応急手当普及員講習、普通救命講習及び上級救命講習等が行われている。

令和 6 年中の応急手当講習の受講者数は 156 万 1,405 人で、前年と比較すると増加したが、令和元年以前の水準には達していない（第 45 図、別表 11 参照）。

令和 6 年には心肺機能停止傷病者の 51.9%に一般市民（救急現場に居合わせた人）による応急手当（胸骨圧迫・人工呼吸・AEDによる除細動）が実施されている（第 45 図参照）。

第45図 応急手当講習受講者数と心肺機能停止傷病者への応急手当実施率及び通報者への口頭指導実施率の推移



- (注) 1 口頭指導実施率については、データの収集が平成 17 年からとなる。
 2 東日本大震災の影響により、平成 22 年及び平成 23 年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。
 3 応急手当講習受講者数とは、普通救命講習、上級救命講習、救命入門コースの受講者数をいう。

(2) 応急手当講習の実施状況

令和6年中の応急手当指導員養成講習は1,347回開催され、修了者数は8,282人であり、応急手当普及員養成講習は1,137回開催され、修了者数は1万2,657人であった。

地域住民等に対する応急手当普及啓発活動については、全国で普通救命講習は5万7,662回開催され、88万6,514人が受講し、上級救命講習は4,296回開催され、7万1,222人が受講し、救命入門コースは2万2,332回開催され、60万3,669人が受講した。

消防本部等における普及啓発用資器材の保有状況は、蘇生訓練用人形が成人用2万9,772体、乳幼児用1万6,127体、外傷用模型セットが473セット、訓練用AEDが2万1,614台である（第46表、別表11及び別表12参照）。

第46表 応急手当の普及に係る講習修了者数及び受講者数（単位：人）

区分 年	指導員 講習等 修了者数	普及員 講習等 修了者数	普通救命講習 受講者数	上級救命講習 受講者数	救命入門コース 受講者数
平成7年中	13,690	7,292	395,045	19,212	—
平成8年中	10,144	6,208	491,300	25,758	—
平成9年中	9,329	7,037	589,798	33,670	—
平成10年中	8,983	7,244	655,700	34,807	—
平成11年中	9,796	8,006	797,979	41,135	—
平成12年中	10,175	7,966	861,699	48,393	—
平成13年中	7,996	7,626	901,039	53,795	—
平成14年中	7,579	7,999	970,898	58,410	—
平成15年中	7,979	8,983	1,081,946	61,746	—
平成16年中	6,918	9,494	1,053,715	65,895	—
平成17年中	9,004	10,385	1,147,904	68,081	—
平成18年中	9,391	10,612	1,388,212	78,922	—
平成19年中	9,253	13,948	1,499,485	72,843	—
平成20年中	9,117	15,776	1,541,459	77,660	—
平成21年中	8,592	12,199	1,490,246	75,926	—
平成22年中	8,733	12,050	1,408,864	76,999	—
平成23年中	10,203	11,463	1,345,591	79,959	3,402
平成24年中	9,527	12,346	1,410,981	84,898	224,230
平成25年中	9,924	12,053	1,392,325	50,547	325,476
平成26年中	8,866	11,929	1,376,149	84,864	392,542
平成27年中	10,076	11,927	1,355,791	84,307	409,347
平成28年中	9,601	11,819	1,315,946	82,385	443,943
平成29年中	9,055	12,416	1,287,848	88,659	558,454
平成30年中	8,518	13,015	1,245,971	91,014	656,226
令和元年中	8,204	12,608	1,184,689	84,578	689,411
令和2年中	7,450	6,410	369,750	39,723	221,292
令和3年中	7,645	8,698	421,240	48,912	241,548
令和4年中	7,434	8,864	808,419	52,888	351,112
令和5年中	7,866	12,423	839,270	68,886	526,759
令和6年中	8,282	12,657	886,514	71,222	603,669

(注) 1 応急手当講習の内容

- (1) 応急手当指導員講習：普通救命講習又は上級救命講習の指導に当たる応急手当指導員を養成する講習
- (2) 応急手当普及員講習：事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対して行う普通救命講習の指導に当たる応急手当普及員を養成する講習
- (3) 普通救命講習：自動体外式除細動器(AED)の使用法を含む成人に対する心肺蘇生法及び大出血時の止血法の講習
- (4) 上級救命講習：普通救命講習の内容に加え、小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法、傷病者管理法、手当の要領及び搬送法の講習
- (5) 救命入門コース：応急手当の導入として、胸骨圧迫や自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした講習

2 東日本大震災の影響により、平成22年の陸前高田市消防本部及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

(3) 応急手当の実施及び救命効果

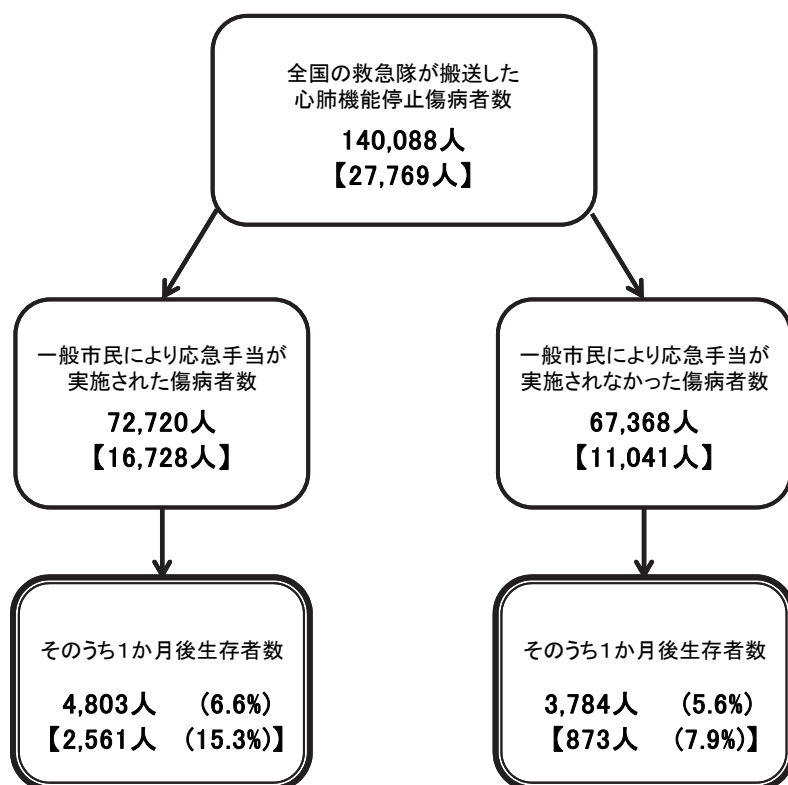
令和6年中の救急自動車による現場到着所要時間は全国平均で約9.8分であるが、それまでに一般市民による応急手当が適切に実施されれば、より高い救命効果が期待できる。

令和6年に全国の救急隊員が搬送した心肺機能停止傷病者14万88人のうち、7万2,720人(51.9%)に一般市民による応急手当が実施された。全国の救急隊が搬送した全ての心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が到着するまでに一般市民により応急手当が実施された場合の傷病者の1か月後の生存者数の割合は6.6%で、応急手当が実施されなかった場合の割合5.6%と比較すると約1.2倍救命効果が高い。

全国の救急隊が搬送した心肺機能停止傷病者数のうち、心原性かつ心肺機能停止の時点が一般市民により目撃された傷病者で、救急隊が到着するまでに一般市民により応急手当が実施された場合の傷病者の1か月後の生存者数の割合は15.3%で、応急手当が実施されなかった場合の割合7.9%と比較すると約1.9倍救命効果が高い(第47図、第48表参照)。

なお、心肺機能停止傷病者のうち、1万5,802人(11.3%)に一般市民によりAEDパッドが貼付され、うち2,264人に除細動が実施された。

第47図 応急手当の実施及び救命効果 (令和6年)



(注) 各々の項目のうち【 】内は、心原性かつ心肺機能停止の時点が一般市民により目撃された傷病者数である。一般市民がAEDを使用した応急手当の詳細は、第3章救急蘇生統計に記載

第48表 応急手当の実施及び救命効果の推移

(単位：人)

	救急隊が搬送した 全ての 心肺機能停止 傷病者数	一般市民により 応急手当が 実施された 傷病者数	うち 1か月後 生存者数	一般市民により 応急手当が 実施されなかった 傷病者数	うち 1か月後 生存者数
平成7年	72,016 (100)	9,389 (13.0)	437 (4.7)	62,627 (87.0)	1,531 (2.4)
平成8年	72,542 (100)	10,954 (15.1)	446 (4.1)	61,588 (84.9)	1,488 (2.4)
平成9年	76,272 (100)	12,901 (16.9)	605 (4.7)	63,371 (83.1)	1,541 (2.4)
平成10年	80,970 (100)	15,923 (19.7)	830 (5.2)	65,047 (80.3)	1,733 (2.7)
平成11年	83,353 (100)	19,212 (23.0)	861 (4.5)	64,141 (77.0)	1,807 (2.8)
平成12年	84,899 (100)	21,121 (24.9)	881 (4.2)	63,778 (75.1)	1,964 (3.1)
平成13年	88,058 (100)	23,398 (26.6)	879 (3.8)	64,660 (73.4)	2,003 (3.1)
平成14年	91,691 (100)	25,491 (27.8)	1,065 (4.2)	66,200 (72.2)	2,160 (3.3)
平成15年	94,845 (100)	29,255 (30.8)	1,267 (4.3)	65,590 (69.2)	2,245 (3.4)
平成16年	94,920 (100)	31,815 (33.5)	1,376 (4.3)	63,105 (66.5)	2,363 (3.7)
平成17年	102,738 (100)	34,539 (33.6)	1,553 (4.5)	68,199 (66.4)	2,816 (4.1)
平成18年	105,942 (100)	37,381 (35.3)	1,912 (5.1)	68,561 (64.7)	3,029 (4.4)
平成19年	109,461 (100)	42,892 (39.2)	2,393 (5.6)	66,569 (60.8)	3,254 (4.9)
平成20年	113,827 (100)	46,306 (40.7)	2,770 (6.0)	67,521 (59.3)	3,264 (4.8)
平成21年	115,250 (100)	49,249 (42.7)	3,101 (6.3)	66,001 (57.3)	3,393 (5.1)
平成22年	123,095 (100)	52,541 (42.7)	3,414 (6.5)	70,554 (57.3)	3,813 (5.4)
平成23年	127,109 (100)	54,652 (43.0)	3,390 (6.2)	72,457 (57.0)	3,695 (5.1)
平成24年	127,866 (100)	56,692 (44.3)	3,635 (6.4)	71,174 (55.7)	3,801 (5.3)
平成25年	123,987 (100)	55,695 (44.9)	3,732 (6.7)	68,292 (55.1)	3,803 (5.6)
平成26年	125,951 (100)	59,445 (47.2)	4,042 (6.8)	66,506 (52.8)	3,674 (5.5)
平成27年	123,421 (100)	59,420 (48.1)	4,155 (7.0)	64,001 (51.9)	3,647 (5.7)
平成28年	123,554 (100)	60,363 (48.9)	4,489 (7.4)	63,191 (51.1)	3,773 (6.0)
平成29年	127,018 (100)	63,439 (49.9)	4,633 (7.3)	63,579 (50.1)	3,716 (5.8)
平成30年	127,718 (100)	64,745 (50.7)	5,007 (7.7)	62,973 (49.3)	3,697 (5.9)
令和元年	126,271 (100)	64,013 (50.7)	4,933 (7.7)	62,258 (49.3)	3,748 (6.0)
令和2年	125,928 (100)	64,852 (51.5)	4,344 (6.7)	61,076 (48.5)	3,314 (5.4)
令和3年	129,144 (100)	65,284 (50.6)	4,057 (6.2)	63,860 (49.4)	3,248 (5.1)
令和4年	142,728 (100)	73,010 (51.2)	4,303 (5.9)	69,718 (48.8)	3,276 (4.7)
令和5年	140,575 (100)	72,756 (51.8)	4,625 (6.4)	67,819 (48.2)	3,407 (5.0)
令和6年	140,088 (100)	72,720 (51.9)	4,803 (6.6)	67,368 (48.1)	3,784 (5.6)
合計	3,321,237 (100)	1,349,453 (40.6)	83,938 (6.2)	1,971,784 (59.4)	88,987 (4.5)

(注) 1 () 内は構成比(単位：%)を示す。

- 平成7年～平成16年については、救急蘇生指標に基づいた数値である。
- 平成17年～令和6年については、ウツタイン様式に基づいた数値である。
- 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。
- 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

6 医療機関等への搬送状況

(1) 医療機関等への受入照会回数（事故種別及び傷病程度別）

令和6年中の救急自動車による搬送人員 676 万 9,172 人のうち、医療機関等への受入照会回数が1回で決定したものは全搬送人員の 77.0%で、2～3回は 17.3%、4回以上は 5.7%となっている（第49表、第50表参照）。

第49表 事故種別の受入照会回数

（令和6年 単位：人）

区分 照会回数	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1回	3,458,365	75.9%	263,573	74.1%	795,957	72.2%	694,798	92.2%	5,212,693	77.0%
2回	581,552	12.8%	53,592	15.1%	166,160	15.1%	30,126	4.0%	831,430	12.3%
3回	239,494	5.3%	20,223	5.7%	66,798	6.1%	12,432	1.6%	338,947	5.0%
4回	116,521	2.6%	8,817	2.5%	32,001	2.9%	6,286	0.8%	163,625	2.4%
5回	65,585	1.4%	4,432	1.2%	17,445	1.6%	3,679	0.5%	91,141	1.3%
6～8回	67,157	1.5%	3,862	1.1%	16,744	1.5%	3,990	0.5%	91,753	1.4%
9～10回	13,774	0.3%	669	0.2%	3,268	0.3%	934	0.1%	18,645	0.3%
11回以上	15,545	0.3%	604	0.2%	3,524	0.3%	1,265	0.2%	20,938	0.3%
合計件数	4,557,993	100%	355,772	100%	1,101,897	100%	753,510	100%	6,769,172	100%

第50表 傷病程度別の受入照会回数

（令和6年 単位：人）

区分 照会回数	死亡		重症		中等症		軽症		その他		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1回	68,268	79.2%	402,328	81.9%	2,371,884	78.6%	2,368,346	74.7%	1,867	83.3%	5,212,693	77.0%
2回	9,750	11.3%	47,868	9.7%	325,712	10.8%	447,902	14.1%	198	8.8%	831,430	12.3%
3回	4,034	4.7%	18,931	3.9%	139,835	4.6%	176,058	5.6%	89	4.0%	338,947	5.0%
4回	1,884	2.2%	8,871	1.8%	70,652	2.3%	82,187	2.6%	31	1.4%	163,625	2.4%
5回	946	1.1%	4,841	1.0%	41,382	1.4%	43,951	1.4%	21	0.9%	91,141	1.3%
6～8回	1,007	1.2%	5,624	1.1%	45,576	1.5%	39,523	1.2%	23	1.0%	91,753	1.4%
9～10回	178	0.2%	1,314	0.3%	10,257	0.3%	6,890	0.2%	6	0.3%	18,645	0.3%
11回以上	132	0.2%	1,694	0.3%	12,614	0.4%	6,493	0.2%	5	0.2%	20,938	0.3%
合計件数	86,199	100%	491,471	100%	3,017,912	100%	3,171,350	100%	2,240	100%	6,769,172	100%

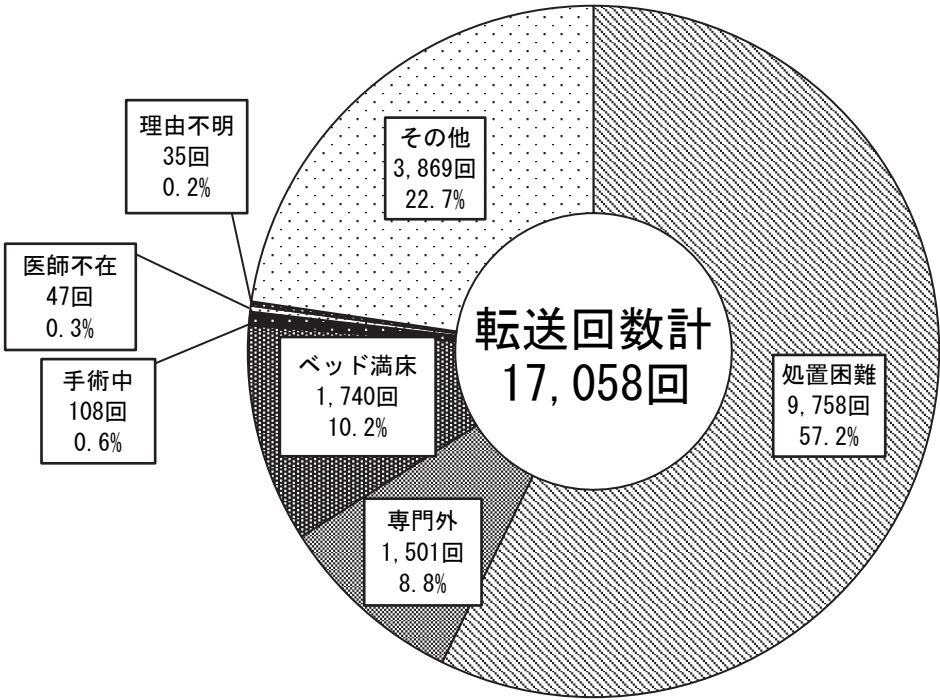
(注) 1 医療機関等への受入照会回数とは、傷病者の受入先医療機関等が決定するまでの受入先医療機関等への選定を目的とした電話連絡回数をいう。

2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

（２）救急自動車による転送件数

令和６年中の救急自動車による搬送人員のうち、１回以上転送された人は、１万６,９９７人(０.３％)となっている。転送回数計１万７,０５８回について、転送理由をみると、処置困難が９,７５８回で全体の５７.２％を占め、最も多くなっている（第５１図、第５２表参照）。

第51図 救急自動車による転送理由の状況 (令和６年)



- (注) １ 「転送」とは、傷病者を搬送した医療機関が収容不能であったために、同一救急隊が引き続いて同一傷病者を他の医療機関に搬送した場合をいう。
- ２ １件の事故で２人以上転送した場合は、搬送人員ごとにその転送理由を記載している。したがって、１件の事故で２人を転送した場合は、その理由が同じであっても、転送回数(理由)は２回となる。
- ３ 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は１００％にならない場合がある。

第52表 搬送人員に占める転送者数の割合の推移

(単位：人)

区分	年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
転送者数		24,027	22,407	21,218	17,532	16,640	23,082	20,108	16,997
搬送人員に占める 転送者数の割合(%)		0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
対前年増減数 (増減率%)		▲ 697 (▲2.8)	▲ 1,620 (▲6.7)	▲ 1,189 (▲5.3)	▲ 3,686 (▲17.4)	▲ 892 (▲5.1)	6,442 (38.7)	▲ 2,974 (▲12.9)	▲ 3,111 (▲15.5)

別 表

別表 1 救急業務実施市町村数及び人口

(令和 7 年 4 月 1 日現在 単位：市町村、人)

区分	市 町 村 数				R2国勢調査	救 急 業 務 実 施 市 町 村 数 及 び 人 口																	
	市	町	村	計		人 口	単 独 実 施				組 合 実 施				委 託 実 施				計				人口
							市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計	
北海道	35	129	15	179	5,224,614	17	5	0	22	18	121	15	154	0	3	0	3	35	129	15	179	5,224,614	
青 森	10	22	8	40	1,237,984	2	0	0	2	8	22	8	38	0	0	0	0	10	22	8	40	1,237,984	
岩 手	14	15	4	33	1,210,534	4	0	0	4	10	14	4	28	0	1	0	1	14	15	4	33	1,210,534	
宮 城	14	20	1	35	2,301,996	4	0	0	4	10	20	1	31	0	0	0	0	14	20	1	35	2,301,996	
秋 田	13	9	3	25	959,502	6	1	0	7	7	8	2	17	0	0	1	1	13	9	3	25	959,502	
山 形	13	19	3	35	1,068,027	7	0	0	7	6	15	3	24	0	4	0	4	13	19	3	35	1,068,027	
福 島	13	31	15	59	1,833,152	2	0	0	2	11	31	15	57	0	0	0	0	13	31	15	59	1,833,152	
茨 城	32	10	2	44	2,867,009	14	3	0	17	18	6	2	26	0	1	0	1	32	10	2	44	2,867,009	
栃 木	14	11	0	25	1,933,146	7	0	0	7	7	10	0	17	0	1	0	1	14	11	0	25	1,933,146	
群 馬	12	15	8	35	1,939,110	4	0	0	4	7	13	8	28	1	2	0	3	12	15	8	35	1,939,110	
埼 玉	40	22	1	63	7,344,765	13	0	0	13	27	20	1	48	0	2	0	2	40	22	1	63	7,344,765	
千 葉	37	16	1	54	6,284,480	22	1	0	23	15	14	1	30	0	1	0	1	37	16	1	54	6,284,480	
東 京	27	5	8	40	14,047,594	2	2	1	5	0	0	0	0	25	3	1	29	27	5	2	34	14,039,550	
神奈川	19	13	1	33	9,237,337	17	6	0	23	0	0	0	0	2	7	1	10	19	13	1	33	9,237,337	
新 潟	20	6	4	30	2,201,272	13	1	0	14	7	3	1	11	0	2	3	5	20	6	4	30	2,201,272	
富 山	10	4	1	15	1,034,814	3	1	0	4	6	3	1	10	1	0	0	1	10	4	1	15	1,034,814	
石 川	11	8	0	19	1,132,526	6	2	0	8	5	5	0	10	0	1	0	1	11	8	0	19	1,132,526	
福 井	9	8	0	17	766,863	3	1	0	4	6	7	0	13	0	0	0	0	9	8	0	17	766,863	
山 梨	13	8	6	27	809,974	5	0	0	5	8	8	3	19	0	0	3	3	13	8	6	27	809,974	
長 野	19	23	35	77	2,048,011	2	0	0	2	17	20	33	70	0	3	2	5	19	23	35	77	2,048,011	
岐 阜	21	19	2	42	1,978,742	13	1	0	14	5	17	1	23	3	1	1	5	21	19	2	42	1,978,742	
静 岡	23	12	0	35	3,633,202	10	0	0	10	11	10	0	21	2	2	0	4	23	12	0	35	3,633,202	
愛 知	38	14	2	54	7,542,415	24	2	0	26	14	10	1	25	0	2	1	3	38	14	2	54	7,542,415	
三 重	14	15	0	29	1,770,254	11	1	0	12	2	6	0	8	1	8	0	9	14	15	0	29	1,770,254	
滋 賀	13	6	0	19	1,413,610	3	0	0	3	10	3	0	13	0	3	0	3	13	6	0	19	1,413,610	
京 都	15	10	1	26	2,578,087	9	2	0	11	6	6	1	13	0	2	0	2	15	10	1	26	2,578,087	
大 阪	33	9	1	43	8,837,685	17	2	0	19	14	5	1	20	2	2	0	4	33	9	1	43	8,837,685	
兵 庫	29	12	0	41	5,465,002	18	1	0	19	11	5	0	16	0	6	0	6	29	12	0	41	5,465,002	
奈 良	12	15	12	39	1,324,473	2	0	0	2	10	15	12	37	0	0	0	0	12	15	12	39	1,324,473	
和歌山	9	20	1	30	922,584	7	6	0	13	2	10	0	12	0	3	1	4	9	19	1	29	919,793	
鳥 取	4	14	1	19	553,407	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	553,407	
島 根	8	10	1	19	671,126	5	0	0	5	3	10	1	14	0	0	0	0	8	10	1	19	671,126	
岡 山	15	10	2	27	1,888,432	10	0	0	10	5	8	0	13	0	2	2	4	15	10	2	27	1,888,432	
広 島	14	9	0	23	2,799,702	9	2	0	11	4	1	0	5	1	6	0	7	14	9	0	23	2,799,702	
山 口	13	6	0	19	1,342,059	8	0	0	8	5	5	0	10	0	1	0	1	13	6	0	19	1,342,059	
徳 島	8	15	1	24	719,559	5	1	0	6	3	12	0	15	0	0	0	0	8	13	0	21	711,284	
香 川	8	9	0	17	950,244	4	1	0	5	4	4	0	8	0	3	0	3	8	8	0	16	947,141	
愛 媛	11	9	0	20	1,334,841	7	3	0	10	4	6	0	10	0	0	0	0	11	9	0	20	1,334,841	
高 知	11	17	6	34	691,527	8	0	0	8	3	16	5	24	0	1	1	2	11	17	6	34	691,527	
福 岡	29	29	2	60	5,135,214	10	1	0	11	19	28	2	49	0	0	0	0	29	29	2	60	5,135,214	
佐 賀	10	10	0	20	811,442	1	0	0	1	9	9	0	18	0	1	0	1	10	10	0	20	811,442	
長 崎	13	8	0	21	1,312,317	7	1	0	8	5	0	0	5	1	7	0	8	13	8	0	21	1,312,317	
熊 本	14	23	8	45	1,738,301	2	0	0	2	12	22	7	41	0	1	1	2	14	23	8	45	1,738,301	
大 分	14	3	1	18	1,123,852	12	0	0	12	2	3	0	5	0	0	1	1	14	3	1	18	1,123,852	
宮 崎	9	14	3	26	1,069,576	7	0	0	7	2	9	0	11	0	4	0	4	9	13	0	22	1,059,761	
鹿児島	19	20	4	43	1,588,256	10	1	0	11	9	19	2	30	0	0	0	0	19	20	2	41	1,587,111	
沖 縄	11	11	19	41	1,467,480	10	1	0	11	1	8	9	18	0	0	0	0	11	9	9	29	1,449,724	
合 計	793	743	183	1,719	126,146,099	382	49	1	432	372	601	141	1,114	39	86	19	144	793	736	161	1,690	126,095,170	

別表 2 の 1 都道府県別救急体制

(令和 7 年 4 月 1 日現在 単位：台、隊、人)

区分 都道府県	救急自動車数					救急 隊数	救急隊員数					
	合 計 (a)	高規格の 救急自動 車数 (b)	高規格の 救急自動 車以外	比率 (b)/(a)	(a)の うち 非常用		合 計	うち 女性	専任	うち 女性	兼任	うち 女性
北海道	441	429	12	97.3%	94	335	4,679	76	855	28	3,824	48
青 森	112	100	12	89.3%	25	87	1,371	41	264	8	1,107	33
岩 手	103	102	1	99.0%	15	85	1,273	41	126	6	1,147	35
宮 城	128	128	0	100.0%	22	103	1,228	40	460	19	768	21
秋 田	87	86	1	98.9%	11	77	1,244	30	155	14	1,089	16
山 形	81	81	0	100.0%	13	66	739	14	94	1	645	13
福 島	138	132	6	95.7%	17	122	1,495	27	155	5	1,340	22
茨 城	176	175	1	99.4%	24	153	2,462	45	525	15	1,937	30
栃 木	111	111	0	100.0%	20	93	1,135	30	382	11	753	19
群 馬	117	116	1	99.1%	21	96	1,227	44	280	21	947	23
埼 玉	303	302	1	99.7%	60	242	2,233	116	1,561	99	672	17
千 葉	293	292	1	99.7%	55	238	2,649	116	1,290	74	1,359	42
東 京	390	390	0	100.0%	101	296	3,026	153	2,976	150	50	3
神奈川	343	333	10	97.1%	81	262	2,300	143	2,079	138	221	5
新 潟	161	160	1	99.4%	29	132	1,671	48	330	9	1,341	39
富 山	65	65	0	100.0%	7	57	542	15	38	4	504	11
石 川	69	69	0	100.0%	11	58	841	26	163	8	678	18
福 井	57	56	1	98.2%	7	50	538	18	79	3	459	15
山 梨	63	63	0	100.0%	10	54	706	14	127	3	579	11
長 野	147	146	1	99.3%	26	123	1,840	60	158	9	1,682	51
岐 阜	150	150	0	100.0%	22	130	1,732	37	178	7	1,554	30
静 岡	178	178	0	100.0%	36	141	1,800	61	511	31	1,289	30
愛 知	298	298	0	100.0%	46	261	4,391	130	493	28	3,898	102
三 重	127	127	0	100.0%	18	110	1,721	40	75	5	1,646	35
滋 賀	67	67	0	100.0%	8	59	932	27	245	17	687	10
京 都	117	117	0	100.0%	32	90	1,264	41	399	21	865	20
大 阪	359	358	1	99.7%	61	267	3,108	114	2,088	82	1,020	32
兵 庫	244	244	0	100.0%	35	207	2,335	84	971	45	1,364	39
奈 良	84	84	0	100.0%	11	73	937	24	117	3	820	21
和歌山	86	85	1	98.8%	16	68	805	21	87	3	718	18
鳥 取	34	34	0	100.0%	3	31	568	19	83	4	485	15
島 根	77	76	1	98.7%	6	71	660	9	44	1	616	8
岡 山	121	119	2	98.3%	17	104	1,829	48	41	0	1,788	48
広 島	174	172	2	98.9%	29	141	1,183	37	607	25	576	12
山 口	95	95	0	100.0%	15	75	891	20	225	9	666	11
徳 島	55	55	0	100.0%	9	45	621	8	64	1	557	7
香 川	56	56	0	100.0%	8	45	603	23	261	10	342	13
愛 媛	98	98	0	100.0%	17	82	741	24	214	12	527	12
高 知	72	69	3	95.8%	22	50	712	10	99	4	613	6
福 岡	211	208	3	98.6%	41	173	1,677	43	953	32	724	11
佐 賀	53	53	0	100.0%	10	43	526	12	106	9	420	3
長 崎	97	95	2	97.9%	17	80	861	26	161	5	700	21
熊 本	123	116	7	94.3%	20	106	1,053	32	363	15	690	17
大 分	76	76	0	100.0%	12	65	716	14	159	5	557	9
宮 崎	58	58	0	100.0%	10	46	548	7	197	3	351	4
鹿児島	143	140	3	97.9%	25	117	1,255	24	325	10	930	14
沖 縄	89	87	2	97.8%	14	76	1,020	19	90	5	930	14
合 計	6,727	6,651	76	98.9%	1,209	5,485	67,688	2,051	21,253	1,017	46,435	1,034

別表 2 の 2 資格別救急隊員数調

(令和 7 年 4 月 1 日現在 単位：人)

区分 都道府県	専任 合計	旧救急 Ⅰ 課程 修了者	旧救急 Ⅱ 課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者	兼任 合計	旧救急 Ⅰ 課程 修了者	旧救急 Ⅱ 課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者
北海道	855	2	5	184	664	3,824	7	139	1,655	2,023
青 森	264	0	0	70	194	1,107	6	10	687	404
岩 手	126	0	0	0	126	1,147	0	3	764	380
宮 城	460	0	0	118	342	768	0	2	545	221
秋 田	155	0	0	18	137	1,089	0	2	774	313
山 形	94	0	0	24	70	645	0	3	343	299
福 島	155	0	0	31	124	1,340	3	21	814	502
茨 城	525	0	0	57	468	1,937	0	2	1,336	599
栃 木	382	0	2	68	312	753	0	32	431	290
群 馬	280	0	3	46	231	947	2	10	607	328
埼 玉	1,561	0	0	382	1,179	672	0	0	327	345
千 葉	1,290	0	5	368	917	1,359	15	25	853	466
東 京	2,976	0	0	680	2,296	50	1	1	20	28
神奈川	2,079	0	7	388	1,684	221	1	21	112	87
新 潟	330	0	0	75	255	1,341	1	38	761	541
富 山	38	0	0	6	32	504	0	42	188	274
石 川	163	0	0	44	119	678	1	20	399	258
福 井	79	0	0	16	63	459	0	0	265	194
山 梨	127	0	0	5	122	579	0	12	375	192
長 野	158	0	5	59	94	1,682	1	215	795	671
岐 阜	178	0	1	12	165	1,554	0	133	851	570
静 岡	511	0	0	127	384	1,289	2	2	831	454
愛 知	493	0	4	107	382	3,898	31	176	2,259	1,432
三 重	75	0	0	9	66	1,646	2	246	847	551
滋 賀	245	0	0	26	219	687	0	17	497	173
京 都	399	0	2	96	301	865	5	32	541	287
大 阪	2,088	0	3	696	1,389	1,020	2	9	649	360
兵 庫	971	0	1	167	803	1,364	0	102	668	594
奈 良	117	0	12	27	78	820	0	122	418	280
和歌山	87	0	2	25	60	718	0	37	396	285
鳥 取	83	0	0	0	83	485	0	14	343	128
島 根	44	0	0	9	35	616	0	66	287	263
岡 山	41	0	0	2	39	1,788	0	162	1,105	521
広 島	607	0	0	128	479	576	0	15	296	265
山 口	225	0	1	24	200	666	8	11	412	235
徳 島	64	0	0	26	38	557	0	6	320	231
香 川	261	0	0	90	171	342	0	3	207	132
愛 媛	214	0	3	50	161	527	1	5	267	254
高 知	99	0	11	27	61	613	0	63	272	278
福 岡	953	0	4	346	603	724	1	6	446	271
佐 賀	106	0	0	26	80	420	0	23	234	163
長 崎	161	0	0	38	123	700	0	19	405	276
熊 本	363	0	5	106	252	690	0	3	426	261
大 分	159	0	0	44	115	557	0	3	289	265
宮 崎	197	0	0	58	139	351	0	10	196	145
鹿児島	325	0	0	51	274	930	0	13	524	393
沖 縄	90	0	0	24	66	930	0	3	441	486
合 計	21,253	2	76	4,980	16,195	46,435	90	1,899	26,478	17,968

別表 2 の 3 都道府県別の救急救命士運用状況

(令和 7 年 4 月 1 日現在 単位：隊、人)

区分 都道府県名	救急隊					救急隊員			
	救急隊 総数 (a)	うち救命士 運用隊数 (b)	比 率 (b)/(a)	うち救命士 常時運用隊 (c)	比 率 (c)/(a)	総 数 (a)	救命士 有資格者 (b)	うち運用 救命士 (c)	比 率 (c)/(b)
北海道	335	333	99.4%	285	85.1%	4,679	2,687	2,394	89.1%
青森	87	87	100.0%	80	92.0%	1,371	598	538	90.0%
岩手	85	85	100.0%	81	95.3%	1,273	506	474	93.7%
宮城	103	103	100.0%	95	92.2%	1,228	563	524	93.1%
秋田	77	77	100.0%	76	98.7%	1,244	450	416	92.4%
山形	66	66	100.0%	63	95.5%	739	369	337	91.3%
福島	122	121	99.2%	112	91.8%	1,495	626	596	95.2%
茨城	153	153	100.0%	136	88.9%	2,462	1,067	994	93.2%
栃木	93	93	100.0%	89	95.7%	1,135	602	575	95.5%
群馬	96	96	100.0%	89	92.7%	1,227	559	530	94.8%
埼玉	242	242	100.0%	227	93.8%	2,233	1,524	1,405	92.2%
千葉	238	238	100.0%	228	95.8%	2,649	1,383	1,249	90.3%
東京	296	296	100.0%	280	94.6%	3,026	2,324	2,306	99.2%
神奈川	262	262	100.0%	248	94.7%	2,300	1,771	1,700	96.0%
新潟	132	132	100.0%	127	96.2%	1,671	796	754	94.7%
富山	57	57	100.0%	46	80.7%	542	306	278	90.8%
石川	58	58	100.0%	56	96.6%	841	377	342	90.7%
福井	50	50	100.0%	50	100.0%	538	257	249	96.9%
山梨	54	54	100.0%	51	94.4%	706	314	278	88.5%
長野	123	123	100.0%	113	91.9%	1,840	765	732	95.7%
岐阜	130	130	100.0%	127	97.7%	1,732	735	660	89.8%
静岡	141	141	100.0%	140	99.3%	1,800	838	790	94.3%
愛知	261	261	100.0%	249	95.4%	4,391	1,814	1,539	84.8%
三重	110	107	97.3%	92	83.6%	1,721	617	573	92.9%
滋賀	59	59	100.0%	59	100.0%	932	392	357	91.1%
京都	90	90	100.0%	80	88.9%	1,264	588	537	91.3%
大阪	267	267	100.0%	262	98.1%	3,108	1,749	1,652	94.5%
兵庫	207	207	100.0%	200	96.6%	2,335	1,397	1,309	93.7%
奈良	73	73	100.0%	71	97.3%	937	358	332	92.7%
和歌山	68	68	100.0%	65	95.6%	805	345	323	93.6%
鳥取	31	31	100.0%	30	96.8%	568	211	183	86.7%
島根	71	71	100.0%	52	73.2%	660	298	289	97.0%
岡山	104	104	100.0%	99	95.2%	1,829	560	517	92.3%
広島	141	141	100.0%	133	94.3%	1,183	744	703	94.5%
山口	75	75	100.0%	74	98.7%	891	435	403	92.6%
徳島	45	45	100.0%	32	71.1%	621	269	252	93.7%
香川	45	45	100.0%	41	91.1%	603	303	247	81.5%
愛媛	82	81	98.8%	72	87.8%	741	415	385	92.8%
高知	50	50	100.0%	45	90.0%	712	339	323	95.3%
福岡	173	173	100.0%	163	94.2%	1,677	874	840	96.1%
佐賀	43	43	100.0%	43	100.0%	526	243	240	98.8%
長崎	80	76	95.0%	69	86.3%	861	399	364	91.2%
熊本	106	104	98.1%	95	89.6%	1,053	513	489	95.3%
大分	65	65	100.0%	59	90.8%	716	380	355	93.4%
宮崎	46	46	100.0%	43	93.5%	548	284	271	95.4%
鹿児島	117	117	100.0%	94	80.3%	1,255	667	615	92.2%
沖縄	76	76	100.0%	71	93.4%	1,020	552	534	96.7%
合計	5,485	5,472	99.8%	5,092	92.8%	67,688	34,163	31,753	92.9%

- (注) 1 「救命士運用隊」とは、特定行為に必要な資器材を積載する救急自動車に、救急救命士の資格を持つ救急隊員が搭乗し、医師からの指示体制を整えている救急隊をいう。
- 2 「救命士常時運用隊」とは、24 時間 365 日全ての救急事案で救急救命士が搭乗する体制としている救急隊をいう。
- 3 「運用救命士」とは、救急救命士の資格を有する消防職員であって、うち救急隊員として救急救命士運用されている者をいう。

別表 2 の 4 資格別救急隊員数（救急救命士）調

（令和 7 年 4 月 1 日現在 単位：人）

区分	救急救命士 有資格者数	第34条 第4号 以外	男性	女性	気管挿管 認定(A)	薬剤 (アドレナリン) 投与 認定(B)	(A)、(B)うち 気管挿管薬剤 (アドレナリン) 投与 両認定	ビデオ 喉頭鏡 認定	ブドウ糖 投与 認定	CPA前 静脈路確保 認定	救急救命 士として運 用している もの
都道府県											
北海道	2,687	1,625	2,636	51	1,293	2,441	1,289	1,086	2,300	2,314	2,394
青 森	598	210	576	22	439	526	433	332	524	524	538
岩 手	506	161	477	29	441	478	441	344	478	478	474
宮 城	563	118	540	23	332	529	330	205	525	525	524
秋 田	450	110	432	18	156	419	156	137	419	419	416
山 形	369	95	360	9	107	337	107	17	337	337	337
福 島	626	181	613	13	292	592	289	74	581	583	596
茨 城	1,067	533	1,034	33	703	1,024	703	0	934	1,007	994
栃 木	602	244	581	21	316	545	310	139	536	536	575
群 馬	559	267	527	32	122	467	121	92	461	461	530
埼 玉	1,524	552	1,425	99	881	1,381	880	784	1,377	1,377	1,405
千 葉	1,383	612	1,290	93	737	1,260	735	396	1,247	1,247	1,249
東 京	2,324	932	2,200	124	591	2,282	590	236	2,200	2,200	2,306
神奈川	1,771	717	1,656	115	672	1,683	670	620	1,682	1,682	1,700
新 潟	796	309	754	42	104	767	103	19	765	765	754
富 山	306	98	296	10	178	253	176	17	250	250	278
石 川	377	111	364	13	117	297	117	0	296	296	342
福 井	257	84	254	3	171	253	171	70	253	253	249
山 梨	314	60	308	6	144	298	144	95	298	298	278
長 野	765	414	726	39	580	704	578	317	683	683	732
岐 阜	735	298	712	23	317	647	314	173	533	533	660
静 岡	838	308	806	32	535	817	534	459	773	805	790
愛 知	1,814	635	1,745	69	487	1,492	487	92	1,371	1,371	1,539
三 重	617	126	592	25	188	581	187	122	576	576	573
滋 賀	392	140	371	21	154	363	154	0	355	355	357
京 都	588	135	562	26	349	528	349	138	525	525	537
大 阪	1,749	311	1,705	44	1,199	1,629	1,192	1,037	1,595	1,603	1,652
兵 庫	1,397	341	1,337	60	836	1,245	836	743	1,229	1,229	1,309
奈 良	358	84	345	13	140	328	140	85	327	327	332
和歌山	345	137	333	12	258	284	251	0	283	283	323
鳥 取	211	37	203	8	175	203	175	44	203	203	183
島 根	298	78	293	5	163	272	163	160	276	276	289
岡 山	560	94	548	12	409	520	409	278	509	509	517
広 島	744	162	721	23	248	687	247	203	675	688	703
山 口	435	176	421	14	264	423	263	181	419	419	403
徳 島	269	52	264	5	212	245	212	181	245	245	252
香 川	303	95	289	14	234	280	226	193	267	267	247
愛 媛	415	96	401	14	325	394	325	307	392	392	385
高 知	339	31	335	4	299	330	298	18	330	330	323
福 岡	874	200	849	25	326	801	316	17	757	782	840
佐 賀	243	78	236	7	85	238	85	30	235	235	240
長 崎	399	111	387	12	253	362	250	8	362	362	364
熊 本	513	221	489	24	266	486	264	0	483	483	489
大 分	380	185	368	12	185	366	181	176	365	364	355
宮 崎	284	97	280	4	145	272	142	0	265	243	271
鹿児島	667	184	649	18	415	625	379	356	617	617	615
沖 縄	552	321	539	13	260	530	235	145	517	518	534
合 計	34,163	12,166	32,829	1,334	17,103	31,484	16,957	10,126	30,630	30,775	31,753

（注）「第 34 条第 4 号以外」とは、救急救命士法第 34 条第 4 号の受験資格による救急救命士資格取得者以外の職員数を示す。

別表３ 救急自動車による都道府県別事故種別救急出動件数

区分	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	医師搬送
都道府県												
北海道	1,112	19	198	10,829	2,637	1,145	47,782	683	3,081	197,728	30,811	146
青 森	402	3	72	2,883	436	287	7,885	125	497	40,098	5,297	58
岩 手	173	6	49	2,588	600	338	7,382	103	511	39,479	6,284	18
宮 城	410	10	52	5,397	1,149	811	17,572	441	1,394	87,372	13,472	784
秋 田	200	5	44	2,176	359	215	6,680	76	410	32,900	3,026	7
山 形	163	9	23	2,291	428	228	7,173	68	383	33,490	4,615	2
福 島	258	3	49	4,752	943	592	13,172	172	860	65,248	7,908	108
茨 城	810	3	153	9,886	1,732	1,233	22,013	522	1,456	111,158	11,596	641
栃 木	386	12	40	6,508	984	513	13,001	326	975	65,870	9,613	13
群 馬	450	4	48	6,700	1,089	725	15,548	268	1,008	72,657	10,023	1,059
埼 玉	1,589	31	127	24,400	3,571	2,552	66,541	1,789	4,120	306,685	29,543	156
千 葉	1,729	21	219	20,150	3,264	2,025	60,955	1,794	3,383	269,851	27,804	37
東 京	3,779	18	561	42,062	6,077	5,718	172,740	5,693	7,144	638,332	45,490	149
神奈川	1,759	41	286	25,756	3,717	3,118	102,690	2,345	4,262	418,165	31,997	1,201
新 潟	316	31	110	5,291	1,333	678	18,205	250	1,070	80,336	12,325	931
富 山	165	23	75	2,494	511	298	8,827	101	367	35,932	4,816	14
石 川	125	248	56	2,604	567	307	9,244	96	328	40,037	4,940	11
福 井	82	5	49	2,058	320	259	5,667	61	218	22,320	2,972	2
山 梨	164	3	39	3,112	723	452	8,168	100	412	31,742	3,035	28
長 野	344	4	65	5,476	959	687	19,223	255	868	77,451	10,707	119
岐 阜	360	4	148	6,972	1,213	788	16,916	239	816	68,286	7,773	39
静 岡	540	28	175	10,681	1,896	1,162	29,637	410	1,501	129,690	20,805	47
愛 知	1,010	13	173	21,777	3,801	2,275	58,861	1,200	3,676	299,280	27,946	118
三 重	314	1	77	6,156	966	578	16,793	236	619	74,468	8,873	18
滋 賀	216	5	77	5,055	789	491	11,405	170	589	52,284	4,264	4
京 都	539	4	61	10,389	1,189	927	28,193	539	1,183	116,243	8,218	34
大 阪	1,982	13	201	40,403	4,927	3,151	115,033	3,843	5,548	486,093	38,339	796
兵 庫	768	13	138	18,285	2,676	1,831	58,551	1,081	2,635	226,055	26,477	218
奈 良	235	1	31	4,685	849	511	14,974	205	632	60,716	7,456	1,194
和歌山	99	3	72	3,731	529	299	9,612	146	469	39,447	4,284	234
鳥 取	61	2	36	1,439	296	259	4,462	53	185	20,770	2,740	40
島 根	88	5	51	1,565	313	234	5,688	67	227	24,681	3,599	66
岡 山	318	1	74	6,665	965	673	16,530	231	777	67,572	10,732	79
広 島	392	3	97	9,271	1,239	772	25,202	427	1,169	101,068	16,299	222
山 口	239	17	70	3,716	628	436	12,476	185	569	49,878	9,697	283
徳 島	61	2	33	2,578	394	246	6,463	92	290	26,638	4,656	6
香 川	204	1	34	3,455	489	321	8,813	112	400	34,944	6,073	28
愛 媛	184	17	77	5,021	723	446	12,774	207	579	51,974	10,216	101
高 知	51	0	53	2,434	360	248	7,618	106	327	30,378	4,563	55
福 岡	621	35	181	14,325	2,318	1,834	49,787	903	2,645	209,982	24,312	11
佐 賀	194	15	32	2,662	365	419	6,030	96	282	26,942	6,040	7
長 崎	89	1	90	3,040	505	433	12,830	129	521	50,030	8,747	134
熊 本	344	2	76	5,774	954	791	16,794	245	812	69,127	9,188	45
大 分	151	7	58	3,461	494	451	10,855	157	422	41,701	7,829	255
宮 崎	141	54	52	2,909	549	364	7,878	154	519	37,115	6,906	18
鹿児島	166	19	113	5,080	960	640	14,576	258	770	64,385	13,059	44
沖 縄	276	5	192	4,999	493	500	15,559	475	822	69,269	6,563	21
合 計	24,059	770	4,787	393,941	62,279	43,261	1,224,778	27,234	61,731	5,195,867	581,928	9,601
令和5年中	24,029	653	4,662	399,577	60,576	41,900	1,185,397	27,126	64,146	5,174,494	556,367	9,991
増減数	30	117	125	▲ 5,636	1,703	1,361	39,381	108	▲ 2,415	21,373	25,561	▲ 390
増減率	0.1	17.9	2.7	▲ 1.4	2.8	3.2	3.3	0.4	▲ 3.8	0.4	4.6	▲ 3.9

(令和6年中 単位：件、%、人)

資器材等 輸送	その他	合 計	令和5年中	増減数	対前年 増減率 (%)	令和元年中	増減数	対R1年 増減率 (%)	人 口 (R2年国勢調 査確定値)	救急業務実施 市町村人口	人口1万 人あたりの 救急出 動件数	区分
												都道府県
3	5,690	301,864	312,477	▲ 10,613	▲ 3.4	269,210	32,654	12.1	5,224,614	5,224,614	577.8	北海道
7	408	58,458	60,197	▲ 1,739	▲ 2.9	50,187	8,271	16.5	1,237,984	1,237,984	472.2	青 森
0	394	57,925	59,272	▲ 1,347	▲ 2.3	52,660	5,265	10.0	1,210,534	1,210,534	478.5	岩 手
29	1,367	130,260	130,226	34	0.0	112,997	17,263	15.3	2,301,996	2,301,996	565.9	宮 城
0	425	46,523	48,413	▲ 1,890	▲ 3.9	40,876	5,647	13.8	959,502	959,502	484.9	秋 田
0	360	49,233	50,228	▲ 995	▲ 2.0	45,314	3,919	8.6	1,068,027	1,068,027	461.0	山 形
47	754	94,866	94,290	576	0.6	84,667	10,199	12.0	1,833,152	1,833,152	517.5	福 島
10	1,438	162,651	163,049	▲ 398	▲ 0.2	136,467	26,184	19.2	2,867,009	2,867,009	567.3	茨 城
16	1,107	99,364	98,776	588	0.6	84,434	14,930	17.7	1,933,146	1,933,146	514.0	栃 木
80	1,045	110,704	108,191	2,513	2.3	95,906	14,798	15.4	1,939,110	1,939,110	570.9	群 馬
97	8,236	449,437	438,761	10,676	2.4	364,380	85,057	23.3	7,344,765	7,344,765	611.9	埼 玉
67	7,519	398,818	399,659	▲ 841	▲ 0.2	342,184	56,634	16.6	6,284,480	6,284,480	634.6	千 葉
619	12,888	941,270	924,100	17,170	1.9	831,052	110,218	13.3	14,047,594	14,039,550	670.4	東 京
25	7,433	602,795	594,883	7,912	1.3	505,124	97,671	19.3	9,237,337	9,237,337	652.6	神奈川
0	1,300	122,176	120,057	2,119	1.8	104,694	17,482	16.7	2,201,272	2,201,272	555.0	新 潟
61	245	53,929	52,970	959	1.8	43,795	10,134	23.1	1,034,814	1,034,814	521.1	富 山
14	471	59,048	55,982	3,066	5.5	44,841	14,207	31.7	1,132,526	1,132,526	521.4	石 川
22	288	34,323	34,379	▲ 56	▲ 0.2	30,091	4,232	14.1	766,863	766,863	447.6	福 井
29	273	48,280	46,989	1,291	2.7	40,178	8,102	20.2	809,974	809,974	596.1	山 梨
3	580	116,741	112,958	3,783	3.3	98,742	17,999	18.2	2,048,011	2,048,011	570.0	長 野
29	637	104,220	104,083	137	0.1	91,424	12,796	14.0	1,978,742	1,978,742	526.7	岐 阜
11	1,588	198,171	195,785	2,386	1.2	171,992	26,179	15.2	3,633,202	3,633,202	545.4	静 岡
543	5,174	425,847	419,704	6,143	1.5	363,647	62,200	17.1	7,542,415	7,542,415	564.6	愛 知
10	308	109,417	112,538	▲ 3,121	▲ 2.8	98,919	10,498	10.6	1,770,254	1,770,254	618.1	三 重
0	543	75,892	75,766	126	0.2	65,465	10,427	15.9	1,413,610	1,413,610	536.9	滋 賀
1	1,440	168,960	166,500	2,460	1.5	145,884	23,076	15.8	2,578,087	2,578,087	655.4	京 都
7	3,754	704,090	690,073	14,017	2.0	616,839	87,251	14.1	8,837,685	8,837,685	796.7	大 阪
2	6,039	344,769	340,738	4,031	1.2	298,596	46,173	15.5	5,465,002	5,465,002	630.9	兵 庫
1	342	91,832	90,390	1,442	1.6	77,801	14,031	18.0	1,324,473	1,324,473	693.3	奈 良
10	581	59,516	58,884	632	1.1	52,948	6,568	12.4	922,584	919,793	647.1	和歌山
3	152	30,498	30,887	▲ 389	▲ 1.3	27,350	3,148	11.5	553,407	553,407	551.1	鳥 取
1	253	36,838	36,554	284	0.8	31,107	5,731	18.4	671,126	671,126	548.9	島 根
5	692	105,314	104,564	750	0.7	92,467	12,847	13.9	1,888,432	1,888,432	557.7	岡 山
2	1,326	157,489	156,805	684	0.4	133,732	23,757	17.8	2,799,702	2,799,702	562.5	広 島
2	597	78,793	78,419	374	0.5	68,909	9,884	14.3	1,342,059	1,342,059	587.1	山 口
0	307	41,766	40,753	1,013	2.5	35,345	6,421	18.2	719,559	711,284	587.2	徳 島
0	123	54,997	54,385	612	1.1	47,659	7,338	15.4	950,244	947,141	580.7	香 川
11	401	82,731	79,305	3,426	4.3	69,338	13,393	19.3	1,334,841	1,334,841	619.8	愛 媛
1	163	46,357	46,822	▲ 465	▲ 1.0	42,057	4,300	10.2	691,527	691,527	670.4	高 知
203	4,359	311,516	309,439	2,077	0.7	264,030	47,486	18.0	5,135,214	5,135,214	606.6	福 岡
0	795	43,879	43,880	▲ 1	▲ 0.0	36,798	7,081	19.2	811,442	811,442	540.8	佐 賀
5	427	76,981	76,134	847	1.1	67,429	9,552	14.2	1,312,317	1,312,317	586.6	長 崎
3	1,027	105,182	103,745	1,437	1.4	91,401	13,781	15.1	1,738,301	1,738,301	605.1	熊 本
2	529	66,372	64,204	2,168	3.4	55,555	10,817	19.5	1,123,852	1,123,852	590.6	大 分
1	212	56,872	55,111	1,761	3.2	47,514	9,358	19.7	1,069,576	1,059,761	536.6	宮 崎
2	921	100,993	99,484	1,509	1.5	86,247	14,746	17.1	1,588,256	1,587,111	636.3	鹿児島
6	1,243	100,423	97,749	2,674	2.7	81,515	18,908	23.2	1,467,480	1,449,724	692.7	沖 縄
1,990	86,154	7,718,380	7,638,558	79,822	1.0	6,639,767	1,078,613	16.2	126,146,099	126,095,170	612.1	合計・平均
2,128	87,512	7,638,558										
▲ 138	▲ 1,358	79,822										
▲ 6.5	▲ 1.6	1.0										

別表４ 救急自動車による都道府県別事故種別救急搬送人員

区分 都道府県	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為
北海道	238	14	78	9,935	2,553	1,110	43,824	534	2,234
青 森	72	3	30	2,545	429	277	7,406	101	356
岩 手	55	2	21	2,412	585	329	6,930	79	337
宮 城	95	10	16	4,799	1,098	775	15,890	325	1,005
秋 田	46	3	20	1,958	351	213	6,340	61	268
山 形	40	5	10	2,150	424	219	6,757	56	255
福 島	83	2	18	4,448	918	581	12,254	127	578
茨 城	126	2	43	9,541	1,692	1,190	20,378	400	994
栃 木	64	10	11	5,709	941	472	11,491	219	629
群 馬	95	0	12	5,938	1,048	688	14,111	207	692
埼 玉	255	14	23	21,355	3,423	2,463	58,244	1,157	2,700
千 葉	283	12	72	18,283	3,154	2,002	54,144	1,135	2,181
東 京	615	11	247	37,477	5,945	5,619	152,458	4,178	5,106
神奈川	310	39	88	22,951	3,589	3,016	90,590	1,709	3,021
新 潟	81	29	39	5,040	1,293	661	16,948	187	743
富 山	44	22	38	2,441	509	290	8,469	92	252
石 川	41	193	28	2,332	556	295	8,349	75	218
福 井	20	5	17	2,085	314	257	5,339	52	135
山 梨	33	1	10	2,965	690	435	7,668	85	288
長 野	122	0	18	5,403	947	666	18,561	226	614
岐 阜	107	3	56	6,820	1,197	788	16,139	186	595
静 岡	105	3	69	9,641	1,808	1,117	26,842	290	1,064
愛 知	285	10	60	20,226	3,718	2,229	55,041	911	2,654
三 重	51	0	28	5,822	940	568	15,514	191	422
滋 賀	35	3	13	4,881	780	490	10,630	130	388
京 都	125	4	26	9,560	1,167	910	25,773	420	840
大 阪	426	10	66	35,190	4,916	3,142	97,842	2,555	3,679
兵 庫	170	13	56	16,245	2,576	1,774	51,931	796	1,778
奈 良	44	0	8	4,419	819	505	13,987	167	448
和歌山	38	2	35	3,489	516	298	9,050	118	343
鳥 取	18	1	11	1,360	293	265	4,309	43	126
島 根	25	2	21	1,434	306	233	5,482	58	156
岡 山	88	1	36	6,219	941	668	15,418	167	558
広 島	98	2	40	7,620	1,179	737	22,157	274	782
山 口	37	15	28	3,115	598	385	11,047	121	337
徳 島	32	2	18	2,454	383	235	5,959	73	202
香 川	45	2	12	3,093	491	322	7,931	84	253
愛 媛	50	8	34	4,704	697	440	11,895	181	394
高 知	18	1	23	2,176	363	239	7,230	85	239
福 岡	136	34	65	13,115	2,217	1,754	45,460	699	1,845
佐 賀	17	13	12	2,497	362	430	5,803	83	206
長 崎	49	2	50	2,608	480	409	11,501	87	334
熊 本	55	2	31	5,108	922	755	15,484	178	567
大 分	40	8	28	3,030	479	422	10,083	118	270
宮 崎	23	43	23	2,424	545	350	6,878	99	354
鹿児島	55	14	53	4,542	910	619	13,459	200	516
沖 縄	48	0	91	4,213	468	470	12,901	305	570
合 計	4,938	575	1,832	355,772	60,530	42,112	1,101,897	19,624	42,526
令和5年中	4,997	382	1,808	360,549	58,752	40,766	1,059,922	19,147	42,977
増減数	▲ 59	193	24	▲ 4,777	1,778	1,346	41,975	477	▲ 451
増減率	▲ 1.2	50.5	1.3	▲ 1.3	3.0	3.3	4.0	2.5	▲ 1.0

(令和6年中 単位：人、%)

急病	転院搬送	その他 (左記以外)	合計	令和 5年中	増減数	対前年 増減率 (%)	令和 元年中	増減数	対R1年 増減率 (%)	区分
										都道府県
175,375	30,545	395	266,835	271,261	▲ 4,426	▲ 1.6	242,714	24,121	9.9	北海道
36,887	5,273	11	53,390	54,672	▲ 1,282	▲ 2.3	45,966	7,424	16.2	青森
36,344	6,237	6	53,337	54,367	▲ 1,030	▲ 1.9	48,912	4,425	9.0	岩手
76,915	13,428	5	114,361	112,950	1,411	1.2	101,893	12,468	12.2	宮城
30,751	3,007	4	43,022	44,546	▲ 1,524	▲ 3.4	38,381	4,641	12.1	秋田
30,998	4,603	10	45,527	46,718	▲ 1,191	▲ 2.5	42,708	2,819	6.6	山形
59,216	7,882	81	86,188	84,862	1,326	1.6	78,051	8,137	10.4	福島
99,284	11,514	23	145,187	143,046	2,141	1.5	124,004	21,183	17.1	茨城
56,864	9,563	11	85,984	84,814	1,170	1.4	76,177	9,807	12.9	栃木
64,469	9,946	34	97,240	94,628	2,612	2.8	86,402	10,838	12.5	群馬
257,808	29,369	66	376,877	363,306	13,571	3.7	316,556	60,321	19.1	埼玉
225,508	27,668	339	334,781	331,861	2,920	0.9	301,788	32,993	10.9	千葉
546,583	44,863	1	803,103	779,336	23,767	3.0	736,674	66,429	9.0	東京
351,515	31,818	156	508,802	499,129	9,673	1.9	445,832	62,970	14.1	神奈川
73,207	12,240	24	110,492	107,240	3,252	3.0	95,064	15,428	16.2	新潟
33,868	4,829	13	50,867	49,764	1,103	2.2	41,636	9,231	22.2	富山
35,809	4,933	77	52,906	50,035	2,871	5.7	41,323	11,583	28.0	石川
20,633	2,961	29	31,847	31,910	▲ 63	▲ 0.2	28,613	3,234	11.3	福井
29,287	3,024	8	44,494	43,453	1,041	2.4	37,904	6,590	17.4	山梨
72,425	10,665	20	109,667	106,054	3,613	3.4	93,702	15,965	17.0	長野
63,914	7,731	21	97,557	97,120	437	0.4	86,064	11,493	13.4	岐阜
114,523	20,669	89	176,220	173,467	2,753	1.6	157,117	19,103	12.2	静岡
272,869	27,840	45	385,888	379,080	6,808	1.8	332,749	53,139	16.0	愛知
68,111	8,848	10	100,505	102,533	▲ 2,028	▲ 2.0	91,890	8,615	9.4	三重
48,396	4,221	2	69,969	69,894	75	0.1	61,046	8,923	14.6	滋賀
103,005	8,168	37	150,035	144,994	5,041	3.5	133,317	16,718	12.5	京都
421,070	38,216	143	607,255	586,767	20,488	3.5	540,481	66,774	12.4	大阪
198,904	26,364	97	300,704	293,104	7,600	2.6	264,920	35,784	13.5	兵庫
55,517	7,413	0	83,327	81,523	1,804	2.2	71,228	12,099	17.0	奈良
36,358	4,257	14	54,518	53,758	760	1.4	48,478	6,040	12.5	和歌山
19,603	2,718	3	28,750	29,137	▲ 387	▲ 1.3	25,771	2,979	11.6	鳥取
23,394	3,583	3	34,697	34,184	513	1.5	29,255	5,442	18.6	島根
61,395	10,697	157	96,345	95,560	785	0.8	86,791	9,554	11.0	岡山
86,255	16,062	34	135,240	133,247	1,993	1.5	117,281	17,959	15.3	広島
42,868	9,644	23	68,218	67,740	478	0.7	61,414	6,804	11.1	山口
23,885	4,621	15	37,879	36,893	986	2.7	33,023	4,856	14.7	徳島
30,369	6,066	10	48,678	48,419	259	0.5	43,650	5,028	11.5	香川
47,364	10,146	15	75,928	72,735	3,193	4.4	64,597	11,331	17.5	愛媛
27,069	4,535	24	42,002	42,032	▲ 30	▲ 0.1	38,971	3,031	7.8	高知
187,598	24,187	539	277,649	272,576	5,073	1.9	241,181	36,468	15.1	福岡
24,796	6,020	287	40,526	40,373	153	0.4	34,366	6,160	17.9	佐賀
42,810	8,626	136	67,092	66,096	996	1.5	60,917	6,175	10.1	長崎
60,993	9,125	10	93,230	91,625	1,605	1.8	83,873	9,357	11.2	熊本
36,823	7,787	16	59,104	57,062	2,042	3.6	50,748	8,356	16.5	大分
30,021	6,876	12	47,648	46,553	1,095	2.4	42,908	4,740	11.0	宮崎
57,693	12,939	12	91,012	88,710	2,302	2.6	78,088	12,924	16.6	鹿児島
58,644	6,524	55	84,289	82,286	2,003	2.4	73,584	10,705	14.5	沖縄
4,557,993	578,251	3,122	6,769,172	6,641,420	127,752	1.9	5,978,008	791,164	13.2	合計・平均
4,495,904	552,422	3,794	6,641,420							
62,089	25,829	▲ 672	127,752							
1.4	4.7	▲ 17.7	1.9							

別表 5 都道府県別年齢区分別搬送人員構成比

(令和 6 年中 単位：人、%)

区分 都道府県	新生児		乳幼児		少年		成人		高齢者		合計
		割合 (%)		割合 (%)		割合 (%)		割合 (%)		割合 (%)	
北海道	498	(0.2)	7,929	(3.0)	6,855	(2.6)	73,621	(27.6)	177,932	(66.7)	266,835
青 森	80	(0.1)	1,490	(2.8)	1,352	(2.5)	13,510	(25.3)	36,958	(69.2)	53,390
岩 手	65	(0.1)	1,278	(2.4)	1,428	(2.7)	12,935	(24.3)	37,631	(70.6)	53,337
宮 城	222	(0.2)	3,858	(3.4)	3,724	(3.3)	34,305	(30.0)	72,252	(63.2)	114,361
秋 田	57	(0.1)	855	(2.0)	959	(2.2)	9,170	(21.3)	31,981	(74.3)	43,022
山 形	63	(0.1)	1,196	(2.6)	1,200	(2.6)	10,512	(23.1)	32,556	(71.5)	45,527
福 島	148	(0.2)	2,856	(3.3)	2,630	(3.1)	22,677	(26.3)	57,877	(67.2)	86,188
茨 城	315	(0.2)	6,473	(4.5)	5,634	(3.9)	43,002	(29.6)	89,763	(61.8)	145,187
栃 木	232	(0.3)	3,216	(3.7)	2,933	(3.4)	25,056	(29.1)	54,547	(63.4)	85,984
群 馬	207	(0.2)	3,688	(3.8)	3,391	(3.5)	26,951	(27.7)	63,003	(64.8)	97,240
埼 玉	1,176	(0.3)	20,025	(5.3)	14,250	(3.8)	112,786	(29.9)	228,640	(60.7)	376,877
千 葉	893	(0.3)	15,839	(4.7)	11,969	(3.6)	100,373	(30.0)	205,707	(61.4)	334,781
東 京	1,525	(0.2)	36,684	(4.6)	26,550	(3.3)	303,238	(37.8)	435,106	(54.2)	803,103
神奈川	1,115	(0.2)	25,976	(5.1)	18,571	(3.6)	155,843	(30.6)	307,297	(60.4)	508,802
新 潟	213	(0.2)	3,478	(3.1)	3,287	(3.0)	27,599	(25.0)	75,915	(68.7)	110,492
富 山	80	(0.2)	1,409	(2.8)	1,294	(2.5)	11,855	(23.3)	36,229	(71.2)	50,867
石 川	25	(0.0)	1,691	(3.2)	1,470	(2.8)	12,944	(24.5)	36,776	(69.5)	52,906
福 井	58	(0.2)	1,137	(3.6)	982	(3.1)	7,948	(25.0)	21,722	(68.2)	31,847
山 梨	57	(0.1)	1,831	(4.1)	1,842	(4.1)	12,759	(28.7)	28,005	(62.9)	44,494
長 野	147	(0.1)	3,527	(3.2)	3,441	(3.1)	26,568	(24.2)	75,984	(69.3)	109,667
岐 阜	92	(0.1)	3,446	(3.5)	3,382	(3.5)	25,337	(26.0)	65,300	(66.9)	97,557
静 岡	119	(0.1)	5,691	(3.2)	5,294	(3.0)	47,774	(27.1)	117,342	(66.6)	176,220
愛 知	928	(0.2)	16,415	(4.3)	13,408	(3.5)	116,556	(30.2)	238,581	(61.8)	385,888
三 重	236	(0.2)	4,045	(4.0)	3,576	(3.6)	27,550	(27.4)	65,098	(64.8)	100,505
滋 賀	110	(0.2)	2,919	(4.2)	2,684	(3.8)	19,004	(27.2)	45,252	(64.7)	69,969
京 都	86	(0.1)	5,317	(3.5)	4,920	(3.3)	42,069	(28.0)	97,643	(65.1)	150,035
大 阪	304	(0.1)	29,075	(4.8)	21,803	(3.6)	188,779	(31.1)	367,294	(60.5)	607,255
兵 庫	588	(0.2)	13,840	(4.6)	10,488	(3.5)	79,087	(26.3)	196,701	(65.4)	300,704
奈 良	128	(0.2)	3,816	(4.6)	3,126	(3.8)	20,996	(25.2)	55,261	(66.3)	83,327
和歌山	31	(0.1)	1,800	(3.3)	1,741	(3.2)	13,732	(25.2)	37,214	(68.3)	54,518
鳥 取	97	(0.3)	1,111	(3.9)	932	(3.2)	6,695	(23.3)	19,915	(69.3)	28,750
島 根	43	(0.1)	958	(2.8)	925	(2.7)	7,130	(20.5)	25,641	(73.9)	34,697
岡 山	72	(0.1)	3,116	(3.2)	3,012	(3.1)	25,118	(26.1)	65,027	(67.5)	96,345
広 島	268	(0.2)	4,715	(3.5)	4,380	(3.2)	36,491	(27.0)	89,386	(66.1)	135,240
山 口	136	(0.2)	1,789	(2.6)	1,686	(2.5)	15,105	(22.1)	49,502	(72.6)	68,218
徳 島	101	(0.3)	1,211	(3.2)	1,181	(3.1)	9,657	(25.5)	25,729	(67.9)	37,879
香 川	38	(0.1)	1,582	(3.2)	1,653	(3.4)	12,870	(26.4)	32,535	(66.8)	48,678
愛 媛	140	(0.2)	2,197	(2.9)	2,218	(2.9)	19,275	(25.4)	52,098	(68.6)	75,928
高 知	29	(0.1)	949	(2.3)	1,175	(2.8)	9,343	(22.2)	30,506	(72.6)	42,002
福 岡	648	(0.2)	11,063	(4.0)	9,442	(3.4)	78,922	(28.4)	177,574	(64.0)	277,649
佐 賀	61	(0.2)	1,340	(3.3)	1,429	(3.5)	10,748	(26.5)	26,948	(66.5)	40,526
長 崎	192	(0.3)	1,686	(2.5)	1,693	(2.5)	15,509	(23.1)	48,012	(71.6)	67,092
熊 本	41	(0.0)	2,899	(3.1)	3,074	(3.3)	23,651	(25.4)	63,565	(68.2)	93,230
大 分	44	(0.1)	2,030	(3.4)	1,913	(3.2)	13,956	(23.6)	41,161	(69.6)	59,104
宮 崎	156	(0.3)	1,363	(2.9)	1,510	(3.2)	11,851	(24.9)	32,768	(68.8)	47,648
鹿児島	149	(0.2)	2,753	(3.0)	2,958	(3.3)	23,036	(25.3)	62,116	(68.3)	91,012
沖 縄	281	(0.3)	4,000	(4.7)	3,567	(4.2)	25,538	(30.3)	50,903	(60.4)	84,289
合 計	12,294	(0.2)	275,562	(4.1)	226,932	(3.4)	1,969,431	(29.1)	4,284,953	(63.3)	6,769,172

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

別表 6 都道府県別傷病程度別搬送人員及び構成比

(令和 6 年中 単位：人、%)

区分 都道府県	死亡		重症(長期入院)		中等症(入院診療)		軽症(外来診療)		その他		合計
		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)	
北海道	5,928	(2.2)	23,985	(9.0)	119,053	(44.6)	117,717	(44.1)	152	(0.1)	266,835
青 森	1,623	(3.0)	7,273	(13.6)	22,286	(41.7)	22,201	(41.6)	7	(0.0)	53,390
岩 手	1,621	(3.0)	5,712	(10.7)	23,588	(44.2)	22,399	(42.0)	17	(0.0)	53,337
宮 城	1,318	(1.2)	10,499	(9.2)	65,962	(57.7)	36,580	(32.0)	2	(0.0)	114,361
秋 田	1,141	(2.7)	8,546	(19.9)	13,845	(32.2)	19,489	(45.3)	1	(0.0)	43,022
山 形	1,147	(2.5)	5,254	(11.5)	19,726	(43.3)	19,394	(42.6)	6	(0.0)	45,527
福 島	2,026	(2.4)	8,345	(9.7)	35,668	(41.4)	40,149	(46.6)	0	(0.0)	86,188
茨 城	2,594	(1.8)	11,745	(8.1)	63,436	(43.7)	67,398	(46.4)	14	(0.0)	145,187
栃 木	1,216	(1.4)	8,936	(10.4)	42,238	(49.1)	33,588	(39.1)	6	(0.0)	85,984
群 馬	835	(0.9)	11,216	(11.5)	53,116	(54.6)	32,049	(33.0)	24	(0.0)	97,240
埼 玉	3,709	(1.0)	29,044	(7.7)	159,991	(42.5)	184,058	(48.8)	75	(0.0)	376,877
千 葉	3,210	(1.0)	22,174	(6.6)	152,927	(45.7)	156,446	(46.7)	24	(0.0)	334,781
東 京	6,932	(0.9)	50,653	(6.3)	321,558	(40.0)	423,960	(52.8)	0	(0.0)	803,103
神奈川	4,085	(0.8)	35,777	(7.0)	240,137	(47.2)	228,740	(45.0)	63	(0.0)	508,802
新 潟	2,663	(2.4)	11,145	(10.1)	56,051	(50.7)	40,623	(36.8)	10	(0.0)	110,492
富 山	828	(1.6)	4,240	(8.3)	26,349	(51.8)	19,449	(38.2)	1	(0.0)	50,867
石 川	1,145	(2.2)	5,936	(11.2)	23,385	(44.2)	22,317	(42.2)	123	(0.2)	52,906
福 井	477	(1.5)	3,693	(11.6)	14,286	(44.9)	13,390	(42.0)	1	(0.0)	31,847
山 梨	710	(1.6)	3,658	(8.2)	19,519	(43.9)	20,607	(46.3)	0	(0.0)	44,494
長 野	1,591	(1.5)	10,431	(9.5)	51,715	(47.2)	45,909	(41.9)	21	(0.0)	109,667
岐 阜	806	(0.8)	10,776	(11.0)	49,845	(51.1)	36,117	(37.0)	13	(0.0)	97,557
静 岡	1,758	(1.0)	9,645	(5.5)	88,422	(50.2)	76,393	(43.4)	2	(0.0)	176,220
愛 知	4,186	(1.1)	18,769	(4.9)	157,171	(40.7)	205,755	(53.3)	7	(0.0)	385,888
三 重	2,366	(2.4)	9,895	(9.8)	35,727	(35.5)	52,505	(52.2)	12	(0.0)	100,505
滋 賀	661	(0.9)	2,642	(3.8)	24,450	(34.9)	42,205	(60.3)	11	(0.0)	69,969
京 都	1,422	(0.9)	7,619	(5.1)	51,189	(34.1)	89,795	(59.8)	10	(0.0)	150,035
大 阪	7,755	(1.3)	11,847	(2.0)	231,109	(38.1)	356,519	(58.7)	25	(0.0)	607,255
兵 庫	2,907	(1.0)	16,209	(5.4)	132,744	(44.1)	148,833	(49.5)	11	(0.0)	300,704
奈 良	801	(1.0)	4,711	(5.7)	38,439	(46.1)	39,372	(47.2)	4	(0.0)	83,327
和歌山	1,133	(2.1)	4,167	(7.6)	20,578	(37.7)	28,621	(52.5)	19	(0.0)	54,518
鳥 取	272	(0.9)	2,760	(9.6)	15,593	(54.2)	10,116	(35.2)	9	(0.0)	28,750
島 根	512	(1.5)	3,213	(9.3)	18,828	(54.3)	12,064	(34.8)	80	(0.2)	34,697
岡 山	2,030	(2.1)	10,388	(10.8)	41,405	(43.0)	42,519	(44.1)	3	(0.0)	96,345
広 島	1,849	(1.4)	10,858	(8.0)	68,148	(50.4)	54,324	(40.2)	61	(0.0)	135,240
山 口	954	(1.4)	4,349	(6.4)	37,783	(55.4)	25,132	(36.8)	0	(0.0)	68,218
徳 島	770	(2.0)	4,438	(11.7)	15,589	(41.2)	17,079	(45.1)	3	(0.0)	37,879
香 川	765	(1.6)	4,929	(10.1)	23,542	(48.4)	19,377	(39.8)	65	(0.1)	48,678
愛 媛	1,375	(1.8)	7,478	(9.8)	29,561	(38.9)	37,512	(49.4)	2	(0.0)	75,928
高 知	706	(1.7)	5,365	(12.8)	18,059	(43.0)	17,706	(42.2)	166	(0.4)	42,002
福 岡	1,577	(0.6)	13,217	(4.8)	156,274	(56.3)	105,941	(38.2)	640	(0.2)	277,649
佐 賀	746	(1.8)	4,537	(11.2)	20,499	(50.6)	14,740	(36.4)	4	(0.0)	40,526
長 崎	967	(1.4)	5,493	(8.2)	37,410	(55.8)	22,828	(34.0)	394	(0.6)	67,092
熊 本	798	(0.9)	8,530	(9.1)	52,474	(56.3)	31,400	(33.7)	28	(0.0)	93,230
大 分	987	(1.7)	7,670	(13.0)	30,262	(51.2)	20,148	(34.1)	37	(0.1)	59,104
宮 崎	1,006	(2.1)	8,303	(17.4)	20,314	(42.6)	18,011	(37.8)	14	(0.0)	47,648
鹿児島	825	(0.9)	6,958	(7.6)	49,187	(54.0)	34,018	(37.4)	24	(0.0)	91,012
沖 縄	1,466	(1.7)	8,443	(10.0)	28,474	(33.8)	45,857	(54.4)	49	(0.1)	84,289
合 計	86,199	(1.3)	491,471	(7.3)	3,017,912	(44.6)	3,171,350	(46.8)	2,240	(0.0)	6,769,172

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

別表 7 の 1 現場到着所要時間別出動件数の状況

(入電から現場到着までの所要時間別出動件数)

(令和 6 年中 単位：件、分)

区分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計	平 均 (分)	令和 5 年中 平均 (分)	令和 4 年中 平均 (分)
都道府県									
北海道	2,446	18,452	171,022	97,395	12,549	301,864	9.5	9.2	9.4
青 森	399	1,508	30,008	24,761	1,782	58,458	10.1	10.0	10.0
岩 手	385	2,266	30,652	21,439	3,183	57,925	10.1	10.3	10.5
宮 城	720	4,103	71,323	50,602	3,512	130,260	9.6	9.9	10.0
秋 田	630	1,762	26,298	16,455	1,378	46,523	9.4	9.5	9.9
山 形	210	1,955	29,229	16,524	1,315	49,233	9.2	9.6	9.8
福 島	954	1,441	39,965	48,104	4,402	94,866	10.8	11.1	11.5
茨 城	1,122	2,929	79,110	74,823	4,667	162,651	10.1	10.2	10.5
栃 木	869	5,709	55,288	34,978	2,520	99,364	9.2	9.3	9.4
群 馬	1,047	6,211	67,943	32,968	2,535	110,704	8.8	9.0	9.2
埼 玉	1,240	7,923	241,397	189,218	9,659	449,437	9.8	9.9	10.1
千 葉	1,396	5,443	188,634	187,516	15,829	398,818	10.5	10.5	10.8
東 京	1,420	3,376	246,891	585,618	103,965	941,270	13.1	14.2	14.3
神奈川	2,168	11,245	310,422	258,850	20,110	602,795	10.1	10.1	10.4
新 潟	835	4,480	69,199	44,953	2,709	122,176	9.3	9.6	10.0
富 山	496	3,510	36,004	13,498	421	53,929	8.1	8.2	8.5
石 川	520	4,467	41,406	11,281	1,374	59,048	8.3	8.0	8.6
福 井	494	2,785	22,081	8,524	439	34,323	8.1	8.2	8.4
山 梨	255	971	24,054	21,096	1,904	48,280	10.3	10.4	10.6
長 野	876	5,758	65,433	40,107	4,567	116,741	9.5	9.9	10.2
岐 阜	842	4,569	66,461	30,054	2,294	104,220	8.8	9.0	9.2
静 岡	881	4,508	108,505	78,714	5,563	198,171	9.8	9.9	10.1
愛 知	2,494	24,580	297,190	98,388	3,195	425,847	8.1	8.2	8.4
三 重	1,147	4,919	67,999	33,399	1,953	109,417	8.8	9.1	9.6
滋 賀	375	3,120	44,869	26,214	1,314	75,892	9.1	9.3	9.4
京 都	749	12,076	120,206	33,722	2,207	168,960	7.9	8.1	8.2
大 阪	2,398	29,018	467,695	199,532	5,447	704,090	8.5	8.8	10.0
兵 庫	1,219	9,593	209,979	117,171	6,807	344,769	9.2	9.3	9.5
奈 良	434	1,611	47,117	39,808	2,862	91,832	10.1	10.4	10.5
和歌山	445	3,811	37,104	16,725	1,431	59,516	8.7	8.8	9.0
鳥 取	202	1,093	17,183	11,233	787	30,498	9.3	9.5	9.6
島 根	233	1,368	21,028	12,680	1,529	36,838	9.6	9.6	9.9
岡 山	604	3,710	60,904	37,450	2,646	105,314	9.3	9.4	9.5
広 島	1,199	7,577	89,060	55,510	4,143	157,489	9.3	9.3	9.6
山 口	486	2,972	40,983	31,412	2,940	78,793	9.9	9.9	10.1
徳 島	619	2,881	23,848	13,054	1,364	41,766	9.1	9.4	9.6
香 川	312	1,208	26,717	25,627	1,133	54,997	9.9	9.9	10.0
愛 媛	803	3,270	47,675	28,100	2,883	82,731	9.4	9.6	10.0
高 知	468	1,714	22,617	19,342	2,216	46,357	10.3	10.0	10.1
福 岡	1,727	10,619	190,187	105,048	3,935	311,516	9.0	9.1	9.5
佐 賀	216	753	21,265	20,203	1,442	43,879	10.2	10.4	10.7
長 崎	917	4,389	36,430	31,567	3,678	76,981	10.0	10.1	10.2
熊 本	627	3,887	60,694	37,210	2,764	105,182	9.4	9.4	9.7
大 分	622	3,842	39,435	20,157	2,316	66,372	9.1	9.3	9.4
宮 崎	298	1,268	27,751	24,952	2,603	56,872	10.4	10.5	10.6
鹿児島	1,017	6,320	53,000	37,148	3,508	100,993	9.5	9.6	9.8
沖 縄	485	2,939	60,578	34,626	1,795	100,423	9.1	9.3	9.4
合 計 (割合)	40,301 (0.5)	253,909 (3.3)	4,152,839 (53.8)	2,997,756 (38.8)	273,575 (3.5)	7,718,380 (100)	9.8 —	10.0 —	10.3 —

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

別表 7 の 2 現場到着所要時間別出動件数の構成比

(入電から現場到着までの所要時間別出動件数の構成比)

(令和 6 年中 単位 : %)

区分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計
都道府県						
北海道	0.8	6.1	56.7	32.3	4.2	100
青 森	0.7	2.6	51.3	42.4	3.0	100
岩 手	0.7	3.9	52.9	37.0	5.5	100
宮 城	0.6	3.1	54.8	38.8	2.7	100
秋 田	1.4	3.8	56.5	35.4	3.0	100
山 形	0.4	4.0	59.4	33.6	2.7	100
福 島	1.0	1.5	42.1	50.7	4.6	100
茨 城	0.7	1.8	48.6	46.0	2.9	100
栃 木	0.9	5.7	55.6	35.2	2.5	100
群 馬	0.9	5.6	61.4	29.8	2.3	100
埼 玉	0.3	1.8	53.7	42.1	2.1	100
千 葉	0.4	1.4	47.3	47.0	4.0	100
東 京	0.2	0.4	26.2	62.2	11.0	100
神奈川	0.4	1.9	51.5	42.9	3.3	100
新 潟	0.7	3.7	56.6	36.8	2.2	100
富 山	0.9	6.5	66.8	25.0	0.8	100
石 川	0.9	7.6	70.1	19.1	2.3	100
福 井	1.4	8.1	64.3	24.8	1.3	100
山 梨	0.5	2.0	49.8	43.7	3.9	100
長 野	0.8	4.9	56.0	34.4	3.9	100
岐 阜	0.8	4.4	63.8	28.8	2.2	100
静 岡	0.4	2.3	54.8	39.7	2.8	100
愛 知	0.6	5.8	69.8	23.1	0.8	100
三 重	1.0	4.5	62.1	30.5	1.8	100
滋 賀	0.5	4.1	59.1	34.5	1.7	100
京 都	0.4	7.1	71.1	20.0	1.3	100
大 阪	0.3	4.1	66.4	28.3	0.8	100
兵 庫	0.4	2.8	60.9	34.0	2.0	100
奈 良	0.5	1.8	51.3	43.3	3.1	100
和歌山	0.7	6.4	62.3	28.1	2.4	100
鳥 取	0.7	3.6	56.3	36.8	2.6	100
島 根	0.6	3.7	57.1	34.4	4.2	100
岡 山	0.6	3.5	57.8	35.6	2.5	100
広 島	0.8	4.8	56.5	35.2	2.6	100
山 口	0.6	3.8	52.0	39.9	3.7	100
徳 島	1.5	6.9	57.1	31.3	3.3	100
香 川	0.6	2.2	48.6	46.6	2.1	100
愛 媛	1.0	4.0	57.6	34.0	3.5	100
高 知	1.0	3.7	48.8	41.7	4.8	100
福 岡	0.6	3.4	61.1	33.7	1.3	100
佐 賀	0.5	1.7	48.5	46.0	3.3	100
長 崎	1.2	5.7	47.3	41.0	4.8	100
熊 本	0.6	3.7	57.7	35.4	2.6	100
大 分	0.9	5.8	59.4	30.4	3.5	100
宮 崎	0.5	2.2	48.8	43.9	4.6	100
鹿児島	1.0	6.3	52.5	36.8	3.5	100
沖 縄	0.5	2.9	60.3	34.5	1.8	100
合 計	0.5	3.3	53.8	38.8	3.5	100

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

別表 8 の 1 病院収容所要時間別搬送人員の状況
(入電から医師引継ぎまでに要した時間別搬送人員)

(令和 6 年中 単位：人)

区分 都道府県	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合 計	平 均 (分)	令和5年中 平均(分)	区分
北海道	13 (0)	5,588 (28)	47,597 (1,169)	168,980 (18,806)	42,054 (12,943)	2,603 (1,491)	266,835 (34,437)	44.6	44.0	北海道
青森	3 (0)	685 (14)	9,856 (268)	36,260 (2,501)	6,375 (1,265)	211 (95)	53,390 (4,143)	42.3	43.3	青森
岩手	8 (0)	407 (9)	6,606 (320)	36,504 (3,525)	9,351 (2,255)	461 (250)	53,337 (6,359)	46.7	47.4	岩手
宮城	9 (1)	785 (4)	13,439 (409)	77,894 (11,143)	21,516 (7,156)	718 (330)	114,361 (19,043)	47.1	48.3	宮城
秋田	5 (0)	1,002 (1)	10,869 (81)	27,215 (4,004)	3,810 (2,090)	121 (61)	43,022 (6,238)	39.2	40.0	秋田
山形	0 (0)	356 (7)	7,664 (376)	32,470 (7,155)	4,931 (2,703)	106 (73)	45,527 (10,314)	42.0	43.0	山形
福島	8 (1)	414 (2)	8,342 (214)	56,468 (5,744)	19,947 (5,451)	1,009 (598)	86,188 (12,010)	50.2	52.0	福島
茨城	4 (0)	885 (37)	15,636 (1,237)	101,917 (31,951)	25,498 (18,031)	1,247 (1,058)	145,187 (52,314)	47.1	47.7	茨城
栃木	11 (0)	969 (13)	11,145 (496)	58,114 (10,627)	15,131 (6,788)	614 (424)	85,984 (18,348)	46.4	47.3	栃木
群馬	6 (0)	1,632 (27)	17,852 (845)	66,947 (13,370)	10,421 (5,038)	382 (243)	97,240 (19,523)	41.8	41.9	群馬
埼玉	6 (0)	1,274 (86)	32,291 (3,168)	260,374 (55,676)	77,315 (35,770)	5,617 (3,990)	376,877 (98,690)	49.8	50.9	埼玉
千葉	6 (0)	908 (28)	19,645 (1,595)	211,060 (47,711)	95,150 (39,074)	8,012 (4,933)	334,781 (93,341)	54.9	55.4	千葉
東京	0 (0)	160 (2)	11,932 (148)	463,222 (8,053)	306,255 (9,009)	21,534 (869)	803,103 (18,081)	60.5	63.9	東京
神奈川	11 (0)	2,278 (74)	57,287 (4,735)	362,845 (51,370)	83,500 (17,037)	2,881 (798)	508,802 (74,014)	46.3	46.1	神奈川
新潟	12 (2)	932 (30)	15,663 (482)	76,127 (9,361)	17,051 (6,489)	707 (381)	110,492 (16,745)	45.1	46.1	新潟
富山	1 (0)	1,602 (47)	19,219 (998)	29,019 (4,927)	975 (411)	51 (16)	50,867 (6,399)	33.1	33.4	富山
石川	7 (0)	1,573 (42)	16,338 (1,368)	31,347 (8,496)	3,093 (1,565)	548 (447)	52,906 (11,918)	38.0	36.6	石川
福井	4 (0)	1,837 (8)	10,747 (555)	17,548 (6,524)	1,864 (1,179)	47 (33)	31,847 (8,299)	35.3	36.0	福井
山梨	5 (2)	207 (9)	5,438 (344)	30,636 (7,294)	7,713 (4,309)	495 (327)	44,494 (12,285)	46.9	46.6	山梨
長野	6 (0)	1,455 (7)	23,874 (235)	73,327 (6,294)	10,660 (2,799)	345 (101)	109,667 (9,436)	40.5	41.2	長野
岐阜	4 (0)	2,537 (82)	30,075 (2,830)	56,537 (17,899)	6,193 (3,429)	211 (154)	97,557 (24,394)	36.6	37.3	岐阜
静岡	5 (0)	1,472 (21)	27,452 (1,055)	127,558 (13,987)	19,032 (5,783)	701 (281)	176,220 (21,127)	42.5	43.1	静岡
愛知	23 (1)	12,031 (262)	135,263 (14,653)	227,748 (66,047)	10,467 (5,173)	356 (226)	385,888 (86,362)	34.0	34.5	愛知
三重	8 (0)	2,281 (11)	23,396 (713)	65,940 (10,117)	8,616 (5,136)	284 (200)	100,505 (16,177)	39.4	40.4	三重
滋賀	5 (0)	2,636 (53)	23,304 (1,270)	41,804 (4,423)	2,176 (833)	44 (13)	69,969 (6,592)	34.4	35.1	滋賀
京都	6 (0)	5,497 (253)	54,996 (4,910)	83,004 (15,085)	6,350 (2,593)	182 (107)	150,035 (22,948)	34.3	36.4	京都
大阪	9 (1)	8,136 (533)	139,309 (16,428)	413,025 (104,498)	44,532 (21,762)	2,244 (1,363)	607,255 (144,585)	39.2	41.0	大阪
兵庫	20 (0)	4,651 (140)	62,028 (4,544)	204,611 (35,478)	28,541 (11,316)	853 (516)	300,704 (51,994)	40.6	42.0	兵庫
奈良	6 (0)	703 (31)	12,096 (978)	57,843 (8,056)	12,121 (2,335)	558 (146)	83,327 (11,546)	44.6	46.6	奈良
和歌山	3 (0)	1,005 (62)	11,191 (1,006)	35,519 (9,968)	6,515 (4,174)	285 (214)	54,518 (15,424)	41.9	42.8	和歌山
鳥取	1 (0)	1,077 (0)	8,661 (14)	17,698 (210)	1,286 (123)	27 (14)	28,750 (361)	35.9	36.9	鳥取
島根	3 (0)	1,238 (21)	10,022 (93)	20,010 (2,478)	3,356 (1,429)	68 (57)	34,697 (4,078)	38.7	38.7	島根
岡山	4 (0)	1,404 (6)	19,812 (697)	64,183 (10,543)	10,676 (5,424)	266 (196)	96,345 (16,866)	41.3	41.4	岡山
広島	26 (1)	1,630 (12)	19,775 (510)	91,819 (8,365)	21,008 (5,507)	982 (340)	135,240 (14,735)	45.2	44.8	広島
山口	3 (0)	1,232 (16)	10,736 (463)	45,970 (4,313)	9,994 (2,625)	283 (145)	68,218 (7,562)	44.0	44.6	山口
徳島	5 (0)	934 (48)	8,021 (1,118)	23,496 (8,635)	5,150 (3,316)	273 (203)	37,879 (13,320)	42.6	44.1	徳島
香川	8 (0)	800 (6)	8,271 (730)	32,736 (7,736)	6,545 (3,051)	318 (210)	48,678 (11,733)	43.5	42.8	香川
愛媛	6 (0)	2,498 (11)	18,118 (483)	46,578 (7,105)	8,446 (3,514)	282 (106)	75,928 (11,219)	40.4	41.1	愛媛
高知	5 (0)	536 (15)	6,246 (635)	28,387 (9,949)	6,548 (4,534)	280 (228)	42,002 (15,361)	45.1	45.8	高知
福岡	36 (1)	7,498 (283)	78,881 (7,853)	177,774 (39,319)	13,125 (5,046)	335 (156)	277,649 (52,858)	36.3	36.9	福岡
佐賀	3 (0)	615 (5)	7,934 (241)	28,892 (4,011)	3,019 (1,006)	63 (30)	40,526 (5,293)	39.9	40.5	佐賀
長崎	16 (0)	1,755 (20)	11,904 (166)	43,309 (2,284)	9,864 (1,741)	244 (77)	67,092 (4,288)	43.4	44.0	長崎
熊本	2 (0)	1,440 (7)	19,036 (447)	61,498 (11,146)	10,921 (5,339)	333 (224)	93,230 (17,163)	41.6	41.8	熊本
大分	6 (0)	1,672 (34)	15,760 (512)	34,989 (5,432)	6,528 (3,410)	149 (88)	59,104 (9,476)	39.8	40.0	大分
宮崎	29 (1)	923 (2)	7,724 (24)	30,961 (2,067)	7,764 (2,494)	247 (144)	47,648 (4,732)	44.7	45.0	宮崎
鹿児島	18 (0)	3,221 (10)	20,965 (196)	55,557 (7,237)	10,941 (5,151)	310 (207)	91,012 (12,801)	41.0	41.6	鹿児島
沖縄	2 (0)	1,449 (289)	23,035 (8,806)	57,233 (32,095)	2,522 (1,804)	48 (42)	84,289 (43,036)	35.8	36.1	沖縄
合計	387 (12)	95,820 (2,708)	1,175,451 (90,418)	4,394,953 (763,015)	1,044,646 (299,410)	57,915 (22,205)	6,769,172 (1,177,768)	44.6	45.6	合計

(注) () 書きは、管外搬送分で内書きである。

別表 8 の 2 病院収容所要時間別搬送人員の構成比
(入電から医師引継ぎまでに要した時間別搬送人員の構成比) (令和 6 年中 単位: %)

区分 都道府県	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合計	区分 都道府県
北海道	0.0 (0.0)	2.1 (0.1)	17.8 (3.4)	63.3 (54.6)	15.8 (37.6)	1.0 (4.3)	100	北海道
青森	0.0 (0.0)	1.3 (0.3)	18.5 (6.5)	67.9 (60.4)	11.9 (30.5)	0.4 (2.3)	100	青森
岩手	0.0 (0.0)	0.8 (0.1)	12.4 (5.0)	68.4 (55.4)	17.5 (35.5)	0.9 (3.9)	100	岩手
宮城	0.0 (0.0)	0.7 (0.0)	11.8 (2.1)	68.1 (58.5)	18.8 (37.6)	0.6 (1.7)	100	宮城
秋田	0.0 (0.0)	2.3 (0.0)	25.3 (1.3)	63.3 (64.2)	8.9 (33.5)	0.3 (1.0)	100	秋田
山形	0.0 (0.0)	0.8 (0.1)	16.8 (3.6)	71.3 (69.4)	10.8 (26.2)	0.2 (0.7)	100	山形
福島	0.0 (0.0)	0.5 (0.0)	9.7 (1.8)	65.5 (47.8)	23.1 (45.4)	1.2 (5.0)	100	福島
茨城	0.0 (0.0)	0.6 (0.1)	10.8 (2.4)	70.2 (61.1)	17.6 (34.5)	0.9 (2.0)	100	茨城
栃木	0.0 (0.0)	1.1 (0.1)	13.0 (2.7)	67.6 (57.9)	17.6 (37.0)	0.7 (2.3)	100	栃木
群馬	0.0 (0.0)	1.7 (0.1)	18.4 (4.3)	68.8 (68.5)	10.7 (25.8)	0.4 (1.2)	100	群馬
埼玉	0.0 (0.0)	0.3 (0.1)	8.6 (3.2)	69.1 (56.4)	20.5 (36.2)	1.5 (4.0)	100	埼玉
千葉	0.0 (0.0)	0.3 (0.0)	5.9 (1.7)	63.0 (51.1)	28.4 (41.9)	2.4 (5.3)	100	千葉
東京	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	1.5 (0.0)	57.7 (44.5)	38.1 (49.8)	2.7 (4.8)	100	東京
神奈川	0.0 (0.0)	0.4 (0.1)	11.3 (6.4)	71.3 (69.4)	16.4 (23.0)	0.6 (1.1)	100	神奈川
新潟	0.0 (0.0)	0.8 (0.2)	14.2 (2.9)	68.9 (55.9)	15.4 (38.8)	0.6 (2.3)	100	新潟
富山	0.0 (0.0)	3.1 (0.7)	37.8 (15.6)	57.0 (77.0)	1.9 (6.4)	0.1 (0.3)	100	富山
石川	0.0 (0.0)	3.0 (0.4)	30.9 (11.5)	59.3 (71.3)	5.8 (13.1)	1.0 (3.8)	100	石川
福井	0.0 (0.0)	5.8 (0.1)	33.7 (6.7)	55.1 (78.6)	5.2 (14.2)	0.1 (0.4)	100	福井
山梨	0.0 (0.0)	0.5 (0.1)	12.2 (2.8)	68.9 (59.4)	17.3 (35.1)	1.1 (2.7)	100	山梨
長野	0.0 (0.0)	1.3 (0.1)	21.8 (2.5)	66.9 (66.7)	9.7 (29.7)	0.3 (1.1)	100	長野
岐阜	0.0 (0.0)	2.6 (0.3)	30.8 (11.6)	60.0 (73.4)	6.3 (14.1)	0.2 (0.6)	100	岐阜
静岡	0.0 (0.0)	0.8 (0.1)	15.6 (5.0)	72.4 (66.2)	10.8 (27.4)	0.4 (1.3)	100	静岡
愛知	0.0 (0.0)	3.1 (0.3)	35.1 (17.0)	59.0 (76.5)	2.7 (6.0)	0.1 (0.3)	100	愛知
三重	0.0 (0.0)	2.3 (0.1)	23.3 (4.4)	65.6 (62.5)	8.6 (31.7)	0.3 (1.2)	100	三重
滋賀	0.0 (0.0)	3.8 (0.8)	33.3 (19.3)	59.7 (67.1)	3.1 (12.6)	0.1 (0.2)	100	滋賀
京都	0.0 (0.0)	3.7 (1.1)	36.7 (21.4)	55.3 (65.7)	4.2 (11.3)	0.1 (0.5)	100	京都
大阪	0.0 (0.0)	1.3 (0.4)	22.9 (11.4)	68.0 (72.3)	7.3 (15.1)	0.4 (0.9)	100	大阪
兵庫	0.0 (0.0)	1.5 (0.3)	20.6 (8.7)	68.0 (68.2)	9.5 (21.8)	0.3 (1.0)	100	兵庫
奈良	0.0 (0.0)	0.8 (0.3)	14.5 (8.5)	69.4 (69.8)	14.5 (20.2)	0.7 (1.3)	100	奈良
和歌山	0.0 (0.0)	1.8 (0.4)	20.5 (6.5)	65.2 (64.6)	12.0 (27.1)	0.5 (1.4)	100	和歌山
鳥取	0.0 (0.0)	3.7 (0.0)	30.1 (3.9)	61.6 (58.2)	4.5 (34.1)	0.1 (3.9)	100	鳥取
島根	0.0 (0.0)	3.6 (0.5)	28.9 (2.3)	57.7 (60.8)	9.7 (35.0)	0.2 (1.4)	100	島根
岡山	0.0 (0.0)	1.5 (0.0)	20.6 (4.1)	66.6 (62.5)	11.1 (32.2)	0.3 (1.2)	100	岡山
広島	0.0 (0.0)	1.2 (0.1)	14.6 (3.5)	67.9 (56.8)	15.5 (37.4)	0.7 (2.3)	100	広島
山口	0.0 (0.0)	1.8 (0.2)	15.7 (6.1)	67.4 (57.0)	14.7 (34.7)	0.4 (1.9)	100	山口
徳島	0.0 (0.0)	2.5 (0.4)	21.2 (8.4)	62.0 (64.8)	13.6 (24.9)	0.7 (1.5)	100	徳島
香川	0.0 (0.0)	1.6 (0.1)	17.0 (6.2)	67.3 (65.9)	13.4 (26.0)	0.7 (1.8)	100	香川
愛媛	0.0 (0.0)	3.3 (0.1)	23.9 (4.3)	61.3 (63.3)	11.1 (31.3)	0.4 (0.9)	100	愛媛
高知	0.0 (0.0)	1.3 (0.1)	14.9 (4.1)	67.6 (64.8)	15.6 (29.5)	0.7 (1.5)	100	高知
福岡	0.0 (0.0)	2.7 (0.5)	28.4 (14.9)	64.0 (74.7)	4.7 (9.6)	0.1 (0.3)	100	福岡
佐賀	0.0 (0.0)	1.5 (0.1)	19.6 (4.6)	71.3 (75.8)	7.4 (19.0)	0.2 (0.6)	100	佐賀
長崎	0.0 (0.0)	2.6 (0.5)	17.7 (3.9)	64.6 (53.3)	14.7 (40.6)	0.4 (1.8)	100	長崎
熊本	0.0 (0.0)	1.5 (0.0)	20.4 (2.6)	66.0 (64.9)	11.7 (31.1)	0.4 (1.3)	100	熊本
大分	0.0 (0.0)	2.8 (0.4)	26.7 (5.4)	59.2 (57.3)	11.0 (36.0)	0.3 (0.9)	100	大分
宮崎	0.1 (0.0)	1.9 (0.0)	16.2 (0.5)	65.0 (43.7)	16.3 (52.7)	0.5 (3.0)	100	宮崎
鹿児島	0.0 (0.0)	3.5 (0.1)	23.0 (1.5)	61.0 (56.5)	12.0 (40.2)	0.3 (1.6)	100	鹿児島
沖縄	0.0 (0.0)	1.7 (0.7)	27.3 (20.5)	67.9 (74.6)	3.0 (4.2)	0.1 (0.1)	100	沖縄
合計	0.0 (0.0)	1.4 (0.2)	17.4 (7.7)	64.9 (64.8)	15.4 (25.4)	0.9 (1.9)	100	合計

(注) 1 () 書きは、管外搬送分で内書きである。
2 割合の算出に当たっては、端数処理 (四捨五入) のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

別表 9 入電時刻別事故種別搬送人員の状況及び構成比

(令和6年中 単位：人・％)

時刻 \ 事故種別		急 病	交 通	一般負傷	その他 (左記以外)	合 計
合 計		4,557,993 (100)	355,772 (100)	1,101,897 (100)	753,510 (100)	6,769,172 (100)
時 刻	0～2時 (構成比)	222,119 (4.9)	7,643 (2.1)	36,571 (3.3)	16,166 (2.1)	282,499 (4.2)
	2～4時 (構成比)	184,218 (4.0)	5,259 (1.5)	26,603 (2.4)	11,273 (1.5)	227,353 (3.4)
	4～6時 (構成比)	201,774 (4.4)	7,615 (2.1)	32,227 (2.9)	9,939 (1.3)	251,555 (3.7)
	6～8時 (構成比)	337,625 (7.4)	27,202 (7.6)	71,563 (6.5)	13,466 (1.8)	449,856 (6.6)
	8～10時 (構成比)	551,676 (12.1)	47,232 (13.3)	142,498 (12.9)	75,166 (10.0)	816,572 (12.1)
	10～12時 (構成比)	532,252 (11.7)	44,157 (12.4)	146,446 (13.3)	160,085 (21.2)	882,940 (13.0)
	12～14時 (構成比)	485,563 (10.7)	42,003 (11.8)	129,719 (11.8)	145,521 (19.3)	802,806 (11.9)
	14～16時 (構成比)	448,889 (9.8)	44,110 (12.4)	125,903 (11.4)	106,089 (14.1)	724,991 (10.7)
	16～18時 (構成比)	446,767 (9.8)	52,313 (14.7)	128,438 (11.7)	101,421 (13.5)	728,939 (10.8)
	18～20時 (構成比)	455,975 (10.0)	42,549 (12.0)	113,256 (10.3)	54,788 (7.3)	666,568 (9.8)
	20～22時 (構成比)	390,712 (8.6)	22,164 (6.2)	89,351 (8.1)	34,884 (4.6)	537,111 (7.9)
	22～24時 (構成比)	300,423 (6.6)	13,525 (3.8)	59,322 (5.4)	24,712 (3.3)	397,982 (5.9)

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

別表10 発生場所別傷病程度別搬送人員

(令和6年中 単位：人)

		R6年					
		死亡	重症 (長期入院)	中等症 (入院診療)	軽症 (外来診療)	その他	合計
住 宅	(1) 居間、応接室、寝室等の部屋	40,881	209,440	1,478,581	1,562,520	704	3,292,126
	(2) 廊下、玄関等の通路	3,222	20,135	148,095	209,785	144	381,381
	(3) 階段、踊場	389	2,605	16,318	22,370	11	41,693
	(4) 便所・便所	2,763	7,546	35,297	32,893	30	78,529
	(5) 浴室：浴室、シャワー室、洗面所	7,900	8,586	24,227	26,307	12	67,032
	(6) 台所：台所、食堂	1,191	4,406	16,940	20,198	11	42,746
	(7) エレベーター：エレベーター内	9	41	248	377	0	675
	(8) 屋根・屋上：屋根、屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等	153	616	2,024	2,197	2	4,992
	(9) 庭：庭、テラス(当該建物の敷地内の空地)	1,153	7,624	33,231	41,551	33	83,592
	(10) その他：上記(1)～(9)に該当しない場所(物置、地下室、車庫)	1,295	3,965	17,734	25,457	36	48,487
公衆 出 入 場 所	(1) 劇場、映画館、演芸場、観覧場：劇場、映画館等の観覧場	92	483	1,812	3,088	1	5,476
	(2) 公会堂、集会場：会議、社交等の目的で多数の人々が集まる場所	102	785	4,354	9,655	18	14,914
	(3) 性風俗関連特殊営業を含む店舗	12	136	918	2,671	2	3,739
	(4) 遊技場、ダンスホール：ダンスホール、ボウリング場、ゲームセンター、パチンコ等の各種遊技場	118	1,032	4,888	9,729	4	15,771
	(5) 待合、料理店、飲食店：待合、料理店、飲食店	215	2,328	20,335	57,917	13	80,808
	(6) デパート、百貨店	116	1,146	10,223	27,504	6	38,995
	(7) マーケット、店舗、展示場：物品の販売、賃借、修理業の店舗、サービス業の店舗等あらゆる店舗	402	3,409	25,783	59,394	23	89,011
	(8) 旅館、ホテル、宿泊所：旅館、ホテル、宿泊所(バンガローを含む)	600	1,803	12,393	31,181	10	45,987
	(9) 病院：病床数20以上の医療機関	844	72,159	269,104	20,783	477	363,367
	(10) 診療所(医院)：病床数19以下の診療所、医院	485	21,274	167,359	32,137	155	221,410
	(11) 老人ホーム：老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設	16,558	69,657	392,134	133,804	193	612,346
	(12) 幼稚園(グラウンド、附属設備を含む)：幼稚園、保育園等の保育施設	6	224	3,065	8,542	0	11,837
	(13) 盲・ろう学校、養護学校(グラウンド、附属設備を含む)	25	119	1,002	1,436	1	2,583
	(14) 小・中・高・大学(グラウンド、附属設備を含む)	33	871	12,965	41,920	18	55,807
	(15) 各種学校(グラウンド、附属設備を含む)	2	111	1,125	3,364	0	4,602
	(16) 図書館、博物館、美術館、郷土館、記念館、画廊等	9	109	669	1,626	1	2,414
	(17) 公衆浴場、蒸気・熱気浴場：公衆浴場、蒸気・熱気浴場	363	789	3,842	8,699	1	13,694
	(18) 駅構内(ホーム等駅の附属設備を含む)：駅舎、ホール、電車内等	144	1,458	16,149	52,816	6	70,573
	(19) 空港(整備工場、格納庫を除く)：滑走路、誘導路、ヘリポート(建物は除く)	33	299	1,215	1,786	0	3,333
	(20) 寺社、教会(境内を含む)：寺、神社、教会(斎場、墓地を含む)	77	461	2,907	6,532	2	9,979
	(21) 映画・テレビスタジオ：映画・テレビスタジオ(構内を含む)	0	8	36	95	0	139
	(22) 駐車場、車庫：駐車場、車庫(一般住宅、高層住宅の車庫、駐車場を除く)	393	2,361	13,605	28,629	5	44,993
	(23) 地下街	1	19	260	902	0	1,182
	(24) 運動場、競技場(グラウンド、附属設備を含む)	104	1,335	10,681	28,222	10	40,352
	(25) 水泳場、プール(附属設備を含む)：屋内プール、屋外プール	2	36	73	223	0	334
	(26) 官公庁	104	1,233	10,382	23,005	12	34,736
	(27) その他：上記(1)～(26)に該当しないもの(動物園、遊園地、キャンプ場等)	314	1,923	12,710	25,989	24	40,960
仕 事 場	(1) 工場(敷地を含む)：工場	163	1,578	7,159	12,396	2	21,298
	(2) 屋内作業所：工場以外の屋内作業所	179	1,716	9,712	18,764	5	30,376
	(3) 屋外作業所：工場以外の屋外作業所	164	1,556	6,138	8,425	5	16,288
	(4) 屋内工事現場：建設又は建築の屋内の場所	17	215	793	1,008	0	2,033
	(5) 屋外工事現場：建設又は建築の屋外の場所	83	765	2,505	2,992	4	6,349
	(6) 事務所：各種事業所の事務所	179	2,444	14,545	28,870	3	46,041
	(7) 倉庫：倉庫(地下倉庫を除く)	58	196	884	1,390	0	2,528
	(8) その他：(1)～(7)に該当しないもの	243	1,607	8,608	16,845	6	27,309
道 路	(1) 一般道路(歩道及び歩道橋等を含む)	2,404	19,005	137,222	362,378	130	521,139
	(2) 交差点	234	3,266	20,333	74,508	17	98,358
	(3) 自動車専用道路	80	577	2,662	6,713	6	10,038
	(4) 高速自動車国道	91	511	2,403	6,285	7	9,297
	(5) その他：上記(1)から(4)に該当しないもの	267	1,393	9,579	27,194	14	38,447
そ の 他	(1) 公 園：公園、庭園、児童公園、遊歩道等	103	508	3,920	11,169	2	15,702
	(2) 広場(公共用)	15	100	474	1,225	0	1,814
	(3) 空地(庭、広場以外)：河川敷、堤防、更地等の空地	134	521	1,665	2,591	3	4,914
	(4) 河・池：河川、運河、池、沼、貯水池等	411	756	1,880	2,079	4	5,130
	(5) 山林・原野：山、森林、原野、ゴルフ場	200	1,057	3,261	4,545	38	9,101
	(6) 農 地：田、畑等の農地	423	1,614	5,098	5,959	11	13,105
	(7) 海	287	369	1,055	1,742	7	3,460
	(8) 軌道敷、踏切：軌道敷内及び踏切	94	138	353	914	0	1,499
	(9) その他：上記(1)から(8)に該当しないもの(発生場所が不明なものも含む)	260	1,047	4,979	8,054	11	14,351
合 計		86,199	491,471	3,017,912	3,171,350	2,240	6,769,172

別表11 応急手当普及啓発講習活動状況

(令和6年中 単位：人・回・体・台)

区分 都道府県	普通救命講習 受講者数	普通救命講習 実施回数	上級救命講習 受講者数	上級救命講習 実施回数	普通・上級救命講習 人口1万人あたりの受講者数	その他講習 受講者数	救命入門 コース 受講者数	蘇生訓練用人数		外傷用 模型セット 台数	訓練用 A E D 台数	R2国勢調査 人口
								成 人	乳幼児			
北海道	30,109	2,156	902	112	59.4	50,137	15,276	1,428	690	29	1,045	5,224,614
青 森	11,451	644	307	23	95.0	9,179	3,337	494	201	8	364	1,237,984
岩 手	10,429	704	243	21	88.2	20,902	6,247	502	214	8	342	1,210,534
宮 城	29,106	1,944	775	63	129.8	21,277	15,857	506	235	6	458	2,301,996
秋 田	7,948	601	117	21	84.1	12,445	3,625	336	168	9	231	959,502
山 形	5,912	381	197	12	57.2	13,642	7,650	303	187	9	242	1,068,027
福 島	12,150	1,156	97	8	66.8	25,182	3,542	551	233	5	370	1,833,152
茨 城	23,000	1,727	371	31	81.5	17,660	8,832	675	411	12	483	2,867,009
栃 木	12,368	808	172	9	64.9	22,527	8,643	539	280	9	405	1,933,146
群 馬	10,484	683	428	26	56.3	19,271	7,421	626	311	5	480	1,939,110
埼 玉	42,745	2,791	2,638	148	61.8	97,126	42,330	1,634	1,132	30	1,269	7,344,765
千 葉	32,761	2,693	2,541	153	56.2	69,440	19,466	1,083	568	19	900	6,284,480
東 京	136,710	8,128	42,853	2,442	127.8	192,167	7,589	1,503	920	11	1,484	14,047,594
神奈川	46,602	2,454	4,736	213	55.6	91,906	13,919	1,054	562	11	840	9,237,337
新 潟	13,727	947	339	24	63.9	22,248	23,794	1,038	516	17	700	2,201,272
富 山	8,958	511	316	27	89.6	15,112	10,012	248	113	4	197	1,034,814
石 川	9,028	651	241	19	81.8	10,834	1,990	266	126	12	222	1,132,526
福 井	9,719	464	126	10	128.4	16,487	1,300	493	246	5	170	766,863
山 梨	3,211	287	782	13	49.3	8,053	402	222	179	4	170	809,974
長 野	17,676	1,113	773	44	90.1	32,704	4,258	552	337	9	459	2,048,011
岐 阜	15,811	1,238	397	32	81.9	35,321	20,109	1,280	573	14	590	1,978,742
静 岡	22,124	1,540	1,044	64	63.8	42,002	15,730	909	535	19	699	3,633,202
愛 知	53,148	4,121	1,797	137	72.8	91,311	62,093	1,253	844	18	1,083	7,542,415
三 重	12,406	909	588	35	73.4	11,673	10,960	516	286	7	338	1,770,254
滋 賀	8,803	685	119	10	63.1	23,255	7,470	308	184	7	209	1,413,610
京 都	35,083	2,459	1,059	71	140.2	26,559	5,708	607	318	13	402	2,578,087
大 阪	41,582	2,468	1,630	92	48.9	64,455	60,260	1,618	712	20	796	8,837,685
兵 庫	40,764	1,983	636	61	75.8	39,345	21,455	1,153	632	10	873	5,465,002
奈 良	5,131	525	244	18	40.6	6,522	7,137	235	123	3	173	1,324,473
和歌山	7,348	537	248	18	82.3	15,141	6,025	325	175	7	256	922,584
鳥 取	3,502	279	13	2	63.5	10,505	3,419	111	142	1	135	553,407
島 根	6,447	461	100	6	97.6	16,111	5,698	669	300	7	327	671,126
岡 山	10,156	656	232	21	55.0	30,642	5,131	413	231	10	365	1,888,432
広 島	19,388	1,225	270	16	70.2	29,017	18,430	532	348	16	422	2,799,702
山 口	10,864	651	192	33	82.4	10,636	9,041	369	232	8	308	1,342,059
徳 島	8,612	384	69	3	120.6	11,871	3,675	155	99	2	276	719,559
香 川	5,129	392	159	13	55.6	7,775	6,283	262	120	5	160	950,244
愛 媛	13,485	765	329	19	103.5	22,902	5,897	492	231	14	368	1,334,841
高 知	5,955	434	111	12	87.7	14,080	2,371	379	231	12	281	691,527
福 岡	32,448	1,335	1,092	49	65.3	68,612	43,237	1,182	432	7	752	5,135,214
佐 賀	2,978	216	216	11	39.4	13,932	5,422	143	53	9	121	811,442
長 崎	5,809	397	107	7	45.1	25,954	3,937	467	429	6	360	1,312,317
熊 本	6,724	422	311	30	40.5	23,918	18,608	660	363	5	360	1,738,301
大 分	7,645	522	255	20	70.3	11,625	5,238	292	133	12	214	1,123,852
宮 崎	4,347	313	45	5	41.1	9,288	19,625	331	197	3	238	1,069,576
鹿児島	14,795	941	427	50	95.8	24,574	10,901	703	267	6	452	1,588,256
沖 縄	11,936	961	578	42	85.3	4,407	14,319	355	308	10	225	1,467,480
合 計	886,514	57,662	71,222	4,296	75.9	1,459,732	603,669	29,772	16,127	473	21,614	126,146,099
前 年	839,270	57,723	68,886	4,475	72.0	1,306,027	526,759	29,580	15,667	485	21,142	
前年増減数	47,244	▲ 61	2,336	▲ 179	3.9	153,705	76,910	192	460	▲ 12	472	

別表12 応急手当指導員養成状況

(令和6年中 単位：人・回)

区分 都道府県	応急手当指導員養成講習						
	令和6年中 修了者	講習Ⅰ 修了者	講習Ⅱ 修了者	講習Ⅲ 修了者	消防長 認定者	講習Ⅰ 免除者	講習 回数
北海道	456	295	48	0	86	27	133
青森	155	41	14	5	92	3	9
岩手	74	68	3	0	0	3	9
宮城	228	226	0	2	0	0	59
秋田	98	72	22	4	0	0	35
山形	72	24	29	19	0	0	43
福島	58	7	40	0	5	6	4
茨城	205	159	37	5	1	3	52
栃木	84	54	9	0	6	15	13
群馬	226	182	24	0	12	8	35
埼玉	419	48	292	0	68	11	54
千葉	464	146	231	15	43	29	57
東京	1,023	194	713	90	26	0	31
神奈川	542	364	3	0	174	1	54
新潟	218	10	198	1	9	0	15
富山	42	9	16	0	0	17	0
石川	44	9	29	3	1	2	10
福井	57	17	23	0	12	5	10
山梨	24	17	0	0	3	4	9
長野	72	70	0	0	0	2	30
岐阜	233	87	0	14	25	107	93
静岡	222	19	102	0	82	19	6
愛知	358	264	16	48	30	0	113
三重	142	91	22	18	7	4	25
滋賀	65	60	0	1	0	4	32
京都	102	100	0	0	0	2	39
大阪	568	372	8	0	188	0	58
兵庫	238	136	73	0	26	3	30
奈良	62	59	0	3	0	0	5
和歌山	50	48	0	0	2	0	8
鳥取	89	35	0	23	31	0	13
島根	48	42	4	0	2	0	4
岡山	253	237	0	0	16	0	33
広島	188	2	129	48	9	0	5
山口	84	71	12	0	1	0	19
徳島	7	5	0	0	2	0	0
香川	38	35	0	2	1	0	0
愛媛	160	106	18	4	16	16	44
高知	34	30	0	0	2	2	5
福岡	208	149	33	0	17	9	11
佐賀	48	48	0	0	0	0	11
長崎	105	40	46	0	13	6	12
熊本	44	30	5	5	0	4	36
大分	104	29	20	0	55	0	10
宮崎	32	4	23	4	0	1	3
鹿児島	188	32	36	1	110	9	41
沖縄	51	41	3	0	7	0	29
合 計	8,282	4,184	2,281	315	1,180	322	1,347

第3章 救急蘇生統計

1 概要

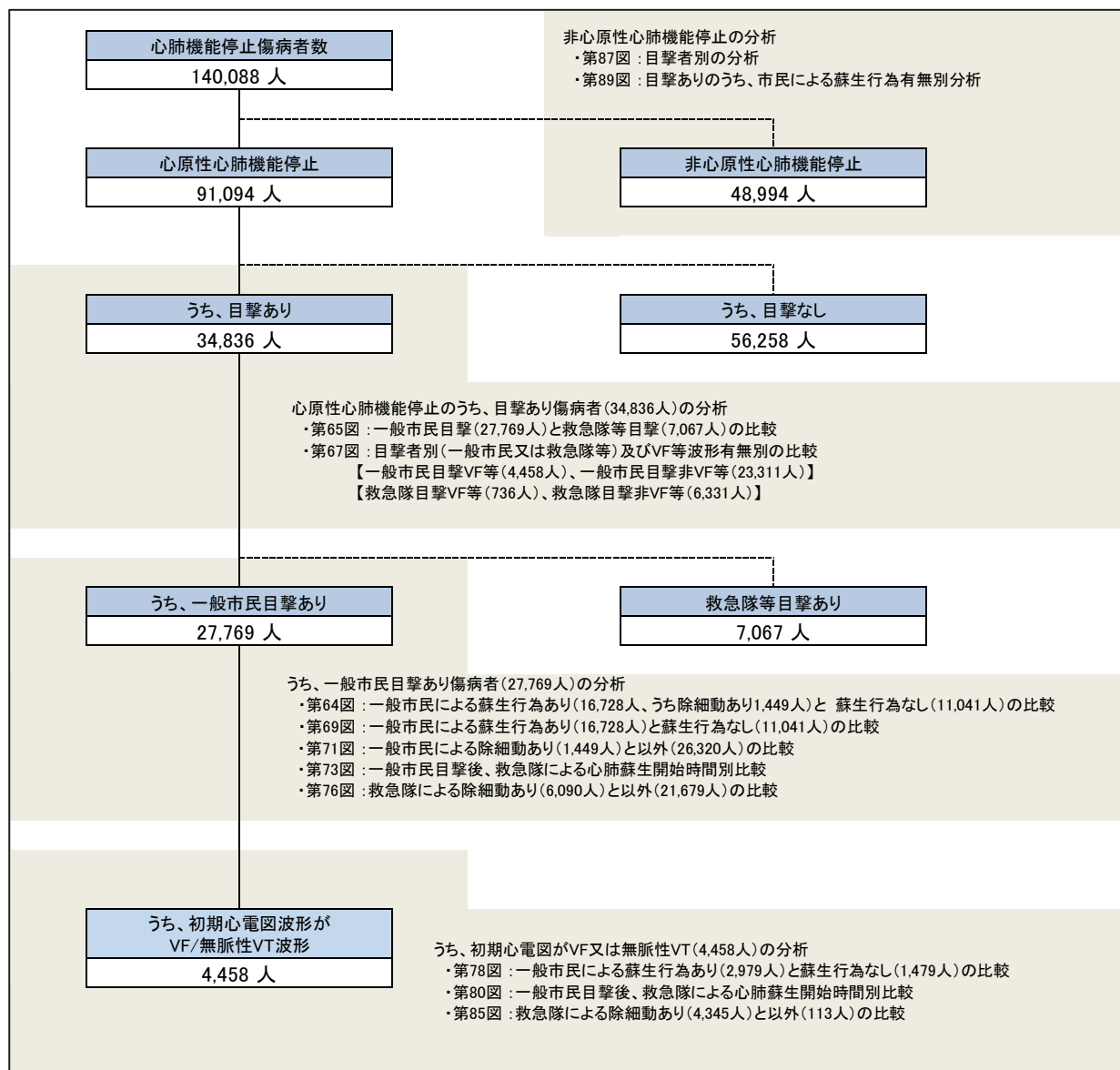
我が国では、平成 17 年 1 月から全国の消防本部で一斉にウツタイン様式の導入を開始しており、消防庁としては、ウツタイン様式による調査結果をオンラインで集計・分析するためのシステムの運用も開始している。この結果、救急救命士が行う救急救命処置の効果等の検証や諸外国との比較が客観的データに基づき可能となることから、プレホスピタル・ケアの一層の充実強化を図ることが期待されている。

この調査では、心肺機能停止傷病者を原因別に分類（心疾患が原因となったものか、それ以外か）し、目撃の有無による分類（目撃した、又は音を聞いた）、目撃者による分類（一般市民か、救急隊）でデータを集計しているものである。さらに、救急隊接触時の初期心電図波形（V F /無脈性 V T か、それ以外の波形か）や、心肺蘇生実施の有無、除細動実施の有無から、傷病者の 1 か月後生存率及び 1 か月後社会復帰率の統計を取っているものである。

2 ウツタイン様式に基づく分析

令和6年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者数は14万88人で、心原性心肺機能停止傷病者数は9万1,094人、非心原性心肺機能停止傷病者数は4万8,994人であった。また、救急蘇生統計で重要視されている心原性心肺機能停止の目撃あり傷病者（3万4,836人）と、うち、一般市民による目撃あり傷病者（2万7,769人）及び初期心電図で除細動が必要となる傷病者（4,458人）等を分析している。

ウツタインの統計系統図



※ 初期心電図とは、救急隊等が傷病者に接触し最初に確認した心電図波形をいう。

用語の詳細は「用語の定義及び収集方法について」を参照

(1) 心肺機能停止傷病者の性別及び年齢区分別の搬送人員

令和6年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者数は14万88人で、男女別の割合をみると男性は57.8%、女性は42.2%で、年齢区分では満80～89歳が多い(第53表、第54表、第55表及び都道府県別は別表13参照)。

第53表 心肺機能停止傷病者の男女別人員(10か年比較)

	男		女		合計
平成27年	70,421人	57.1%	53,000人	42.9%	123,421人
平成28年	70,483人	57.0%	53,071人	43.0%	123,554人
平成29年	72,509人	57.1%	54,509人	42.9%	127,018人
平成30年	73,124人	57.3%	54,594人	42.7%	127,718人
令和元年	72,308人	57.3%	53,963人	42.7%	126,271人
令和2年	72,798人	57.8%	53,130人	42.2%	125,928人
令和3年	74,630人	57.8%	54,514人	42.2%	129,144人
令和4年	81,881人	57.4%	60,847人	42.6%	142,728人
令和5年	80,947人	57.6%	59,628人	42.4%	140,575人
令和6年	81,000人	57.8%	59,088人	42.2%	140,088人

第54表 心肺機能停止傷病者の年齢区分別搬送人員(10か年比較)

		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	合 計
年 齢 区 分 歳	0～9	1,083	1,052	1,017	985	997	825	808	744	882	789	9,182
	10～19	760	778	786	753	789	833	776	800	872	847	7,994
	20～29	1,594	1,518	1,484	1,450	1,384	1,489	1,492	1,493	1,549	1,574	15,027
	30～39	2,466	2,438	2,254	2,175	2,048	2,067	1,966	2,144	2,124	2,021	21,703
	40～49	5,232	5,202	5,335	5,149	5,070	5,122	4,858	4,958	4,735	4,534	50,195
	50～59	7,760	7,790	7,968	8,201	8,012	8,229	8,314	9,112	9,433	9,397	84,216
	60～69	16,437	16,400	16,471	15,654	14,928	13,925	13,422	14,004	13,932	13,841	149,014
	70～79	28,073	27,442	27,983	29,173	29,753	30,005	31,040	33,111	32,704	32,387	301,671
	80～89	41,529	41,338	42,949	43,165	41,871	41,660	43,290	48,845	47,749	48,345	440,741
	90～99	17,605	18,652	19,785	20,055	20,458	20,850	22,081	26,145	25,317	25,149	216,097
	100～119	882	944	986	958	961	923	1,097	1,372	1,278	1,204	10,605
	不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	123,421	123,554	127,018	127,718	126,271	125,928	129,144	142,728	140,575	140,088	1,306,445	

第55表 心肺機能停止傷病者の年齢区分別搬送人員の構成比(10か年比較)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	合計
年齢区分(歳)	0～9	0.9%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	0.6%	0.7%
	10～19	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%
	20～29	1.3%	1.2%	1.2%	1.1%	1.1%	1.2%	1.2%	1.0%	1.1%	1.2%
	30～39	2.0%	2.0%	1.8%	1.7%	1.6%	1.6%	1.5%	1.5%	1.4%	1.7%
	40～49	4.2%	4.2%	4.2%	4.0%	4.0%	4.1%	3.8%	3.5%	3.4%	3.8%
	50～59	6.3%	6.3%	6.3%	6.4%	6.3%	6.5%	6.4%	6.4%	6.7%	6.4%
	60～69	13.3%	13.3%	13.0%	12.3%	11.8%	11.1%	10.4%	9.8%	9.9%	11.4%
	70～79	22.7%	22.2%	22.0%	22.8%	23.6%	23.8%	24.0%	23.2%	23.3%	23.1%
	80～89	33.6%	33.5%	33.8%	33.8%	33.2%	33.1%	33.5%	34.2%	34.0%	34.5%
	90～99	14.3%	15.1%	15.6%	15.7%	16.2%	16.6%	17.1%	18.3%	18.0%	18.0%
	100～119	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	1.0%	0.9%	0.8%
	不詳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 心肺機能停止傷病者の事故発生場所別の搬送人員

令和6年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者を事故発生場所別にみると、住宅で発生した割合が9万4,233人(67.3%)で半数を超えており、続いて公衆出入場所が3万3,247人(23.7%)、道路6,252人(4.5%)となっている(第56表参照)。

第56表 心肺機能停止傷病者の事故発生場所別の搬送人員

(令和6年)

		傷病者数	構成比
住宅	1 居室	65,156人	46.5%
	2 浴室	11,678人	8.3%
	3 廊下・玄関等	5,651人	4.0%
	4 便所	4,669人	3.3%
	5 台所	2,032人	1.5%
	6 その他(庭、テラス・階段等)	5,047人	3.6%
	計	94,233人	67.3%
公衆出入場所	1 老人ホーム	23,994人	17.1%
	2 病院・診療所	1,699人	1.2%
	3 マーケット等	964人	0.7%
	4 旅館・ホテル等	943人	0.7%
	5 料理店等	812人	0.6%
	6 その他(駐車場・公衆浴場等)	4,835人	3.5%
	計	33,247人	23.7%
仕事場	1 事務所	579人	0.4%
	2 工場	392人	0.3%
	3 屋内作業所	382人	0.3%
	4 屋外作業所	333人	0.2%
	5 屋外工事現場	169人	0.1%
	6 その他(屋内工事現場・倉庫等)	669人	0.5%
	計	2,524人	1.8%
道路	1 一般道路等	5,265人	3.8%
	2 高速自動車国道	138人	0.1%
	3 自動車専用道路	110人	0.1%
	4 その他(交差点・横断歩道等)	739人	0.5%
	計	6,252人	4.5%
その他	1 農地	619人	0.4%
	2 河川・池	609人	0.4%
	3 海	416人	0.3%
	4 山林・原野	327人	0.2%
	5 公園	212人	0.2%
	6 その他(空地、軌道敷・踏切等)	1,649人	1.2%
	計	3,832人	2.7%

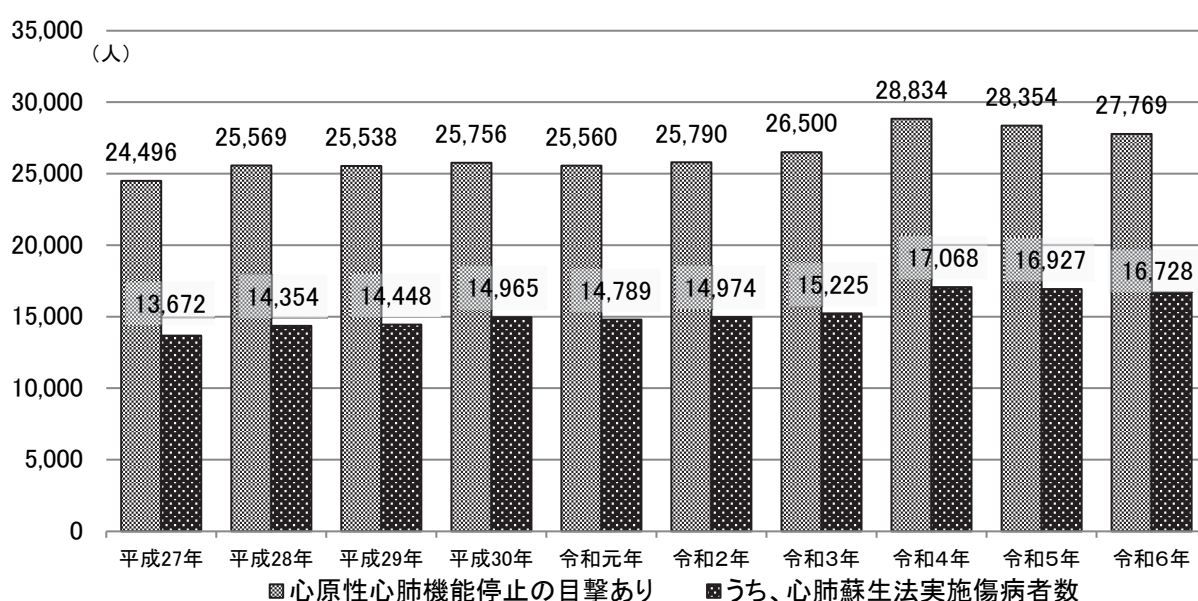
(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(3) 心原性心肺機能停止傷病者に対する一般市民の応急手当実施傷病者数

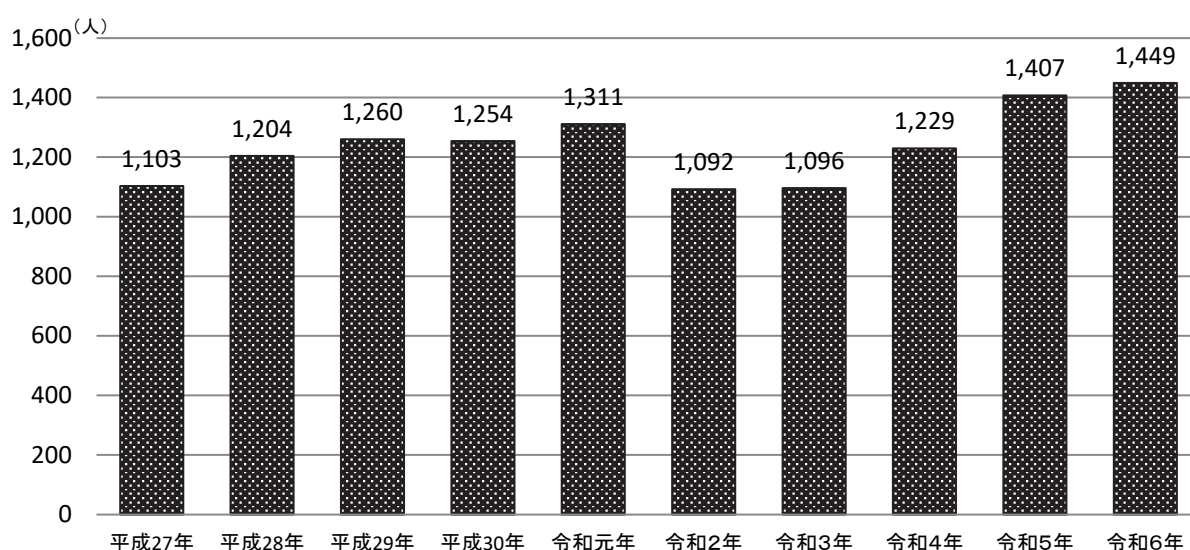
令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万7,769人であり、そのうち一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者数は1万6,728人(60.2%)となっている。一般市民が心肺蘇生を実施した割合を令和5年と比較すると約0.5ポイント増加しており、平成27年と比較すると約4.4ポイント増となっている(第57図、都道府県別は別表14参照)。

令和6年中に一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民により除細動が実施された傷病者は1,449人となっている。一般市民により除細動が実施された割合を令和5年と比較すると約0.2ポイント増加しており、平成27年と比較すると約0.7ポイント増となっている(第57図、第58図参照)。

第57図 心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が目撃した傷病者数と一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者数(10か年推移)



第58図 心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が目撃し、かつ一般市民が除細動を実施した傷病者数(10か年推移)



(4) 心原性心肺機能停止傷病者生存率（都道府県別及び年齢区分別）

1. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率の推移（都道府県別及び年齢区分別の10か年集計、10か年推移）

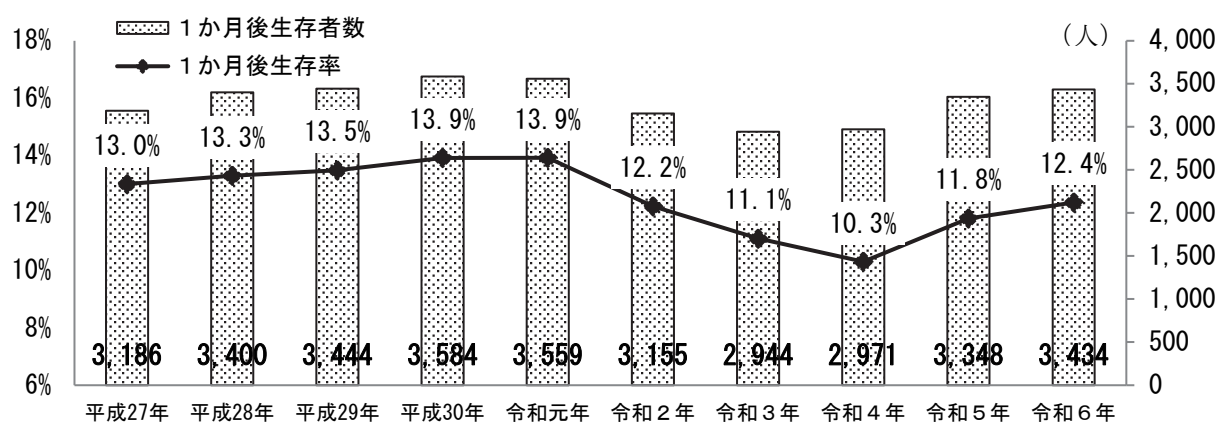
令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万7,769人であり、1か月後生存者は3,434人、1か月後生存率は12.4%であった。また、1か月後社会復帰者は2,150人であり、1か月後社会復帰率は7.7%であった（第59図、第60図参照）。

都道府県別の令和6年中の一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後生存率は、石川県（21.6%）、大阪府（20.0%）、福岡県（18.7%）等が高く、1か月後社会復帰率については石川県（16.0%）、福岡県（12.2%）、宮崎県（11.4%）等で高かった（別表16参照）。

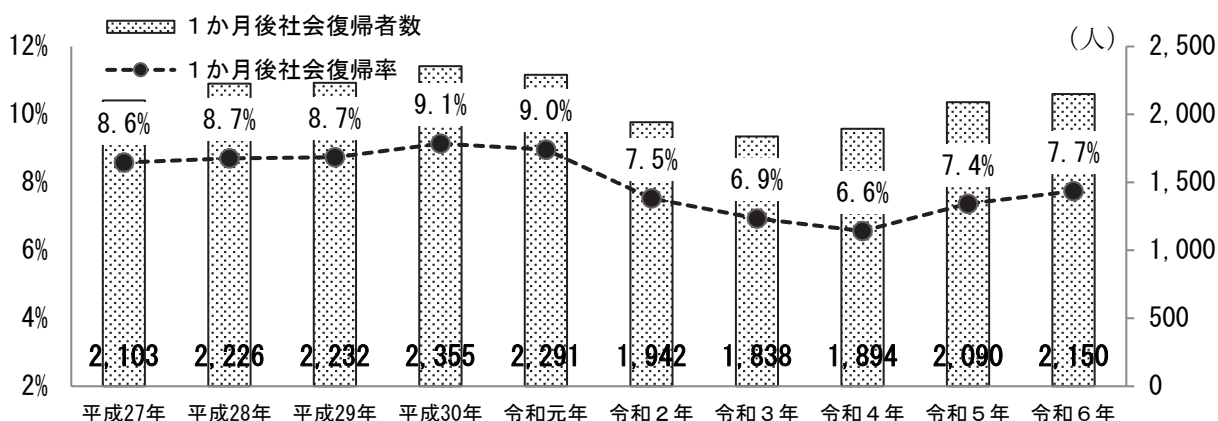
平成27年から令和6年までの10か年集計による1か月後生存率は、福岡県（20.9%）、沖縄県（18.4%）、石川県（18.2%）等で高かった。また、10か年集計による1か月後社会復帰率は、福岡県（14.3%）、沖縄県（11.9%）、石川県（11.6%）等が高くなっている（別表17参照）。

10か年の集計からみると、1か月後生存率、1か月後社会復帰率ともに女性に比べ、男性の方が高く、年齢区分では男女共に満10～19歳が最も高い（第61表参照）。

第59図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後生存率（10か年推移）



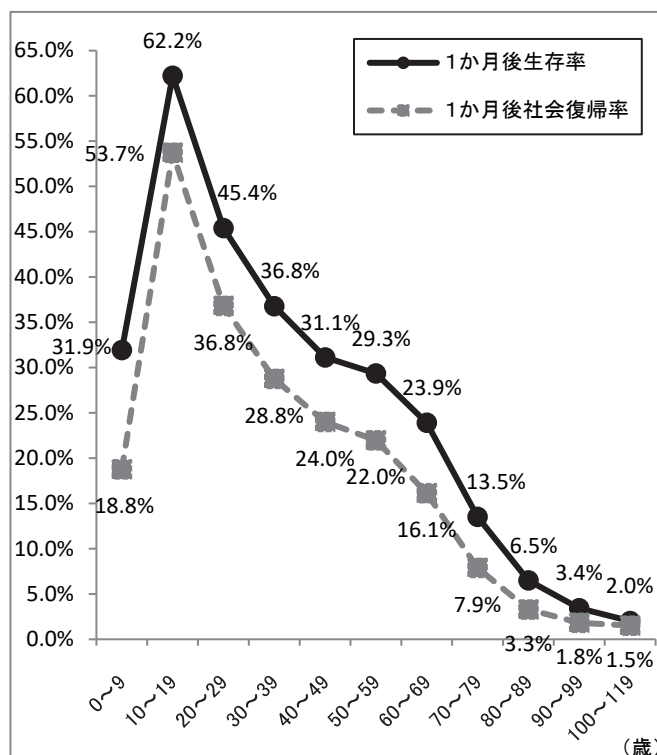
第60図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後社会復帰率（10か年推移）



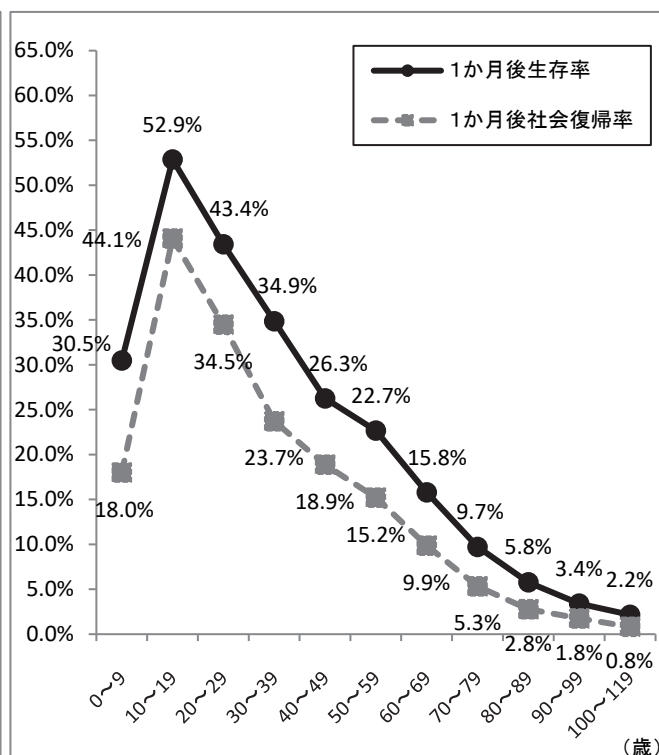
第61表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の男女別・年齢区分別の生存率（10か年集計）

		10か年集計											
		総件数	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者数										
			男性						女性				
			人数	1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数		人数	1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数		
年齢区分					1か月後生存率		1か月後社会復帰率			1か月後生存率		1か月後社会復帰率	
年齢区分	0～9	9,182	934	501	160	31.9%	94	18.8%	433	132	30.5%	78	18.0%
	10～19	7,994	920	659	410	62.2%	354	53.7%	261	138	52.9%	115	44.1%
	20～29	15,027	1,510	1,130	513	45.4%	416	36.8%	380	165	43.4%	131	34.5%
	30～39	21,703	3,229	2,466	907	36.8%	709	28.8%	763	266	34.9%	181	23.7%
	40～49	50,195	10,115	7,880	2,453	31.1%	1,891	24.0%	2,235	587	26.3%	422	18.9%
	50～59	84,216	19,014	15,380	4,514	29.3%	3,380	22.0%	3,634	824	22.7%	553	15.2%
	60～69	149,014	33,373	25,742	6,154	23.9%	4,153	16.1%	7,631	1,206	15.8%	753	9.9%
	70～79	301,671	62,247	43,267	5,847	13.5%	3,411	7.9%	18,980	1,846	9.7%	1,013	5.3%
	80～89	440,741	86,296	49,147	3,197	6.5%	1,621	3.3%	37,149	2,146	5.8%	1,036	2.8%
	90～99	216,097	44,187	15,952	547	3.4%	290	1.8%	28,235	963	3.4%	498	1.8%
合計		1,306,445	264,166	162,520	24,710	15.2%	16,325	10.0%	101,646	8,315	8.2%	4,796	4.7%

男 性



女 性



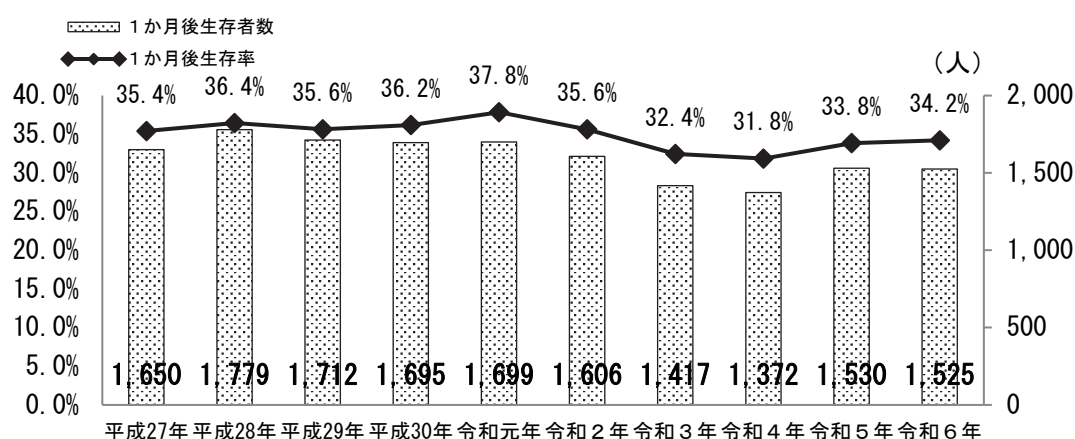
2. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図がV F/無脈性V T波形の生存率（都道府県別の10か年集計、10か年推移）

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万7,769人のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者は4,458人であり、そのうちの1か月後生存者は1,525人、1か月後生存率は34.2%であった。また、1か月後社会復帰者は987人であり、1か月後社会復帰率は22.1%であった（第62図、第63図参照）。

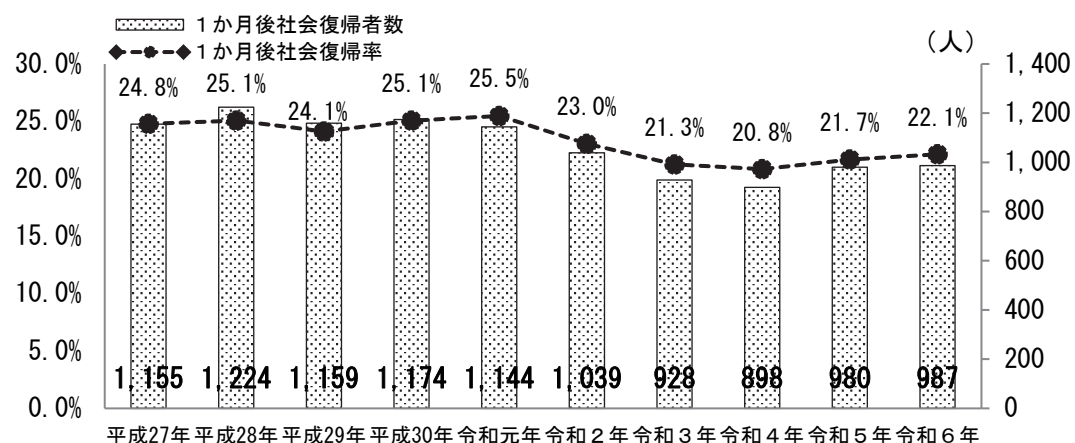
都道府県別の令和6年中の一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者で初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者の1か月後生存率は、宮崎県（55.6%）、大阪府（50.9%）、和歌山県（49.0%）等が高く、1か月後社会復帰率については、高知県（41.7%）、石川県（40.0%）、沖縄県（34.4%）等で高かった（別表18参照）。

平成27年から令和6年までの10か年集計による都道府県別の1か月後生存率は、福岡県（46.0%）、石川県（45.1%）、愛知県（44.3%）等で高かった。また、10か年集計による1か月後社会復帰率は、福岡県（33.2%）、滋賀県（32.2%）、石川県（31.3%）等が高くなっている（別表19参照）。

第62図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの1か月生存率の推移（10か年推移）



第63図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの1か月後社会復帰率の推移（10か年推移）



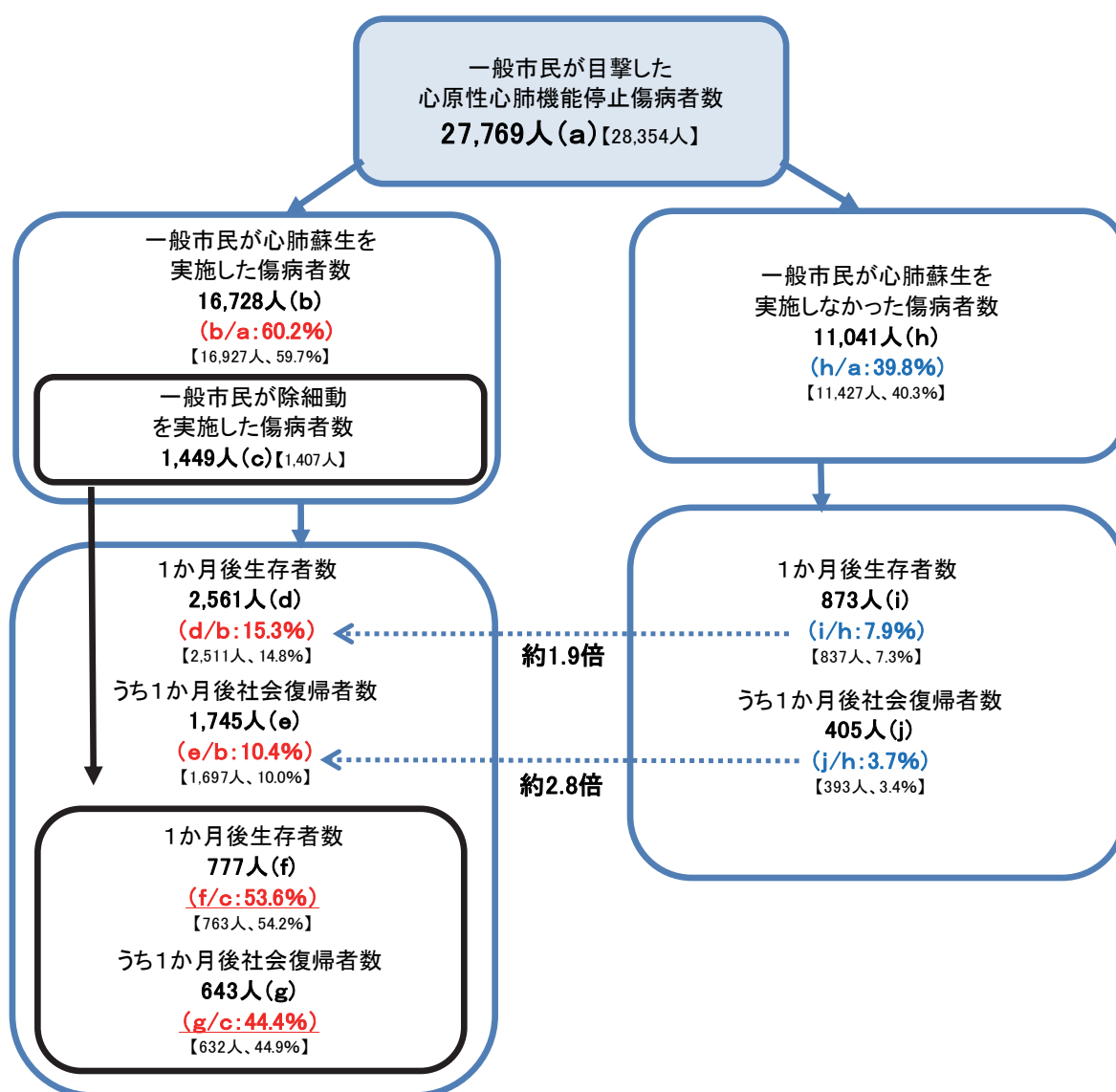
(5) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万7,769人であり、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者は1万6,728人(60.2%)であった。そのうち1か月後生存者は2,561人、1か月後生存率は15.3%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1か月後生存率は7.9%となっている。

また、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者のうち1か月後社会復帰者は1,745人、1か月後社会復帰率は10.4%で、心肺蘇生が実施されなかった(適応でなかった傷病者を含む。)場合の1か月後社会復帰率は3.7%となっている。

さらに、一般市民がAEDを使用し除細動を実施した傷病者は1,449人で、そのうち1か月後生存者は777人、1か月後生存率は53.6%であった。また、一般市民がAEDを使用して除細動を実施した傷病者のうち、1か月後社会復帰者は643人で、1か月後社会復帰率は44.4%であった(第64図参照)。

第64図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率(令和6年)

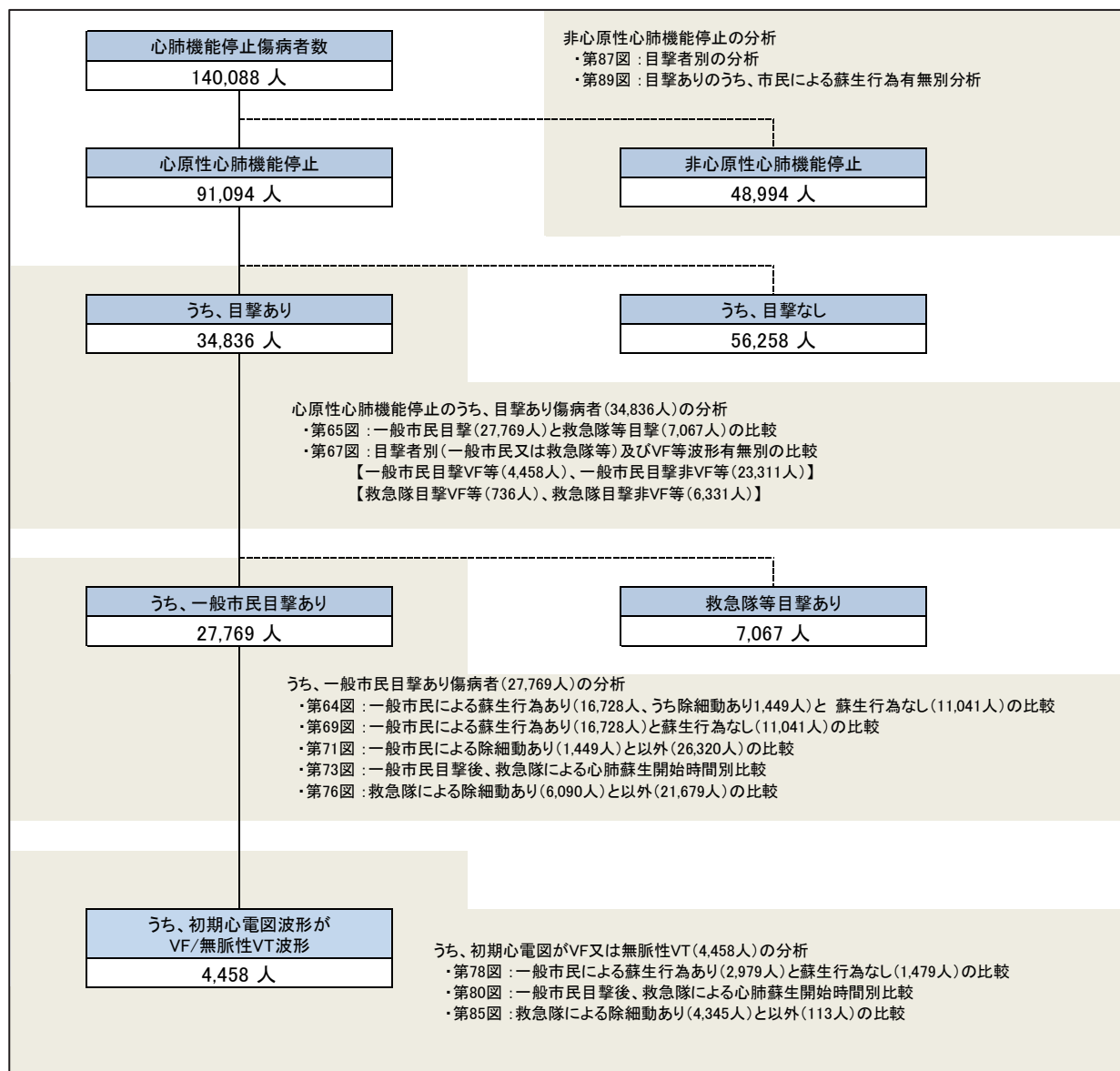


(注) 小文字【 】内数値は令和5年中の数値

3 目撃がある心原性心肺機能停止傷病者の分析

以下、心原性心肺機能停止傷病者の統計は「ウツタインの統計系統図」に従い、より詳細に分析を行う。

(再掲) ウツタインの統計系統図



※ 初期心電図とは、救急隊等が傷病者に接触し最初に確認した心電図波形をいう。

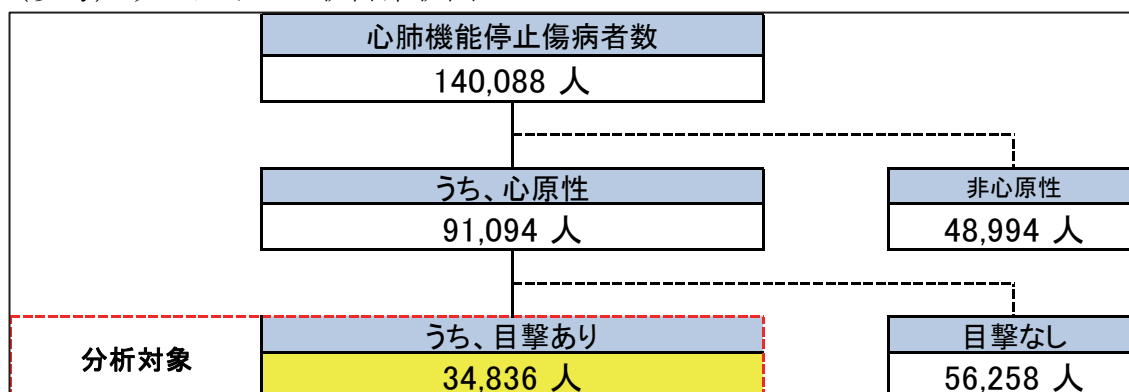
用語の詳細は「用語の定義及び収集方法について」を参照

(1) 心原性心肺機能停止傷病者の目撃者別の生存率

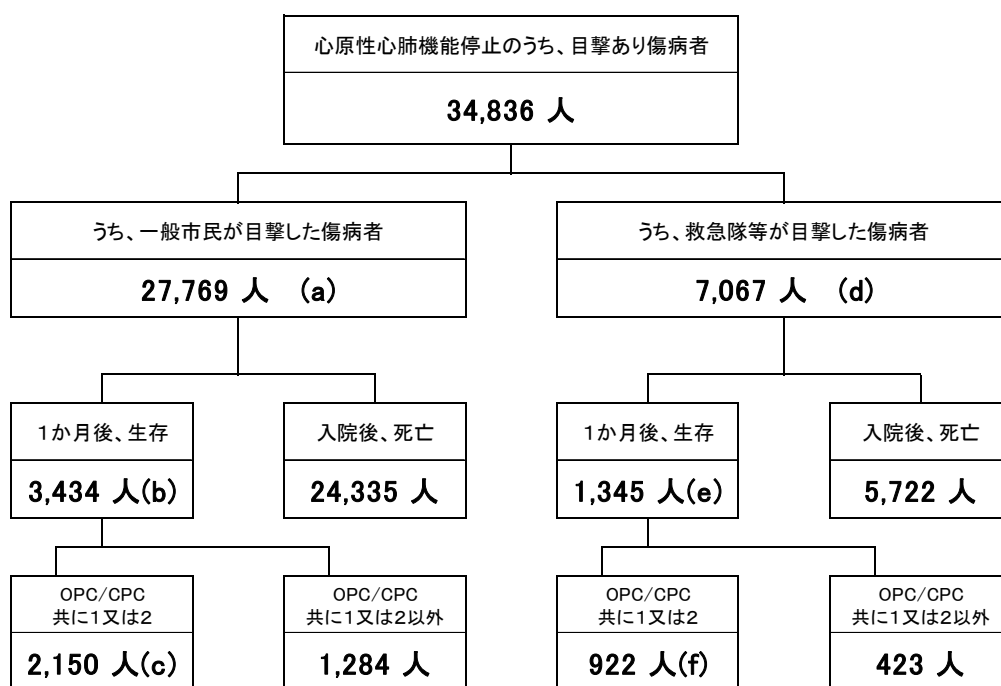
令和6年中に心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者3万4,836人のうち、一般市民が目撃した傷病者2万7,769人の1か月後生存率は12.4%で、1か月後社会復帰率は7.7%であった。平成27年と比較すると、それぞれ0.6ポイント、0.9ポイント低下している。

また、救急隊等が目撃した傷病者7,067人の1か月後生存率は19.0%、1か月後社会復帰率は13.0%となっており、平成27年と比較すると、それぞれ0.5ポイント、0.2ポイント上昇している（第65図、第66表参照）。

(参考) ウツタインの統計系統図



第65図 心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（令和6年）



$$\text{生存率} : b / a \times 100 = 12.4 \%$$

$$\text{生存率} : e / d \times 100 = 19.0 \%$$

$$\text{社会復帰率} : c / a \times 100 = 7.7 \%$$

$$\text{社会復帰率} : f / d \times 100 = 13.0 \%$$

第66表 心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（10 か年比較）

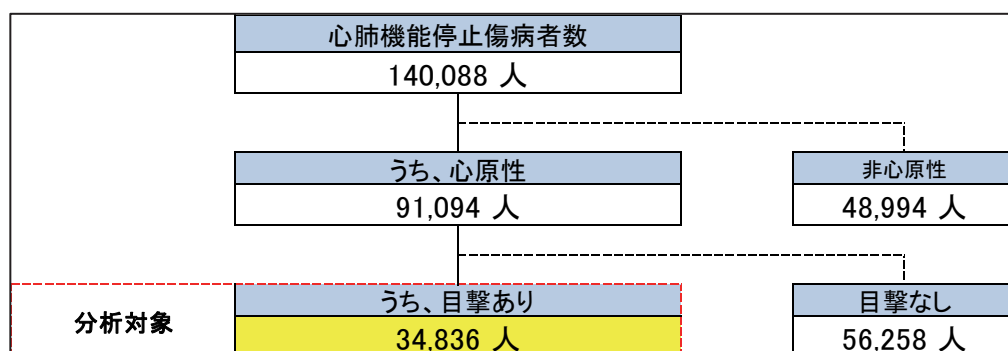
区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
心原性心肺機能停止傷病者		73,697	75,109	78,302	79,400	78,884	79,376	81,742	91,498	90,550	91,094
心肺機能停止の時点を目撃した傷病者		30,329	31,320	31,550	31,819	31,540	31,939	32,760	36,080	35,468	34,836
うち、一般市民が目撃した傷病者		24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500	28,834	28,354	27,769
1か月後、生存		3,186	3,400	3,444	3,584	3,559	3,155	2,944	2,971	3,348	3,434
生存率		13.0%	13.3%	13.5%	13.9%	13.9%	12.2%	11.1%	10.3%	11.8%	12.4%
OPC/CPC共に1又は2		2,103	2,226	2,232	2,355	2,291	1,942	1,838	1,894	2,090	2,150
社会復帰率		8.6%	8.7%	8.7%	9.1%	9.0%	7.5%	6.9%	6.6%	7.4%	7.7%
うち、救急隊等が目撃した傷病者		5,833	5,751	6,012	6,063	5,980	6,149	6,260	7,246	7,114	7,067
1か月後、生存		1,082	1,101	1,071	1,189	1,129	1,062	1,079	1,136	1,196	1,345
生存率		18.5%	19.1%	17.8%	19.6%	18.9%	17.3%	17.2%	15.7%	16.8%	19.0%
OPC/CPC共に1又は2		749	782	777	839	813	735	785	827	868	922
社会復帰率		12.8%	13.6%	12.9%	13.8%	13.6%	12.0%	12.5%	11.4%	12.2%	13.0%
うち、目撃者が不詳である傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺機能停止の時点を目撃していない傷病者		43,368	43,789	46,752	47,581	47,344	47,437	48,982	55,418	55,082	56,258

(2) 心原性心肺機能停止傷病者の目撃者別及び初期心電図V F/無脈性V T波形別の生存率

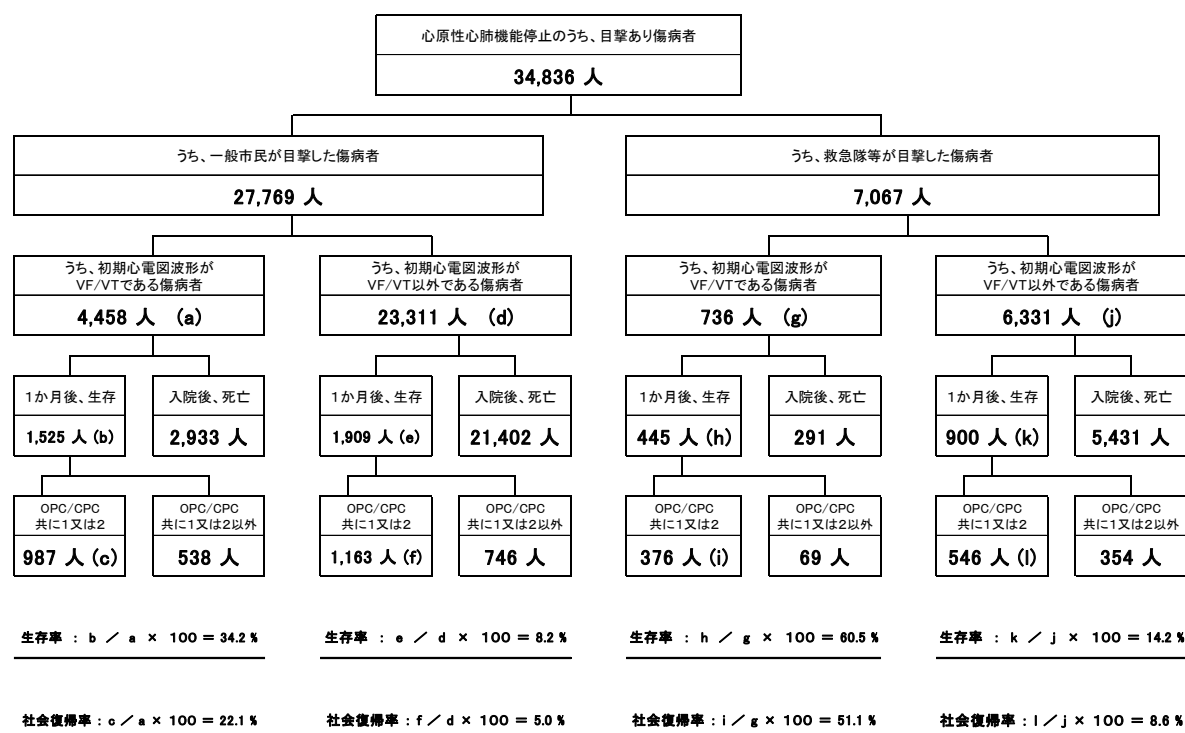
令和6年中に心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者3万4,836人のうち、一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万7,769人であり、そのうち初期心電図波形がV F及び無脈性V Tであった傷病者の1か月後生存率は34.2%、1か月後社会復帰率は22.1%であった。平成27年と比較すると、それぞれ1.2ポイント、2.7ポイント低下している。

また、救急隊等が目撃した傷病者の1か月後生存率は60.5%、1か月後社会復帰率は51.1%となっており、平成27年と比較すると、それぞれ9.2ポイント、8.0ポイント上昇している（第67図、第68表参照）。

(参考) ウツタインの統計系統図



第67図 心原性心肺機能停止を目撃した傷病者のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの生存率（令和6年）



第68表 心原性心肺機能停止を目撃した傷病者のうち、初期心電図波形がV F 又は無脈性V T の生存率（10 か年比較）

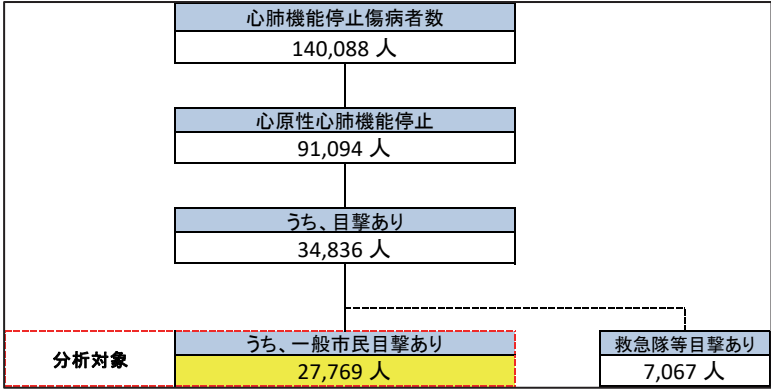
区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
心原性心肺機能停止傷病者		73,697	75,109	78,302	79,400	78,884	79,376	81,742	91,498	90,550	91,094
心肺機能停止の時点を目撃した傷病者		30,329	31,320	31,550	31,819	31,540	31,939	32,760	36,080	35,468	34,836
うち、一般市民が目撃した傷病者		24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500	28,834	28,354	27,769
うち、初期心電図波形がVF/VTである傷病者		4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367	4,308	4,521	4,458
1か月後、生存		1,650	1,779	1,712	1,695	1,699	1,606	1,417	1,372	1,530	1,525
生存率		35.4%	36.4%	35.6%	36.2%	37.8%	35.6%	32.4%	31.8%	33.8%	34.2%
OPC/CPC共に1又は2		1,155	1,224	1,159	1,174	1,144	1,039	928	898	980	987
社会復帰率		24.8%	25.1%	24.1%	25.1%	25.5%	23.0%	21.3%	20.8%	21.7%	22.1%
うち、初期心電図波形がVF/VT以外である傷病者		19,836	20,687	20,734	21,072	21,070	21,282	22,133	24,526	23,833	23,311
1か月後、生存		1,536	1,621	1,732	1,889	1,860	1,549	1,527	1,599	1,818	1,909
生存率		7.7%	7.8%	8.4%	9.0%	8.8%	7.3%	6.9%	6.5%	7.6%	8.2%
OPC/CPC共に1又は2		948	1,002	1,073	1,181	1,147	903	910	996	1,110	1,163
社会復帰率		4.8%	4.8%	5.2%	5.6%	5.4%	4.2%	4.1%	4.1%	4.7%	5.0%
うち、救急隊等により目撃された傷病者		5,833	5,751	6,012	6,063	5,980	6,149	6,260	7,246	7,114	7,067
うち、初期心電図波形がVF/VTである傷病者		680	658	680	666	648	627	682	743	811	736
1か月後、生存		349	319	328	371	362	345	372	387	418	445
生存率		51.3%	48.5%	48.2%	55.7%	55.9%	55.0%	54.5%	52.1%	51.5%	60.5%
OPC/CPC共に1又は2		293	275	297	307	324	292	327	330	353	376
社会復帰率		43.1%	41.8%	43.7%	46.1%	50.0%	46.6%	47.9%	44.4%	43.5%	51.1%
うち、初期心電図波形がVF/VT以外である傷病者		5,153	5,093	5,332	5,397	5,332	5,522	5,578	6,503	6,303	6,331
1か月後、生存		733	782	743	818	767	717	707	749	778	900
生存率		14.2%	15.4%	13.9%	15.2%	14.4%	13.0%	12.7%	11.5%	12.3%	14.2%
OPC/CPC共に1又は2		456	507	480	532	489	443	458	497	515	546
社会復帰率		8.8%	10.0%	9.0%	9.9%	9.2%	8.0%	8.2%	7.6%	8.2%	8.6%
うち、目撃者が不詳である傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺機能停止の時点を目撃していない傷病者		43,368	43,789	46,752	47,581	47,344	47,437	48,982	55,418	55,082	56,258

(3) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率

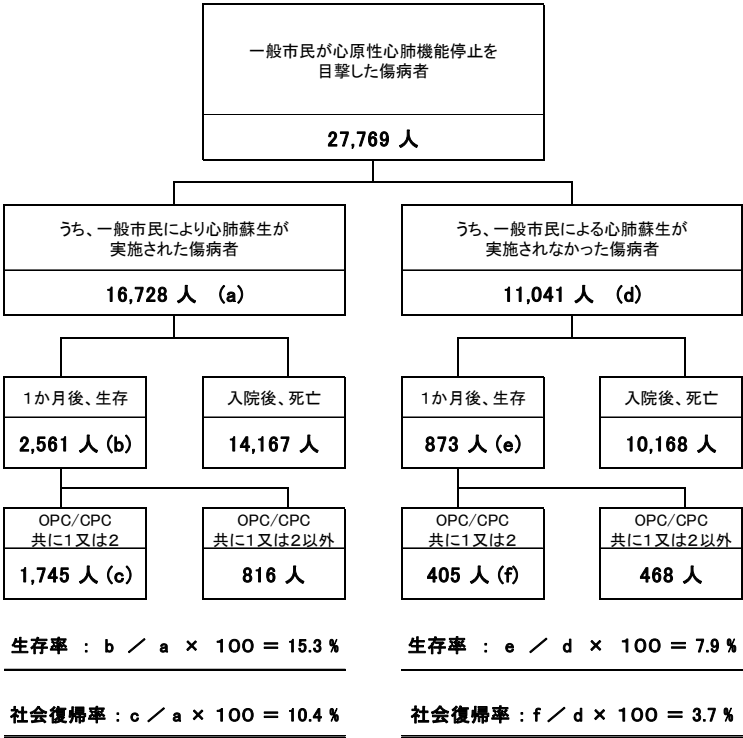
令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万7,769人であり、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者は1万6,728人(60.2%)となっている。そのうち1か月後生存者は2,561人、1か月後生存率は15.3%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1か月後生存率7.9%と比較して約1.9倍高くなっている。また、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者のうち1か月後社会復帰者は1,745人、1か月後社会復帰率は10.4%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1か月後社会復帰率3.7%と比較して約2.8倍高くなっている。

また、平成27年と比較すると、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者の1か月後生存率、1か月後社会復帰率はそれぞれ0.8ポイント、1.3ポイント低下した。(第69図、第70表参照)

(参考) ウツタインの統計系統図



第69図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（令和6年）



第70表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（10 か年比較）

区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500	28,834	28,354	27,769
うち、一般市民により心肺蘇生が実施された傷病者		13,672	14,354	14,448	14,965	14,789	14,974	15,225	17,068	16,927	16,728
1か月後、生存		2,195	2,359	2,404	2,618	2,561	2,273	2,153	2,190	2,511	2,561
生存率		16.1%	16.4%	16.6%	17.5%	17.3%	15.2%	14.1%	12.8%	14.8%	15.3%
OPC/CPC共に1又は2		1,594	1,681	1,724	1,873	1,820	1,530	1,477	1,508	1,697	1,745
社会復帰率		11.7%	11.7%	11.9%	12.5%	12.3%	10.2%	9.7%	8.8%	10.0%	10.4%
うち、一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		10,824	11,215	11,090	10,791	10,771	10,816	11,275	11,766	11,427	11,041
1か月後、生存		991	1,041	1,040	966	998	882	791	781	837	873
生存率		9.2%	9.3%	9.4%	9.0%	9.3%	8.2%	7.0%	6.6%	7.3%	7.9%
OPC/CPC共に1又は2		509	545	508	482	471	412	361	386	393	405
社会復帰率		4.7%	4.9%	4.6%	4.5%	4.4%	3.8%	3.2%	3.3%	3.4%	3.7%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

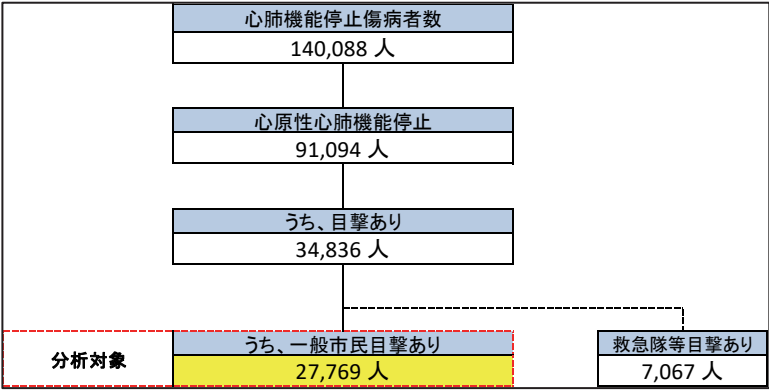
(4) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による除細動実施の有無別の生存率

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万7,769人のうち、一般市民により除細動が実施された傷病者の1か月後生存率は53.6%となっており、一般市民による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者含む。）の1か月後生存率10.1%と比較して約5.3倍高くなっている。

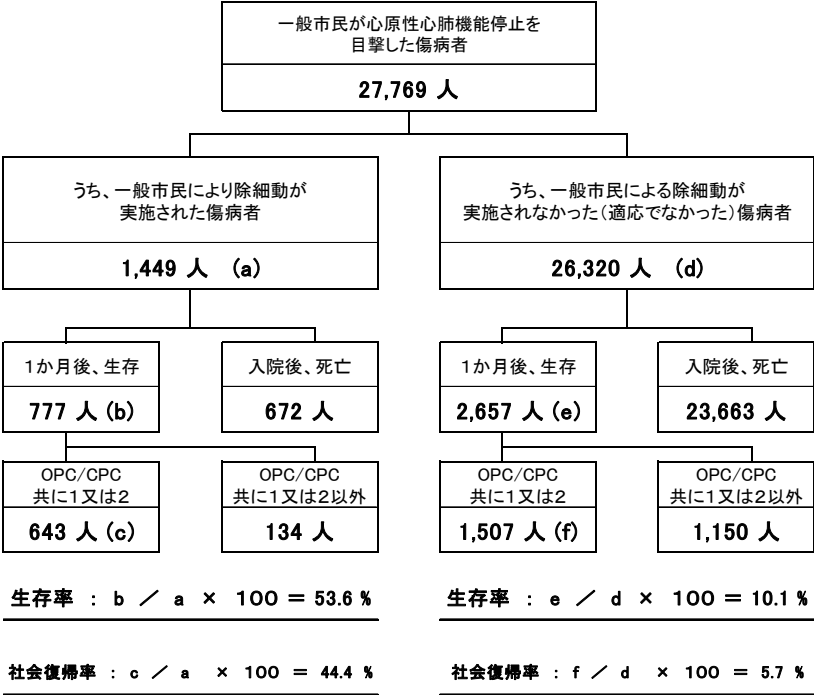
また、一般市民により除細動が実施された傷病者の1か月後社会復帰率は44.4%であり、一般市民による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者含む。）の1か月後社会復帰率5.7%と比較して約7.8倍高くなっている。

さらに平成27年と比較すると、一般市民により除細動が実施された傷病者の1か月後生存率、1か月後社会復帰率はそれぞれ0.4ポイント、1.7ポイント低下した（第71図、第72表参照）。

（参考）ウツタインの統計系統図



第71図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による除細動実施の有無別の生存率（令和6年）



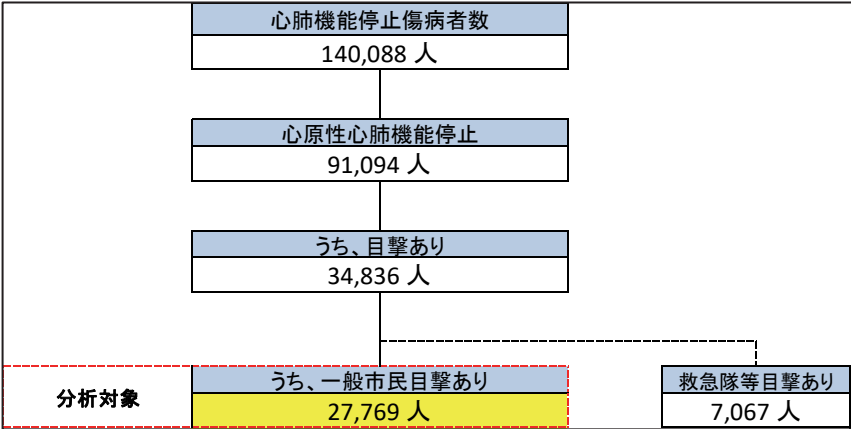
第72表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による除細動実施の有無別の生存率（10 か年比較）

区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500	28,834	28,354	27,769
うち、一般市民により除細動が実施された傷病者		1,103	1,204	1,260	1,254	1,311	1,092	1,096	1,229	1,407	1,449
1か月後、生存		596	642	674	701	703	581	540	618	763	777
生存率		54.0%	53.3%	53.5%	55.9%	53.6%	53.2%	49.3%	50.3%	54.2%	53.6%
OPC/CPC共に1又は2		508	547	576	605	603	479	440	523	632	643
社会復帰率		46.1%	45.4%	45.7%	48.2%	46.0%	43.9%	40.1%	42.6%	44.9%	44.4%
うち、一般市民による除細動が実施されなかった（適応でなかった）傷病者		23,393	24,365	24,278	24,502	24,249	24,698	25,404	27,605	26,947	26,320
1か月後、生存		2,590	2,758	2,770	2,883	2,856	2,574	2,404	2,353	2,585	2,657
生存率		11.1%	11.3%	11.4%	11.8%	11.8%	10.4%	9.5%	8.5%	9.6%	10.1%
OPC/CPC共に1又は2		1,595	1,679	1,656	1,750	1,688	1,463	1,398	1,371	1,458	1,507
社会復帰率		6.8%	6.9%	6.8%	7.1%	7.0%	5.9%	5.5%	5.0%	5.4%	5.7%
うち、一般市民による除細動の適応有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

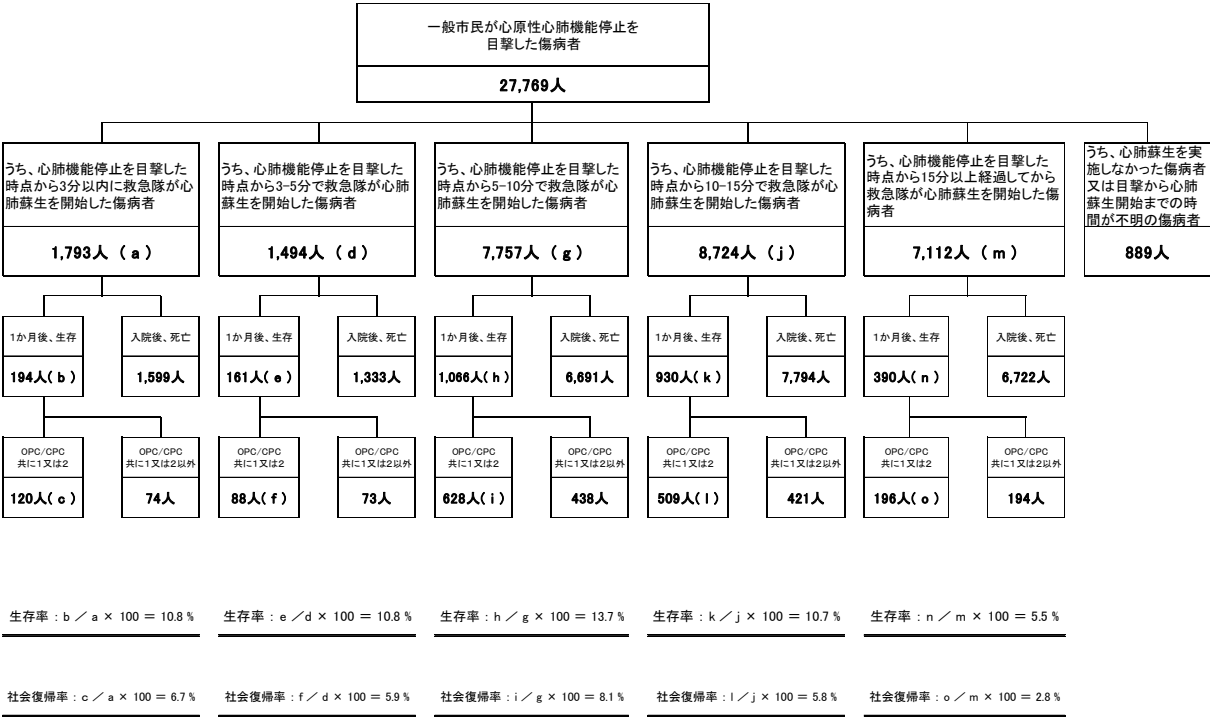
(5) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万7,769人のうち、救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分以内に実施された場合の1か月後生存率は10.8%~13.7%で、1か月後社会復帰率は5.9%~8.1%であった。救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分を経過すると1か月後生存率、1か月後社会復帰率は低下傾向を示した(第73図、第74表及び第75図参照)。

(参考) ウツタインの統計系統図



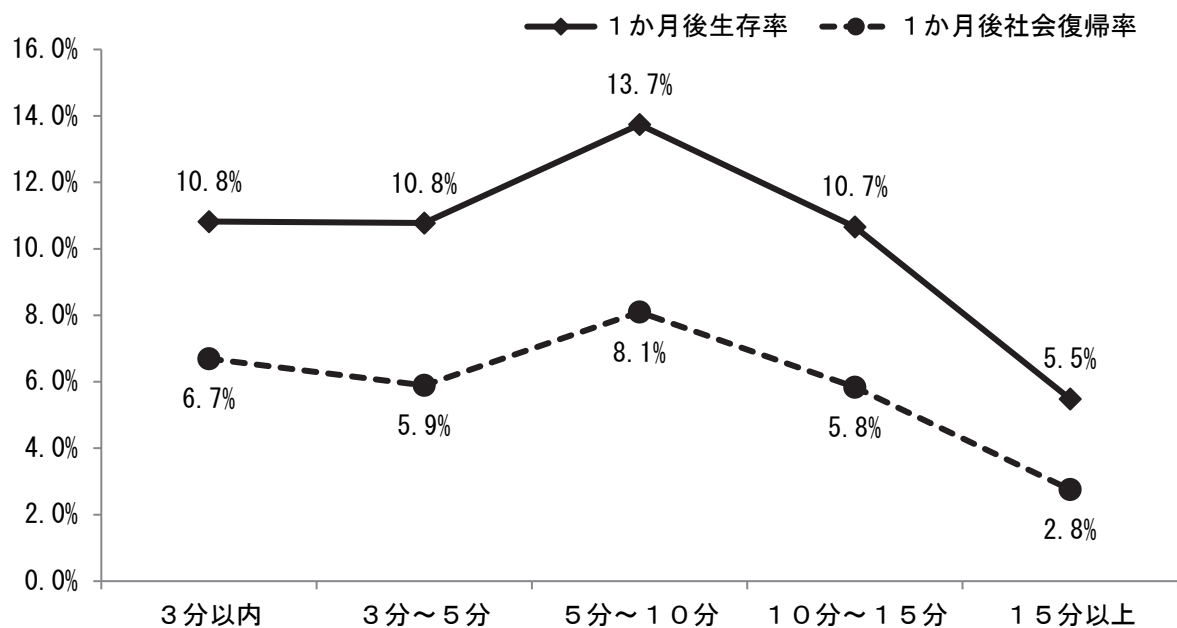
第73図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率 (令和6年)



第74表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（10 か年比較）

区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500	28,834	28,354	27,769
うち、心肺機能停止を目撃した時点から3分以内に救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		1,569	1,604	1,698	1,659	1,701	1,568	1,598	1,715	1,717	1,793
1か月後、生存		208	198	222	213	223	171	164	156	178	194
生存率		13.3%	12.3%	13.1%	12.8%	13.1%	10.9%	10.3%	9.1%	10.4%	10.8%
OPC/CPC共に1又は2		129	124	135	130	138	91	85	104	106	120
社会復帰率		8.2%	7.7%	8.0%	7.8%	8.1%	5.8%	5.3%	6.1%	6.2%	6.7%
うち、心肺機能停止を目撃した時点から3～5分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		1,621	1,555	1,577	1,580	1,578	1,367	1,463	1,489	1,475	1,494
1か月後、生存		214	187	194	204	208	152	145	132	175	161
生存率		13.2%	12.0%	12.3%	12.9%	13.2%	11.1%	9.9%	8.9%	11.9%	10.8%
OPC/CPC共に1又は2		141	119	117	118	120	91	85	82	96	88
社会復帰率		8.7%	7.7%	7.4%	7.5%	7.6%	6.7%	5.8%	5.5%	6.5%	5.9%
うち、心肺機能停止を目撃した時点から5～10分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		8,079	8,472	8,268	8,112	8,072	7,587	7,332	7,711	7,809	7,757
1か月後、生存		1,142	1,256	1,257	1,216	1,220	1,090	973	909	990	1,066
生存率		14.1%	14.8%	15.2%	15.0%	15.1%	14.4%	13.3%	11.8%	12.7%	13.7%
OPC/CPC共に1又は2		747	808	779	766	740	650	609	585	584	628
社会復帰率		9.2%	9.5%	9.4%	9.4%	9.2%	8.6%	8.3%	7.6%	7.5%	8.1%
うち、心肺機能停止を目撃した時点から10～15分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		6,921	7,360	7,306	7,369	7,321	7,845	8,420	9,157	8,785	8,724
1か月後、生存		744	833	800	829	829	772	805	849	888	930
生存率		10.7%	11.3%	10.9%	11.2%	11.3%	9.8%	9.6%	9.3%	10.1%	10.7%
OPC/CPC共に1又は2		420	483	465	486	451	405	452	453	478	509
社会復帰率		6.1%	6.6%	6.4%	6.6%	6.2%	5.2%	5.4%	4.9%	5.4%	5.8%
うち、心肺機能停止を目撃した時点から15分以上経過してから救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		5,383	5,602	5,895	5,953	5,754	6,393	6,901	8,129	7,411	7,112
1か月後、生存		254	319	329	322	309	319	352	419	377	390
生存率		4.7%	5.7%	5.6%	5.4%	5.4%	5.0%	5.1%	5.2%	5.1%	5.5%
OPC/CPC共に1又は2		121	157	170	162	164	159	169	228	197	196
社会復帰率		2.2%	2.8%	2.9%	2.7%	2.9%	2.5%	2.4%	2.8%	2.7%	2.8%
うち、心肺蘇生を実施しなかった傷病者又は目撃から心肺蘇生開始までの時間が不明の傷病者		923	976	794	1,083	1,134	1,030	786	633	1,157	889

第75図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（令和6年）



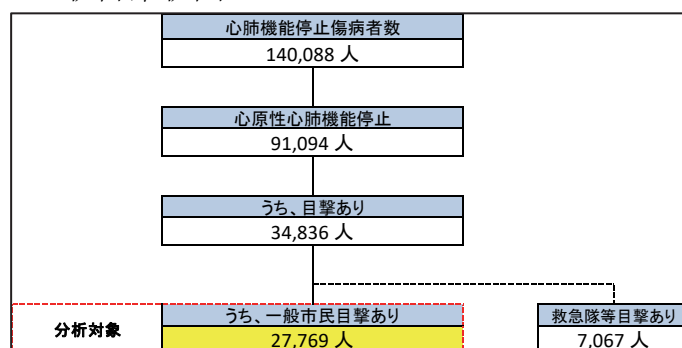
(6) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万7,769人のうち、救急隊により除細動が実施された傷病者の1か月後生存率は28.2%となっており、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1か月後生存率7.9%と比較して約3.6倍高くなっている。

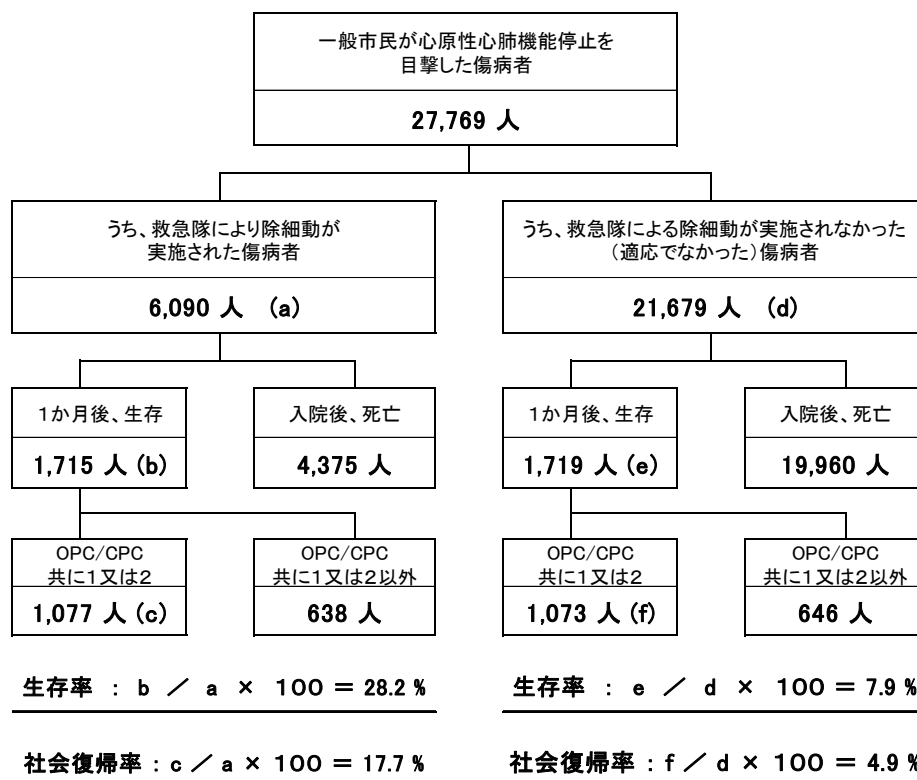
また、救急隊により除細動が実施された傷病者の1か月後社会復帰率は17.7%であり、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1か月後社会復帰率4.9%と比較して約3.6倍高くなっている。

さらに平成27年と比較すると、救急隊活動により除細動が実施された傷病者の1か月後生存率、1か月後社会復帰率はそれぞれ1.8ポイント、2.6ポイント低下している（第76図、第77表参照）。

（参考）ウツタインの統計系統図



第76図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（令和6年）



**第77表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による
除細動実施の有無別の生存率（10 か年比較）**

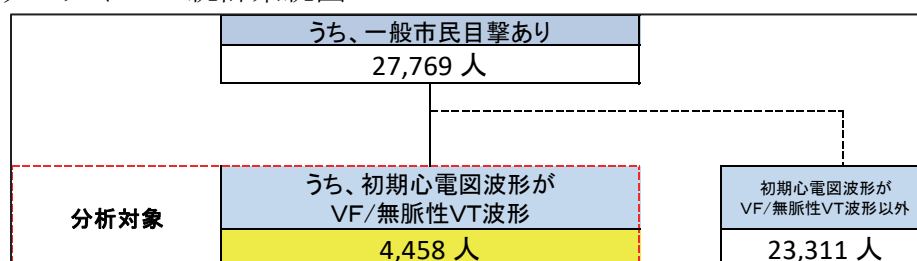
区 分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を 目撃した傷病者	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500	28,834	28,354	27,769
うち、救急隊により除細動が実施された傷病者	5,790	6,115	6,061	6,025	5,860	5,825	5,819	6,004	6,064	6,090
1か月後、生存	1,738	1,882	1,829	1,828	1,864	1,730	1,565	1,536	1,705	1,715
生存率	30.0%	30.8%	30.2%	30.3%	31.8%	29.7%	26.9%	25.6%	28.1%	28.2%
OPC/CPC共に1又は2	1,175	1,269	1,204	1,232	1,225	1,082	1,004	995	1,064	1,077
社会復帰率	20.3%	20.8%	19.9%	20.4%	20.9%	18.6%	17.3%	16.6%	17.5%	17.7%
うち、救急隊による除細動が実施されなかった (適応でなかった) 傷病者	18,706	19,454	19,477	19,731	19,700	19,965	20,681	22,830	22,290	21,679
1か月後、生存	1,444	1,518	1,615	1,756	1,695	1,425	1,379	1,435	1,643	1,719
生存率	7.7%	7.8%	8.3%	8.9%	8.6%	7.1%	6.7%	6.3%	7.4%	7.9%
OPC/CPC共に1又は2	927	957	1,028	1,123	1,066	860	834	899	1,026	1,073
社会復帰率	5.0%	4.9%	5.3%	5.7%	5.4%	4.3%	4.0%	3.9%	4.6%	4.9%
うち、除細動の適用有無が不明の傷病者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（初期心電図波形がVF/無脈性VTの傷病者）

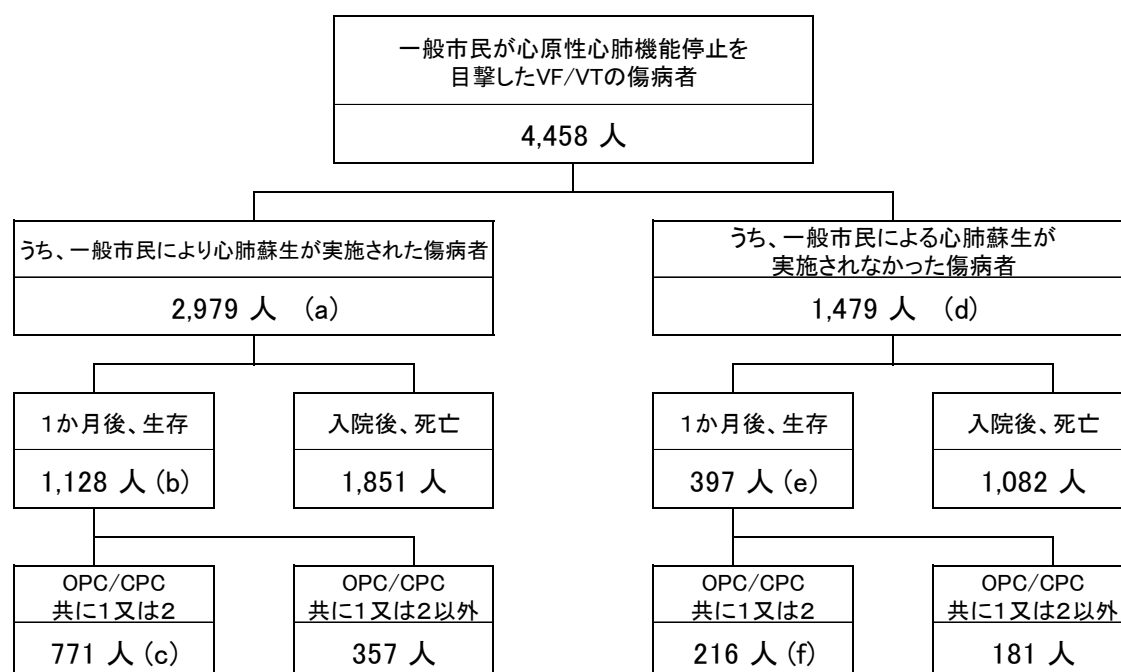
令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者4,458人のうち、一般市民が心肺蘇生を行った傷病者の1か月後生存率は37.9%、1か月後社会復帰率は25.9%であり、心肺蘇生が実施されなかった傷病者と比較し、1か月後生存率は約1.4倍、1か月後社会復帰率は約1.8倍高くなっている。

また、平成27年と比較すると、一般市民が心肺蘇生を行った傷病者の1か月後生存率、1か月後社会復帰率はそれぞれ0.8ポイント、3.1ポイント低下している（第78図、第79表参照）。

（参考）ウツタインの統計系統図



第78図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（令和6年）



$$\text{生存率} : b / a \times 100 = 37.9 \%$$

$$\text{社会復帰率} : c / a \times 100 = 25.9 \%$$

$$\text{生存率} : e / d \times 100 = 26.8 \%$$

$$\text{社会復帰率} : f / d \times 100 = 14.6 \%$$

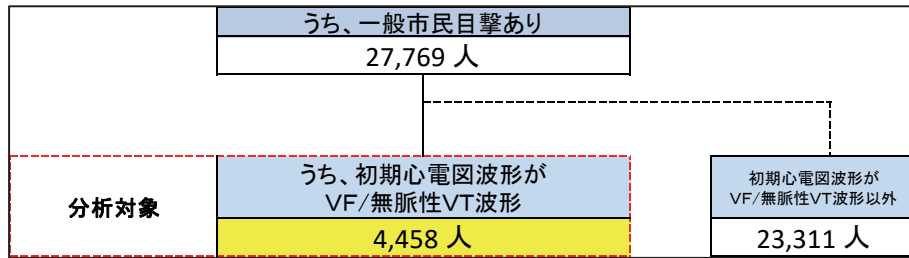
**第79表 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がV F
又は無脈性V Tで、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（10 か年
比較）**

区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を 目撃したVF/VTの傷病者		4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367	4,308	4,521	4,458
うち、一般市民により心肺蘇生が 実施された傷病者		2,808	2,962	2,903	2,941	2,868	2,870	2,837	2,853	3,025	2,979
	1か月後、生存	1,086	1,220	1,142	1,187	1,206	1,143	1,038	994	1,123	1,128
	生存率	38.7%	41.2%	39.3%	40.4%	42.1%	39.8%	36.6%	34.8%	37.1%	37.9%
	OPC/CPC共に1又は2	815	892	839	891	872	785	723	688	764	771
	社会復帰率	29.0%	30.1%	28.9%	30.3%	30.4%	27.4%	25.5%	24.1%	25.3%	25.9%
うち、一般市民による心肺蘇生が 実施されなかった傷病者		1,852	1,920	1,901	1,743	1,622	1,638	1,530	1,455	1,496	1,479
	1か月後、生存	564	559	570	508	493	463	379	378	407	397
	生存率	30.5%	29.1%	30.0%	29.1%	30.4%	28.3%	24.8%	26.0%	27.2%	26.8%
	OPC/CPC共に1又は2	340	332	320	283	272	254	205	210	216	216
	社会復帰率	18.4%	17.3%	16.8%	16.2%	16.8%	15.5%	13.4%	14.4%	14.4%	14.6%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無 が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

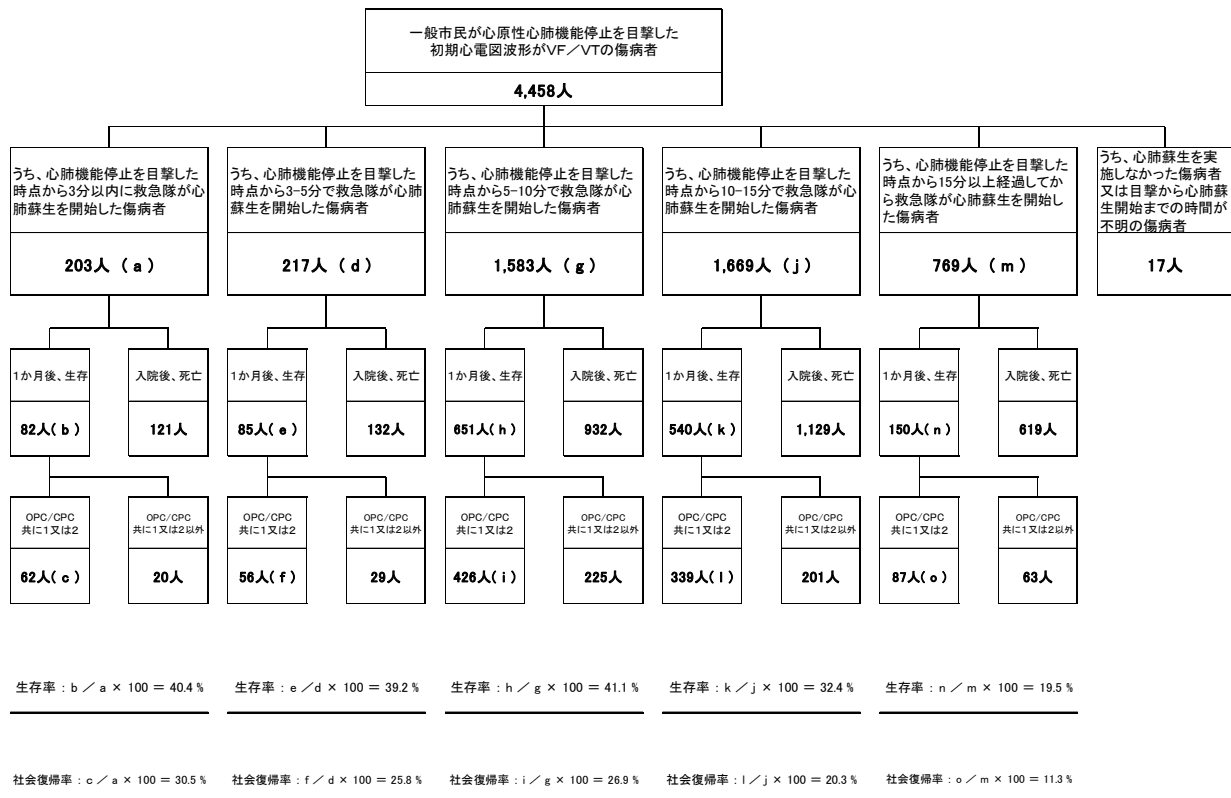
(8) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（初期心電図波形がVF/無脈性VTの傷病者）

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者4,458人のうち、救急隊が心肺蘇生を開始するまでの時間が10分以内の場合、1か月後生存率は39.2%～41.1%で、1か月後社会復帰率は25.8～30.5%であった。救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分を超えると1か月後生存率、1か月後社会復帰率は低下傾向を示した（第80図、第81表及び第82図参照）。

(参考) ウツタインの統計系統図



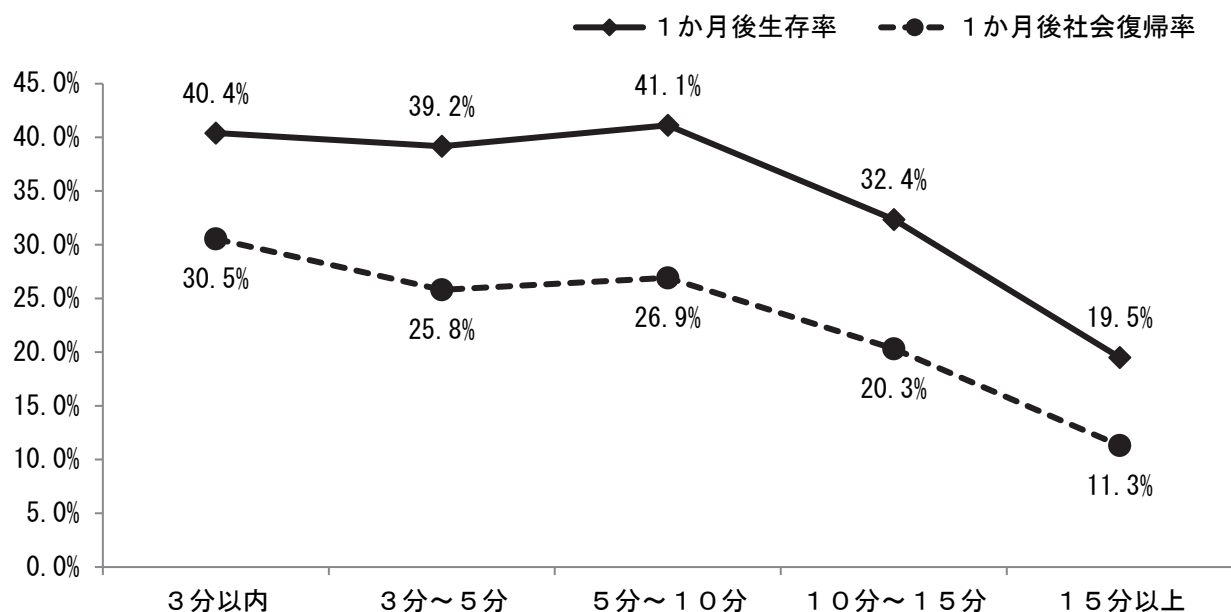
第80図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（令和6年）



第81表 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（10 か年比較）

区 分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した初期心電図波形がVF/VTの傷病者	4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367	4,308	4,521	4,458
うち、心肺停止を目撃した時点から3分以内に救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	268	230	257	243	244	217	223	218	216	203
1か月後、生存	104	100	106	102	100	86	85	72	87	82
生存率	38.8%	43.5%	41.2%	42.0%	41.0%	39.6%	38.1%	33.0%	40.3%	40.4%
OPC/CPC共に1又は2	77	73	73	66	70	56	56	52	55	62
社会復帰率	28.7%	31.7%	28.4%	27.2%	28.7%	25.8%	25.1%	23.9%	25.5%	30.5%
うち、心肺停止を目撃した時点から5-5分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	321	290	278	260	277	210	205	186	232	217
1か月後、生存	136	118	109	101	110	78	73	64	95	85
生存率	42.4%	40.7%	39.2%	38.8%	39.7%	37.1%	35.6%	34.4%	40.9%	39.2%
OPC/CPC共に1又は2	97	88	71	75	71	56	50	45	62	56
社会復帰率	30.2%	30.3%	25.5%	28.8%	25.6%	26.7%	24.4%	24.2%	26.7%	25.8%
うち、心肺停止を目撃した時点から5-10分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	1,923	2,012	1,954	1,932	1,798	1,705	1,576	1,485	1,593	1,583
1か月後、生存	782	826	838	805	778	730	621	560	624	651
生存率	40.7%	41.1%	42.9%	41.7%	43.3%	42.8%	39.4%	37.7%	39.2%	41.1%
OPC/CPC共に1又は2	574	593	574	575	550	487	430	390	413	426
社会復帰率	29.8%	29.5%	29.4%	29.8%	30.6%	28.6%	27.3%	26.3%	25.9%	26.9%
うち、心肺停止を目撃した時点から10-15分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	1,454	1,590	1,554	1,522	1,475	1,608	1,551	1,588	1,610	1,669
1か月後、生存	467	544	495	521	525	516	465	493	518	540
生存率	32.1%	34.2%	31.9%	34.2%	35.6%	32.1%	30.0%	31.0%	32.2%	32.4%
OPC/CPC共に1又は2	300	360	330	355	327	304	296	287	318	339
社会復帰率	20.6%	22.6%	21.2%	23.3%	22.2%	18.9%	19.1%	18.1%	19.8%	20.3%
うち、心肺停止を目撃した時点から15分以上経過してから救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	641	698	733	671	625	696	788	823	804	769
1か月後、生存	133	158	144	133	148	151	163	176	169	150
生存率	20.7%	22.6%	19.6%	19.8%	23.7%	21.7%	20.7%	21.4%	21.0%	19.5%
OPC/CPC共に1又は2	82	82	92	75	94	102	87	117	102	87
社会復帰率	12.8%	11.7%	12.6%	11.2%	15.0%	14.7%	11.0%	14.2%	12.7%	11.3%
うち、心肺蘇生を実施しなかった傷病者又は目撃から心肺蘇生開始までの時間が不明の傷病者	53	62	28	56	71	72	24	8	66	17

第82図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（令和6年）

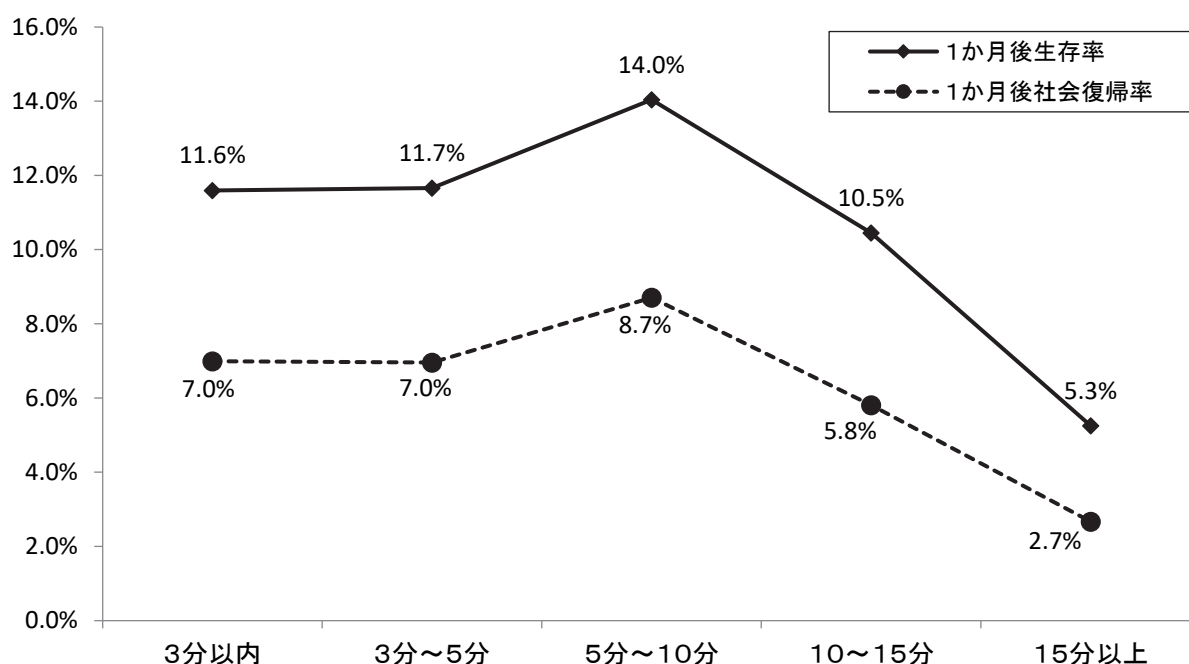


(9) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間区分別の生存率（10 か年集計）

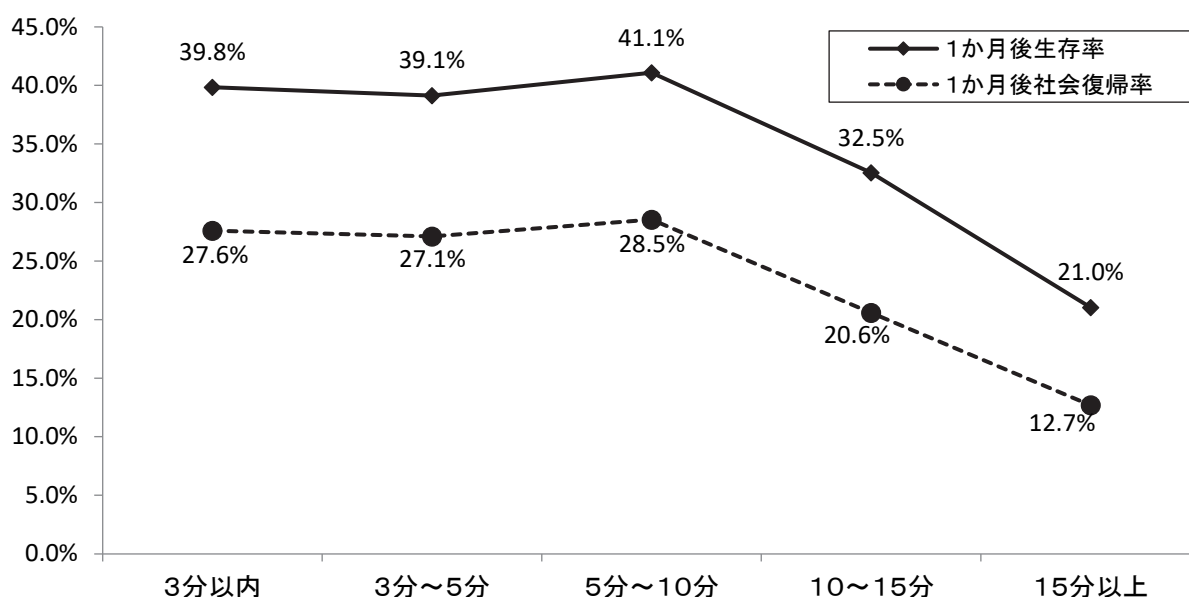
平成 27 年から令和 6 年までの 10 か年集計のうち、5 分～10 分以内に救急隊が心肺蘇生を開始した場合の 1 か月後生存率及び 1 か月後社会復帰率は、それぞれ 14.0%、8.7%であった。

救急隊が心肺蘇生を開始するまで 10 分を超えると、1 か月後生存率及び 1 か月後社会復帰率は低下傾向を示した。また、初期心電図波形が V F 又は無脈性 V T の場合は、救急隊が心肺蘇生を開始するまで 10 分を超えると、1 か月後生存率及び 1 か月後社会復帰率は低下傾向を示した（第 83 図、第 84 図参照）。

第83図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（10 か年集計）



第84図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形が V F 又は無脈性 V T の傷病者（10 か年集計）



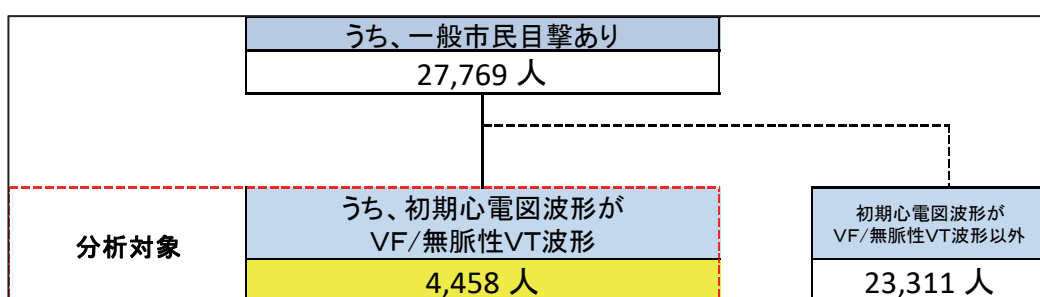
(10) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（初期心電図波形がVF/無脈性VTの傷病者）

令和6年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者 4,458 人のうち、救急隊により除細動が実施された傷病者の1か月後生存率は34.2%で、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1か月後生存率は35.4%であった。

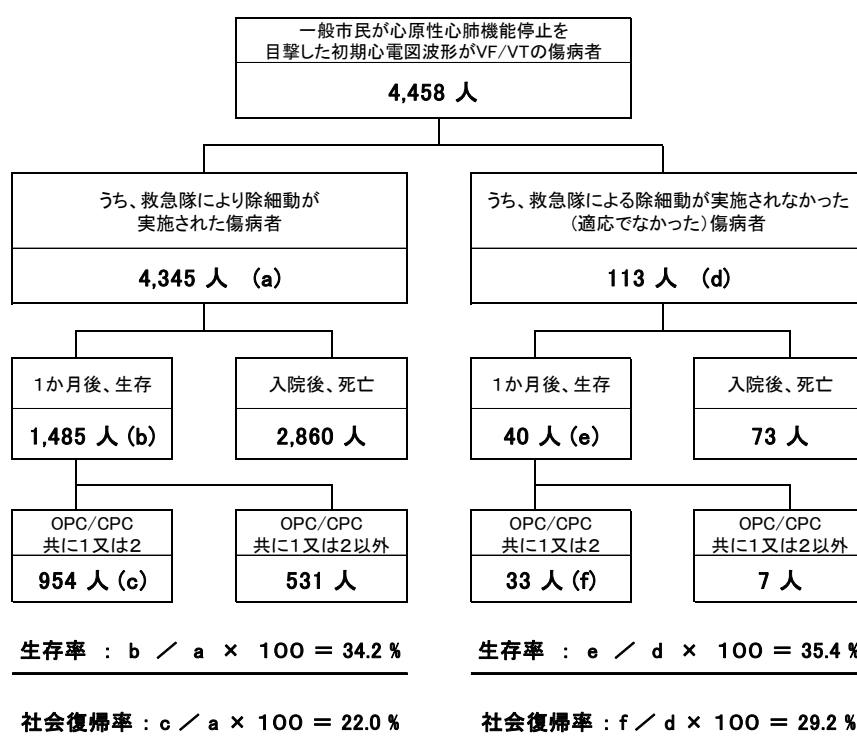
また、救急隊により除細動が実施された傷病者の1か月後社会復帰率は22.0%で、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1か月後社会復帰率は29.2%であった。

平成27年と比較すると、救急隊により除細動を実施された傷病者の1か月後生存率、1か月後社会復帰率はそれぞれ1.1ポイント、2.5ポイント低下している（第85図、第86表参照）。

（参考）ウツタインの統計系統図



第85図 一般市民が心原性心肺機能停止を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの傷病者で、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（令和6年）



第86表 一般市民が心原性心肺機能停止を目撃し、かつ初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者で、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（10 か年比較）

区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した初期心電図波形がVF/VTの傷病者		4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367	4,308	4,521	4,458
うち、救急隊により除細動が実施された傷病者		4,446	4,686	4,631	4,519	4,422	4,438	4,327	4,264	4,402	4,345
	1か月後、生存	1,570	1,702	1,658	1,635	1,667	1,565	1,406	1,357	1,490	1,485
	生存率	35.3%	36.3%	35.8%	36.2%	37.7%	35.3%	32.5%	31.8%	33.8%	34.2%
	OPC/CPC共に1又は2	1,091	1,167	1,111	1,128	1,119	1,003	921	889	946	954
	社会復帰率	24.5%	24.9%	24.0%	25.0%	25.3%	22.6%	21.3%	20.8%	21.5%	22.0%
うち、救急隊による除細動が実施されなかった（適応でなかった）傷病者		214	196	173	165	68	70	40	44	119	113
	1か月後、生存	80	77	54	60	32	41	11	15	40	40
	生存率	37.4%	39.3%	31.2%	36.4%	47.1%	58.6%	27.5%	34.1%	33.6%	35.4%
	OPC/CPC共に1又は2	64	57	48	46	25	36	7	9	34	33
	社会復帰率	29.9%	29.1%	27.7%	27.9%	36.8%	51.4%	17.5%	20.5%	28.6%	29.2%
うち、除細動の適用有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

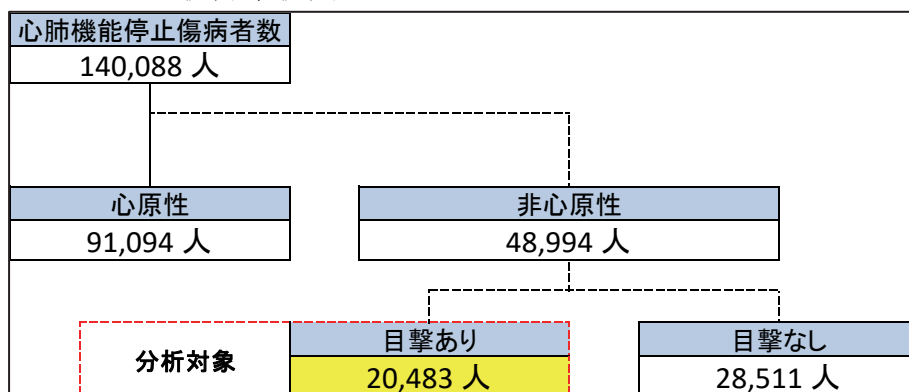
4 非心原性心肺機能停止傷病者の分析

(1) 非心原性心肺機能停止傷病者の目撃者別の生存率

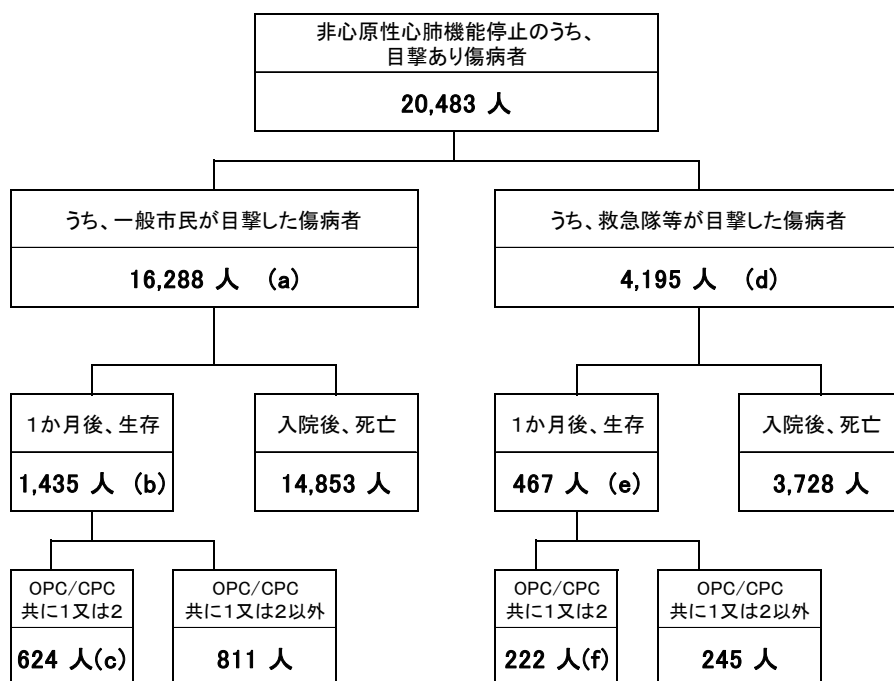
令和6年中に非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万483人のうち、一般市民が心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の1か月後生存率は8.8%で、1か月後社会復帰率は3.8%であった。平成27年と比較すると、1か月後生存率、1か月後社会復帰率はそれぞれ0.2ポイント低下、0.2ポイント上昇している。

また、救急隊等が目撃した傷病者の1か月後生存率は11.1%で、1か月後社会復帰率は5.3%であった。平成27年と比較すると、それぞれ0.5ポイント、0.9ポイント上昇している（第87図、第88表参照）。

（参考）ウツタインの統計系統図



第87図 非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（令和6年）



$$\text{生存率} : b / a \times 100 = 8.8 \%$$

$$\text{生存率} : e / d \times 100 = 11.1 \%$$

$$\text{社会復帰率} : c / a \times 100 = 3.8 \%$$

$$\text{社会復帰率} : f / d \times 100 = 5.3 \%$$

第88表 非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（10 か年比較）

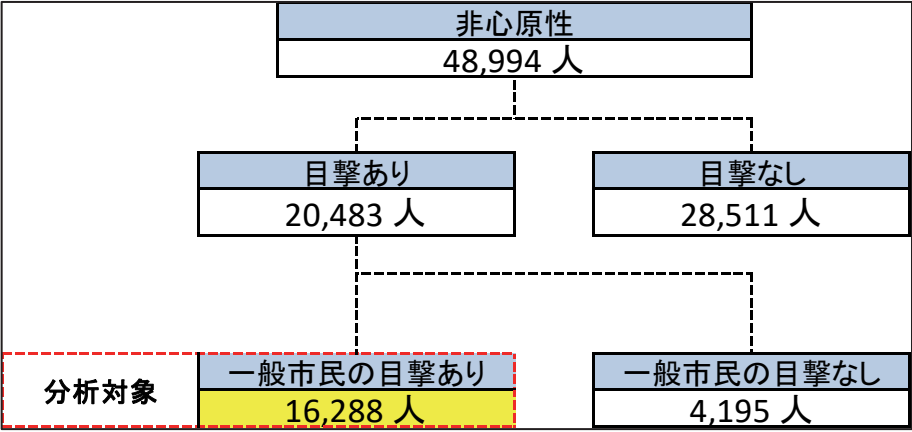
区 分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
非心原性心肺機能停止傷病者	49,724	48,445	48,716	48,318	47,387	46,552	47,402	51,230	50,025	48,994
心肺機能停止の時点を目撃した傷病者	21,184	21,175	21,049	21,133	20,592	19,849	20,627	21,928	21,550	20,483
うち、一般市民が目撃した傷病者	17,116	17,159	17,131	17,186	16,777	16,064	16,572	17,546	17,221	16,288
1か月後、生存	1,538	1,691	1,695	1,769	1,739	1,409	1,381	1,421	1,440	1,435
生存率	9.0%	9.9%	9.9%	10.3%	10.4%	8.8%	8.3%	8.1%	8.4%	8.8%
OPC/CPC共に1又は2	616	738	729	841	770	618	564	649	653	624
社会復帰率	3.6%	4.3%	4.3%	4.9%	4.6%	3.8%	3.4%	3.7%	3.8%	3.8%
うち、救急隊が目撃した傷病者	4,068	4,016	3,918	3,947	3,815	3,785	4,055	4,382	4,329	4,195
1か月後、生存	431	463	450	466	449	419	429	453	430	467
生存率	10.6%	11.5%	11.5%	11.8%	11.8%	11.1%	10.6%	10.3%	9.9%	11.1%
OPC/CPC共に1又は2	181	211	204	214	229	183	198	206	208	222
社会復帰率	4.4%	5.3%	5.2%	5.4%	6.0%	4.8%	4.9%	4.7%	4.8%	5.3%
うち、目撃者が不詳である傷病者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺機能停止の時点が目撃されていない傷病者	28,540	27,270	27,667	27,185	26,795	26,703	26,775	29,302	28,475	28,511

(2) 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率

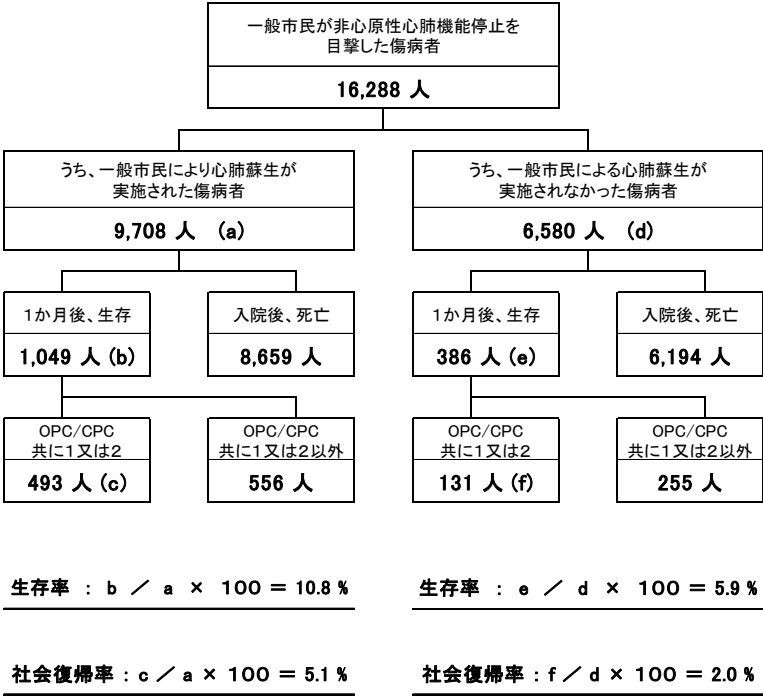
令和6年中に一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は1万6,288人であり、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者は9,708人(59.6%)であった。そのうち、1か月後生存者は1,049人、1か月後生存率は10.8%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1か月後生存率5.9%と比較して約1.8倍高くなっている。また、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者のうち1か月後社会復帰者は493人、1か月後社会復帰率は5.1%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1か月後社会復帰率2.0%と比較して約2.6倍高くなっている。

平成27年と比較すると、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者の1か月後生存率は0.1ポイント低下、1か月後社会復帰率は0.2ポイント上昇となっている(第89図、第90表参照)。

(参考) ウツタインの統計系統図



第89図 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率(令和6年)



第90表 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（10 か年比較）

区 分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般市民が非心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		17,116	17,159	17,131	17,186	16,777	16,064	16,572	17,546	17,221	16,288
うち、一般市民により心肺蘇生が実施された傷病者		9,240	9,293	9,600	9,932	9,659	9,255	9,539	10,365	10,204	9,708
1か月後、生存		1,010	1,149	1,192	1,277	1,219	1,028	997	1,014	1,055	1,049
生存率		10.9%	12.4%	12.4%	12.9%	12.6%	11.1%	10.5%	9.8%	10.3%	10.8%
OPC/CPC共に1又は2		456	550	572	674	605	489	447	502	530	493
社会復帰率		4.9%	5.9%	6.0%	6.8%	6.3%	5.3%	4.7%	4.8%	5.2%	5.1%
うち、一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		7,876	7,866	7,531	7,254	7,118	6,809	7,033	7,181	7,017	6,580
1か月後、生存		528	542	503	492	520	381	384	407	385	386
生存率		6.7%	6.9%	6.7%	6.8%	7.3%	5.6%	5.5%	5.7%	5.5%	5.9%
OPC/CPC共に1又は2		160	188	157	167	165	129	117	147	123	131
社会復帰率		2.0%	2.4%	2.1%	2.3%	2.3%	1.9%	1.7%	2.0%	1.8%	2.0%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

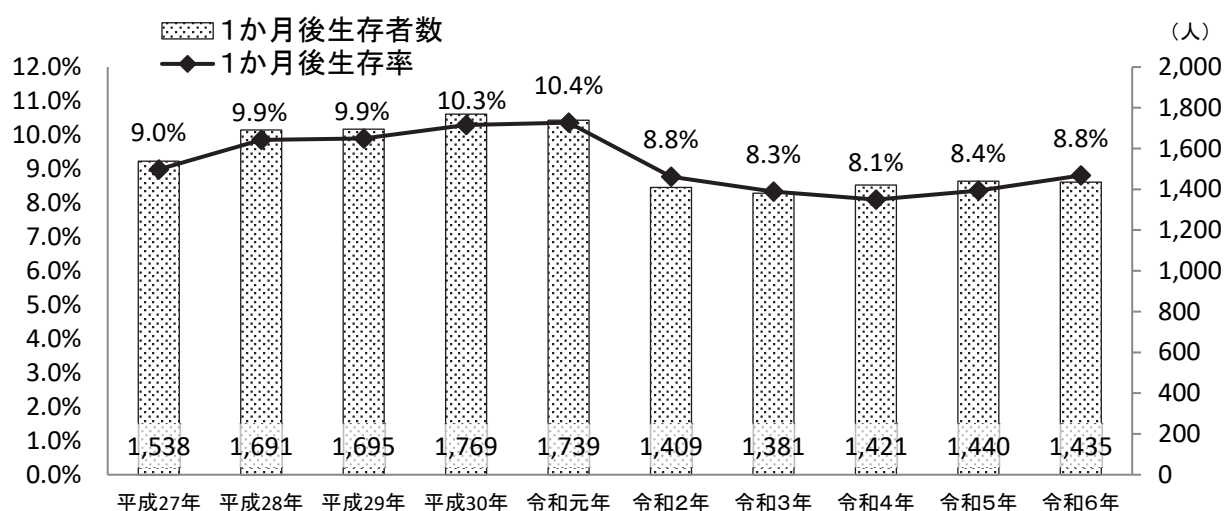
(3) 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の生存率の推移（都道府県別及び年齢区分別の10か年集計、10か年推移）

令和6年中に一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の1か月後生存率は8.8%であり、1か月後社会復帰率は3.8%であった（第91図、第92図参照）。

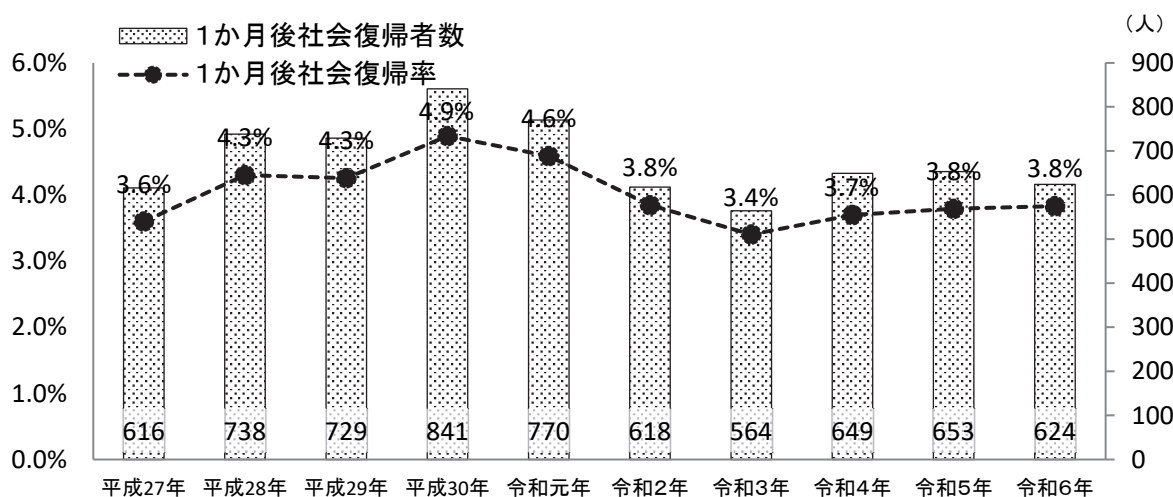
平成27年から令和6年までの10か年集計による、一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の1か月後生存率は9.2%であり、1か月後社会復帰率は4.0%であった（別表20参照）。

一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者について、年齢区別にみると1か月後生存率、1か月後社会復帰率ともに満0～9歳が最も高い（第93表参照）。10か年における都道府県別の1か月後生存率は、沖縄県（15.7%）、佐賀県（13.9%）、熊本県（13.7%）等が高く、1か月後社会復帰率については、佐賀県（8.7%）、沖縄県（8.4%）、島根県（8.0%）等が高くなっている（別表20参照）。

第91図 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の1か月後生存率（10か年推移）



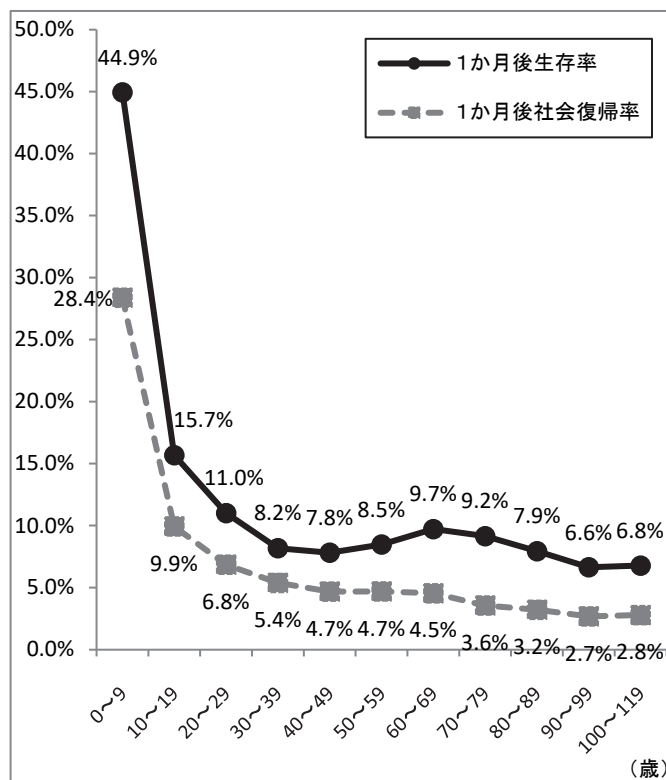
第92図 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の1か月後社会復帰率（10か年推移）



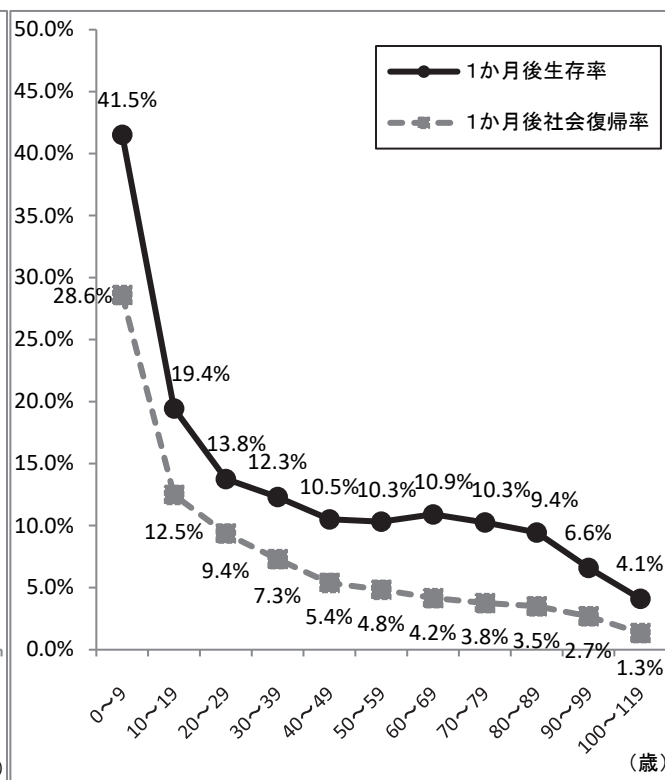
第93表 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の男女別・年齢区分別の生存率（10 か年集計）

		10か年集計											
		総件数	一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者数										
			男性						女性				
			人数	1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数		人数	1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数		
年齢区分					1か月後生存率		1か月後社会復帰率			1か月後生存率		1か月後社会復帰率	
	0～9	9,182	1,697	1,008	44.9%	286	28.4%	689	286	41.5%	197	28.6%	
	10～19	7,994	1,763	1,218	15.7%	121	9.9%	545	106	19.4%	68	12.5%	
	20～29	15,027	3,142	2,117	11.0%	145	6.8%	1,025	141	13.8%	96	9.4%	
	30～39	21,703	3,611	2,433	8.2%	131	5.4%	1,178	145	12.3%	86	7.3%	
	40～49	50,195	7,176	4,682	7.8%	219	4.7%	2,494	262	10.5%	134	5.4%	
	50～59	84,216	10,559	7,080	8.5%	332	4.7%	3,479	359	10.3%	168	4.8%	
	60～69	149,014	18,493	12,406	9.7%	564	4.5%	6,087	664	10.9%	253	4.2%	
	70～79	301,671	38,535	25,042	9.2%	890	3.6%	13,493	1,384	10.3%	507	3.8%	
	80～89	440,741	55,189	30,597	7.9%	984	3.2%	24,592	2,323	9.4%	860	3.5%	
	90～99	216,097	27,448	9,718	6.6%	261	2.7%	17,730	1,169	6.6%	477	2.7%	
	100～119	10,605	1,447	251	6.8%	7	2.8%	1,196	49	4.1%	16	1.3%	
	不詳	0	0	0	—	0	—	0	0	—	0	—	
合 計		1,306,445	169,060	96,552	8.9%	3,940	4.1%	72,508	6,888	9.5%	2,862	3.9%	

男 性



女 性



5 用語の定義及び収集方法について (「平成 20 年度救急統計活用検討会」報告書による)

(1) ウツタイン様式とは

「ウツタイン様式」とは、心肺機能停止傷病者について地域間・国際間での蘇生率等の統計比較を可能とするために、その原因別（心臓に原因があるものかそれ以外か）の分類、心肺機能停止時点の目撃の有無、バイスタンダー（その場に居合わせた人）や救急隊による心肺蘇生の有無やその開始時期、除細動の有無などに応じた傷病者の経過の記録に関するガイドラインのことを指し、平成 2 年にノルウェーの「ウツタイン修道院」で開催された国際蘇生会議において提唱されたことからこのように呼ばれる。

(2) 各用語の定義について

●心肺機能停止

脈拍が触知出来ない、反応が無い（意識が無い）、無呼吸あるいはあえぎ呼吸（死戦期呼吸）で確認される心臓機能の機械的な活動の停止をいう。

●V F、無脈性V T 傷病者

V F：心室細動（Ventricular Fibrillation）

無脈性V T：無脈性心室頻拍（Pulseless Ventricular Tachycardia）

●A E D

A E D：自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）

小型の機器で、傷病者の胸に貼ったパッドから自動的に心臓の状態を判断し、もし心室細動や無脈性心室頻拍の不整脈があったと判断された場合は、電気ショックを心臓に与える機能を持っている。

●一般市民による応急手当

胸骨圧迫、人工呼吸等の心肺蘇生法及びA E Dによる除細動の実施をいう。

※胸骨圧迫、人工呼吸、除細動のいずれかが実施された場合に「一般市民による応急手当あり」としている。

●一般市民による目撃

心肺機能停止の時点を目撃又は音を聞いた人のことをいう。「目撃又は音を聞いた」に該当する例は、次のとおりである。

- ✓家族の目前で「倒れた」、「ぐったりした」等、また、物音を聞いてすぐに駆けつけたところ倒れていた場合
- ✓交通事故等の目撃者からの通報で、救急隊（救急隊と連携して出動した消防隊も含む。以下同じ。）到着時には心肺機能停止状態であった場合
- ✓通報時、通報者が傷病者の生存を確認できたが、救急隊到着時には心肺機能停止状態であった場合

●除細動実施傷病者

A E D又は半自動体外式除細動器で除細動が必要と判断され、実施された者

●除細動未実施傷病者

A E D又は半自動体外式除細動器で、除細動が必要でないと判断された者又はA E Dを装着されなかった者

●救急隊等

救急隊又は救急隊と連携して出動した消防隊をいう。

●初期心電図波形

救急隊等が傷病者に接触し、最初に確認した心電図波形をいう。

※救急隊到着前に、一般市民により除細動が行われ、傷病者の心拍が再開した傷病者については、心電図波形上、V F、無脈性V Tが救急隊によって確認されないため、「初期心電図波形が、V F、無脈性V T」には含まれない。

●社会復帰者

脳機能カテゴリー(C P C)、全身機能カテゴリー(O P C)が共に1又は2であったものをいう。

●C P C、O P C

グラスゴー・ピッツバーグ脳機能・全身機能カテゴリー (The Glasgow - Pittsburgh Outcome Categories) は、心肺蘇生が成功した傷病者のその後の生活の質 (Q O L : Quality of Life) を評価するために広く用いられている分類法であり、脳機能カテゴリー (C P C : Cerebral Performance Categories) と全身機能カテゴリー (O P C : Overall Performance Categories) に分類し評価している。

●脳機能カテゴリー(CPC)

(1) CPC1:機能良好

意識は清明、普通の生活ができ、労働が可能である。障害があるが軽度の構音障害、脳神経障害、不完全麻痺などの軽い神経障害あるいは精神障害まで。

(2) CPC2:中等度障害

意識あり。保護された状況でパートタイムの仕事ができ、介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。片麻痺、痙攣失調、構音障害、嚥下障害、記憶力障害、精神障害など。

(3) CPC3:高度障害

意識あり。脳の障害により、日常生活に介助を必要とする。少なくとも認識力は低下している。高度な記憶力障害や認知力障害、Locked-in症候群のように目でのみ意思表示ができるなど。

(4) CPC4:昏睡

昏睡、植物状態。意識レベルは低下、認識力欠如、周囲との会話や精神的交流も欠如。

(5) CPC5:死亡、若しくは脳死

●全身機能カテゴリー(OPC)

(1) OPC1:機能良好

健康で意識清明。正常な生活を営む。OPC1であるとともに脳以外の原因による軽度の障害。

(2) OPC2:中等度障害

意識あり。OPC2の状態。あるいは脳以外の原因による中等度の障害、若しくは両者の合併。介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。保護された状況でパートタイムの仕事ができるが厳しい仕事はできない。

(3) OPC3:高度障害

意識あり。OPC3の状態。あるいは脳以外の原因による高度の障害、若しくは両者の合併。日常生活に介助が必要。

(4) OPC4:昏睡

OPC4に同じ。

(5) OPC5:死亡、もしくは脳死

OPC5に同じ。

(3) 収集方法、データクリーニング基本方針について

●収集方法

全国の消防本部が、「ウツタイン様式オンライン入力要領」に従ってデータを収集し、収集したデータを次のいずれかの方法により消防庁システムへ登録することでデータ収集を行っている。

- ✓ 消防庁オンラインシステムの登録画面にデータを直接入力し、そのデータを登録する。
- ✓ 国が提供している「救急調査オフライン処理システム」の登録画面にデータを入力し、そのデータを消防庁オンラインシステムに登録する。
- ✓ 消防本部が独自に保有する統計システムを用いてデータを入力し、消防庁オンラインシステムに整合するようにデータ変換したものを登録する。

●収集項目

事例No	発生年月日	年	月	日	性別	□男 □女	年齢
救急救命士乗車	□あり □なし	医師の乗車	□あり □なし	医師の2次救命処置	□あり □なし		
1. 心停止の目撃							
□ 目撃又は音を聞いた							
□ 家族 □ その他のバイスタンダー(□友人 □同僚 □通行人 □その他)							
□ 消防隊 □ 救急隊(□救急救命士隊)							
□ 既に心肺機能停止(発見時)							
2. バイスタンダーCPR □あり (□胸骨圧迫 □人工呼吸 □市民等による除細動) □なし							
バイスタンダーCPR又は市民等による除細動開始時刻							
_____時 _____分 □確定 □推定 □不明							
□口頭指導あり							
3. 初期心電図波形							
□VF(心室細動) □Pulseless VT(無脈性心室頻拍) □PEA(無脈性電氣的活動)							
□心静止 □その他()							
4. 救急救命処置等の内容							
□除細動(□二相性 □単相性) 初回除細動実施時刻 _____時 _____分 施行回数 _____回							
実施者 □救急救命士 □救急隊員 □消防職員 □その他							
□気道確保 □特定行為器具使用(□LM □食道閉鎖式エアウェイ □気管内チューブ)							
□静脈路確保							
□薬剤投与 初回投与時刻 _____時 _____分 投与回数 _____回							
5. 時間経過							
覚知 _____時 _____分 現着 _____時 _____分 接触 _____時 _____分 CPR開始 _____時 _____分 病院収容 _____時 _____分							
6. 心停止の推定原因							
□心原性: □確定 □除外診断による心原性							
□非心原性: □脳血管障害 □呼吸器系疾患 □悪性腫瘍 □外因性 □その他()							
7. 転帰及び予後							
・病院収容前の心拍再開 □あり □なし 初回心拍再開時刻 _____時 _____分							
□ 1ヶ月予後 (回答: □あり □なし)							
□ 1ヶ月生存 □あり □なし							
○ 脳機能カテゴリー(CPC)							
□ CPC1 機能良好 □ CPC2 中等度障害 □ CPC3 高度障害							
□ CPC4 昏睡 □ CPC5 死亡、もしくは脳死							
○ 全身機能カテゴリー(OPC)							
□ OPC1 機能良好 □ OPC2 中等度障害 □ OPC3 高度障害							
□ OPC4 昏睡 □ OPC5 死亡、もしくは脳死							

●データクリーニング基本方針

報告のあったデータを以下の方針に基づき、精査し、平成 17 年からの全てのウツタインデータを改めて見直し、全てのウツタイン統計データの再集計を行った。

- ✓ システムやコンバートによるエラーであることが明らかであるものについては、修正可能であれば修正、又は各消防本部に確認して修正する。
- ✓ 各消防本部別・各項目別のエラー件数が、それぞれの消防本部における心肺機能停止傷病者数からみて 25%以上だった場合、当該消防本部に確認し修正する。
- ✓ 最終的には都道府県にてデータを確認。

(4) その他

都道府県別のデータについては、10 年分のデータを合わせて集計している。

一定の標本蓄積がなされたが、都道府県別で正確な比較をするには、地域ごとに医療提供体制に違いがあること、傷病者の背景因子に違いがあること、さらにデータの精度を向上させる必要があること等から、平成 22 年度救急業務高度化推進検討会（救急蘇生作業部会）において、都道府県別に単純比較を行うことについては適切でないと指摘されており、データを活用する際には十分に注意を払う必要がある。

別 表

別表13 心肺機能停止傷病者全搬送人員（都道府県別）

都道府県	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
北海道		5,401	5,545	5,605	5,697	5,679	5,652	5,891	6,451	6,559	6,416
青森県		1,674	1,657	1,637	1,612	1,607	1,584	1,654	1,620	1,660	1,857
岩手県		1,566	1,523	1,489	1,625	1,603	1,614	1,613	1,734	1,699	1,733
宮城県		2,283	2,358	2,255	2,490	2,556	2,419	2,396	2,584	2,651	2,659
秋田県		1,558	1,498	1,481	1,480	1,435	1,377	1,490	1,550	1,610	1,542
山形県		1,455	1,424	1,352	1,435	1,477	1,331	1,337	1,521	1,479	1,314
福島県		2,158	2,183	2,221	2,220	2,207	2,230	2,291	2,575	2,629	2,522
茨城県		3,070	2,975	3,147	3,279	3,221	3,123	3,061	3,368	3,302	3,816
栃木県		2,036	2,102	2,201	2,146	2,134	2,088	2,173	2,370	2,399	2,395
群馬県		2,161	2,041	2,123	2,240	2,210	2,199	2,213	2,419	2,353	2,282
埼玉県		6,505	6,889	7,176	7,115	7,067	7,512	7,692	8,481	8,262	8,149
千葉県		5,676	5,649	5,869	6,030	6,170	5,914	6,342	6,989	6,894	7,072
東京都		12,446	12,449	12,574	12,679	12,405	12,414	12,766	14,093	13,521	13,521
神奈川県		8,613	8,518	8,794	8,904	8,830	9,059	9,057	9,858	9,742	9,670
新潟県		2,824	2,867	2,858	2,893	2,831	2,590	2,775	2,918	2,946	2,922
富山県		1,040	1,085	1,052	1,164	1,069	1,060	1,110	1,237	1,242	1,218
石川県		1,105	1,090	1,118	1,107	1,121	1,020	1,149	1,260	1,119	1,164
福井県		747	771	743	785	764	705	758	795	767	769
山梨県		982	812	979	871	952	936	989	1,042	1,047	1,118
長野県		2,382	2,375	2,530	2,385	2,387	2,294	2,402	2,769	2,672	2,616
岐阜県		2,331	2,193	2,312	2,231	2,132	2,090	2,160	2,262	2,440	2,500
静岡県		4,143	3,998	4,208	4,034	3,931	3,895	3,879	4,284	4,181	4,192
愛知県		6,980	6,775	7,146	7,122	7,187	7,050	7,217	8,082	7,945	7,999
三重県		2,072	2,087	2,125	2,197	2,093	2,056	1,968	2,381	2,343	2,181
滋賀県		1,208	1,180	1,288	1,298	1,327	1,289	1,395	1,514	1,432	1,441
京都府		2,425	2,471	2,553	2,526	2,550	2,578	2,562	2,957	2,736	2,685
大阪府		7,791	7,855	8,175	8,389	8,193	8,343	8,817	9,940	9,547	9,475
兵庫県		4,757	4,842	4,993	4,964	4,922	5,112	5,224	5,613	5,597	5,664
奈良県		1,296	1,303	1,329	1,342	1,334	1,305	1,445	1,596	1,578	1,608
和歌山県		1,075	1,100	1,142	1,139	1,106	1,103	1,198	1,336	1,304	1,266
鳥取県		419	621	632	587	592	468	437	537	535	410
島根県		891	867	853	857	799	716	798	890	852	749
岡山県		1,842	1,898	1,898	1,957	1,824	1,794	1,898	2,119	2,121	2,149
広島県		2,349	2,123	2,251	2,227	2,379	2,350	2,429	2,784	2,801	2,893
山口県		1,376	1,414	1,392	1,343	1,424	1,356	1,258	1,541	1,607	1,588
徳島県		758	727	733	722	743	756	766	816	829	830
香川県		954	861	948	849	893	914	940	995	1,018	1,014
愛媛県		1,560	1,510	1,611	1,515	1,541	1,494	1,472	1,720	1,681	1,698
高知県		750	794	781	748	742	749	762	870	849	808
福岡県		4,050	4,265	4,365	4,496	4,214	4,365	4,436	4,812	4,887	4,793
佐賀県		850	815	916	840	810	866	838	985	903	898
長崎県		1,286	1,320	1,408	1,343	1,255	1,351	1,342	1,403	1,518	1,489
熊本県		1,730	1,708	1,722	1,719	1,669	1,693	1,655	1,976	1,861	1,796
大分県		981	1,109	1,171	1,117	1,053	1,125	1,123	1,174	1,118	865
宮崎県		1,121	1,137	1,046	1,116	1,081	1,172	1,171	1,245	1,214	1,249
鹿児島県		1,612	1,520	1,556	1,547	1,472	1,544	1,522	1,740	1,655	1,610
沖縄県		1,132	1,250	1,260	1,336	1,280	1,273	1,273	1,522	1,470	1,483
全国		123,421	123,554	127,018	127,718	126,271	125,928	129,144	142,728	140,575	140,088

別表14 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した件数（都道府県別）

年 都道府県	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
北海道	546	563	571	610	555	600	594	743	701	697
青森県	198	174	195	180	208	192	181	186	171	205
岩手県	192	180	194	175	215	223	208	210	229	218
宮城県	304	320	306	314	328	321	347	338	344	401
秋田県	195	205	168	182	191	169	174	136	200	179
山形県	198	188	169	186	173	173	159	185	185	160
福島県	284	298	286	295	272	302	285	341	359	361
茨城県	291	324	292	373	359	325	344	359	303	357
栃木県	231	263	252	268	269	299	283	261	270	318
群馬県	281	253	328	295	300	297	285	279	299	301
埼玉県	789	841	894	831	884	1,008	999	1,090	1,073	985
千葉県	544	517	543	622	705	702	715	743	791	804
東京都	1,207	1,364	1,458	1,459	1,429	1,460	1,544	1,883	1,936	1,892
神奈川県	985	1,044	1,084	1,238	1,100	1,135	1,123	1,227	1,288	1,223
新潟県	292	286	285	318	284	327	287	292	357	339
富山県	80	82	69	87	72	90	91	97	96	109
石川県	97	96	98	116	108	112	110	129	92	115
福井県	49	69	48	61	64	58	70	66	69	75
山梨県	103	96	112	104	136	133	137	143	139	143
長野県	231	239	257	241	236	281	260	284	255	244
岐阜県	237	251	290	299	261	271	306	323	326	327
静岡県	407	436	459	422	419	390	400	441	420	405
愛知県	948	959	954	925	962	859	917	976	977	902
三重県	229	242	250	267	247	252	215	316	276	254
滋賀県	139	131	118	123	145	143	137	171	141	152
京都府	249	286	292	298	316	341	297	401	339	339
大阪府	1,210	1,288	1,032	1,111	1,061	1,031	1,151	1,289	1,264	1,238
兵庫県	505	571	545	606	556	570	644	709	687	684
奈良県	182	195	194	208	192	209	224	266	233	222
和歌山県	117	92	110	93	117	123	110	140	135	141
鳥取県	59	78	71	77	71	45	52	57	54	52
島根県	109	97	89	77	74	81	81	90	88	82
岡山県	155	160	189	201	165	172	181	202	184	168
広島県	201	192	206	221	253	245	275	336	328	325
山口県	119	161	152	180	180	139	148	187	204	228
徳島県	62	62	72	57	50	58	66	66	80	74
香川県	66	66	74	67	57	91	82	91	67	68
愛媛県	187	171	189	196	191	180	196	240	192	213
高知県	60	81	80	68	80	63	65	75	76	70
福岡県	391	384	409	459	398	428	449	478	497	451
佐賀県	90	70	80	69	70	72	79	85	73	83
長崎県	134	151	174	178	161	160	169	179	199	190
熊本県	177	210	214	165	199	170	193	214	282	261
大分県	103	123	123	123	132	131	135	145	126	103
宮崎県	126	148	123	126	153	179	129	152	159	168
鹿児島県	180	176	203	182	178	146	162	200	155	182
沖縄県	133	171	147	212	213	218	166	247	208	220
全国	13,672	14,354	14,448	14,965	14,789	14,974	15,225	17,068	16,927	16,728

別表15 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数（都道府県別）

都道府県	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
北海道		78	60	66	74	84	63	75	75	91	100
青森県		18	14	18	13	19	11	12	11	18	14
岩手県		23	13	23	20	25	21	19	16	21	22
宮城県		29	33	29	47	47	30	24	39	33	38
秋田県		9	8	12	15	22	18	16	13	16	21
山形県		20	21	28	19	24	12	19	16	23	19
福島県		17	32	30	33	37	30	24	29	31	51
茨城県		43	41	32	41	50	42	34	25	36	48
栃木県		20	21	31	29	17	21	17	28	27	40
群馬県		41	56	58	50	57	37	23	39	36	41
埼玉県		106	118	109	114	116	131	123	123	144	132
千葉県		101	98	95	111	127	93	97	112	123	153
東京都		289	317	354	321	337	247	278	359	348	373
神奈川県		135	150	144	168	178	144	155	153	180	152
新潟県		46	35	50	51	40	32	32	55	47	47
富山県		4	14	8	12	14	15	14	17	16	16
石川県		10	21	18	20	26	21	11	9	12	17
福井県		8	8	13	8	10	5	8	9	6	10
山梨県		13	11	14	9	11	14	6	12	8	18
長野県		22	26	29	25	27	25	32	37	30	27
岐阜県		44	48	54	35	46	34	23	21	35	37
静岡県		48	59	64	54	68	44	44	54	62	54
愛知県		86	110	96	109	118	107	89	107	138	140
三重県		34	29	55	38	36	22	35	34	44	31
滋賀県		19	25	22	18	20	22	19	17	28	38
京都府		25	25	34	34	44	40	24	44	22	28
大阪府		90	93	102	121	127	104	95	114	149	139
兵庫県		81	73	81	83	72	68	67	76	75	85
奈良県		13	11	22	22	16	16	25	17	25	24
和歌山県		12	12	14	17	17	12	9	9	17	11
鳥取県		7	5	11	12	4	6	5	3	10	9
島根県		7	12	10	9	8	12	10	8	16	13
岡山県		22	21	14	19	20	16	11	28	32	21
広島県		64	71	83	15	24	25	28	38	40	38
山口県		25	25	37	25	20	14	10	12	19	16
徳島県		3	12	11	7	8	10	8	8	7	8
香川県		5	10	6	3	7	10	6	3	6	15
愛媛県		15	13	11	19	15	16	15	25	17	23
高知県		9	8	11	8	17	11	7	10	8	9
福岡県		49	57	49	48	44	58	66	51	94	66
佐賀県		15	17	12	8	14	13	17	8	12	7
長崎県		16	19	17	9	14	16	14	20	17	13
熊本県		24	13	18	19	18	20	18	26	23	32
大分県		15	15	20	9	16	11	12	8	13	6
宮崎県		23	22	22	21	23	19	11	13	21	17
鹿児島県		18	15	18	22	23	13	8	20	12	22
沖縄県		14	51	47	54	61	41	24	19	26	23
全国		1,815	1,968	2,102	2,018	2,168	1,792	1,719	1,970	2,214	2,264

別表16 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率（10 か年比較、都道府県別）

区分	平成27年					平成28年					平成29年					平成30年				
	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者					一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者					一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者					一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者				
	1か月後生存者数					1か月後生存者数					1か月後生存者数					1か月後生存者数				
	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰者数	社会復帰率	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰者数	社会復帰率	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰者数	社会復帰率	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰者数	社会復帰率
都道府県																				
北海道	959	163	17.0%	97	10.1%	989	177	17.9%	105	10.6%	1,027	143	13.9%	87	8.5%	1,039	174	16.7%	107	10.3%
青森県	332	30	9.0%	22	6.6%	330	36	10.9%	28	8.5%	357	32	9.0%	23	6.4%	314	17	5.4%	14	4.5%
岩手県	348	30	8.6%	18	5.2%	348	29	8.3%	19	5.5%	353	31	9.3%	16	4.8%	345	24	7.0%	16	4.6%
宮城県	536	74	13.8%	54	10.1%	523	72	13.8%	41	7.8%	544	63	11.6%	43	7.9%	572	68	11.9%	51	8.9%
秋田県	317	30	9.5%	16	5.0%	316	40	12.7%	24	7.6%	272	27	9.9%	16	5.9%	251	28	11.2%	13	5.2%
山形県	264	32	12.1%	23	8.7%	261	31	11.9%	26	10.0%	240	38	15.8%	21	8.8%	261	32	12.3%	21	8.0%
福島県	450	37	8.2%	27	6.0%	466	31	6.7%	15	3.2%	473	37	7.8%	24	5.1%	474	45	9.5%	29	6.1%
茨城県	592	56	9.5%	40	6.8%	591	62	10.5%	40	6.8%	553	55	9.9%	42	7.6%	607	66	10.9%	52	8.6%
栃木県	417	46	11.0%	32	7.7%	474	44	9.3%	30	6.3%	481	62	13.4%	42	9.1%	474	63	13.3%	39	8.2%
群馬県	482	75	15.6%	37	7.7%	449	61	13.6%	32	7.1%	520	64	12.3%	40	7.7%	524	82	15.6%	51	9.7%
埼玉県	1,534	177	11.5%	122	8.0%	1,656	202	12.2%	138	8.3%	1,743	232	13.3%	139	8.0%	1,612	240	14.9%	135	8.4%
千葉県	1,119	145	13.0%	88	7.9%	1,021	140	13.7%	88	8.6%	1,171	120	10.2%	80	6.8%	1,218	160	13.1%	115	9.4%
東京都	2,751	327	11.9%	199	7.2%	3,060	355	11.6%	229	7.5%	2,990	352	11.8%	211	7.1%	3,009	347	11.5%	240	8.0%
神奈川県	1,683	224	13.3%	157	9.3%	1,739	252	14.5%	161	9.3%	1,756	261	14.9%	171	9.7%	1,896	316	16.7%	201	10.6%
新潟県	443	63	14.2%	54	12.2%	486	70	14.4%	58	11.9%	487	84	17.2%	60	12.3%	518	77	14.9%	60	11.6%
富山県	134	13	9.7%	6	4.5%	154	28	18.2%	22	14.3%	134	26	19.4%	17	12.7%	168	26	15.5%	14	8.3%
石川県	106	31	22.8%	21	15.4%	155	28	18.1%	17	11.0%	162	24	14.8%	14	8.6%	169	34	20.1%	19	11.2%
福井県	104	15	14.4%	12	11.5%	121	20	16.5%	16	13.2%	98	10	10.2%	8	8.2%	110	13	11.8%	11	10.0%
山梨県	202	14	6.9%	10	5.0%	190	16	8.4%	10	5.3%	206	24	11.7%	14	6.8%	186	13	7.0%	9	4.8%
長野県	364	31	8.5%	15	4.1%	409	53	13.0%	34	8.3%	424	49	11.6%	26	6.1%	377	48	12.7%	31	8.2%
岐阜県	419	59	14.1%	40	9.5%	449	54	12.0%	40	8.9%	493	57	11.6%	43	8.7%	499	67	13.4%	50	10.0%
静岡県	736	89	12.1%	62	8.4%	809	88	10.9%	61	7.5%	807	92	11.4%	57	7.1%	784	103	13.1%	73	9.3%
愛知県	1,369	216	15.8%	158	11.5%	1,371	240	17.5%	170	12.4%	1,414	221	15.6%	148	10.5%	1,385	236	17.0%	161	11.6%
三重県	409	41	10.0%	27	6.6%	423	43	10.2%	24	5.7%	431	65	15.1%	36	8.4%	442	47	10.6%	37	8.4%
滋賀県	250	42	16.8%	27	10.8%	232	38	16.4%	26	11.2%	218	38	17.4%	28	12.8%	219	36	16.4%	26	11.9%
京都府	473	67	14.2%	39	8.2%	522	81	15.5%	52	10.0%	535	94	17.6%	64	12.0%	499	81	16.2%	56	11.2%
大阪府	2,246	297	13.2%	215	9.6%	2,366	301	12.6%	210	8.8%	1,941	309	15.9%	213	11.0%	2,035	301	14.8%	193	9.5%
兵庫県	933	148	15.9%	78	8.4%	1,034	156	15.1%	81	7.8%	944	149	15.8%	84	8.9%	1,044	160	15.3%	87	8.3%
奈良県	311	39	12.5%	20	6.4%	308	45	14.6%	23	7.5%	305	33	10.8%	22	7.2%	316	44	13.9%	21	6.6%
和歌山県	191	23	12.0%	16	8.4%	167	22	13.2%	21	12.6%	178	22	12.4%	14	7.9%	155	25	16.1%	16	10.3%
鳥取県	99	18	18.2%	10	10.1%	134	24	17.9%	11	8.2%	140	14	10.0%	8	5.7%	142	22	15.5%	14	9.9%
島根県	166	33	19.9%	25	15.1%	150	21	14.0%	12	8.0%	125	21	16.8%	17	13.6%	108	15	13.9%	10	9.3%
岡山県	253	38	15.0%	25	9.9%	274	34	12.4%	21	7.7%	307	44	14.3%	26	8.5%	305	43	14.1%	30	9.8%
広島県	391	52	13.3%	23	5.9%	366	43	11.7%	25	6.8%	374	50	13.4%	38	10.2%	400	46	11.5%	35	8.8%
山口県	231	19	8.2%	11	4.8%	280	32	11.4%	21	7.5%	273	36	13.2%	18	6.6%	281	34	12.1%	13	4.6%
徳島県	110	13	11.8%	13	11.8%	97	21	21.6%	17	17.5%	118	19	16.1%	14	11.9%	99	18	18.2%	12	12.1%
香川県	144	10	6.9%	6	4.2%	149	9	6.0%	8	5.4%	151	18	11.9%	12	7.9%	142	9	6.3%	8	5.6%
愛媛県	334	23	6.9%	13	3.9%	327	28	8.6%	22	6.7%	346	30	8.7%	18	5.2%	342	34	9.9%	25	7.3%
高知県	117	19	16.2%	12	10.3%	121	14	11.6%	10	8.3%	129	15	11.6%	5	3.9%	113	14	12.4%	8	7.1%
福岡県	586	124	21.2%	91	15.5%	569	139	24.4%	93	16.3%	615	135	22.0%	98	15.9%	637	161	25.3%	110	17.3%
佐賀県	139	17	12.2%	9	6.5%	121	19	15.7%	15	12.4%	132	19	14.4%	15	11.4%	123	20	16.3%	16	13.0%
長崎県	222	28	12.6%	22	9.9%	228	36	15.8%	28	12.3%	289	33	11.4%	27	9.3%	279	27	9.7%	21	7.5%
熊本県	297	42	14.1%	30	10.1%	348	47	13.5%	26	7.5%	331	44	13.3%	29	8.8%	291	34	11.7%	22	7.6%
大分県	149	17	11.4%	14	9.4%	190	23	12.1%	13	6.8%	208	21	10.1%	14	7.1%	179	17	9.5%	14	7.8%
宮崎県	223	23	10.3%	15	6.7%	225	24	10.7%	18	8.0%	211	19	9.1%	25	11.7%	199	26	13.1%	18	9.0%
鹿児島県	315	31	9.8%	21	6.7%	293	24	8.2%	15	5.1%	330	47	14.2%	37	11.2%	317	43	13.6%	23	7.3%
沖縄県	216	43	20.8%	31	14.4%	238	47	18.2%	30	11.6%	245	49	20.3%	28	11.6%	297	48	16.2%	28	9.4%
全国	24,496	3,186	13.0%	2,103	8.6%	25,569	3,400	13.3%	2,226	8.7%	25,538	3,444	13.5%	2,232	8.7%	25,756	3,584	13.9%	2,355	9.1%

区分	令和元年				令和2年				区分	令和3年				令和4年				
	一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性心臓機能停止症例者				一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性心臓機能停止症例者					一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性心臓機能停止症例者				一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性心臓機能停止症例者				
	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	社会復帰率		1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	社会復帰率	
都道府県									都道府県									
北海道	984	151	15.3%	79	8.0%	1061	127	12.0%	62	5.8%	1092	150	13.7%	1236	121	9.8%	74	6.0%
青森県	351	27	7.7%	19	5.4%	349	39	11.2%	20	5.7%	329	26	7.9%	337	23	6.8%	8	2.4%
岩手県	361	27	7.5%	14	3.9%	366	24	6.6%	17	4.6%	359	26	7.2%	378	15	4.0%	8	2.1%
宮城県	594	80	13.5%	54	9.1%	561	63	11.2%	39	7.0%	601	59	9.8%	599	62	10.4%	42	7.0%
秋田県	277	29	10.5%	19	6.9%	265	28	10.6%	16	6.0%	273	27	9.9%	274	19	6.9%	15	5.5%
山形県	270	31	11.5%	22	8.1%	263	34	12.9%	25	9.5%	240	22	9.2%	290	25	8.6%	16	5.5%
福島県	448	43	9.6%	15	3.3%	509	57	11.2%	24	4.7%	469	35	7.5%	530	38	7.2%	13	2.5%
茨城県	584	66	11.3%	47	8.0%	577	65	11.3%	35	6.1%	587	40	6.8%	515	38	6.2%	23	3.7%
栃木県	466	66	14.2%	41	8.8%	489	52	10.6%	38	7.8%	506	38	7.5%	499	40	8.0%	22	4.4%
群馬県	506	55	10.9%	31	6.1%	517	60	11.6%	37	7.2%	509	61	12.0%	444	56	11.2%	30	6.0%
埼玉県	1,675	232	13.9%	136	8.1%	1,851	200	10.8%	110	5.9%	1,823	230	12.6%	1,347	241	12.2%	156	7.9%
千葉県	1,272	163	12.8%	107	8.4%	1,294	145	11.2%	85	6.6%	1,322	125	9.5%	1,444	148	10.2%	91	6.3%
東京都	3,045	407	13.4%	287	9.4%	2,974	300	10.1%	188	6.3%	3,241	305	9.4%	3,576	295	8.2%	209	5.8%
神奈川県	1,756	257	14.6%	151	8.6%	1,774	247	13.9%	143	8.1%	1,806	221	12.2%	2,016	209	10.4%	149	7.4%
新潟県	458	51	11.1%	39	8.5%	495	48	9.7%	37	7.5%	486	42	8.6%	460	37	8.0%	29	6.3%
富山県	147	29	19.7%	20	13.6%	151	20	13.2%	17	11.3%	169	22	13.0%	159	15	9.4%	9	5.7%
石川県	163	36	22.1%	25	15.3%	164	31	18.9%	20	12.2%	166	26	15.7%	175	22	12.6%	12	6.9%
福井県	116	15	12.9%	8	6.9%	105	7	6.7%	5	4.8%	128	12	9.4%	130	10	7.7%	8	6.2%
山梨県	257	22	8.6%	14	5.4%	234	20	8.5%	12	5.1%	243	17	7.0%	242	13	5.4%	11	4.5%
長野県	373	38	10.2%	31	8.3%	408	39	9.6%	26	6.4%	379	39	10.3%	449	45	10.0%	26	5.8%
岐阜県	443	43	9.7%	34	7.7%	463	51	11.0%	38	8.2%	492	52	10.6%	494	46	9.3%	37	7.5%
静岡県	768	81	10.5%	59	7.7%	705	59	8.4%	41	5.8%	733	68	9.3%	743	64	8.6%	42	5.7%
愛知県	1,399	257	18.4%	170	12.2%	1,303	203	15.6%	130	10.0%	1,358	195	14.4%	1,385	195	14.1%	126	9.1%
三重県	419	57	13.6%	43	10.3%	413	49	11.9%	29	7.0%	370	28	7.6%	483	56	11.6%	28	5.8%
滋賀県	221	42	19.0%	29	13.1%	229	45	19.7%	34	14.8%	252	40	15.9%	286	28	9.8%	18	6.3%
京都府	536	116	21.6%	74	13.8%	582	94	16.2%	52	8.9%	515	68	13.2%	655	75	11.5%	49	7.5%
大阪府	1,944	282	14.5%	174	9.0%	1,986	282	13.1%	151	7.6%	2,120	269	12.7%	2,322	279	12.0%	181	7.8%
兵庫県	969	151	15.6%	90	9.3%	988	134	13.4%	67	6.7%	1,096	130	11.9%	1,143	122	10.7%	59	5.2%
奈良県	312	32	10.3%	20	6.4%	327	30	9.2%	21	6.4%	355	41	11.5%	406	44	10.8%	20	4.9%
和歌山県	191	29	15.2%	18	9.4%	192	30	15.6%	19	9.9%	178	22	12.4%	217	30	13.8%	22	10.1%
鳥取県	139	17	12.2%	9	6.5%	86	10	11.6%	4	4.7%	89	5	5.6%	2	2.2%	170	9	4.2%
島根県	109	15	13.8%	15	13.8%	119	18	15.1%	17	14.3%	123	15	12.2%	9	7.3%	141	7	5.0%
岡山県	288	39	13.5%	14	4.9%	270	35	13.0%	24	8.9%	306	28	9.2%	308	42	13.6%	26	8.4%
広島県	430	59	13.7%	48	11.2%	430	62	14.4%	47	10.9%	477	60	12.6%	539	54	10.0%	38	7.1%
山口県	294	36	12.2%	23	7.8%	242	30	12.4%	14	5.8%	260	30	11.5%	318	42	13.2%	14	4.4%
徳島県	99	16	16.2%	12	12.1%	101	17	16.8%	11	10.9%	113	13	11.5%	113	20	17.7%	15	13.3%
香川県	140	11	7.9%	5	3.6%	171	18	10.5%	12	7.0%	179	9	5.0%	175	13	7.4%	8	4.6%
愛媛県	347	35	10.1%	22	6.3%	311	30	9.6%	23	7.4%	337	23	6.8%	393	33	8.4%	25	6.4%
高知県	133	26	19.5%	16	12.0%	107	14	13.1%	8	7.5%	101	11	10.9%	116	13	11.2%	10	8.6%
福岡県	572	124	21.7%	82	14.3%	624	130	20.8%	86	13.8%	633	119	18.8%	669	110	16.4%	74	11.1%
佐賀県	123	30	24.4%	25	20.3%	129	23	17.8%	15	11.6%	133	17	12.8%	152	24	15.8%	17	11.2%
長崎県	259	28	10.8%	21	8.1%	284	22	7.7%	15	5.3%	289	27	9.3%	295	23	7.8%	13	4.4%
熊本県	284	37	13.0%	21	7.4%	256	30	11.7%	18	7.0%	287	31	10.8%	332	37	11.1%	26	7.8%
大分県	212	28	13.2%	20	9.4%	210	22	10.5%	14	6.7%	217	24	11.1%	207	21	10.1%	12	5.8%
宮崎県	236	25	10.6%	15	6.4%	268	36	13.4%	29	10.8%	231	27	11.7%	251	20	8.0%	12	4.8%
鹿児島県	302	41	13.6%	24	7.9%	276	42	15.2%	31	11.2%	287	32	11.1%	344	38	11.0%	28	8.1%
沖縄県	288	77	26.7%	49	17.0%	281	53	18.2%	36	12.4%	241	37	15.4%	337	52	15.4%	31	9.2%
全国	25,560	3,559	13.9%	2,291	9.0%	25,790	3,155	12.2%	1,942	7.5%	26,500	2,944	11.1%	28,834	2,971	10.3%	1,894	6.6%

区分	令和5年				令和6年			
	一般市		一般市以外		一般市		一般市以外	
	1か月後生存者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後社会復帰率
北海道	1,139	134	11.8%	92	8.1%	1,136	115	10.1%
青森県	322	31	9.6%	11	3.4%	361	42	11.6%
岩手県	395	23	5.8%	19	4.8%	367	18	4.9%
宮城県	610	71	11.6%	44	7.2%	632	86	13.6%
秋田県	315	22	7.0%	11	3.5%	301	20	6.6%
山形県	267	29	10.9%	19	7.1%	242	20	8.3%
福島県	597	44	7.4%	16	2.7%	564	44	7.5%
茨城県	558	52	9.3%	31	5.6%	600	57	8.6%
栃木県	502	50	10.0%	32	6.4%	553	44	8.0%
群馬県	503	60	11.9%	44	8.7%	460	64	13.9%
埼玉県	1,885	268	13.5%	165	8.3%	1,851	239	12.9%
千葉県	1,515	198	13.1%	114	7.5%	1,475	165	11.2%
東京都	3,435	337	9.8%	236	6.9%	3,352	359	10.7%
神奈川県	2,024	279	13.8%	179	8.8%	1,978	249	12.6%
新潟県	509	58	11.4%	44	8.6%	519	53	10.2%
富山県	164	19	11.6%	12	7.3%	193	21	10.9%
石川県	136	22	16.2%	11	8.1%	162	35	21.6%
福井県	129	7	5.4%	4	3.1%	133	10	7.5%
山梨県	223	17	7.6%	12	5.4%	253	20	7.9%
長野県	386	41	10.6%	25	6.5%	368	28	7.6%
岐阜県	533	40	7.5%	28	5.3%	520	45	8.7%
静岡県	738	65	8.8%	36	4.9%	712	83	11.7%
愛知県	1,371	217	15.8%	131	9.6%	1,326	225	17.0%
三重県	440	44	10.0%	25	5.7%	393	53	13.5%
滋賀県	238	34	14.3%	21	8.8%	243	40	16.5%
京都府	580	64	11.0%	33	5.7%	566	74	13.1%
大阪府	2,662	321	14.2%	190	8.4%	2,121	424	20.0%
兵庫県	1,165	170	14.6%	88	7.6%	1,113	139	12.5%
奈良県	355	40	11.3%	25	7.0%	344	41	11.9%
和歌山県	215	29	13.5%	20	9.3%	207	30	14.5%
鳥取県	110	9	8.2%	2	1.8%	92	14	15.2%
島根県	137	23	16.8%	21	15.3%	109	10	9.2%
岡山県	294	38	12.9%	16	5.4%	280	33	11.8%
広島県	550	50	9.1%	36	6.5%	549	63	11.5%
山口県	343	32	9.3%	15	4.4%	319	41	11.0%
徳島県	130	15	11.5%	9	6.9%	119	15	12.6%
香川県	140	10	7.1%	8	5.7%	154	16	10.4%
愛媛県	352	21	6.0%	18	5.1%	346	28	8.1%
高知県	108	6	5.6%	3	2.8%	99	11	11.1%
福岡県	692	139	20.1%	93	13.4%	646	121	18.7%
佐賀県	137	19	13.9%	12	8.8%	158	25	15.8%
長崎県	338	25	7.4%	13	3.8%	315	23	7.3%
熊本県	390	52	13.3%	36	9.2%	363	42	11.6%
大分県	183	10	5.5%	7	3.8%	168	19	11.3%
宮崎県	245	24	9.8%	18	7.3%	255	45	17.6%
鹿児島県	283	32	11.3%	21	7.4%	311	37	11.9%
沖縄県	311	57	18.3%	44	14.1%	306	46	15.7%
全国	28,354	3,348	11.8%	2,090	7.4%	27,769	3,434	12.4%
							2,150	7.7%

別表17 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率
(10 か年集計、都道府県別)

都道府県	10か年 全傷病者数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者				
			1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数	
				1か月後 生存率		1か月後 社会復帰率
北海道	58,896	10,662	1,455	13.6%	863	8.1%
青森県	16,562	3,382	303	9.0%	176	5.2%
岩手県	16,199	3,601	247	6.9%	157	4.4%
宮城県	24,651	5,772	698	12.1%	453	7.8%
秋田県	15,021	2,861	270	9.4%	158	5.5%
山形県	14,125	2,598	294	11.3%	199	7.7%
福島県	23,236	5,000	411	8.2%	203	4.1%
茨城県	32,362	5,924	557	9.4%	378	6.4%
栃木県	22,044	4,841	505	10.4%	321	6.6%
群馬県	22,241	4,969	638	12.8%	391	7.9%
埼玉県	74,848	17,710	2,261	12.8%	1,416	8.0%
千葉県	62,605	12,853	1,509	11.7%	970	7.5%
東京都	128,868	31,433	3,384	10.8%	2,254	7.2%
神奈川県	91,045	18,428	2,515	13.6%	1,605	8.7%
新潟県	28,424	4,861	583	12.0%	456	9.4%
富山県	11,277	1,573	219	13.9%	146	9.3%
石川県	11,253	1,588	289	18.2%	184	11.6%
福井県	7,604	1,174	119	10.1%	87	7.4%
山梨県	9,728	2,236	176	7.9%	118	5.3%
長野県	24,812	3,937	411	10.4%	268	6.8%
岐阜県	22,651	4,805	514	10.7%	389	8.1%
静岡県	40,745	7,535	792	10.5%	526	7.0%
愛知県	73,503	13,681	2,205	16.1%	1,423	10.4%
三重県	21,503	4,223	483	11.4%	291	6.9%
滋賀県	13,372	2,388	383	16.0%	267	11.2%
京都府	26,043	5,463	814	14.9%	507	9.3%
大阪府	86,525	21,373	3,045	14.2%	1,884	8.8%
兵庫県	51,688	10,439	1,459	14.0%	774	7.4%
奈良県	14,136	3,339	389	11.7%	222	6.6%
和歌山県	11,769	1,891	262	13.9%	175	9.3%
鳥取県	5,238	1,151	142	12.3%	72	6.3%
島根県	8,272	1,287	180	14.0%	138	10.7%
岡山県	19,500	2,885	374	13.0%	227	7.9%
広島県	24,586	4,506	539	12.0%	370	8.2%
山口県	14,299	2,896	332	11.5%	159	5.5%
徳島県	7,680	1,099	167	15.2%	118	10.7%
香川県	9,386	1,545	123	8.0%	82	5.3%
愛媛県	15,802	3,435	285	8.3%	205	6.0%
高知県	7,853	1,144	143	12.5%	89	7.8%
福岡県	44,683	6,243	1,302	20.9%	891	14.3%
佐賀県	8,721	1,347	213	15.8%	152	11.3%
長崎県	13,715	2,798	272	9.7%	189	6.8%
熊本県	17,529	3,179	396	12.5%	262	8.2%
大分県	10,836	1,926	218	11.3%	148	7.7%
宮崎県	11,552	2,341	269	11.5%	183	7.8%
鹿児島県	15,778	3,058	367	12.0%	244	8.0%
沖縄県	13,279	2,786	513	18.4%	331	11.9%
全国	1,306,445	264,166	33,025	12.5%	21,121	8.0%

別表18 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者の生存率
(10 か年比較、都道府県別)

区分	平成27年					平成28年					平成29年					平成30年				
	一般市民による心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者					一般市民による心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者					一般市民による心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者					一般市民による心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者				
	1か月後 生存率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 社会復帰者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 社会復帰者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 社会復帰者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 生存率	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後 社会復帰者数	
都道府県																				
北海道	241	104	43.2%	65	27.0%	239	104	43.5%	65	27.2%	233	91	39.1%	61	26.2%	225	97	43.1%	68	30.2%
青森県	63	21	33.3%	15	23.8%	62	23	37.1%	21	33.9%	69	17	24.6%	12	17.4%	51	11	21.6%	9	17.6%
岩手県	63	20	31.7%	13	20.6%	60	18	30.0%	11	18.3%	53	18	34.0%	8	15.1%	53	14	26.4%	11	20.8%
宮城県	108	39	36.1%	27	25.0%	96	40	41.7%	23	24.0%	111	34	30.6%	25	22.5%	109	38	34.9%	28	25.7%
秋田県	51	13	25.5%	11	21.6%	62	26	41.9%	15	24.2%	33	9	27.3%	7	21.2%	41	13	31.7%	6	14.6%
山形県	44	13	29.5%	9	20.5%	52	14	26.9%	13	25.0%	44	20	45.5%	11	25.0%	42	10	23.8%	7	16.7%
福島県	82	20	24.4%	15	18.3%	92	14	15.2%	7	7.6%	86	23	26.7%	14	16.3%	77	21	27.3%	14	18.2%
茨城県	90	29	32.2%	24	26.7%	117	34	29.1%	21	17.9%	113	34	30.1%	27	23.9%	127	36	28.3%	31	24.4%
栃木県	94	27	28.7%	23	24.5%	97	20	20.6%	14	14.4%	86	32	37.2%	21	24.4%	96	35	36.5%	22	22.9%
群馬県	82	35	42.7%	17	20.7%	90	36	40.0%	21	23.3%	99	31	31.3%	22	22.2%	108	42	38.9%	25	23.1%
埼玉県	267	88	33.0%	57	21.3%	269	105	35.1%	24	24.7%	321	112	34.9%	68	21.2%	250	91	36.4%	49	19.6%
千葉県	217	79	36.4%	56	25.8%	229	68	29.7%	50	21.8%	199	57	28.6%	41	20.6%	224	87	38.8%	66	29.5%
東京都	457	112	24.5%	66	14.4%	497	128	25.8%	76	15.3%	501	138	27.5%	76	15.2%	465	102	21.9%	66	14.2%
神奈川県	307	98	31.9%	72	23.9%	303	114	37.6%	78	23.7%	323	116	35.9%	78	24.0%	340	138	40.6%	94	27.6%
新潟県	80	24	30.0%	20	25.0%	101	34	33.7%	28	27.7%	99	40	40.4%	27	27.3%	92	35	38.0%	30	32.6%
富山県	32	9	28.1%	5	15.6%	39	17	43.6%	13	33.3%	33	18	54.5%	12	36.4%	38	13	34.2%	8	21.1%
石川県	37	18	48.6%	14	37.8%	36	12	33.3%	8	22.2%	40	17	42.5%	9	22.5%	45	19	42.2%	11	24.4%
福井県	23	9	39.1%	8	34.8%	27	12	44.4%	10	37.0%	18	5	27.8%	4	22.2%	29	10	34.5%	8	27.6%
山梨県	22	7	31.8%	6	27.3%	29	8	27.6%	6	20.7%	37	8	21.6%	5	13.5%	26	6	23.1%	4	15.4%
長野県	68	14	20.6%	6	8.8%	77	26	33.8%	16	20.8%	74	24	32.4%	15	20.3%	72	25	34.7%	17	23.6%
岐阜県	74	32	43.2%	24	32.4%	86	34	39.5%	26	30.2%	86	24	27.9%	16	18.6%	76	35	46.1%	27	35.5%
静岡県	158	53	33.5%	42	26.6%	124	41	33.1%	30	24.2%	160	43	26.9%	25	15.6%	147	51	34.7%	42	28.6%
愛知県	297	131	44.1%	99	33.3%	288	154	53.5%	110	38.2%	280	118	42.1%	79	28.2%	292	135	46.2%	93	31.8%
三重県	67	18	26.9%	9	13.4%	78	22	28.2%	13	16.7%	95	28	29.5%	21	22.1%	66	20	30.3%	17	25.8%
滋賀県	50	20	40.0%	14	28.0%	50	22	44.0%	18	36.0%	43	22	51.2%	17	39.5%	37	13	35.1%	10	27.0%
京都府	112	40	35.7%	26	23.2%	94	45	47.9%	32	34.0%	89	41	46.1%	30	33.7%	84	34	40.5%	25	29.8%
大阪府	374	155	41.4%	123	32.9%	435	160	36.8%	118	27.1%	384	157	40.3%	118	30.7%	380	162	42.6%	117	30.8%
兵庫県	167	73	43.7%	40	24.0%	187	71	38.0%	37	19.8%	162	80	49.4%	49	30.2%	191	80	41.9%	46	24.1%
奈良県	64	18	28.1%	11	17.2%	56	27	48.2%	14	25.0%	60	14	23.3%	9	15.0%	56	19	33.9%	10	17.9%
和歌山県	31	9	29.0%	5	16.1%	37	12	32.4%	12	32.4%	35	12	34.3%	8	22.9%	33	8	24.2%	6	18.2%
徳島県	18	8	44.4%	6	33.3%	24	13	54.2%	7	29.2%	17	4	23.5%	4	23.5%	19	5	26.3%	4	21.1%
香川県	27	13	48.1%	10	37.0%	30	7	23.3%	4	13.3%	32	9	28.1%	8	25.0%	19	9	47.4%	6	31.6%
愛媛県	50	19	38.0%	16	32.0%	58	22	37.9%	13	22.4%	60	22	36.7%	18	23.0%	59	19	32.2%	13	22.0%
高知県	81	36	44.4%	22	27.2%	83	32	38.6%	23	27.7%	70	29	41.4%	19	27.1%	80	23	28.8%	17	21.3%
山口県	43	10	23.3%	7	16.3%	47	13	27.7%	12	25.5%	44	18	40.9%	13	29.5%	46	19	41.3%	7	15.2%
徳島県	32	12	37.5%	12	37.5%	25	12	48.0%	10	40.0%	34	12	35.3%	9	26.5%	19	7	36.8%	3	15.8%
香川県	18	6	33.3%	5	27.8%	23	4	17.4%	4	17.4%	26	9	34.6%	9	34.6%	21	5	23.8%	5	23.8%
愛媛県	38	10	26.3%	7	18.4%	51	21	41.2%	16	31.4%	47	13	27.7%	8	17.0%	57	18	31.6%	15	26.3%
福岡県	29	12	41.4%	8	27.6%	26	24	58.3%	10	41.7%	26	7	26.9%	3	11.5%	25	11	44.0%	7	28.0%
佐賀県	171	83	48.5%	59	34.5%	168	84	50.0%	62	36.9%	168	75	44.4%	60	35.7%	156	85	54.5%	66	42.3%
長門県	34	9	26.5%	5	14.7%	20	24	9	33.3%	20	7	35.0%	6	30.0%	31	13	41.9%	9	29.0%	
熊本県	46	14	30.4%	11	23.9%	41	15	36.6%	11	26.8%	43	11	25.6%	9	20.9%	46	13	28.3%	9	19.6%
鹿児島県	60	26	43.3%	20	33.3%	61	26	42.6%	17	27.9%	74	31	41.9%	19	25.9%	53	17	32.1%	13	24.5%
大分県	34	10	29.4%	9	26.5%	39	13	33.3%	8	20.5%	40	18	45.0%	11	27.5%	32	9	28.1%	8	25.0%
宮崎県	39	9	23.1%	5	12.8%	33	15	45.5%	12	36.4%	31	13	41.9%	11	35.5%	36	13	36.1%	8	22.2%
沖縄県	60	16	26.7%	12	20.0%	50	10	20.0%	9	18.0%	64	29	45.3%	24	37.5%	63	20	31.7%	11	17.5%
計	58	29	50.0%	19	32.8%	62	28	45.2%	18	29.0%	42	22	52.4%	16	38.1%	50	9	18.0%	6	12.0%
全国	4,660	1,650	35.4%	1,155	24.8%	4,882	1,779	36.4%	1,224	25.1%	4,804	1,712	35.6%	1,159	24.1%	4,684	1,695	36.2%	1,174	25.1%

区分	令和元年										令和2年										令和3年										令和4年																			
	一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心源性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止患者										一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心源性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止患者										一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心源性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止患者										一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心源性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止患者										一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心源性かつ 初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止患者									
	1か月後 生存者数	1か月後 社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰率												
北海道	196	79	40.3%	43	21.9%	206	74	35.9%	37	18.0%	222	83	37.4%	48	21.6%	191	67	35.1%	41	21.5%	222	83	37.4%	48	21.6%	191	67	35.1%	41	21.5%	222	83	37.4%	48	21.6%	191	67	35.1%	41	21.5%										
青森県	50	12	24.0%	8	16.0%	61	26	42.6%	14	23.0%	52	16	30.8%	9	17.3%	41	12	29.3%	4	9.8%	52	16	30.8%	9	17.3%	41	12	29.3%	4	9.8%	52	16	30.8%	9	17.3%	41	12	29.3%	4	9.8%										
岩手県	65	16	24.6%	11	16.9%	56	10	17.9%	8	14.3%	57	19	33.3%	13	22.8%	49	9	18.4%	5	10.2%	57	19	33.3%	13	22.8%	49	9	18.4%	5	10.2%	57	19	33.3%	13	22.8%	49	9	18.4%	5	10.2%										
宮城県	102	47	46.1%	34	33.3%	112	34	30.4%	20	17.9%	101	29	24.8%	14	13.9%	92	31	33.7%	22	23.9%	101	29	24.8%	14	13.9%	92	31	33.7%	22	23.9%	101	29	24.8%	14	13.9%	92	31	33.7%	22	23.9%										
秋田県	48	17	35.4%	10	20.8%	47	14	29.8%	14	28.8%	45	11	24.4%	7	15.6%	39	10	25.6%	9	23.1%	45	11	24.4%	7	15.6%	39	10	25.6%	9	23.1%	45	11	24.4%	7	15.6%	39	10	25.6%	9	23.1%										
山形県	39	16	41.0%	10	25.6%	37	14	37.8%	12	31.6%	37	14	37.8%	12	31.6%	45	12	26.7%	5	11.1%	37	14	37.8%	12	31.6%	45	12	26.7%	5	11.1%	37	14	37.8%	12	31.6%	45	12	26.7%	5	11.1%										
福島県	78	18	23.1%	10	12.8%	82	25	30.5%	13	15.9%	76	21	27.6%	9	11.8%	75	21	28.0%	7	9.3%	76	21	27.6%	9	11.8%	75	21	28.0%	7	9.3%	76	21	27.6%	9	11.8%	75	21	28.0%	7	9.3%										
茨城県	103	28	27.2%	23	22.3%	107	36	33.3%	24	22.4%	107	36	33.3%	24	22.4%	119	34	28.6%	20	18.5%	107	36	33.3%	24	22.4%	119	34	28.6%	20	18.5%	107	36	33.3%	24	22.4%	119	34	28.6%	20	18.5%										
栃木県	89	37	41.6%	26	29.2%	71	24	33.8%	23	32.4%	75	12	16.0%	8	10.7%	74	12	16.2%	8	10.6%	75	12	16.0%	8	10.7%	74	12	16.2%	8	10.6%	75	12	16.0%	8	10.7%	74	12	16.2%	8	10.6%										
群馬県	72	20	27.8%	12	16.7%	81	34	42.0%	17	23.4%	85	30	35.3%	23	27.1%	66	24	36.4%	15	22.7%	85	30	35.3%	23	27.1%	66	24	36.4%	15	22.7%	85	30	35.3%	23	27.1%	66	24	36.4%	15	22.7%										
埼玉県	271	105	38.7%	60	22.1%	282	76	27.0%	41	14.5%	269	97	36.1%	59	21.9%	266	93	35.0%	57	21.4%	269	97	36.1%	59	21.9%	266	93	35.0%	57	21.4%	269	97	36.1%	59	21.9%	266	93	35.0%	57	21.4%										
千葉県	235	86	36.6%	60	25.5%	200	69	34.5%	40	20.0%	223	95	42.6%	47	23.3%	243	73	30.0%	45	18.5%	223	95	42.6%	47	23.3%	243	73	30.0%	45	18.5%	223	95	42.6%	47	23.3%	243	73	30.0%	45	18.5%										
東京都	474	131	27.6%	92	19.4%	507	121	23.7%	72	14.2%	499	121	24.2%	78	15.6%	412	89	21.6%	63	15.3%	499	121	24.2%	78	15.6%	412	89	21.6%	63	15.3%	499	121	24.2%	78	15.6%	412	89	21.6%	63	15.3%										
神奈川県	295	112	38.0%	62	21.0%	312	116	37.2%	73	23.4%	269	85	31.6%	53	19.7%	283	78	27.6%	54	19.1%	269	85	31.6%	53	19.7%	283	78	27.6%	54	19.1%	269	85	31.6%	53	19.7%	283	78	27.6%	54	19.1%										
新潟県	69	28	40.6%	21	30.4%	36	30	34.9%	23	28.7%	38	23	26.1%	20	22.7%	71	13	18.3%	11	15.5%	38	23	26.1%	20	22.7%	71	13	18.3%	11	15.5%	38	23	26.1%	20	22.7%	71	13	18.3%	11	15.5%										
富山県	32	11	34.4%	7	21.9%	36	15	41.7%	12	33.3%	39	11	28.2%	8	20.5%	34	9	26.5%	6	17.6%	39	11	28.2%	8	20.5%	34	9	26.5%	6	17.6%	39	11	28.2%	8	20.5%	34	9	26.5%	6	17.6%										
石川県	33	17	51.5%	15	45.5%	42	24	57.1%	18	42.0%	36	15	41.7%	11	30.6%	34	14	41.2%	9	26.5%	42	24	57.1%	18	42.0%	36	15	41.7%	11	30.6%	34	14	41.2%	9	26.5%	42	24	57.1%	18	42.0%										
福井県	23	8	34.8%	3	13.0%	21	4	19.0%	2	9.5%	23	8	34.8%	7	30.4%	24	5	20.8%	4	16.7%	23	8	34.8%	7	30.4%	24	5	20.8%	4	16.7%	23	8	34.8%	7	30.4%	24	5	20.8%	4	16.7%										
山梨県	29	10	34.5%	8	27.6%	31	11	35.5%	7	22.3%	30	8	26.7%	7	23.3%	26	8	30.8%	8	30.8%	31	11	35.5%	7	22.3%	30	8	26.7%	7	23.3%	26	8	30.8%	8	30.8%	31	11	35.5%	7	23.3%										
長野県	65	15	23.1%	12	18.5%	74	24	32.4%	15	20.3%	64	22	34.4%	17	26.6%	75	16	21.3%	6	8.0%	64	22	34.4%	17	26.6%	75	16	21.3%	6	8.0%	64	22	34.4%	17	26.6%	75	16	21.3%	6	8.0%										
岐阜県	77	24	31.2%	21	27.3%	67	32	47.8%	27	40.3%	67	24	35.8%	20	29.9%	69	24	34.8%	20	29.0%	67	24	35.8%	20	29.9%	69	24	34.8%	20	29.0%	67	24	35.8%	20	29.9%	69	24	34.8%	20	29.0%										
静岡県	143	46	32.2%	33	23.1%	106	26	24.5%	18	17.0%	120	39	32.5%	24	20.0%	119	34	28.6%	22	18.5%	120	39	32.5%	24	20.0%	119	34	28.6%	22	18.5%	120	39	32.5%	24	20.0%	119	34	28.6%	22	18.5%										
愛知県	291	137	47.1%	95	32.6%	276	114	41.3%	75	27.2%	249	111	44.6%	62	24.9%	269	107	39.8%	70	26.0%	249	111	44.6%	62	24.9%	269	107	39.8%	70	26.0%	249	111	44.6%	62	24.9%	269	107	39.8%	70	26.0%										
三重県	67	26	38.8%	21	31.3%	76	29	38.2%	19	25.0%	41	9	22.0%	4	9.8%	73	25	34.2%	12	16.4%	41	9	22.0%	4	9.8%	73	25	34.2%	12	16.4%	41	9	22.0%	4	9.8%	73	25	34.2%	12	16.4%										
滋賀県	46	21	45.7%	16	34.8%	60	31	51.7%	25	41.7%	51	22	43.1%	20	39.2%	41	12	29.3%	6	14.6%	51	22	43.1%	20	39.2%	41	12	29.3%	6	14.6%	51	22	43.1%	20	39.2%	41	12	29.3%	6	14.6%										
京都府	102	52	51.0%	31	30.4%	99	47	47.5%	24	24.2%	80	32	40.0%	18	22.5%	98	43	43.9%	29	28.6%	99	47	47.5%	24	24.2%	80	32	40.0%	18	22.5%	98	43	43.9%	29	28.6%	99	47	47.5%	24	24.2%										
大阪府	312	137	43.9%	99	31.7%	338	131	38.8%	79	23.4%	321	121	37.7%	87	27.1%	319	129	40.4%	98	30.7%	321	121	37.7%	87	27.1%	319	129	40.4%	98	30.7%	321	121	37.7%	87	27.1%	319	129	40.4%	98	30.7%										
兵庫県	185	89	48.1%	58	31.4%	181	73	40.3%	42	23.2%	186	67	36.0%	35	18.3%	180	56	31.1%	31	17.2%	186	67	36.0%	35	18.3%	180	56	31.1%	31	17.2%	186	67	36.0%	35	18.3%	180	56	31.1%	31	17.2%										
奈良県	56	16	28.6%	13	23.2%	50	11	22.0%	9	18.0%	49	17	34.7%	12	24.5%	56	18	32.1%	11	19.6%	49	17	34.7%	12	24.5%	56	18	32.1%	11	19.6%	49	17	34.7%	12	24.5%	56	18	32.1%	11	19.6%										
和歌山県	38	15	39.5%	9	23.7%	47	21	44.7%	12	25.5%	37	14	37.8%	9	24.3%	36	19	52.8%	13	36.1%	47	21	44.7%	12	25.5%	37	14	37.8%	9	24.3%	36	19	52.8%	13	36.1%	47	21	44.7%	12	25.5%										
徳島県	14	4	28.6%	2	14.3%	8	3	37.5%	2	25.0%	7	0	0.0%	0	0.0%	11	3	27.3%	2	18.2%	7	0	0.0%	0	0.0%	11	3	27.3%	2	18.2%	7	0	0.0%	0	0.0%	11	3	27.3%	2	18.2%										
香川県	24	8	33.3%	8	33.3%	23	9	39.1%	8	34.8%	20	7	35.0%	4	20.0%	19	5	26.3%	4	21.1%	20	7	35.0%	4	20.0%	19	5	26.3%	4	21.1%	20	7	35.0%	4	20.0%	19	5	26.3%	4	21.1%										
岡山県	51	19	37.3%	9	17.6%	41	19	46.3%	12	29.3%	44	20	45.5%	13	29.3%	50	25	50.0%	16	32.0%	44	20	45.5%																											

区分	令和5年					令和6年				
	一般市街地における断絶停止の時点が自覚された心原性かつ 初期心電図波形がVVIである心断絶停止事例数					一般市街地における断絶停止の時点が自覚された心原性かつ 初期心電図波形がVVIである心断絶停止事例数				
	1か月後生存者数	1か月後 生存者	1か月後 社会復帰者	1か月後 社会復帰率	1か月後 社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後 生存者	1か月後 社会復帰者	1か月後 社会復帰率	1か月後 社会復帰率
総数	206	71	34.5%	46	22.3%	204	63	30.9%	38	18.6%
北海道	50	16	32.0%	9	18.0%	59	19	32.2%	9	15.3%
青森県	62	16	25.8%	13	21.0%	50	15	30.0%	12	24.0%
岩手県	98	37	37.8%	22	22.4%	79	34	43.0%	24	30.4%
宮城県	45	8	17.8%	5	11.1%	47	12	25.5%	6	12.8%
秋田県	35	12	34.3%	10	28.6%	40	11	27.5%	6	15.0%
山形県	104	23	22.1%	10	9.6%	81	21	25.9%	12	14.8%
福島県	107	33	30.8%	19	17.8%	100	29	29.0%	20	20.0%
茨城県	74	22	29.7%	14	18.9%	87	19	21.8%	12	13.8%
栃木県	79	25	31.6%	19	24.1%	73	34	46.6%	23	31.5%
群馬県	267	91	34.1%	55	20.6%	252	76	30.2%	60	23.8%
埼玉県	246	94	38.2%	55	22.4%	214	64	29.9%	47	22.0%
千葉県	438	100	22.8%	69	15.8%	446	100	22.4%	72	16.1%
東京都	315	116	36.8%	72	22.9%	307	103	33.6%	61	19.9%
神奈川県	110	37	33.6%	30	27.3%	88	26	29.5%	23	26.1%
新潟県	38	12	31.6%	9	23.7%	41	14	34.1%	9	22.0%
石川県	38	16	42.1%	8	21.1%	45	22	48.9%	18	40.0%
福井県	18	3	16.7%	1	5.6%	22	5	22.7%	3	13.6%
山梨県	24	7	29.2%	6	25.0%	28	6	21.4%	2	7.1%
長野県	58	18	31.0%	11	19.0%	65	11	16.9%	10	15.4%
岐阜県	91	24	26.4%	15	16.5%	62	19	30.6%	17	27.4%
静岡県	133	28	21.1%	11	8.3%	137	48	35.0%	33	24.1%
愛知県	296	122	41.2%	80	27.0%	289	123	42.6%	72	24.9%
三重県	53	16	30.2%	11	20.8%	64	27	42.2%	11	17.2%
滋賀県	42	19	45.2%	11	26.2%	39	16	41.0%	11	28.2%
京都府	79	35	44.3%	18	22.8%	94	35	37.2%	23	24.5%
大阪府	331	132	39.9%	91	27.5%	342	174	50.9%	105	30.7%
兵庫県	188	81	43.1%	41	21.8%	183	66	36.1%	38	20.8%
奈良県	37	9	24.3%	4	10.8%	44	14	31.8%	10	22.7%
和歌山県	40	18	47.5%	11	27.5%	51	25	49.0%	10	19.6%
徳島県	13	3	23.1%	1	7.7%	11	5	45.5%	2	18.2%
高知県	23	10	43.5%	10	43.5%	16	5	31.3%	4	25.0%
福岡県	40	11	27.5%	7	17.5%	40	12	30.0%	8	20.0%
佐賀県	93	27	29.0%	21	22.6%	115	39	33.9%	21	18.3%
山口県	44	11	25.0%	7	15.9%	42	12	28.6%	7	16.7%
徳島県	19	8	42.1%	7	36.8%	27	8	29.6%	3	11.1%
香川県	26	6	23.1%	5	19.2%	25	10	40.0%	7	28.0%
愛媛県	55	10	18.2%	8	14.5%	38	13	34.2%	10	26.3%
高知県	11	2	18.2%	1	9.1%	24	11	45.8%	10	41.7%
福岡県	194	83	42.8%	57	29.4%	155	67	43.2%	43	27.7%
佐賀県	24	10	41.7%	4	16.7%	31	12	38.7%	9	29.0%
長崎県	57	18	31.6%	9	15.8%	51	8	15.7%	3	5.9%
熊本県	55	18	32.7%	13	23.6%	64	18	28.1%	18	28.1%
大分県	26	7	26.9%	5	19.2%	32	8	25.0%	6	18.8%
宮崎県	26	12	46.2%	9	34.6%	36	20	55.6%	8	22.2%
鹿児島県	44	18	40.9%	13	29.5%	57	19	33.3%	10	17.5%
沖縄県	69	34	49.3%	27	39.1%	61	27	44.3%	21	34.4%
全国	4,521	1,530	33.8%	980	21.7%	4,458	1,525	34.2%	987	22.1%

別表19 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図
波形がVF又は無脈性VTの生存率（10か年集計、都道府県別）

都道府県	10か年 全傷病者数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された 心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止傷病者				
			1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数	
				1か月後 生存率		1か月後 社会復帰率
北海道	58,896	2,163	833	38.5%	512	23.7%
青森県	16,562	558	173	31.0%	110	19.7%
岩手県	16,199	568	155	27.3%	105	18.5%
宮城県	24,651	1,008	359	35.6%	239	23.7%
秋田県	15,021	458	133	29.0%	84	18.3%
山形県	14,125	415	132	31.8%	91	21.9%
福島県	23,236	833	207	24.8%	111	13.3%
茨城県	32,362	1,053	297	28.2%	218	20.7%
栃木県	22,044	843	240	28.5%	165	19.6%
群馬県	22,241	835	311	37.2%	200	24.0%
埼玉県	74,848	2,744	934	34.0%	580	21.1%
千葉県	62,605	2,230	722	32.4%	491	22.0%
東京都	128,868	4,696	1,136	24.2%	730	15.5%
神奈川県	91,045	3,054	1,076	35.2%	697	22.8%
新潟県	28,424	884	290	32.8%	233	26.4%
富山県	11,277	362	129	35.6%	89	24.6%
石川県	11,253	386	174	45.1%	121	31.3%
福井県	7,604	228	69	30.3%	50	21.9%
山梨県	9,728	282	79	28.0%	59	20.9%
長野県	24,812	692	195	28.2%	125	18.1%
岐阜県	22,651	755	272	36.0%	213	28.2%
静岡県	40,745	1,347	409	30.4%	280	20.8%
愛知県	73,503	2,827	1,252	44.3%	835	29.5%
三重県	21,503	680	220	32.4%	138	20.3%
滋賀県	13,372	459	198	43.1%	148	32.2%
京都府	26,043	931	404	43.4%	256	27.5%
大阪府	86,525	3,536	1,458	41.2%	1,035	29.3%
兵庫県	51,688	1,810	736	40.7%	417	23.0%
奈良県	14,136	528	163	30.9%	103	19.5%
和歌山県	11,769	385	154	40.0%	95	24.7%
鳥取県	5,238	142	48	33.8%	30	21.1%
島根県	8,272	233	82	35.2%	66	28.3%
岡山県	19,500	493	188	38.1%	122	24.7%
広島県	24,586	872	333	38.2%	233	26.7%
山口県	14,299	421	139	33.0%	86	20.4%
徳島県	7,680	256	91	35.5%	63	24.6%
香川県	9,386	236	64	27.1%	50	21.2%
愛媛県	15,802	460	136	29.6%	107	23.3%
高知県	7,853	230	94	40.9%	63	27.4%
福岡県	44,683	1,656	762	46.0%	549	33.2%
佐賀県	8,721	275	97	35.3%	68	24.7%
長崎県	13,715	445	130	29.2%	88	19.8%
熊本県	17,529	575	210	36.5%	150	26.1%
大分県	10,836	341	115	33.7%	82	24.0%
宮崎県	11,552	364	145	39.8%	91	25.0%
鹿児島県	15,778	557	197	35.4%	138	24.8%
沖縄県	13,279	576	244	42.4%	172	29.9%
全国	1,306,445	45,682	15,985	35.0%	10,688	23.4%

別表20 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の生存率
(10 年集計、都道府県別)

都道府県	10か年 全傷病者数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された非心原性心肺機能停止傷病者				
			1か月後生存者数		1か月後社会復帰者数	
				1か月後 生存率		1か月後 社会復帰率
北海道	58,896	6,566	606	9.2%	222	3.4%
青森県	16,562	1,834	122	6.7%	39	2.1%
岩手県	16,199	1,994	117	5.9%	63	3.2%
宮城県	24,651	2,695	279	10.4%	130	4.8%
秋田県	15,021	2,309	170	7.4%	69	3.0%
山形県	14,125	1,841	162	8.8%	64	3.5%
福島県	23,236	2,261	135	6.0%	44	1.9%
茨城県	32,362	3,655	238	6.5%	123	3.4%
栃木県	22,044	2,308	173	7.5%	89	3.9%
群馬県	22,241	2,247	294	13.1%	133	5.9%
埼玉県	74,848	7,638	783	10.3%	324	4.2%
千葉県	62,605	7,493	594	7.9%	243	3.2%
東京都	128,868	17,203	974	5.7%	418	2.4%
神奈川県	91,045	9,995	1,122	11.2%	541	5.4%
新潟県	28,424	4,511	284	6.3%	166	3.7%
富山県	11,277	1,641	147	9.0%	83	5.1%
石川県	11,253	1,958	184	9.4%	59	3.0%
福井県	7,604	1,008	33	3.3%	14	1.4%
山梨県	9,728	848	74	8.7%	33	3.9%
長野県	24,812	4,214	366	8.7%	203	4.8%
岐阜県	22,651	2,414	248	10.3%	144	6.0%
静岡県	40,745	5,946	371	6.2%	162	2.7%
愛知県	73,503	10,883	941	8.6%	383	3.5%
三重県	21,503	2,635	334	12.7%	154	5.8%
滋賀県	13,372	2,191	241	11.0%	104	4.7%
京都府	26,043	2,690	282	10.5%	125	4.6%
大阪府	86,525	8,934	1,187	13.3%	455	5.1%
兵庫県	51,688	8,074	761	9.4%	230	2.8%
奈良県	14,136	1,307	137	10.5%	40	3.1%
和歌山県	11,769	1,987	192	9.7%	84	4.2%
鳥取県	5,238	547	72	13.2%	19	3.5%
島根県	8,272	1,419	191	13.5%	113	8.0%
岡山県	19,500	2,984	252	8.4%	104	3.5%
広島県	24,586	4,049	271	6.7%	124	3.1%
山口県	14,299	1,705	166	9.7%	55	3.2%
徳島県	7,680	1,294	131	10.1%	77	6.0%
香川県	9,386	1,232	87	7.1%	47	3.8%
愛媛県	15,802	1,872	155	8.3%	88	4.7%
高知県	7,853	1,201	110	9.2%	24	2.0%
福岡県	44,683	8,477	1,039	12.3%	471	5.6%
佐賀県	8,721	1,393	193	13.9%	121	8.7%
長崎県	13,715	1,657	156	9.4%	91	5.5%
熊本県	17,529	2,182	298	13.7%	130	6.0%
大分県	10,836	1,497	140	9.4%	63	4.2%
宮崎県	11,552	1,779	159	8.9%	85	4.8%
鹿児島県	15,778	2,472	229	9.3%	80	3.2%
沖縄県	13,279	2,020	318	15.7%	169	8.4%
全国	1,306,445	169,060	15,518	9.2%	6,802	4.0%

